

令和5年度

福井市民意識調査報告書

～ あなたの声を福井の未来に ～



福 井 市

報告書の見方

- 1 グラフ中の「SA」は単一回答、「MA」は複数回答を示す。
- 2 グラフ中の「N」は、その設問における回答者数を表す。
- 3 単一回答では、構成比の数値を少数第2位で四捨五入したため、合計が 100.0%に過不足することがある。
- 4 複数回答では、回答の割合の合計は 100.0%を超える。

目 次

I 調査の概要	1
1 調査の目的.....	1
2 調査の設計.....	1
3 調査の項目.....	1
4 回収結果.....	2
II 調査対象者の属性	3
III 調査結果	6
● 第八次福井市総合計画に基づく福井市の取組について	6
政策の平均満足度・不満度.....	9
I 快適に暮らすまち.....	15
II 住みよいまち.....	28
III 生き活きと働くまち.....	56
IV 学び成長するまち.....	70
● 福井市について.....	82
● あなたの「幸福度」について.....	85
● 並行在来線開業について.....	87
● 福井市の都市づくりについて.....	90
● ボランティア活動について.....	94
● 人権について.....	98
● 男女共同参画について.....	100
● 自殺対策について.....	104
● 健康づくりに対する意識について	110
● 児童館について.....	114
● 防災に対する意識について.....	117
● 食育について.....	123
● 福井市市民憲章について.....	127
● 福井市のホームページおよび広報紙について	129
● 自転車利用促進について.....	133
● デジタルの活用について.....	137
IV 自由意見	141
V 調査票	146

I 調査の概要

1 調査の目的

この調査は、第八次福井市総合計画に係る政策ごとの主な施策・取組等について、今後の市政運営の方向性を探り、事業の効果及び進捗状況並びに市民ニーズを把握することを目的に実施する。

2 調査の設計

- (1) 調査地域 福井市全域
- (2) 調査対象 市内に居住する18歳以上の男女2,500人
- (3) 抽出方法 令和5年5月1日現在の住民基本台帳から無作為抽出
(地区人口比率、男女、年齢等の属性を考慮)
- (4) 調査方法 郵送またはインターネットによる
- (5) 調査期間 令和5年5月25日(木)～令和5年6月20日(火)

3 調査の項目

- (1) 回答者自身の属性(性別、年齢、職業、居住年数、家族構成、居住ブロック)
- (2) 第八次福井市総合計画に基づく福井市の取組について(53問)
- (3) 福井市について(4問)
- (4) あなたの「幸福度」について(2問)
- (5) 並行在来線開業について(3問)
- (6) 福井市の都市づくりについて(4問)
- (7) ボランティア活動について(4問)
- (8) 人権について(2問)
- (9) 男女共同参画について(4問)
- (10) 自殺対策について(7問)
- (11) 健康づくりに対する意識について(4問)
- (12) 児童館について(3問)
- (13) 防災に対する意識について(6問)
- (14) 食育について(4問)
- (15) 福井市市民憲章について(2問)
- (16) 福井市のホームページおよび広報紙について(4問)
- (17) 自転車利用促進について(4問)
- (18) デジタルの活用について(4問)

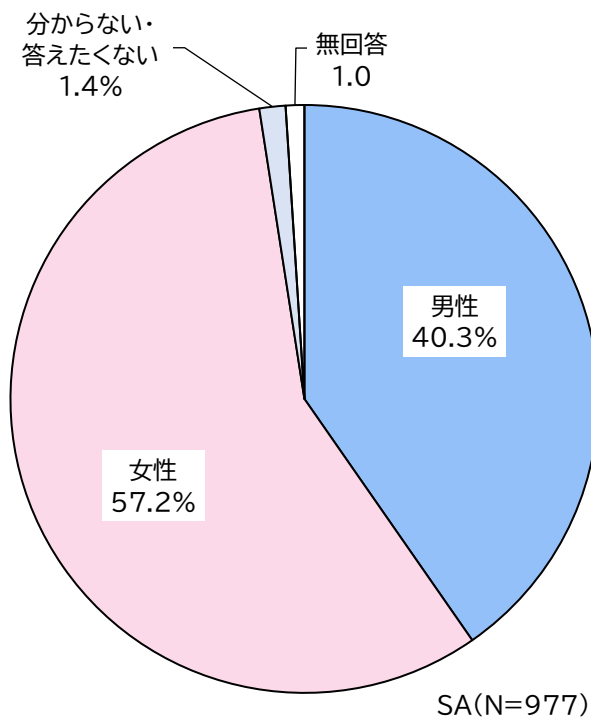
4 回収結果

回収数（率） 977票（39.1%）

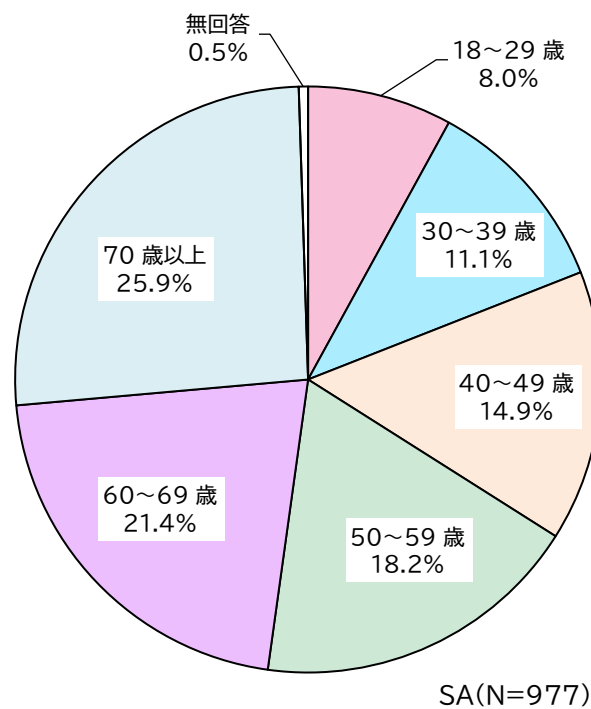
	標本数	回収数			回収率	
		全 体	郵便（割合）	インターネット（割合）		
全 体	2,500	977	651（66.6%）	326（33.4%）	39.1%	
性別	男 性	1,270	394	245（62.2%）	149（37.8%）	31.0%
	女 性	1,230	559	392（70.1%）	167（29.9%）	45.4%
	分からない・ 答えたくない	—	14	7（50.0%）	7（50.0%）	—
	無回答	—	10	7（70.0%）	3（30.0%）	—
年齢別	18～29歳	385	78	32（41.0%）	46（59.0%）	20.3%
	30～39歳	355	108	45（41.7%）	63（58.3%）	30.4%
	40～49歳	449	146	64（43.8%）	82（56.2%）	32.5%
	50～59歳	462	178	105（59.0%）	73（41.0%）	38.5%
	60～69歳	408	209	166（79.4%）	43（20.6%）	51.2%
	70歳以上	441	253	237（93.7%）	16（6.3%）	57.4%
	無回答	—	5	2（40.0%）	3（60.0%）	—
地区別	あたごブロック	380	138	83（60.1%）	55（39.9%）	36.3%
	不死鳥ブロック	395	144	92（63.9%）	52（36.1%）	36.5%
	みなみブロック	494	167	111（66.5%）	56（33.5%）	33.8%
	あずまブロック	349	104	65（62.5%）	39（37.5%）	29.8%
	九頭竜ブロック	499	161	88（54.7%）	73（45.3%）	32.3%
	光ブロック	131	55	41（74.5%）	14（25.5%）	42.0%
	川西ブロック	70	34	25（73.5%）	9（26.5%）	48.6%
	足羽ブロック	182	85	63（74.1%）	22（25.9%）	46.7%
	無回答	—	89	83（93.3%）	6（6.7%）	—

Ⅱ 調査対象者の属性

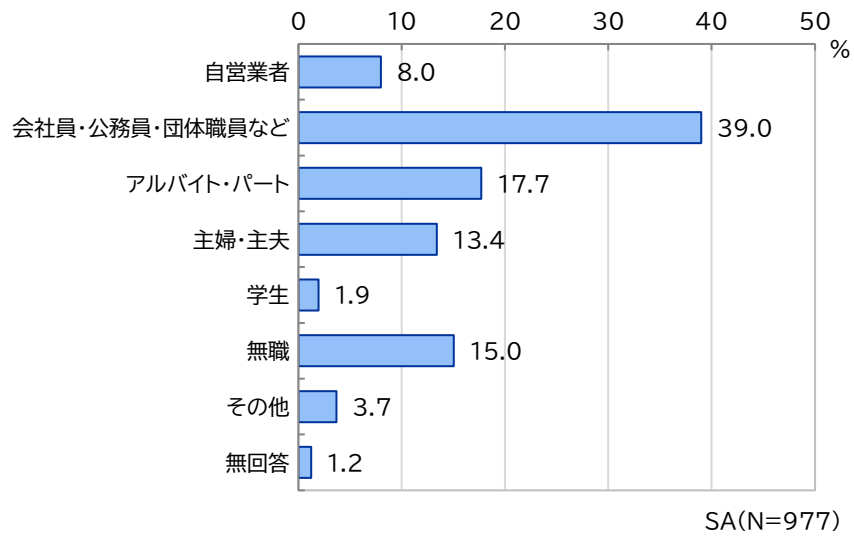
F 1 あなたの性別をお答えください。(1つ)



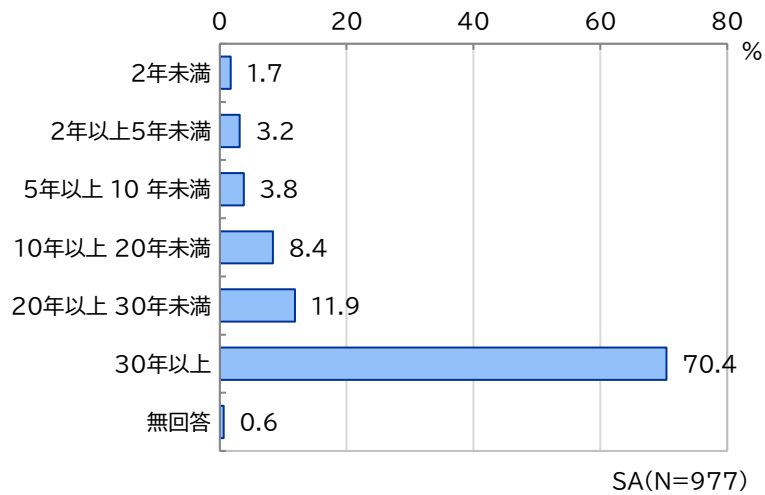
F 2 あなたの年齢をお答えください。(1つ)



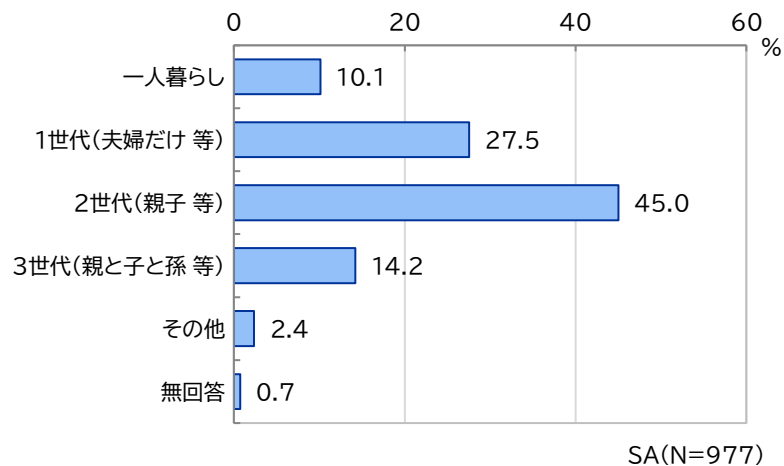
F 3 あなたのお仕事をお答えください。(1つ)



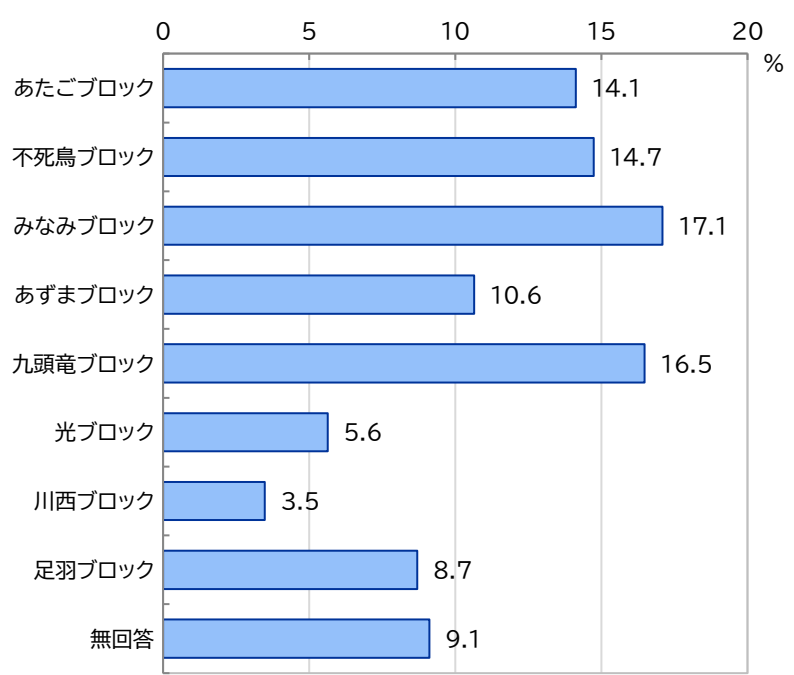
F 4 あなたは、福井市にお住まいになって何年になりますか。(1つ)



F 5 同居している家族構成はどれにあたりますか。(1つ)

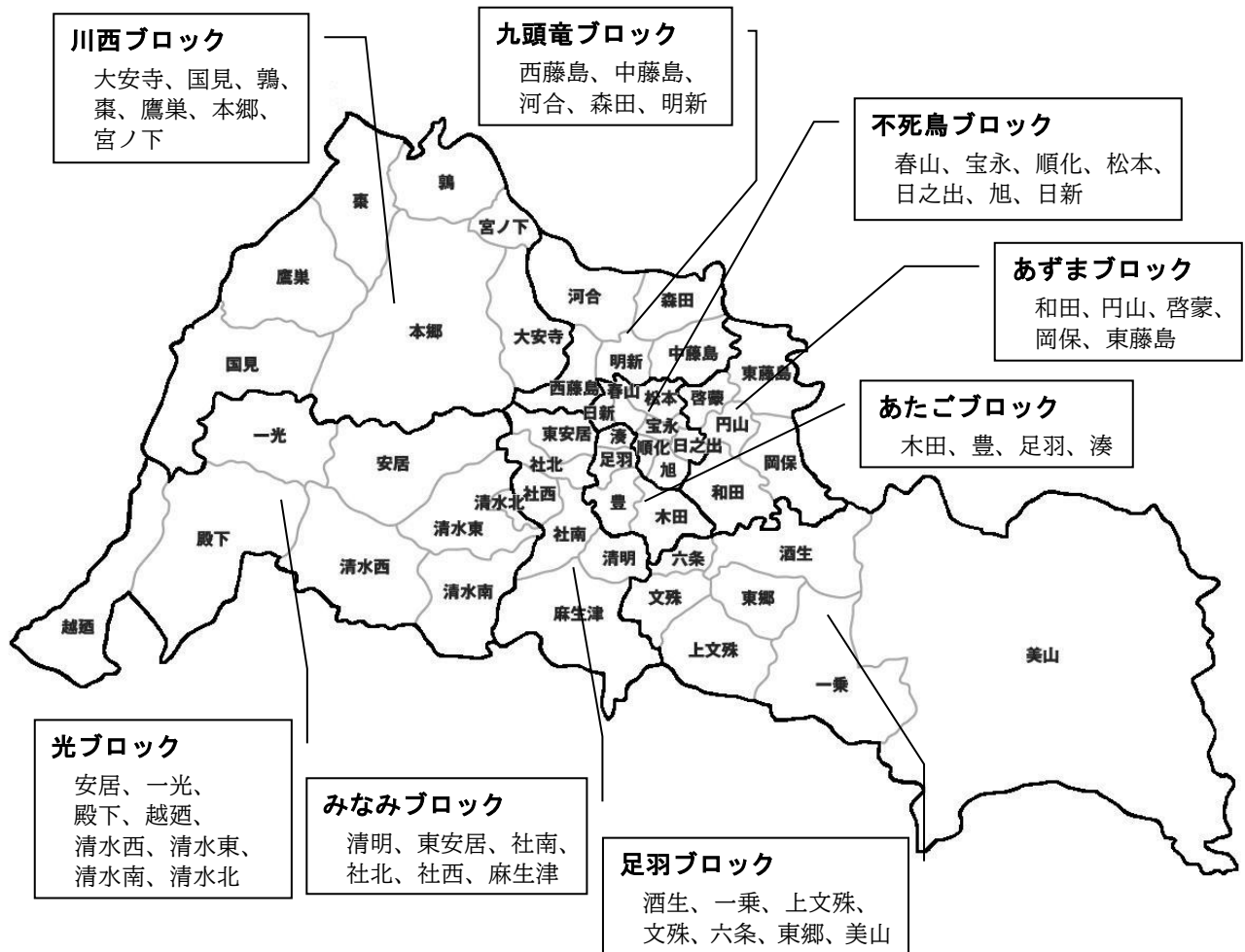


6 居住ブロック



SA(N=977)

※各ブロックに含まれる地区名は、次のとおり



Ⅲ 調査結果

本調査の性別、年齢別、地区別については、それぞれ統計的に有意差※があるものについてコメントを掲載している。

※本調査では、有意差検定にカイ2乗検定を用い、有意水準を5%としている。有意差があるものについては、その差異が偶然に発生する確率が5%以下であることを表す。

● 第八次福井市総合計画に基づく福井市の取組について

問1 第八次福井市総合計画に基づく福井市の政策ごとの主な施策・取組について、あなたの満足度をお聞きます。(1つ)

政策	No	政策ごとの主な施策・取組の内容
I 快適に暮らすまち		
1. 公共交通に関する政策	(1)	北陸新幹線建設促進、大阪までの早期全線整備に向けた要請活動
	(2)	鉄道や地方バスの運行支援、公共交通の利用啓発、シェアサイクル「ふくチャリ」の運用
	(3)	MaaSシステムの導入やキャッシュレス決済の導入などの、ICTを活用した公共交通の利便性向上
	(4)	地域の拠点づくり(越廼・美山地区における買い物・移動・交流を連携した社会実験)、地域コミュニティバスの運行支援
2. 中心市街地に関する政策	(5)	市街地再開発事業の支援、まちなかのリノベーション支援、福井城址の周辺整備
	(6)	ハピリンを拠点とした賑わい創出、まちなかの商店街との連携イベントの実施、中央公園を活用した民間イベントの支援、高架下トイレ改修
	(7)	足羽山公園遊園地(動物園)の運営、景観保全
3. 生活インフラに関する政策	(8)	道路照明LED化、道路消雪設備の整備、歩道バリアフリー化、道路・河川・橋りょう改修
	(9)	空き家の除去支援、公園整備、市民団体の公園や河川の美化活動への支援
	(10)	水道水の安定供給、上水道の基幹管路の耐震化、公共下水道施設の整備

Ⅱ 住みよいまち

4. 地域活性化に関する政策	(11)	関係人口の創出・拡大、都市部と本市の二地域間での活動・居住の促進
	(12)	UI ターン就職の促進、移住相談体制の充実
	(13)	新婚・子育て世帯や UI ターン世帯等へのリフォーム支援、空き家活用
	(14)	自治会活動の支援、地域のまちづくり活動の支援、集落機能の維持活性化
5. 共生、協働に関する政策	(15)	人権尊重意識の啓発、人権教育の充実
	(16)	女性活躍の促進、ワーク・ライフ・バランスの実現、男性の家事・育児への参画啓発
	(17)	海外姉妹友好都市との交流、行政通訳員の配置、多文化共生の啓発
	(18)	ボランティア活動支援、市民団体の協働のまちづくり活動への支援
6. 福祉に関する政策	(19)	健康教育や健康相談の実施、特定検診の実施、医療保険制度の安定運営
	(20)	子ども医療費の助成、公立子ども園や児童クラブの整備・運営、児童虐待の未然防止に向けた取組
	(21)	地域包括支援センター（ほやねっと）運営、介護保険制度の運営、高齢者の地域拠点の設置（いきいき長寿よろず茶屋）
	(22)	障がい福祉サービスの実施、心のバリアフリー普及啓発
	(23)	福祉総合相談窓口の設置、訪問相談支援の実施、生活保護制度の運営
	(24)	感染症対策、飲食店への食品衛生の監視指導、休日急患センターの運営
7. 環境に関する政策	(25)	ごみ収集運搬、ごみ焼却施設の運営、脱炭素に向けた取組
	(26)	公害の未然防止のための事業者への啓発・指導、不法投棄対策
	(27)	市民グループ等の緑化活動への支援、自然や生き物の保全・再生活動の支援
	(28)	地域や学校などでの環境学習や啓発、企業交流会などによる環境活動の活発化
8. 防災、安全安心に関する政策	(29)	マンホールトイレ整備、防災備蓄の充実、自主防災組織への支援
	(30)	消防車両や救急車両の整備、救急救命士の養成、防火意識の高揚
	(31)	防犯隊活動への支援、防犯カメラ設置補助、犯罪被害者等への支援
	(32)	消費生活相談体制の充実、消費者トラブルに関する情報発信
	(33)	交通安全教室の開催、運転免許の自主返納啓発

Ⅲ 活き活きと働くまち

9. 農林水産業に関する政策	(34)	園芸機械の整備支援、農業の担い手確保、水田園芸・果樹栽培の普及拡大
	(35)	福井市産品のブランド力向上、ECサイトを活用した情報発信
	(36)	森林の整備や木材利用による普及啓発、栽培漁業や養殖の支援
	(37)	農地の維持への支援、有害鳥獣の捕獲支援、越前水仙のブランド維持
10. 商工業に関する政策	(38)	繊維産業の製品開発支援、中小企業のデジタル化支援、成長産業の誘致
	(39)	創業支援、事業継承の促進
	(40)	UIターン就職支援、学生に対する市内企業の魅力発信
	(41)	高齢者の就労支援や社会参加の促進、障がい者の就労支援
11. 観光に関する政策	(42)	一乗谷朝倉氏遺跡や越前海岸での体験プログラムの充実、桜まつりの開催
	(43)	「福いいネ！」を活用した魅力発信、首都圏等での集中的な広報
	(44)	おもてなし市民運動、観光ガイドの育成、福井駅東口への観光案内所の設置

Ⅳ 学び成長するまち

12. 文化、歴史、自然に関する政策	(45)	文化芸術団体への支援、美術館の運営
	(46)	養浩館庭園や郷土歴史博物館の運営、大安寺の修理保存への支援、水仙畑の景観保全
	(47)	自然史博物館やセーレンプラネットの運営
13. 学校教育に関する政策	(48)	英語活動やプログラミング教育の充実、不登校などへの支援体制の充実
	(49)	健康診断の実施、学校給食の提供、児童生徒の体力向上
	(50)	通学路の点検や危険箇所の改善、インターネットの適正利用の啓発
	(51)	特別教室への空調設備の整備、ICT環境の整備、学校規模の適正化
14. 生涯学習、生涯スポーツに関する政策	(52)	公民館の整備や管理運営支援、図書館の運営、市立図書館のリニューアル
	(53)	スポーツ施設の整備や管理運営、スポーツイベントの開催

政策の平均満足度・不満度

(1) 政策の平均満足度

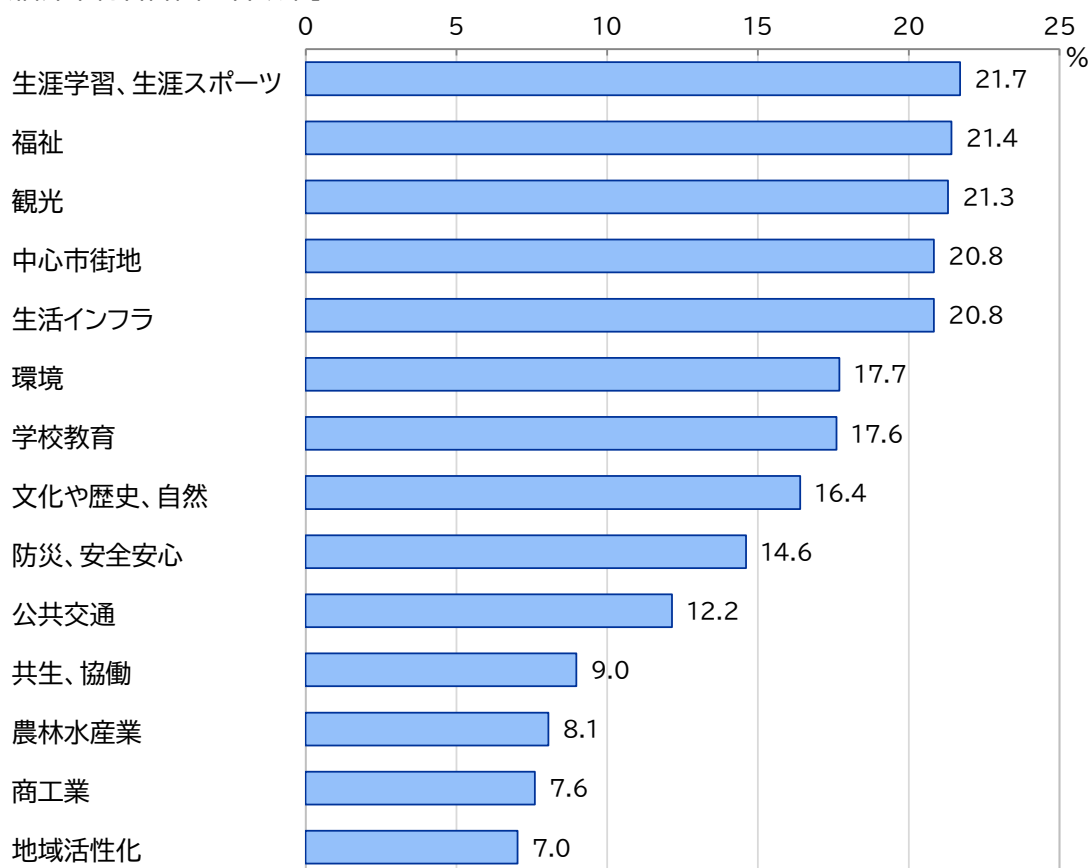
本調査では、「満足」「ほぼ満足」「ふつう」「やや不満」「不満」「わからない」の回答のうち、「満足」と「ほぼ満足」の合計を「満足度」とし、53の施策・取組の満足度の調査を行った。

ここでは、第八次福井市総合計画に掲げられている14の政策ごとに施策・取組の満足度を平均し、満足度の高い順に並べ替えたものを次のグラフに示す。

満足度が高い政策は、高い順に「生涯学習、生涯スポーツ」(21.7%)、「福祉」(21.4%)、「観光」(21.3%)となっている。

政策の満足度

【第八次福井市総合計画の各政策】



SA(N=977)

属性別の満足度上位5位までは、次の表のとおり。

※表中「総平均」は、53の施策・取組の満足度の平均値

※表中「生涯学習スポーツ」は、「生涯学習、生涯スポーツ」を指す。

※表中数値の単位は%

《全体・性別》 政策の平均満足度

順位	全体		男性		女性	
1	生涯学習スポーツ	21.7	生活インフラ	22.4	観光	22.6
2	福祉	21.4	福祉	21.7	中心市街地	22.4
3	観光	21.3	生涯学習スポーツ	21.6	生涯学習スポーツ	22.0
4	中心市街地	20.8	観光	20.1	福祉	21.8
5	生活インフラ	20.8	中心市街地	19.6	生活インフラ	20.2
	総平均	15.1	総平均	15.7	総平均	15.0

《年齢別》 政策の平均満足度

順位	18～29歳		30～39歳		40～49歳		50～59歳	
1	生涯学習スポーツ	30.8	生涯学習スポーツ	30.6	生涯学習スポーツ	21.3	観光	23.4
2	観光	30.4	中心市街地	26.2	中心市街地	21.0	生涯学習スポーツ	22.8
3	生活インフラ	28.6	観光	24.1	福祉	20.4	中心市街地	22.3
4	環境	28.6	生活インフラ	23.2	生活インフラ	19.9	福祉	21.1
5	学校教育	25.7	福祉	19.8	学校教育	18.9	学校教育	19.7
	総平均	21.5	総平均	17.3	総平均	13.3	総平均	15.9

順位	60～69歳		70歳以上	
1	福祉	21.2	福祉	22.3
2	観光	20.4	生活インフラ	20.7
3	生活インフラ	19.3	中心市街地	19.3
4	中心市街地	18.0	観光	19.1
5	文化や歴史、自然	16.9	生涯学習スポーツ	19.0
	総平均	13.7	総平均	14.1

《職業別》 政策の平均満足度

順位	自営業者		会社員・公務員・団体職員など		アルバイト・パート		主婦・主夫	
1	生活インフラ	30.7	生涯学習スポーツ	23.7	中心市街地	25.6	観光	20.9
2	中心市街地	25.2	観光	21.4	福祉	23.7	福祉	19.9
3	福祉	24.6	中心市街地	21.3	観光	22.9	生活インフラ	17.8
4	防災、安全安心	22.5	生活インフラ	20.9	生涯学習スポーツ	22.0	生涯学習スポーツ	15.7
5	環境	22.4	福祉	20.6	生活インフラ	22.0	環境	15.1
	総平均	18.8	総平均	15.3	総平均	17.0	総平均	11.7

順位	学生		無職	
1	生活インフラ	36.9	生涯学習スポーツ	25.2
2	生涯学習スポーツ	36.9	観光	21.3
3	学校教育	35.6	福祉	20.6
4	観光	31.6	中心市街地	19.7
5	環境	30.3	生活インフラ	16.6
	総平均	25.2	総平均	13.1

《居住期間別》 政策の平均満足度

順位	2年未満		2年以上 5年未満		5年以上 10年未満		10年以上 20年未満	
1	中心市街地	25.5	文化や歴史、自然	17.3	生涯学習スポーツ	39.2	生活インフラ	26.9
2	文化や歴史、自然	25.5	観光	17.2	生活インフラ	25.2	中心市街地	26.0
3	生活インフラ	23.6	中心市街地	16.1	環境	25.0	福祉	25.4
4	生涯学習スポーツ	23.6	生涯学習スポーツ	16.1	福祉	23.9	生涯学習スポーツ	25.0
5	公共交通	23.5	学校教育	14.5	中心市街地	21.6	学校教育	22.6
	総平均	15.6	総平均	10.3	総平均	17.8	総平均	17.9

順位	20年以上 30年未満		30年以上	
1	生涯学習スポーツ	27.1	観光	21.0
2	福祉	25.9	福祉	20.9
3	観光	25.0	生活インフラ	20.0
4	中心市街地	23.6	中心市街地	20.0
5	環境	23.3	生涯学習スポーツ	19.8
	総平均	18.9	総平均	14.3

《家族構成別》 政策の平均満足度

順位	一人暮らし		1世代		2世代		3世代	
1	生活インフラ	20.2	福祉	21.8	生涯学習スポーツ	23.0	福祉	26.2
2	生涯学習スポーツ	19.7	生涯学習スポーツ	20.6	観光	22.4	観光	24.7
3	観光	18.5	生活インフラ	20.2	中心市街地	22.1	生活インフラ	24.5
4	環境	18.4	観光	19.8	福祉	21.2	中心市街地	23.7
5	福祉	17.2	中心市街地	19.6	生活インフラ	20.4	生涯学習スポーツ	21.6
	総平均	14.1	総平均	14.0	総平均	16.0	総平均	16.4

《地区別》 政策の平均満足度

順位	あたごブロック		不死鳥ブロック		みなみブロック		あずまブロック	
1	生涯学習スポーツ	28.3	生活インフラ	22.7	生涯学習スポーツ	25.2	生涯学習スポーツ	23.1
2	観光	25.6	中心市街地	21.1	福祉	23.4	福祉	22.9
3	福祉	25.0	福祉	19.0	観光	23.2	観光	21.8
4	生活インフラ	24.8	文化や歴史、自然	17.2	生活インフラ	22.8	中心市街地	21.5
5	中心市街地	24.4	観光	16.7	中心市街地	22.6	生活インフラ	19.8
	総平均	18.7	総平均	13.0	総平均	16.2	総平均	15.8

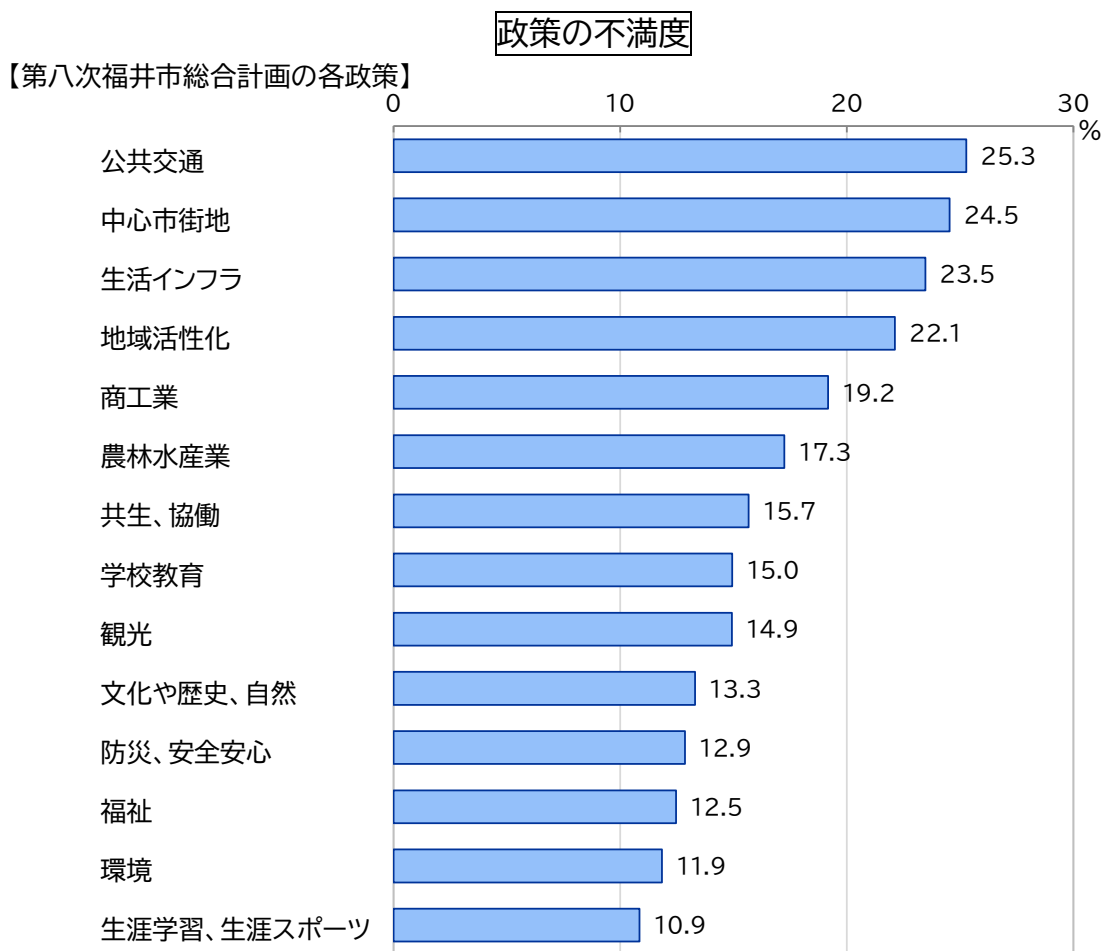
順位	九頭竜ブロック		光ブロック		川西ブロック		足羽ブロック	
1	学校教育	21.9	生涯学習スポーツ	20.0	福祉	22.5	観光	30.2
2	生涯学習スポーツ	21.7	福祉	19.7	環境	21.3	福祉	25.7
3	生活インフラ	21.1	観光	15.7	生涯学習スポーツ	20.6	中心市街地	23.2
4	観光	21.1	生活インフラ	15.1	中心市街地	19.6	生活インフラ	23.1
5	中心市街地	20.1	文化や歴史、自然	14.6	観光	17.6	生涯学習スポーツ	22.4
	総平均	15.5	総平均	11.2	総平均	14.1	総平均	17.3

(2) 政策の平均不満度

「満足」「ほぼ満足」「ふつう」「やや不満」「不満」「わからない」の回答のうち、「やや不満」と「不満」の合計を「不満度」とし、53の施策・取組の不満度の調査を行った。

ここでは、第八次福井市総合計画に掲げられている14の政策ごとに施策・取組の不満度を平均し、不満度の高い順に並べ替えたものを次のグラフに示す。

不満度が高い政策は、高い順に「公共交通」(25.3%)、「中心市街地」(24.5%)、「生活インフラ」(23.5%)となっている。



SA(N=977)

属性別の不満度上位5位までは、次の表のとおり。

《全体・性別》 政策の平均不満度

順位	全体		男性		女性	
1	公共交通	25.3	地域活性化	27.9	公共交通	24.6
2	中心市街地	24.5	中心市街地	26.5	中心市街地	23.0
3	生活インフラ	23.5	公共交通	26.2	生活インフラ	22.1
4	地域活性化	22.1	生活インフラ	25.0	地域活性化	17.9
5	商工業	19.2	商工業	21.3	商工業	17.6
	総平均	16.9	総平均	18.3	総平均	15.7

《年齢別》 政策の平均不満度

順位	18～29 歳		30～39 歳		40～49 歳		50～59 歳	
1	中心市街地	24.8	地域活性化	22.7	中心市街地	25.8	公共交通	29.0
2	地域活性化	20.5	生活インフラ	21.3	生活インフラ	23.1	中心市街地	25.7
3	公共交通	18.6	中心市街地	20.1	公共交通	22.1	生活インフラ	24.9
4	生活インフラ	17.5	公共交通	18.8	学校教育	19.9	商工業	22.5
5	学校教育	16.0	学校教育	18.5	地域活性化	19.5	地域活性化	21.6
	総平均	14.9	総平均	15.5	総平均	16.7	総平均	17.4

順位	60～69 歳		70 歳以上	
1	公共交通	29.5	公共交通	25.9
2	中心市街地	29.3	地域活性化	25.5
3	生活インフラ	25.7	生活インフラ	24.1
4	地域活性化	21.1	中心市街地	21.2
5	商工業	19.0	農林水産業	19.8
	総平均	17.5	総平均	17.6

《職業別》 政策の平均不満度

順位	自営業者		会社員・公務員・団体職員など		アルバイト・パート		主婦・主夫	
1	公共交通	28.9	中心市街地	25.8	中心市街地	23.1	公共交通	28.4
2	中心市街地	26.5	公共交通	25.7	公共交通	21.2	生活インフラ	25.7
3	共生、協働	24.7	生活インフラ	25.4	生活インフラ	18.7	中心市街地	25.7
4	観光	21.8	地域活性化	25.1	地域活性化	18.6	商工業	18.4
5	農林水産業	21.8	商工業	21.1	農林水産業	16.8	地域活性化	17.4
	総平均	18.5	総平均	17.5	総平均	15.2	総平均	16.8

順位	学生		無職	
1	公共交通	27.7	地域活性化	26.4
2	学校教育	19.8	生活インフラ	25.9
3	観光	19.3	公共交通	24.7
4	生涯学習スポーツ	18.5	中心市街地	23.1
5	中心市街地	15.8	商工業	20.4
	総平均	15.1	総平均	17.6

《居住期間別》 政策の平均不満度

順位	2年未満		2年以上 5年未満		5年以上 10年未満		10年以上 20年未満	
1	生活インフラ	19.6	中心市街地	34.5	地域活性化	25.7	公共交通	22.9
2	学校教育	14.7	生活インフラ	29.0	中心市街地	25.2	中心市街地	21.2
3	公共交通	13.3	地域活性化	28.2	公共交通	23.0	生活インフラ	20.3
4	共生、協働	13.3	商工業	23.4	共生、協働	19.6	商工業	20.1
5	地域活性化	10.3	観光	22.6	農林水産業	18.9	地域活性化	18.9
	総平均	8.6	総平均	21.0	総平均	17.4	総平均	15.0

順位	20年以上 30年未満		30年以上	
1	中心市街地	26.7	公共交通	26.4
2	公共交通	24.8	中心市街地	24.6
3	生活インフラ	22.4	生活インフラ	24.4
4	商工業	20.4	地域活性化	23.0
5	地域活性化	19.4	商工業	19.3
	総平均	16.2	総平均	17.3

《家族構成別》 政策の平均不満度

順位	一人暮らし		1世代		2世代		3世代	
1	公共交通	27.0	中心市街地	26.3	生活インフラ	25.6	公共交通	22.3
2	中心市街地	26.3	公共交通	26.0	公共交通	25.6	中心市街地	21.3
3	地域活性化	21.2	生活インフラ	23.9	中心市街地	24.7	地域活性化	20.7
4	生活インフラ	20.9	地域活性化	23.3	地域活性化	22.8	生活インフラ	20.6
5	農林水産業	18.0	商工業	19.4	商工業	20.3	商工業	18.4
	総平均	16.9	総平均	17.0	総平均	17.8	総平均	15.0

《地区別》 政策の平均不満度

順位	あたごブロック		不死鳥ブロック		みなみブロック		あずまブロック	
1	公共交通	25.9	中心市街地	30.6	中心市街地	25.0	中心市街地	23.0
2	中心市街地	25.8	公共交通	29.2	公共交通	24.2	生活インフラ	22.1
3	地域活性化	21.5	生活インフラ	27.8	生活インフラ	23.8	公共交通	21.4
4	生活インフラ	20.5	地域活性化	25.7	商工業	21.0	地域活性化	19.5
5	商工業	20.3	商工業	22.4	地域活性化	20.1	商工業	17.6
	総平均	17.5	総平均	20.1	総平均	17.1	総平均	14.5

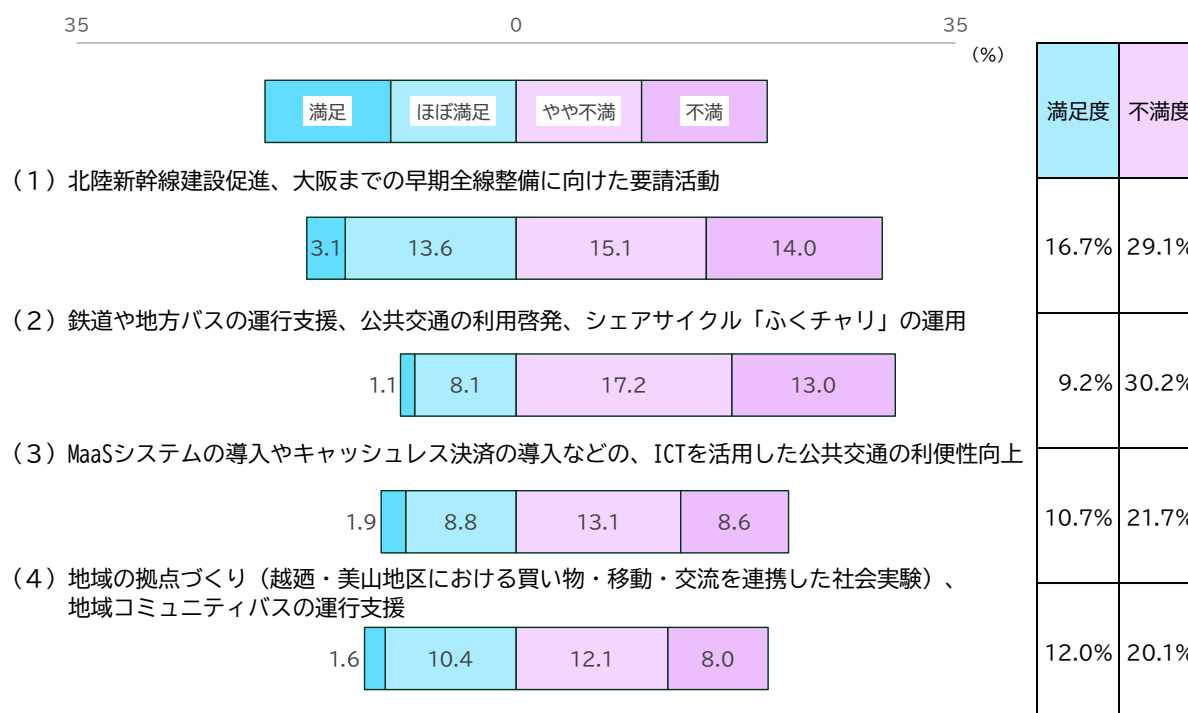
順位	九頭竜ブロック		光ブロック		川西ブロック		足羽ブロック	
1	中心市街地	26.5	生活インフラ	26.7	生活インフラ	27.4	地域活性化	26.8
2	公共交通	26.4	公共交通	25.9	地域活性化	24.2	公共交通	26.5
3	生活インフラ	24.9	農林水産業	25.1	観光	16.7	農林水産業	23.0
4	地域活性化	21.0	中心市街地	24.9	農林水産業	16.2	生活インフラ	21.6
5	学校教育	16.6	地域活性化	23.2	中心市街地	15.7	中心市街地	18.8
	総平均	16.9	総平均	16.4	総平均	13.8	総平均	16.6

I 快適に暮らすまち

1. 公共交通に関する政策

満足度（「満足」と「ほぼ満足」の合計）は、高い順に「（1）北陸新幹線建設促進、大阪までの早期全線整備に向けた要請活動」（16.7%）、「（4）地域の拠点づくり（越廼・美山地区における買い物・移動・交流を連携した社会実験）、地域コミュニティバスの運行支援」（12.0%）、「（3）MaaSシステムの導入やキャッシュレス決済の導入などの、ICTを活用した公共交通の利便性向上」（10.7%）、「（2）鉄道や地方バスの運行支援、公共交通の利用啓発、シェアサイクル「ふくチャリ」の運用」（9.2%）となっている。

また、不満度（「不満」と「やや不満」の合計）は、高い順に「（2）鉄道や地方バスの運行支援、公共交通の利用啓発、シェアサイクル「ふくチャリ」の運用」（30.2%）、「（1）北陸新幹線建設促進、大阪までの早期全線整備に向けた要請活動」（29.1%）、「（3）MaaSシステムの導入やキャッシュレス決済の導入などの、ICTを活用した公共交通の利便性向上」（21.7%）、「（4）地域の拠点づくり（越廼・美山地区における買い物・移動・交流を連携した社会実験）、地域コミュニティバスの運行支援」（20.1%）となっている。



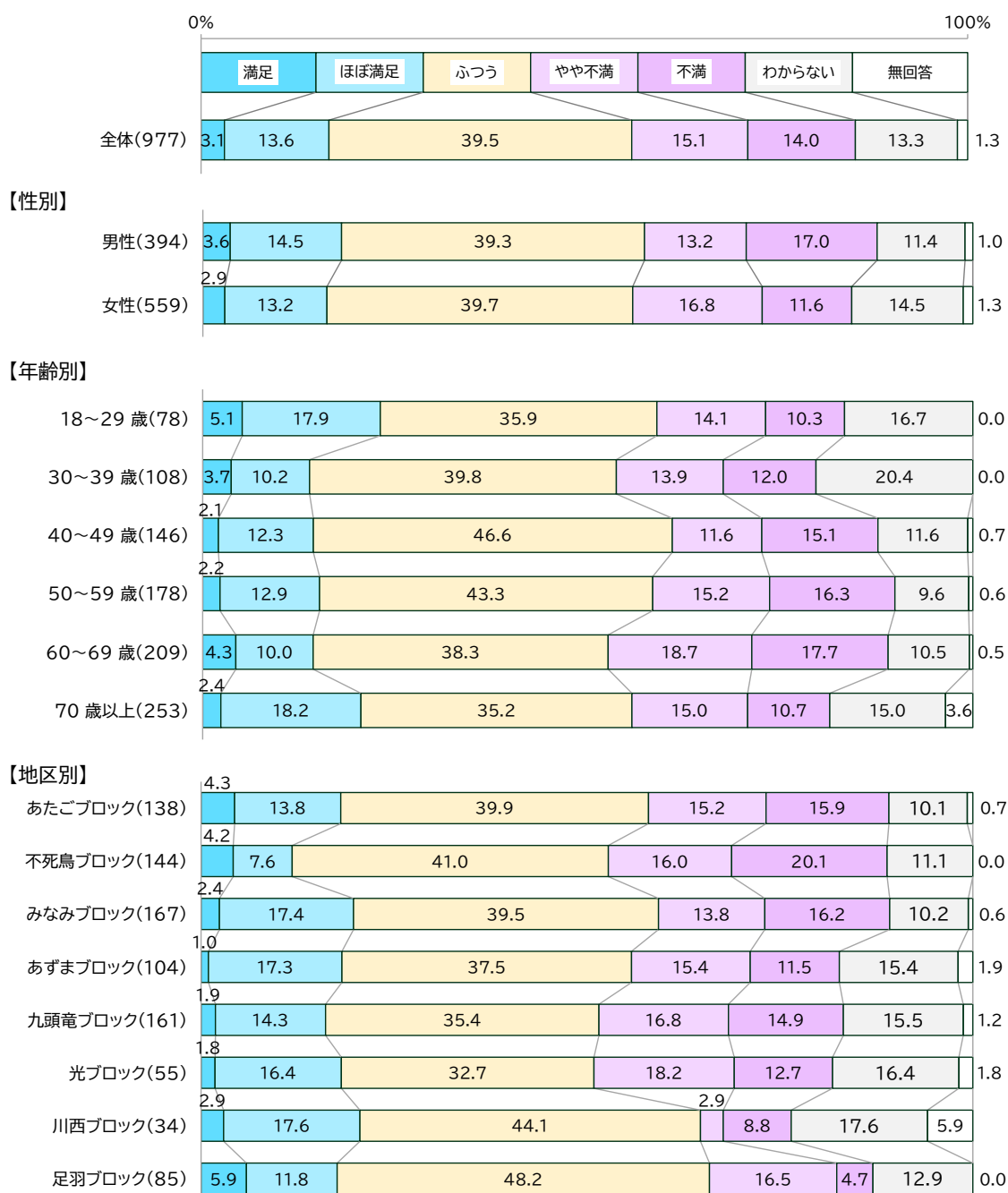
SA(N=977)

1. 公共交通に関する政策

(1) 北陸新幹線建設促進、大阪までの早期全線整備に向けた要請活動

「60～69 歳」の不満度が高い

満足度は 16.7%、不満度は 29.1%と、不満度が満足度より 12.4 ポイント高くなっている。
 年齢別に見ると、不満度は、60～69 歳（36.4%）が最も高い。地区別では、不満度は、川西ブロック（11.7%）が最も低くなっている。

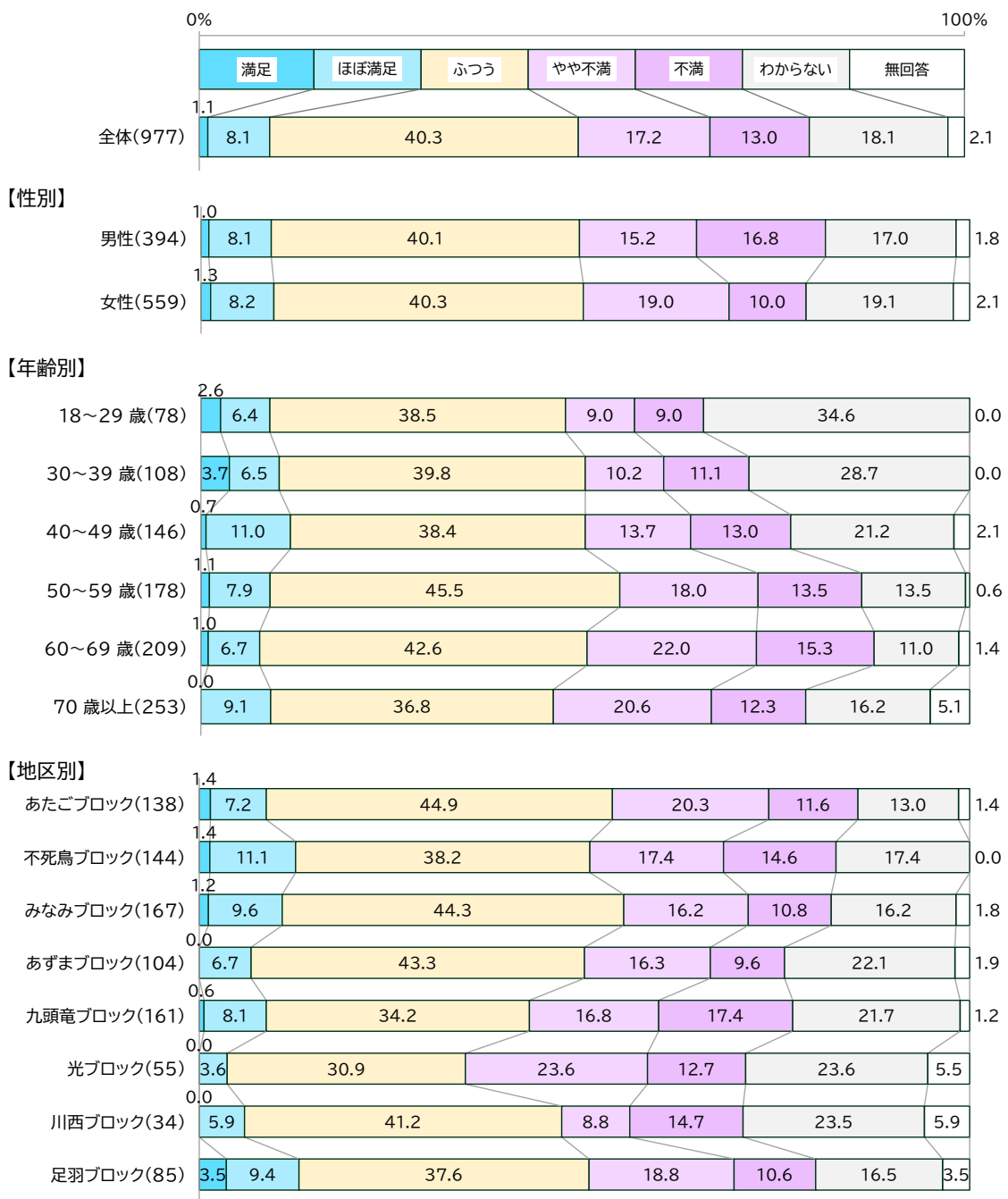


1. 公共交通に関する政策

(2) 鉄道や地方バスの運行支援、公共交通の利用啓発、シェアサイクル「ふくチャリ」の運用

「60～69 歳」の不満足度が高い

満足度は 9.2%、不満足度は 30.2%と、不満足度が満足度より 21.0 ポイント高くなっている。
 年齢別に見ると、不満足度は、60～69 歳（37.3%）が最も高く、18～29 歳（18.0%）、30～39 歳（21.3%）が低い。

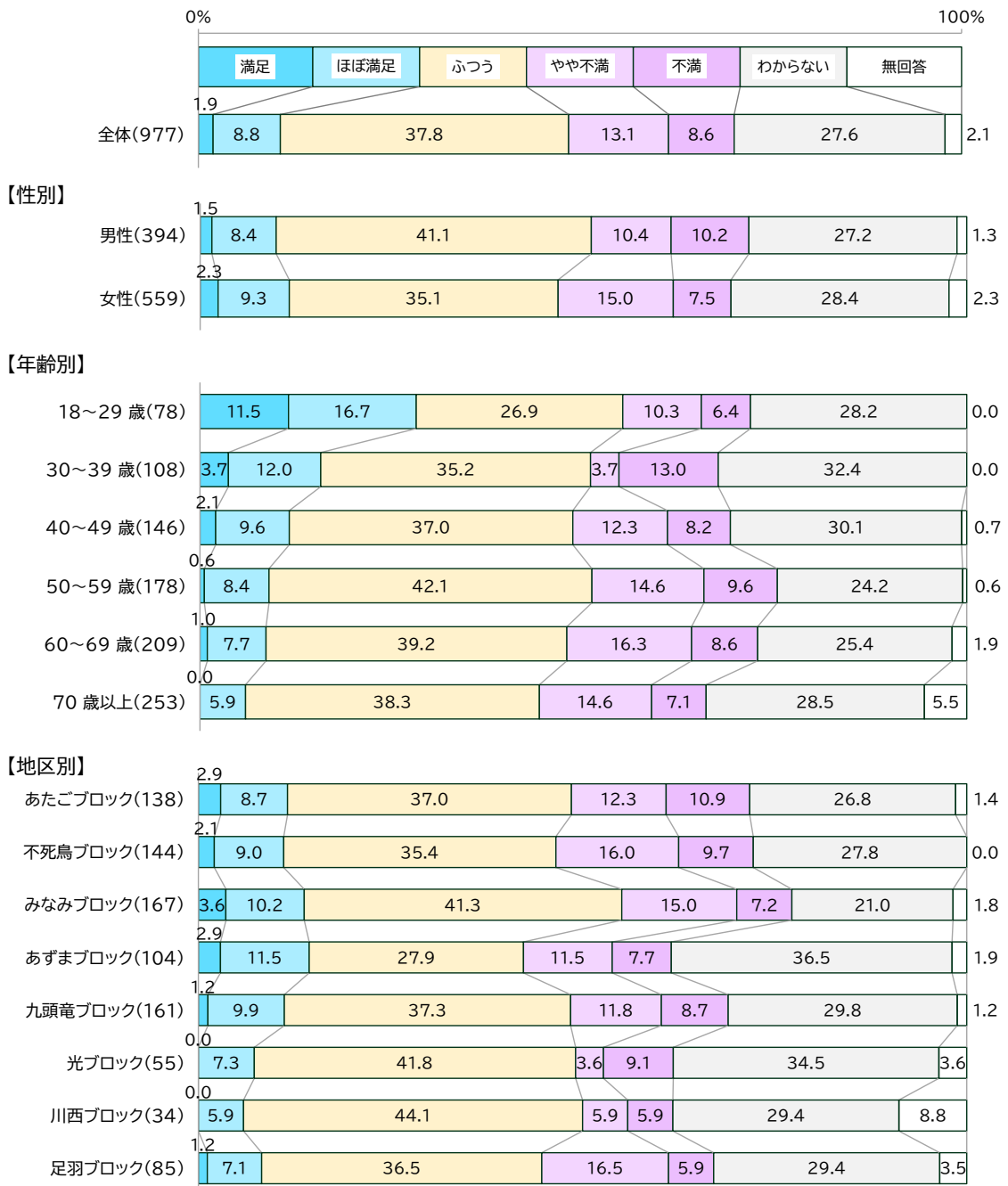


1. 公共交通に関する政策

(3) MaaSシステムの導入やキャッシュレス決済の導入などの、ICTを活用した公共交通の利便性向上

若い世代ほど満足度が高い

満足度は10.7%、不満度は21.7%と、不満度が満足度より11.0ポイント高くなっている。年齢別に見ると、満足度は、若い世代ほどその割合が高くなる傾向がみられる。

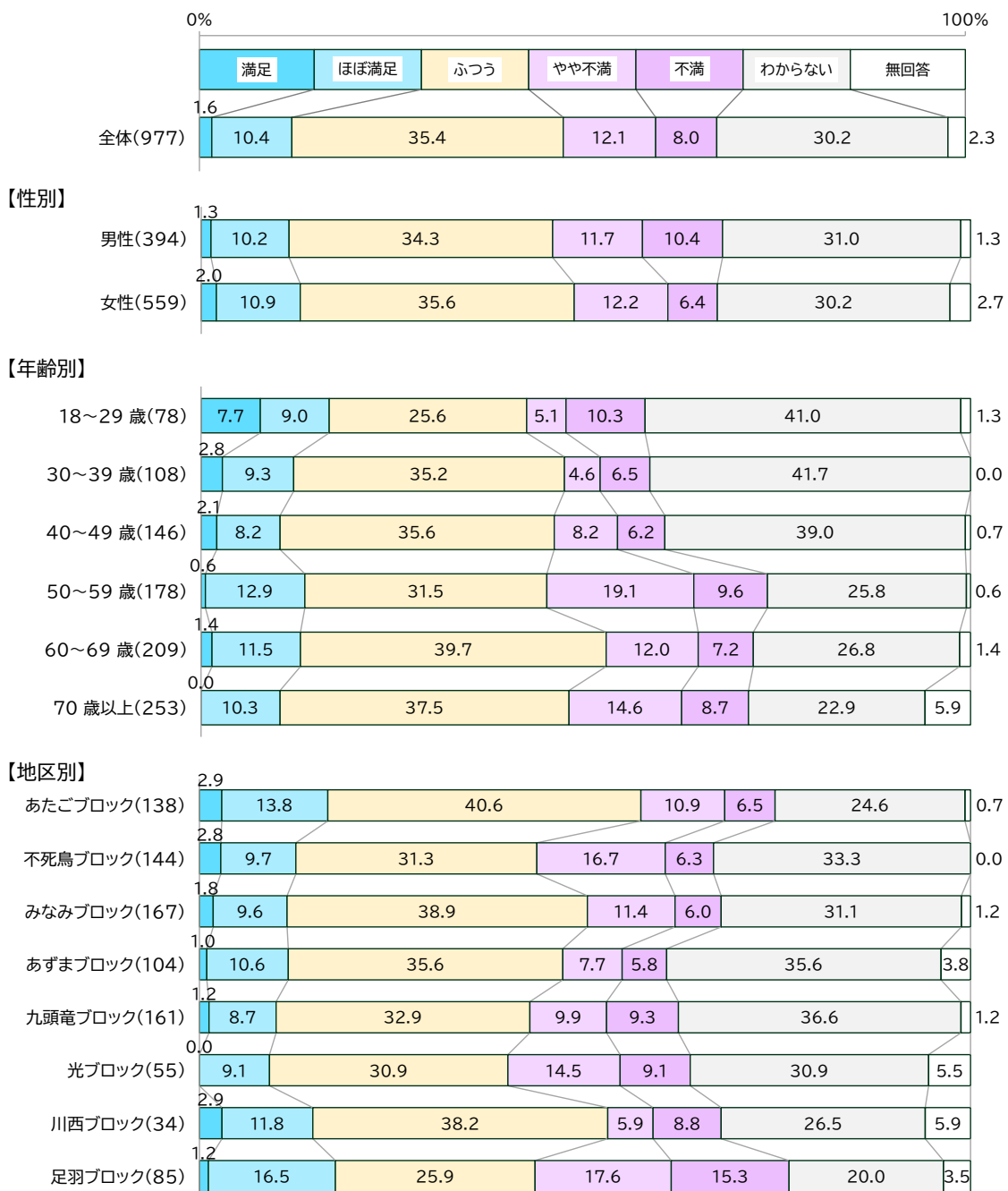


1. 公共交通に関する政策

(4) 地域の拠点づくり（越迺・美山地区における買い物・移動・交流を連携した社会実験）、地域コミュニティバスの運行支援

「50～59 歳」「足羽ブロック」の不満度が高い

満足度は 12.0%、不満度は 20.1%と、不満度が満足度より 8.1 ポイント高くなっている。
 年齢別に見ると、不満度は、50～59 歳（28.7%）が最も高く、30～39 歳（11.1%）が最も低い。地区別では、不満度は、足羽ブロック（32.9%）が最も高くなっている。

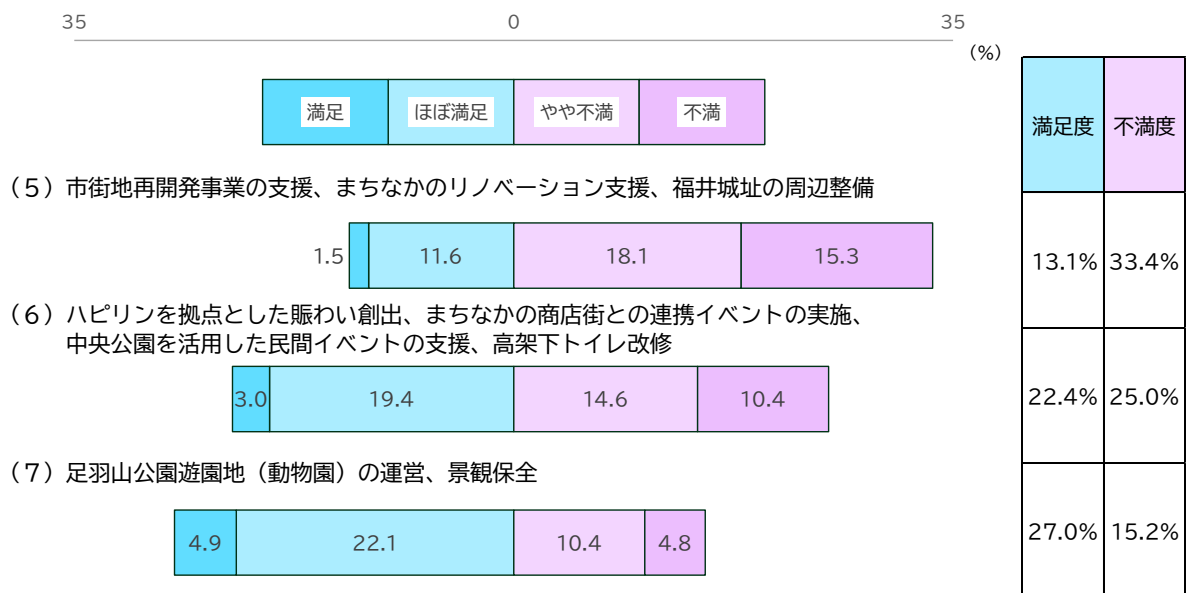


I 快適に暮らすまち

2. 中心市街地に関する政策

満足度は、高い順に「(7) 足羽山公園遊園地(動物園)の運営、景観保全」(27.0%)、「(6) ハピリンを拠点とした賑わい創出、まちなかの商店街との連携イベントの実施、中央公園を活用した民間イベントの支援、高架下トイレ改修」(22.4%)、「(5) 市街地再開発事業の支援、まちなかのリノベーション支援、福井城址の周辺整備」(13.1%)となっている。

また、不満度は、高い順に「(5) 市街地再開発事業の支援、まちなかのリノベーション支援、福井城址の周辺整備」(33.4%)、「(6) ハピリンを拠点とした賑わい創出、まちなかの商店街との連携イベントの実施、中央公園を活用した民間イベントの支援、高架下トイレ改修」(25.0%)、「(7) 足羽山公園遊園地(動物園)の運営、景観保全」(15.2%)となっている。



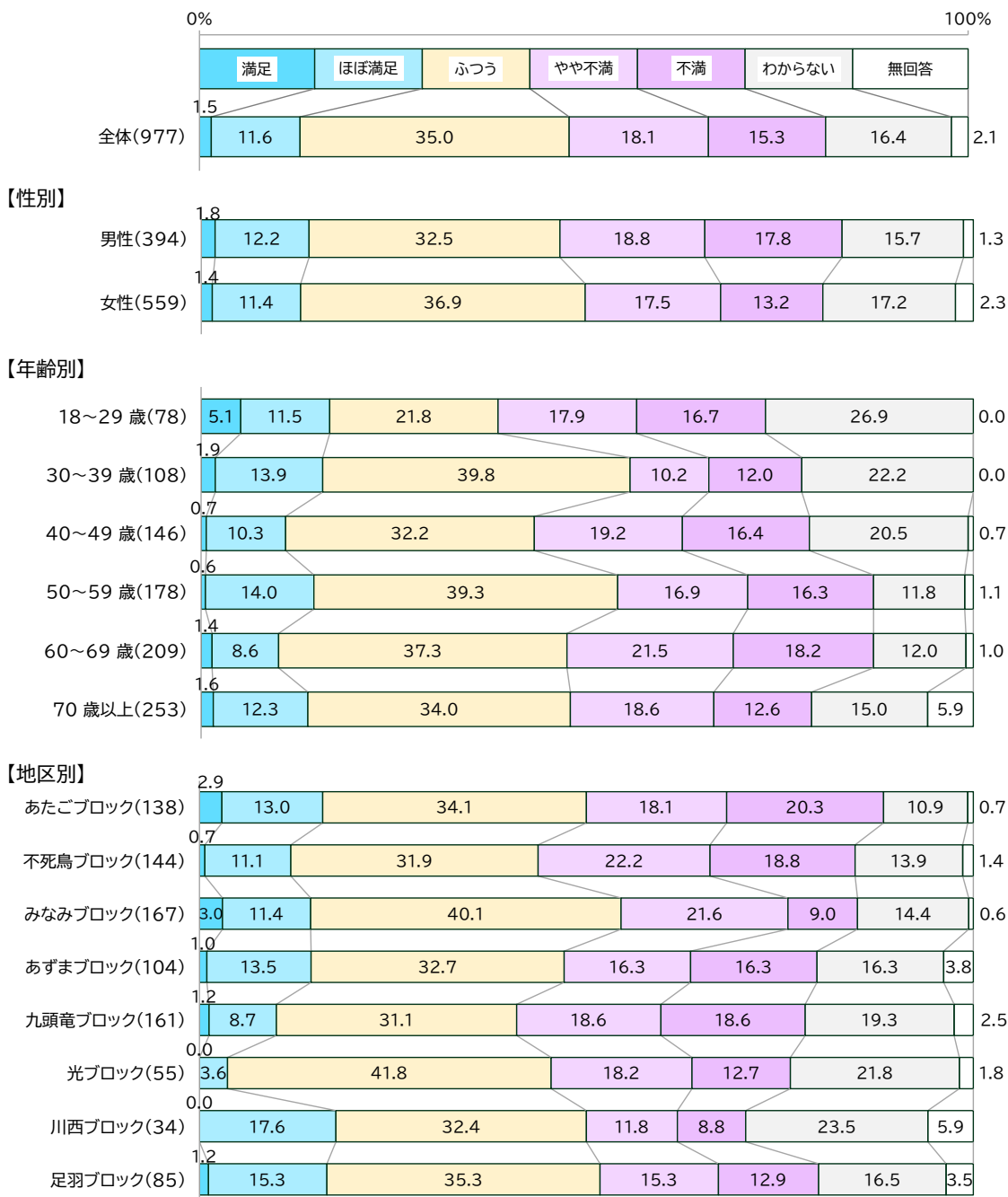
SA(N=977)

2. 中心市街地に関する政策

(5) 市街地再開発事業の支援、まちなかのリノベーション支援、福井城址の周辺整備

「60～69歳」の不満足度が高い

満足度は13.1%、不満足度は33.4%と、不満足度が満足度より20.3ポイント高くなっている。年齢別に見ると、不満足度は、60～69歳(39.7%)が最も高く、30～39歳(22.2%)が最も低い。地区別では、満足度は、光ブロック(3.6%)が最も低くなっている。



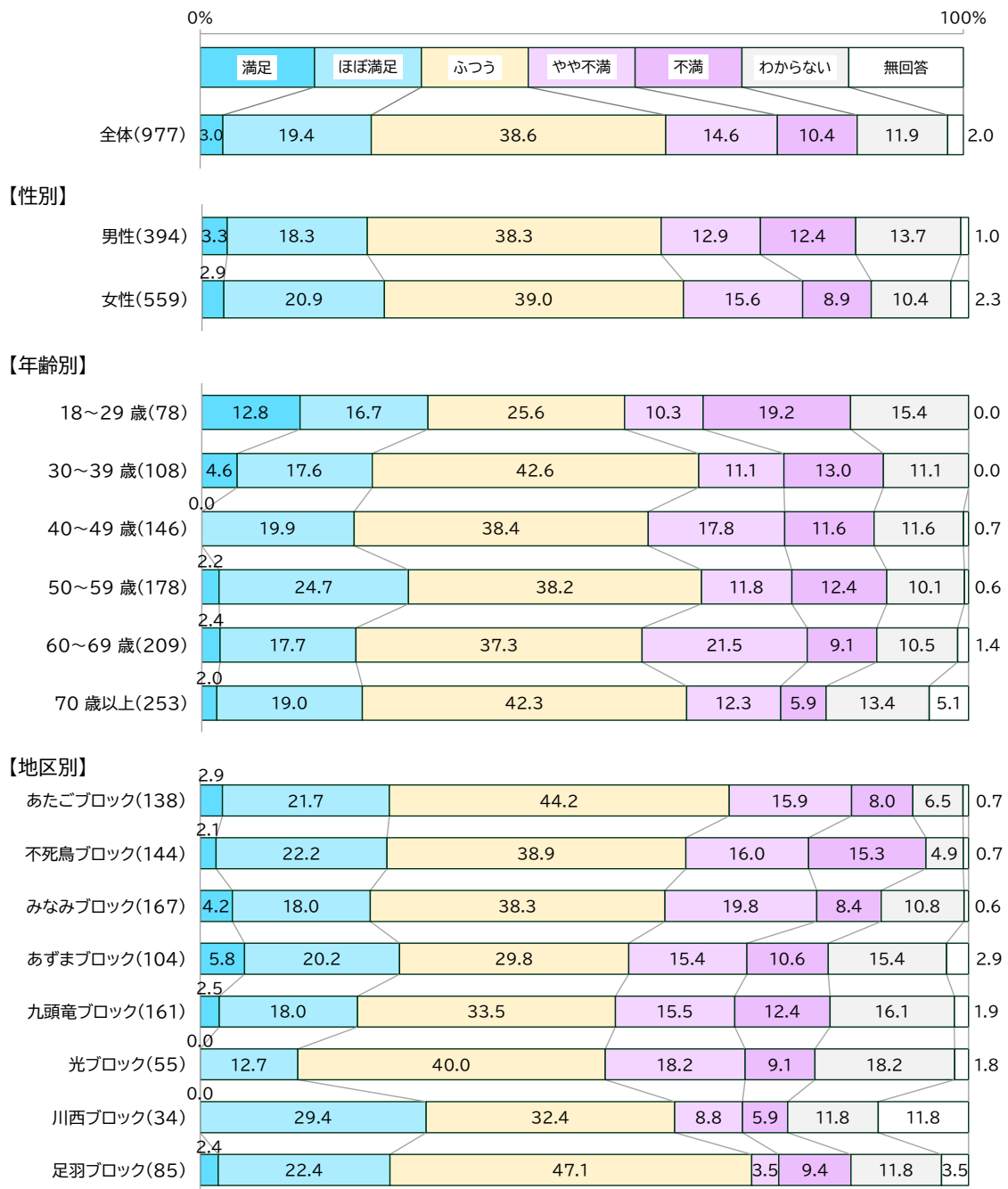
2. 中心市街地に関する政策

(6) ハピリンを拠点とした賑わい創出、まちなかの商店街との連携イベントの実施、中央公園を活用した民間イベントの支援、高架下トイレ改修

「60～69歳」の不満足度が高い

満足度は22.4%、不満足度は25.0%と、不満足度が満足度より2.6ポイント高くなっている。

年齢別に見ると、不満足度は、60～69歳(30.6%)が最も高く、70歳以上(18.2%)が最も低い。地区別では、不満足度は、足羽ブロック(12.9%)が最も低くなっている。

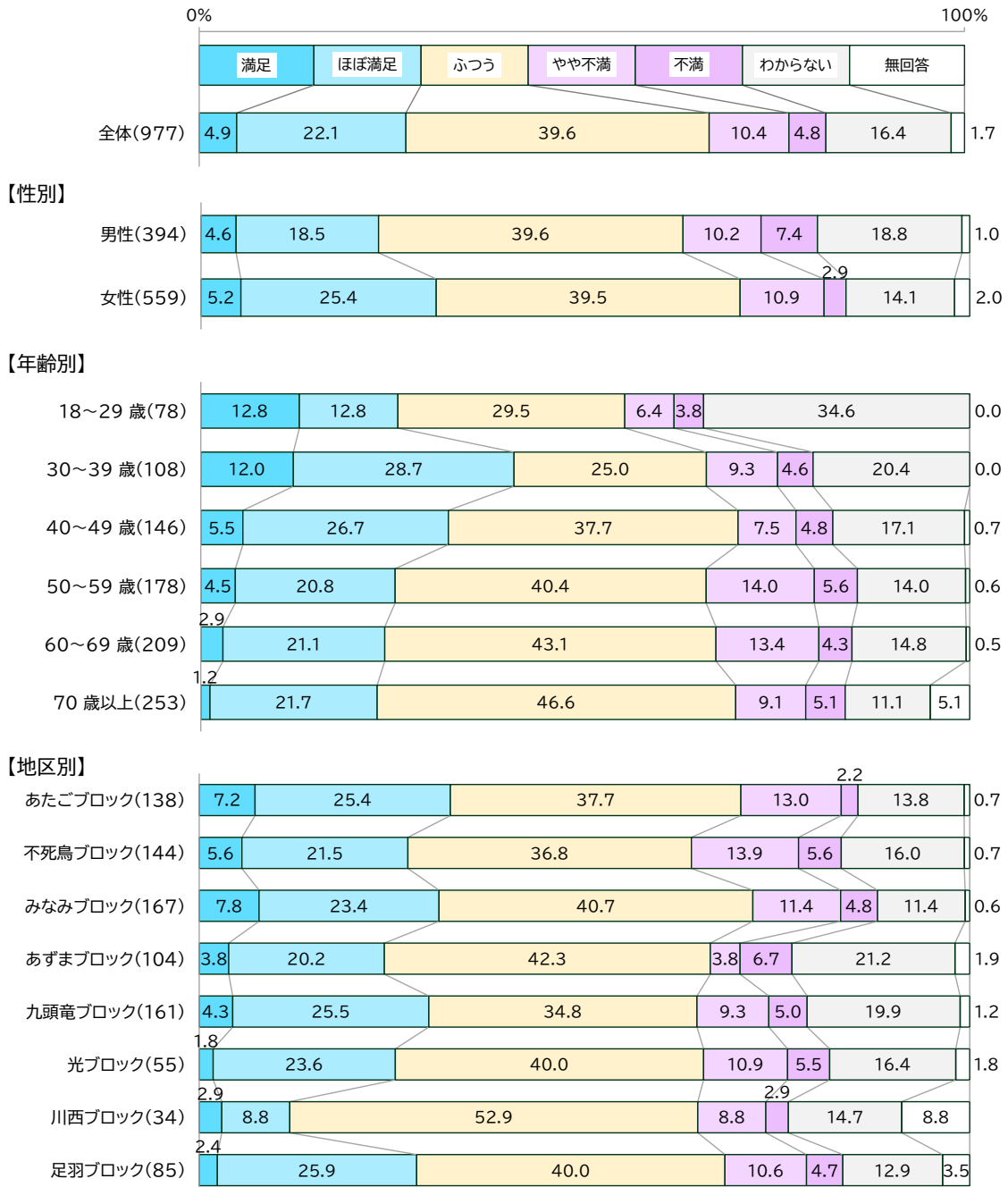


2. 中心市街地に関する政策

(7) 足羽山公園遊園地（動物園）の運営、景観保全

「女性」「30～39歳」の満足度が高い

満足度は27.0%、不満度は15.2%と、満足度が不満度より11.8ポイント高くなっている。性別では、満足度は、女性（30.6%）が男性（23.1%）より7.5ポイント高い。年齢別に見ると、満足度は、30～39歳（40.7%）が最も高くなっている。地区別では、満足度は、川西ブロック（11.7%）が最も低い。

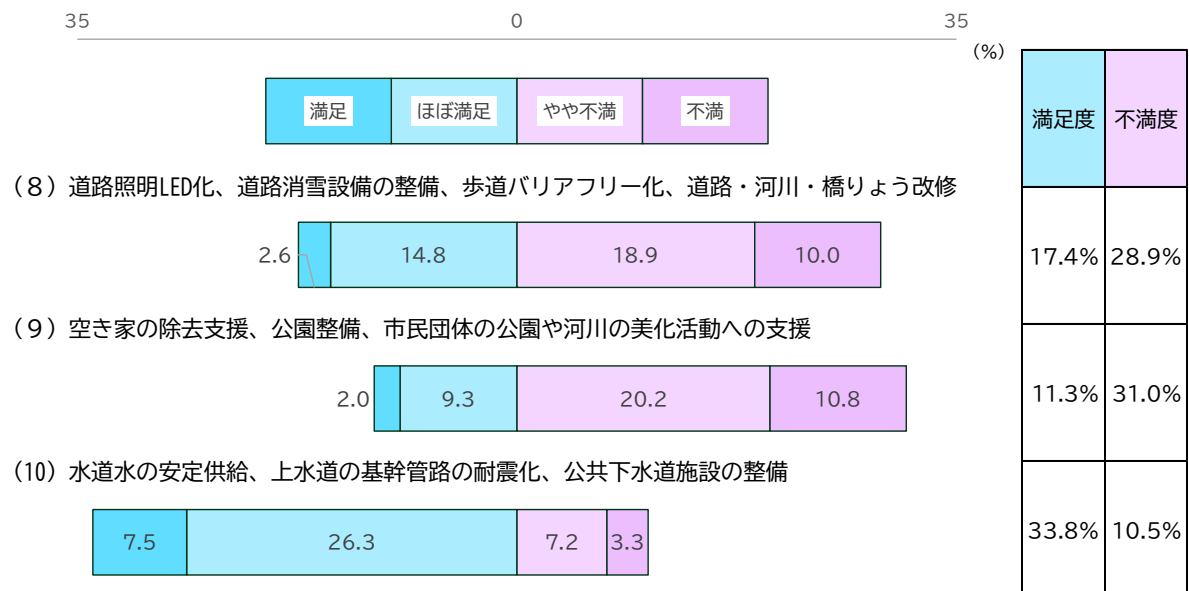


I 快適に暮らすまち

3. 生活インフラに関する政策

満足度は、高い順に「(10) 水道水の安定供給、上水道の基幹管路の耐震化、公共下水道施設の整備」(33.8%)、「(8) 道路照明 LED 化、道路消雪設備の整備、歩道バリアフリー化、道路・河川・橋りょう改修」(17.4%)、「(9) 空き家の除去支援、公園整備、市民団体の公園や河川の美化活動への支援」(11.3%)となっている。

また、不満度は、高い順に「(9) 空き家の除去支援、公園整備、市民団体の公園や河川の美化活動への支援」(31.0%)、「(8) 道路照明 LED 化、道路消雪設備の整備、歩道バリアフリー化、道路・河川・橋りょう改修」(28.9%)、「(10) 水道水の安定供給、上水道の基幹管路の耐震化、公共下水道施設の整備」(10.5%)となっている。



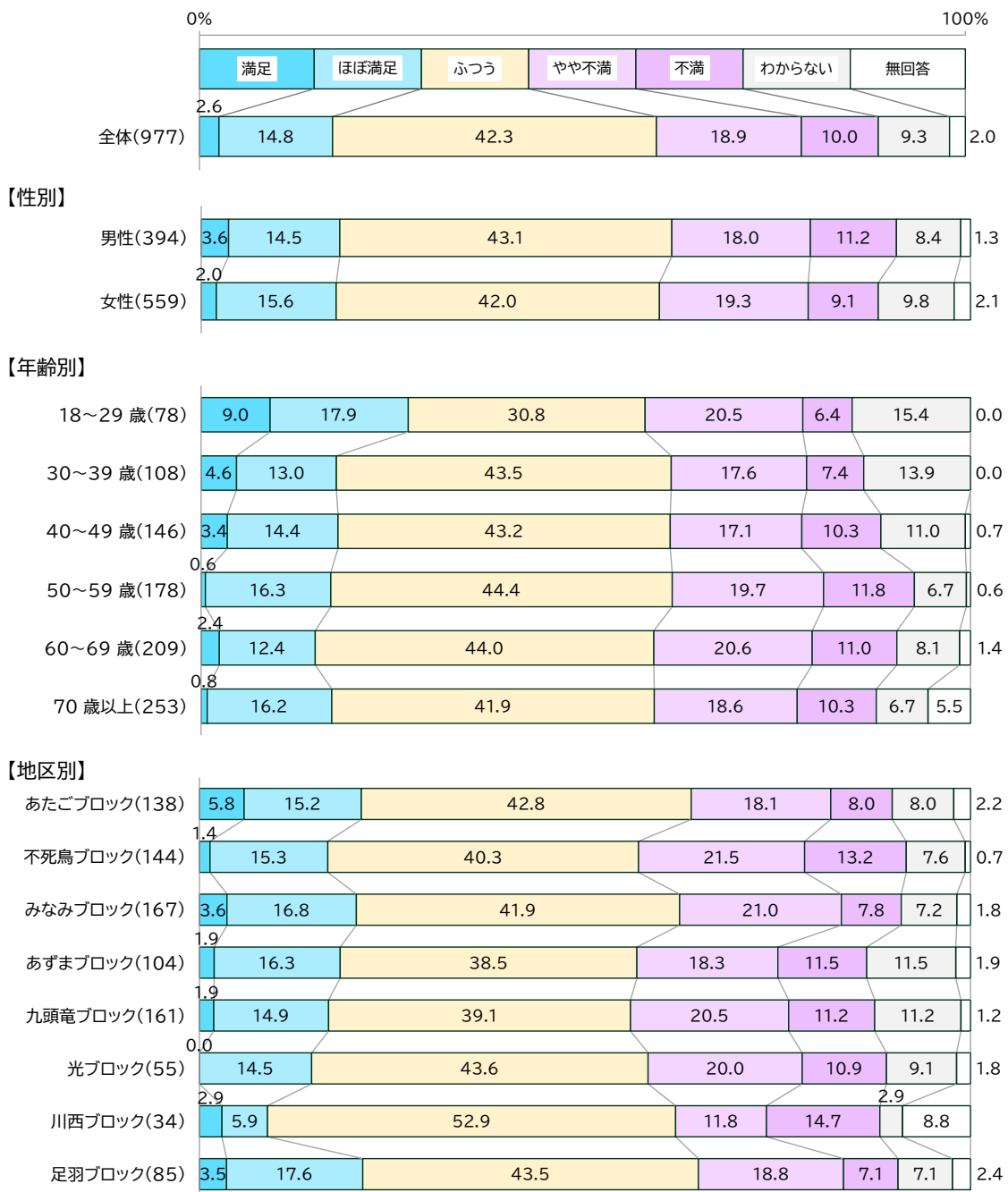
SA(N=977)

3. 生活インフラに関する政策

(8) 道路照明LED化、道路消雪設備の整備、歩道バリアフリー化、 道路・河川・橋りょう改修

「18～29 歳」の満足度が高い

満足度は 17.4%、不満度は 28.9%と、不満度が満足度より 11.5 ポイント高くなっている。
年齢別に見ると、満足度は、18～29 歳（26.9%）が高い。

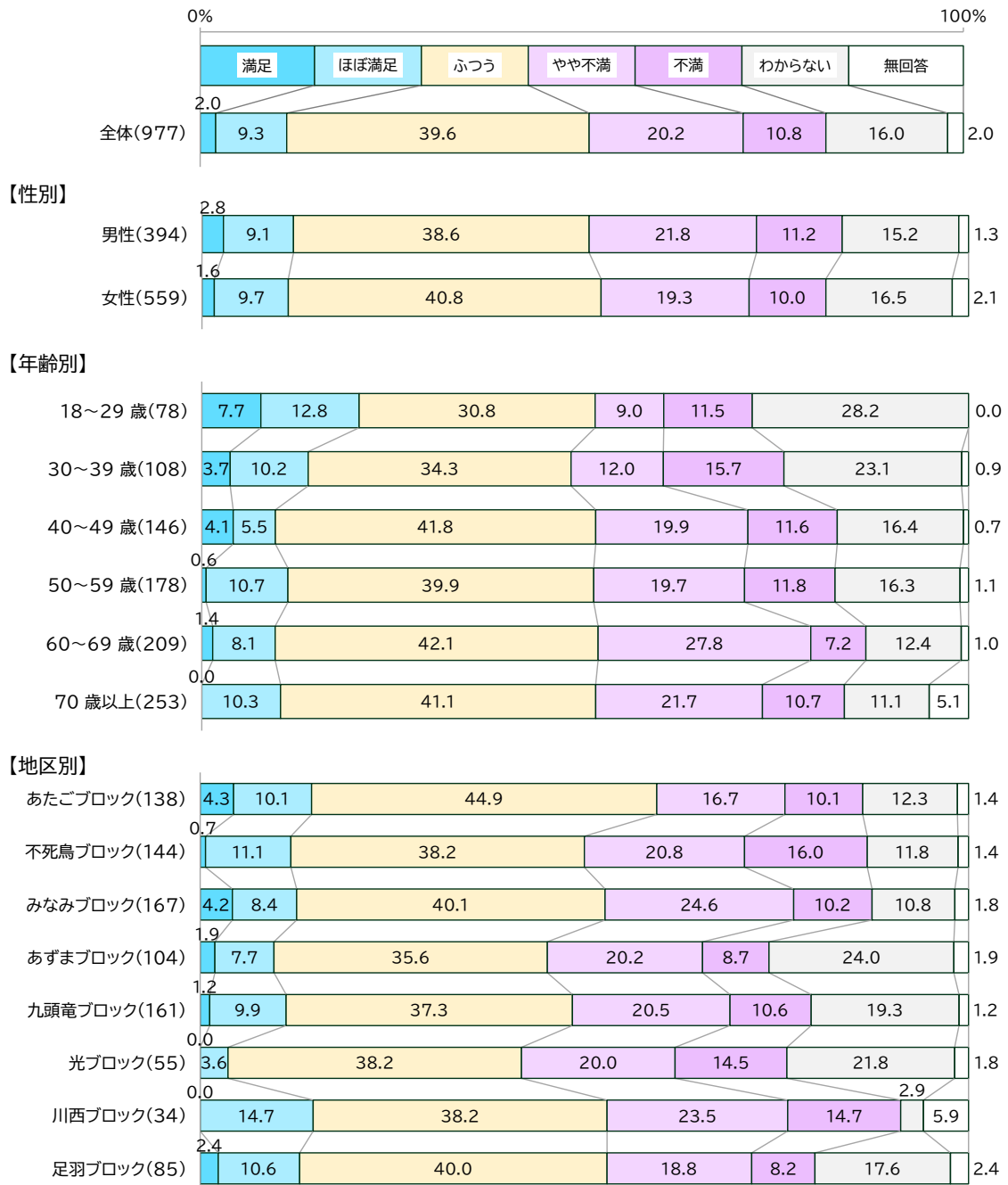


3. 生活インフラに関する政策

(9) 空き家の除去支援、公園整備、市民団体の公園や河川の美化活動への支援

「18～29 歳」の満足度が高い

満足度は 11.3%、不満度は 31.0%と、不満度が満足度より 19.7 ポイント高くなっている。
年齢別に見ると、満足度は、18～29 歳（20.5%）が最も高い。

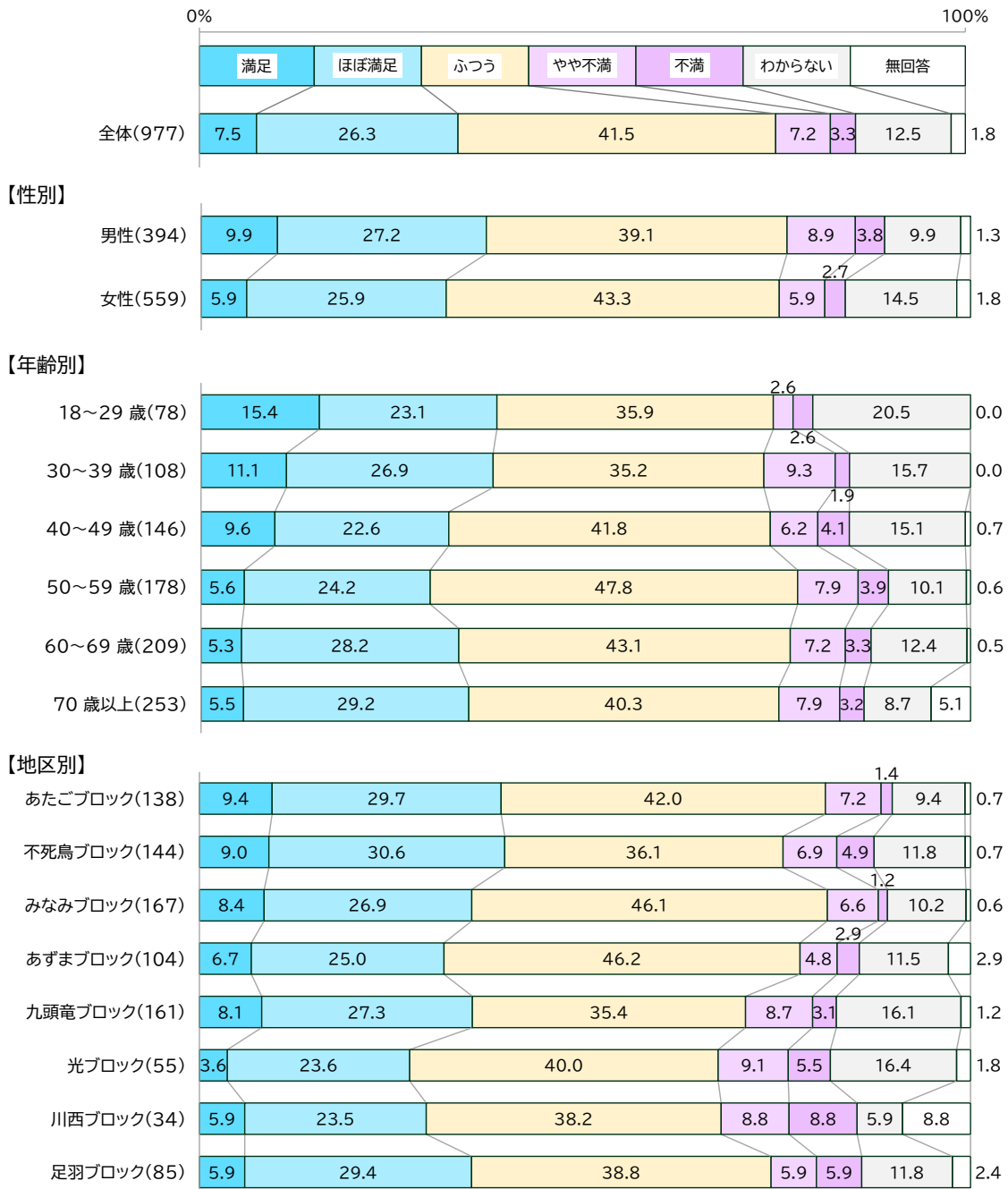


3. 生活インフラに関する政策

(10) 水道水の安定供給、上水道の基幹管路の耐震化、公共下水道施設の整備

「男性」の満足度が高い

満足度は 33.8%、不満度は 10.5%と、満足度が不満度より 23.3 ポイント高くなっている。
性別では、満足度は、男性（37.1%）が女性（31.8%）より 5.3 ポイント高い。

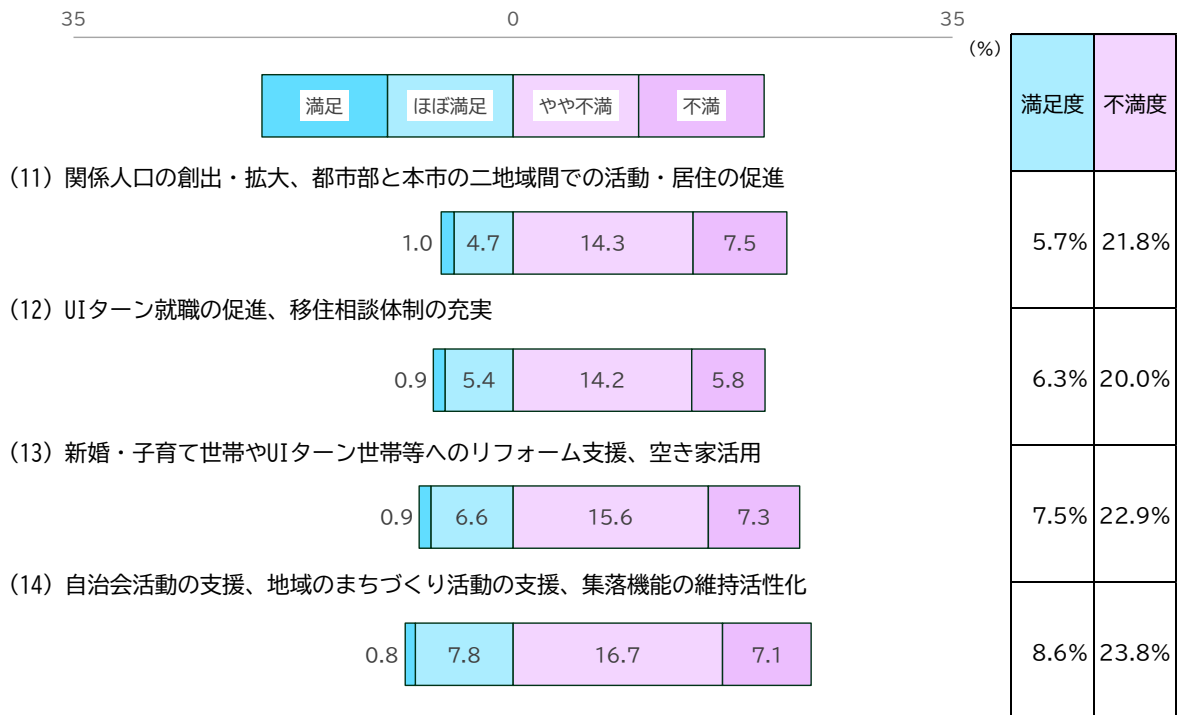


II 住みよいまち

4. 地域活性化に関する政策

満足度は、高い順に「(14) 自治会活動の支援、地域のまちづくり活動の支援、集落機能の維持活性化」(8.6%)、「(13) 新婚・子育て世帯やUI ターン世帯等へのリフォーム支援、空き家活用」(7.5%)、「(12) UI ターン就職の促進、移住相談体制の充実」(6.3%)、「(11) 関係人口の創出・拡大、都市部と本市の二地域間での活動・居住の促進」(5.7%)となっている。

また、不満度は、高い順に「(14) 自治会活動の支援、地域のまちづくり活動の支援、集落機能の維持活性化」(23.8%)、「(13) 新婚・子育て世帯やUI ターン世帯等へのリフォーム支援、空き家活用」(22.9%)、「(11) 関係人口の創出・拡大、都市部と本市の二地域間での活動・居住の促進」(21.8%)、「(12) UI ターン就職の促進、移住相談体制の充実」(20.0%)となっている。



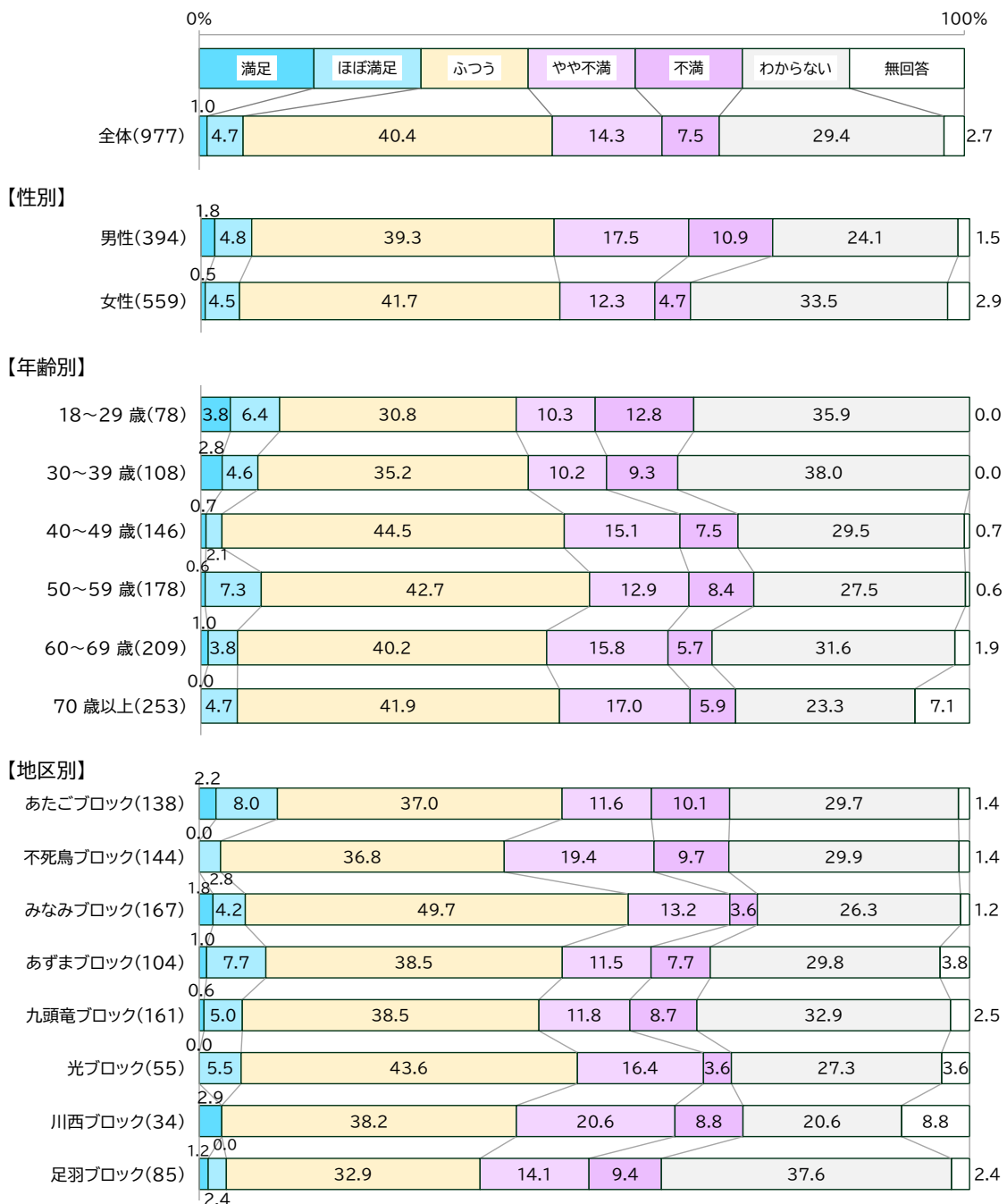
SA(N=977)

4. 地域活性化に関する政策

(11) 関係人口の創出・拡大、都市部と本市の二地域間での活動・居住の促進

「男性」「不死鳥ブロック」の不満度が高い

満足度は5.7%、不満度は21.8%と、不満度が満足度より16.1ポイント高くなっている。
性別では、不満度は、男性（28.4%）が女性（17.0%）より11.4ポイント高い。地区別では、不満度は、不死鳥ブロック（29.1%）が最も高くなっている。



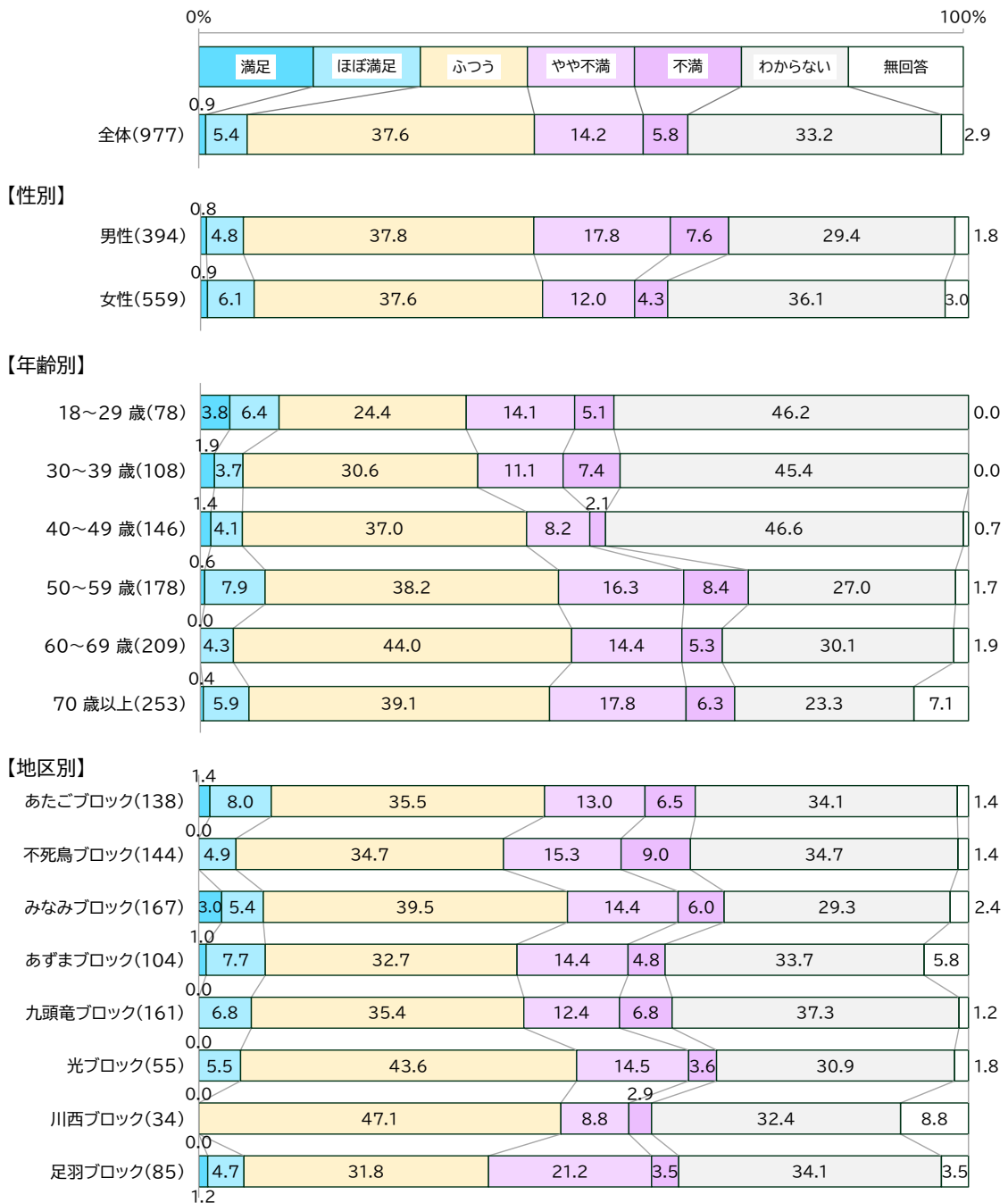
4. 地域活性化に関する政策

(12) UIターン就職の促進、移住相談体制の充実

「男性」の不満度が高い

満足度は6.3%、不満度は20.0%と、不満度が満足度より13.7ポイント高くなっている。

性別では、不満度は、男性（25.4%）が女性（16.3%）より9.1ポイント高い。年齢別に見ると、不満度は、40～49歳（10.3%）が最も低くなっている。

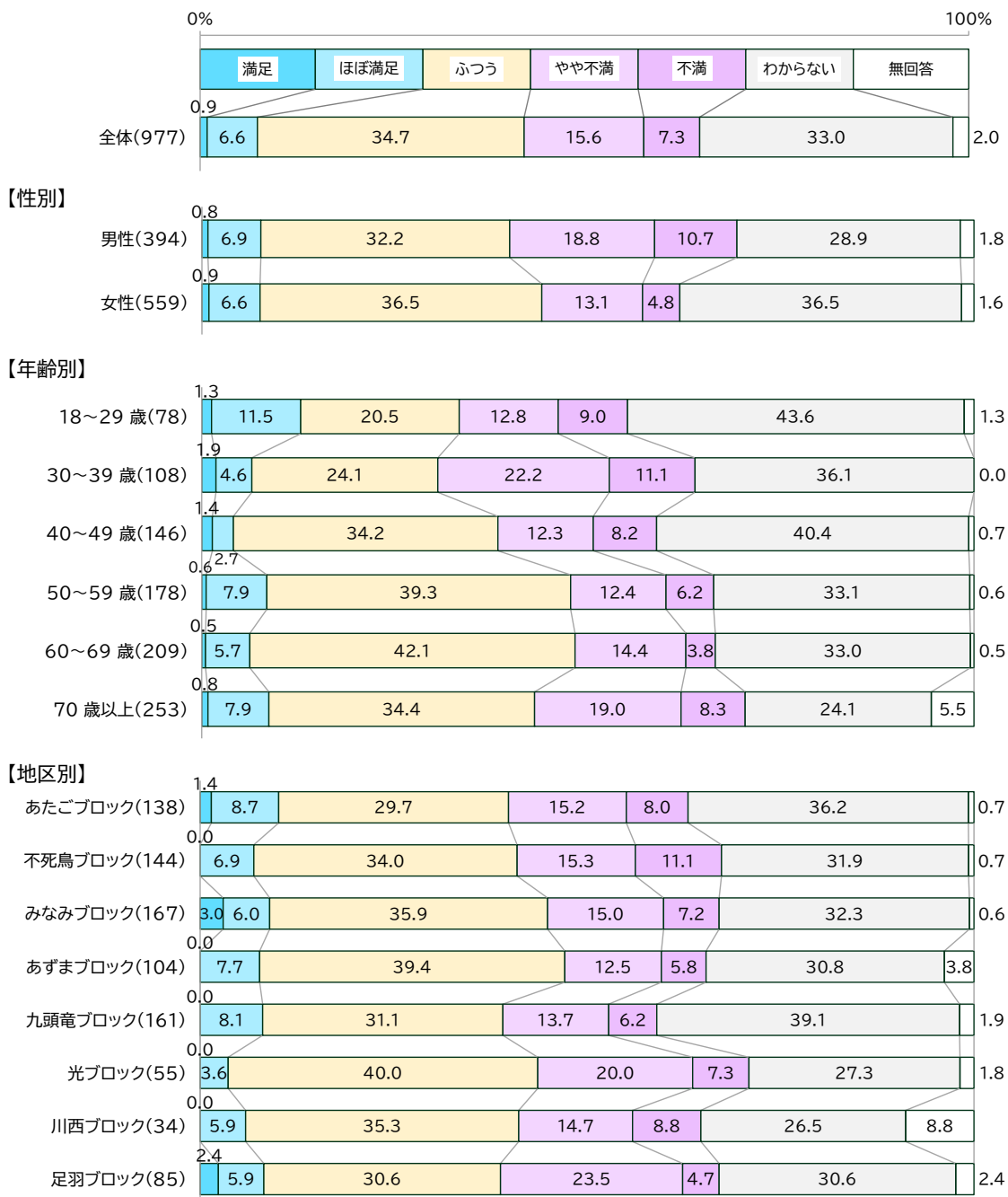


4. 地域活性化に関する政策

(13) 新婚・子育て世帯やUIターン世帯等へのリフォーム支援、空き家活用

「男性」「30～39歳」の不満足度が高い

満足度は7.5%、不満足度は22.9%と、不満足度が満足度より15.4ポイント高くなっている。
性別では、不満足度は、男性(29.5%)が女性(17.9%)より11.6ポイント高い。年齢別に見ると、不満足度は、30～39歳(33.3%)が最も高くなっている。



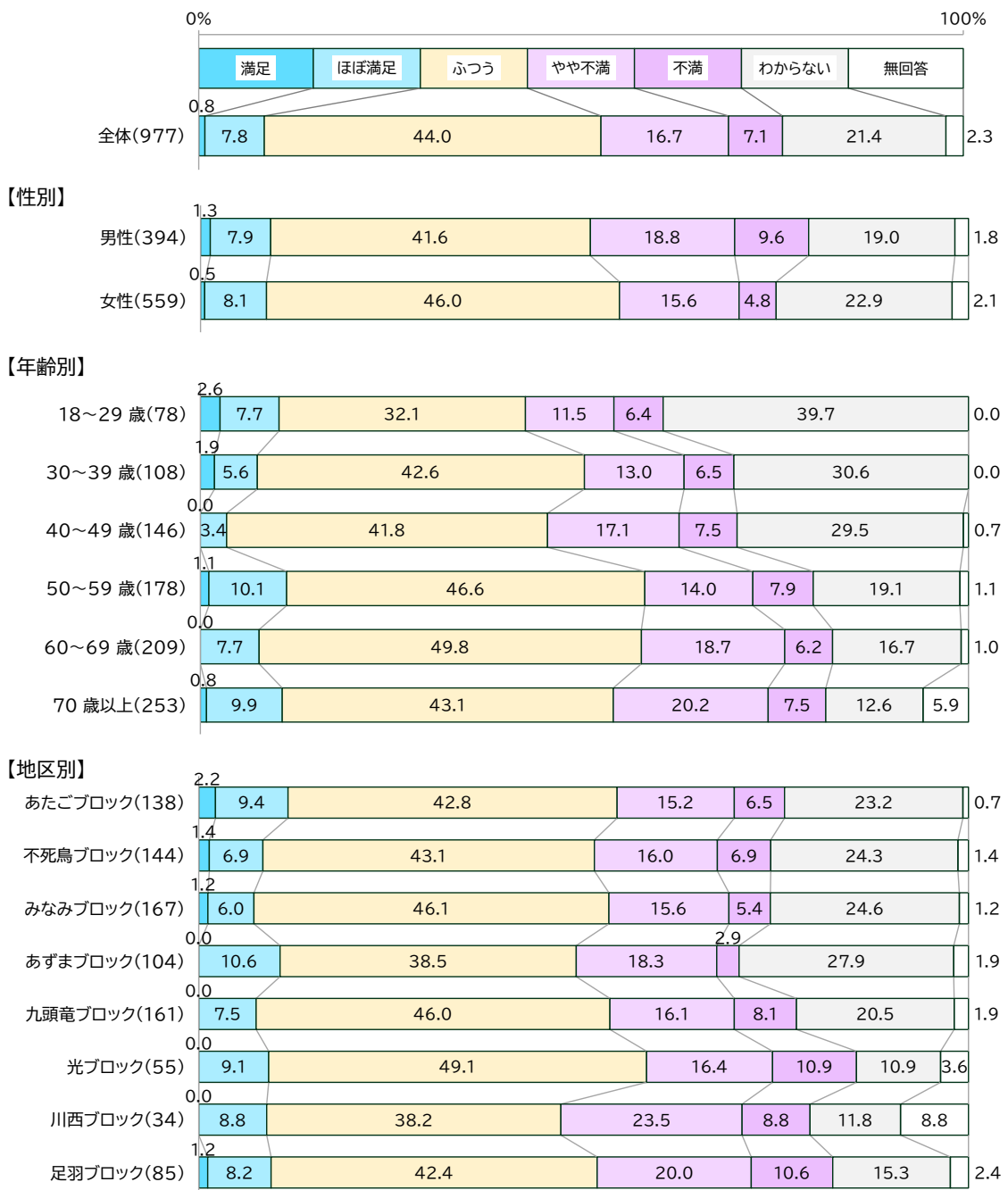
4. 地域活性化に関する政策

(14) 自治会活動の支援、地域のまちづくり活動の支援、集落機能の維持活性化

「男性」の不満足度が高い

満足度は8.6%、不満足度は23.8%と、不満足度が満足度より15.2ポイント高くなっている。

性別では、不満足度は、男性(28.4%)が女性(20.4%)より8.0ポイント高い。年齢別に見ると、満足度は、40～49歳(3.4%)が最も低くなっている。

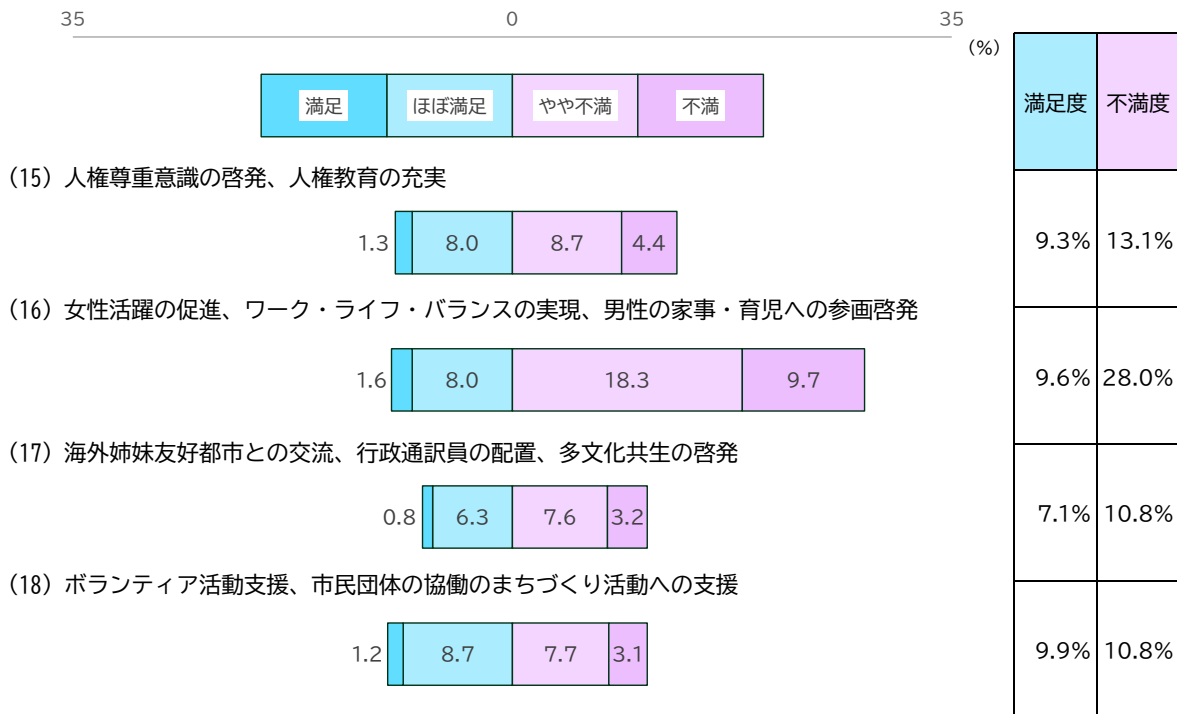


Ⅱ 住みよいまち

5. 共生、協働に関する政策

満足度は、高い順に「(18) ボランティア活動支援、市民団体の協働のまちづくり活動への支援」(9.9%)、「(16) 女性活躍の促進、ワーク・ライフ・バランスの実現、男性の家事・育児への参画啓発」(9.6%)、「(15) 人権尊重意識の啓発、人権教育の充実」(9.3%)、「(17) 海外姉妹友好都市との交流、行政通訳員の配置、多文化共生の啓発」(7.1%)となっている。

また、不満度は、高い順に「(16) 女性活躍の促進、ワーク・ライフ・バランスの実現、男性の家事・育児への参画啓発」(28.0%)、「(15) 人権尊重意識の啓発、人権教育の充実」(13.1%)、「(17) 海外姉妹友好都市との交流、行政通訳員の配置、多文化共生の啓発」(10.8%)、「(18) ボランティア活動支援、市民団体の協働のまちづくり活動への支援」(10.8%)となっている。



SA(N=977)

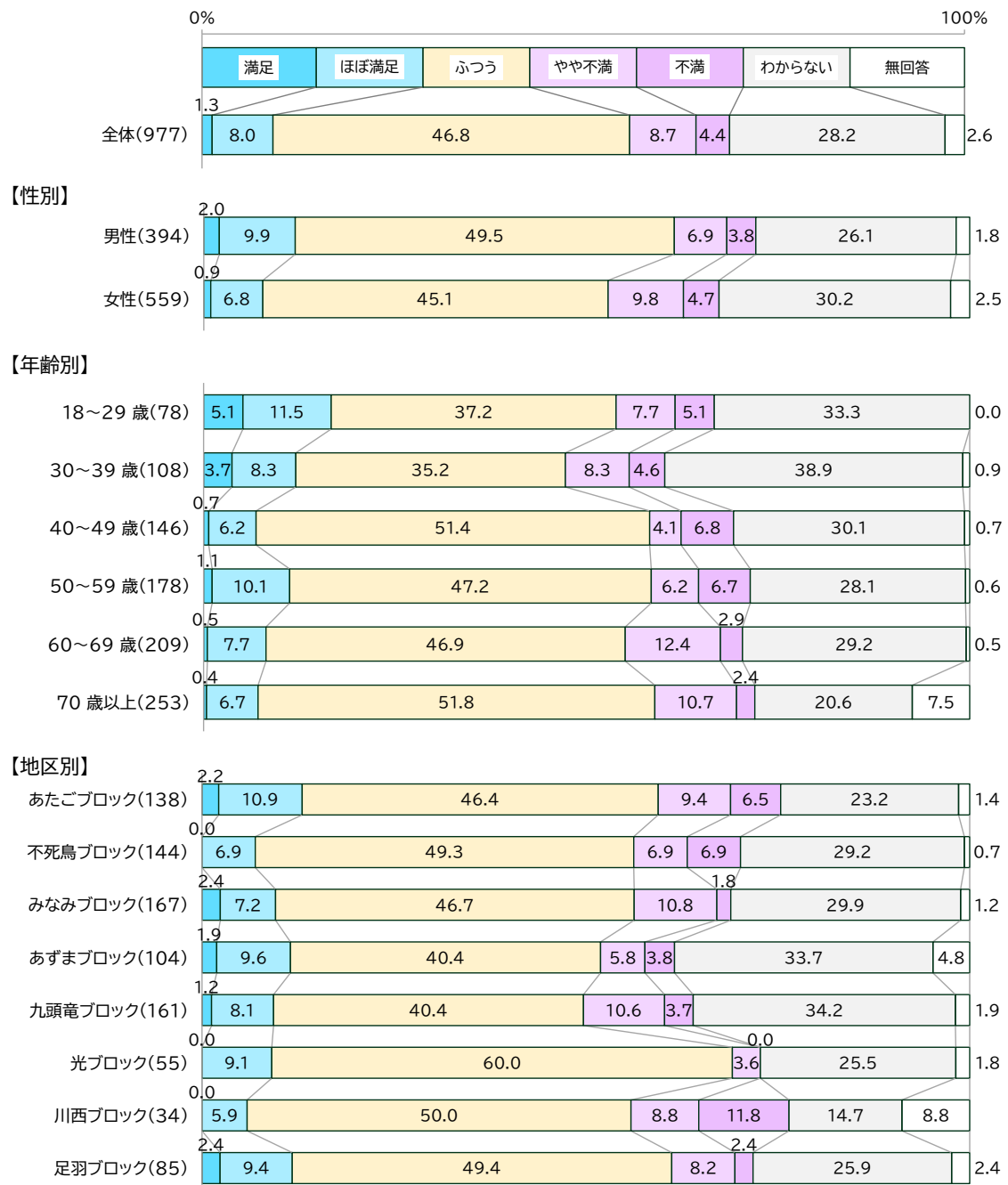
5. 共生、協働に関する政策

(15) 人権尊重意識の啓発、人権教育の充実

「男性」「18～29歳」の満足度が高い

満足度は9.3%、不満度は13.1%と、不満度が満足度より3.8ポイント高くなっている。

性別では、満足度は、男性（11.9%）が女性（7.7%）より4.2ポイント高い。年齢別に見ると、満足度は、18～29歳（16.6%）が最も高くなっている。地区別では、不満度は、光ブロック（3.6%）が最も低い。



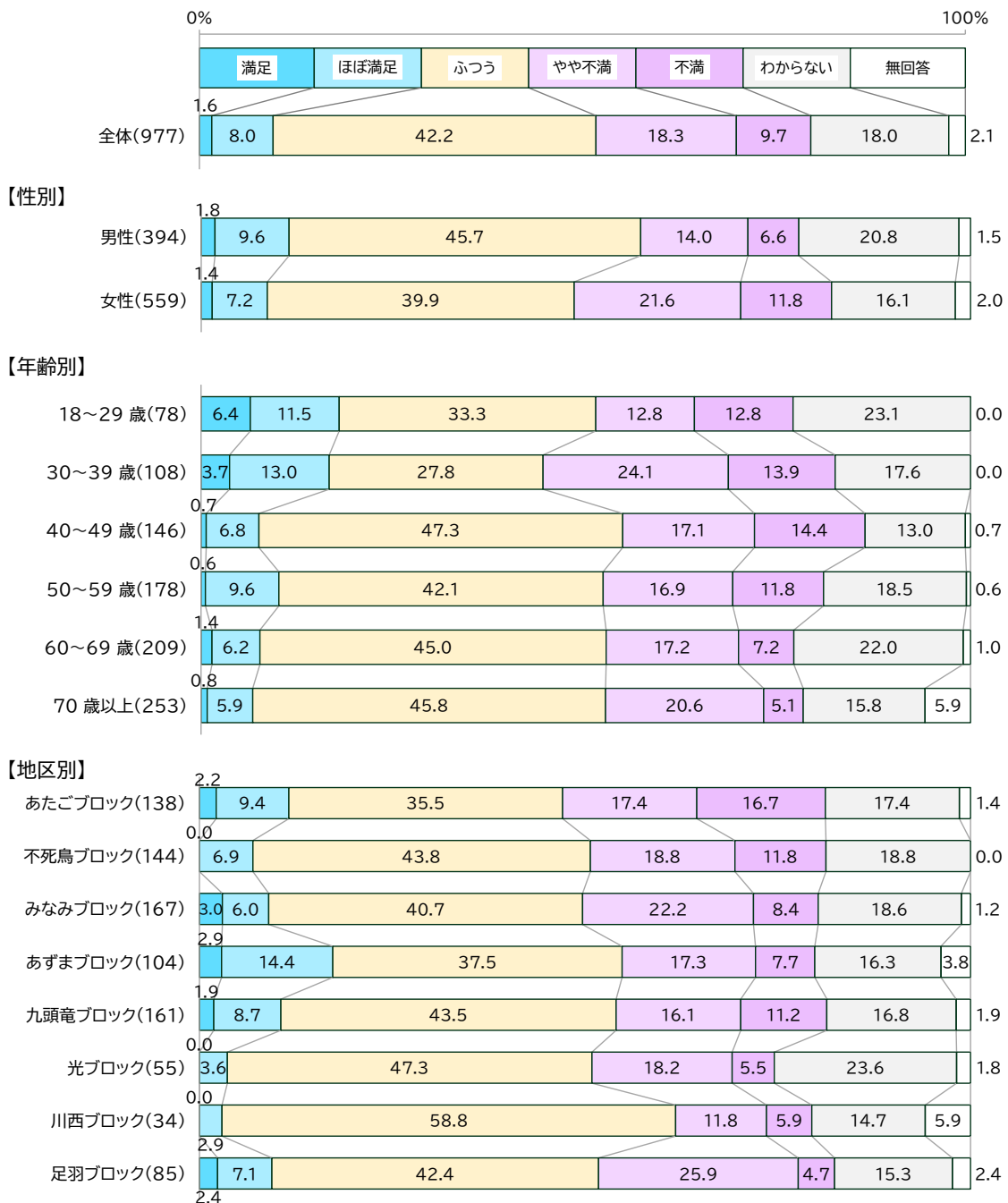
5. 共生、協働に関する政策

(16) 女性活躍の促進、ワーク・ライフ・バランスの実現、男性の家事・育児への参画啓発

「女性」「30～39歳」の不満足度が高い

満足度は9.6%、不満足度は28.0%と、不満足度が満足度より18.4ポイント高くなっている。

性別では、不満足度は、女性(33.4%)が男性(20.6%)より12.8ポイント高い。年齢別に見ると、不満足度は、30～39歳(38.0%)が最も高くなっている。地区別では、満足度は、あずまブロック(17.3%)が最も高い。



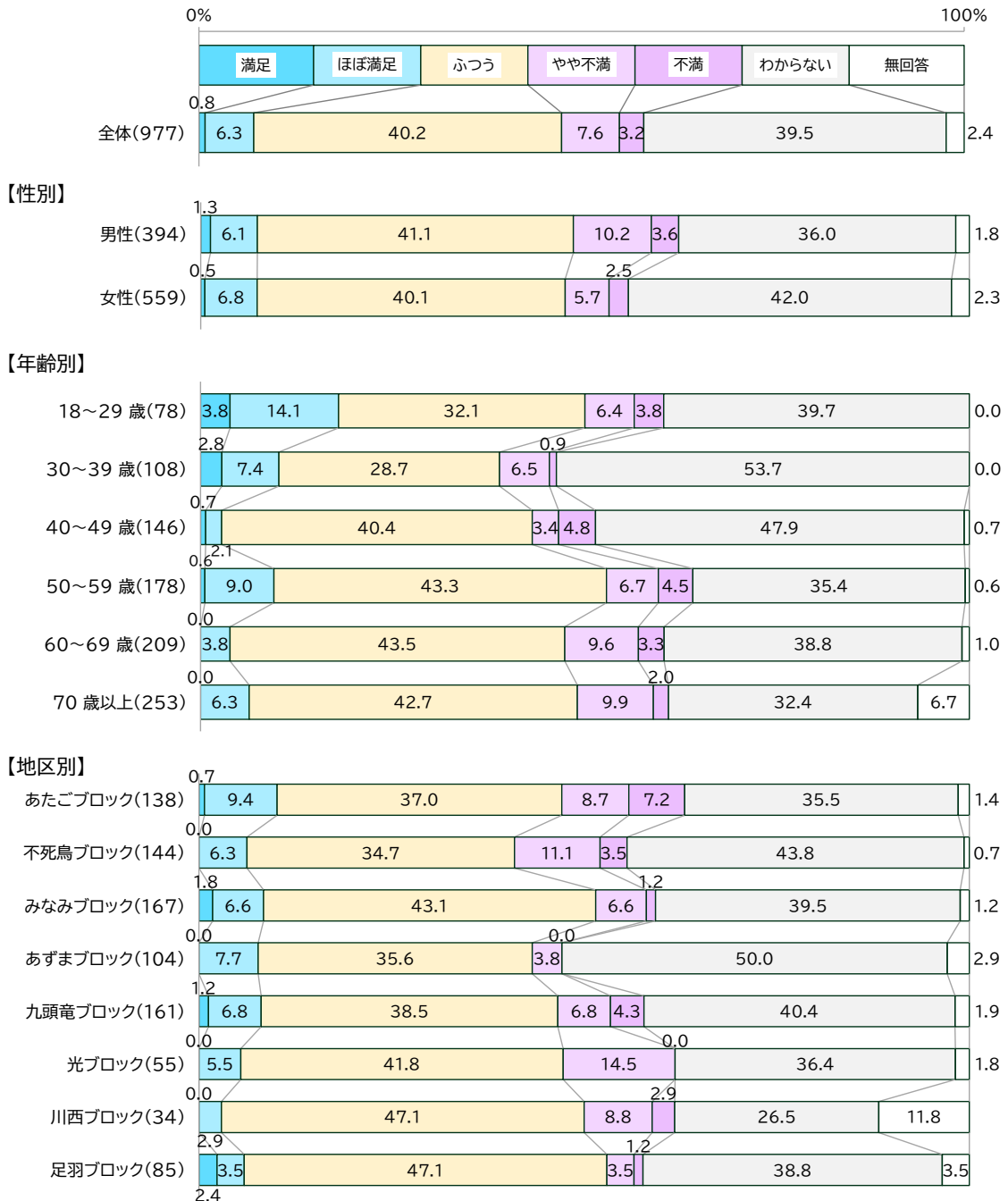
5. 共生、協働に関する政策

(17) 海外姉妹友好都市との交流、行政通訳員の配置、多文化共生の啓発

「男性」「あたごブロック」の不満度が高い

満足度は7.1%、不満度は10.8%と、不満度が満足度より3.7ポイント高くなっている。

性別では、不満度は、男性（13.8%）が女性（8.2%）より5.6ポイント高い。年齢別に見ると、満足度は、18～29歳（17.9%）が最も高く、40～49歳（2.8%）、60～69歳（3.8%）が低くなっている。地区別では、不満度は、あたごブロック（15.9%）が最も高く、あずまブロック（3.8%）が最も低い。



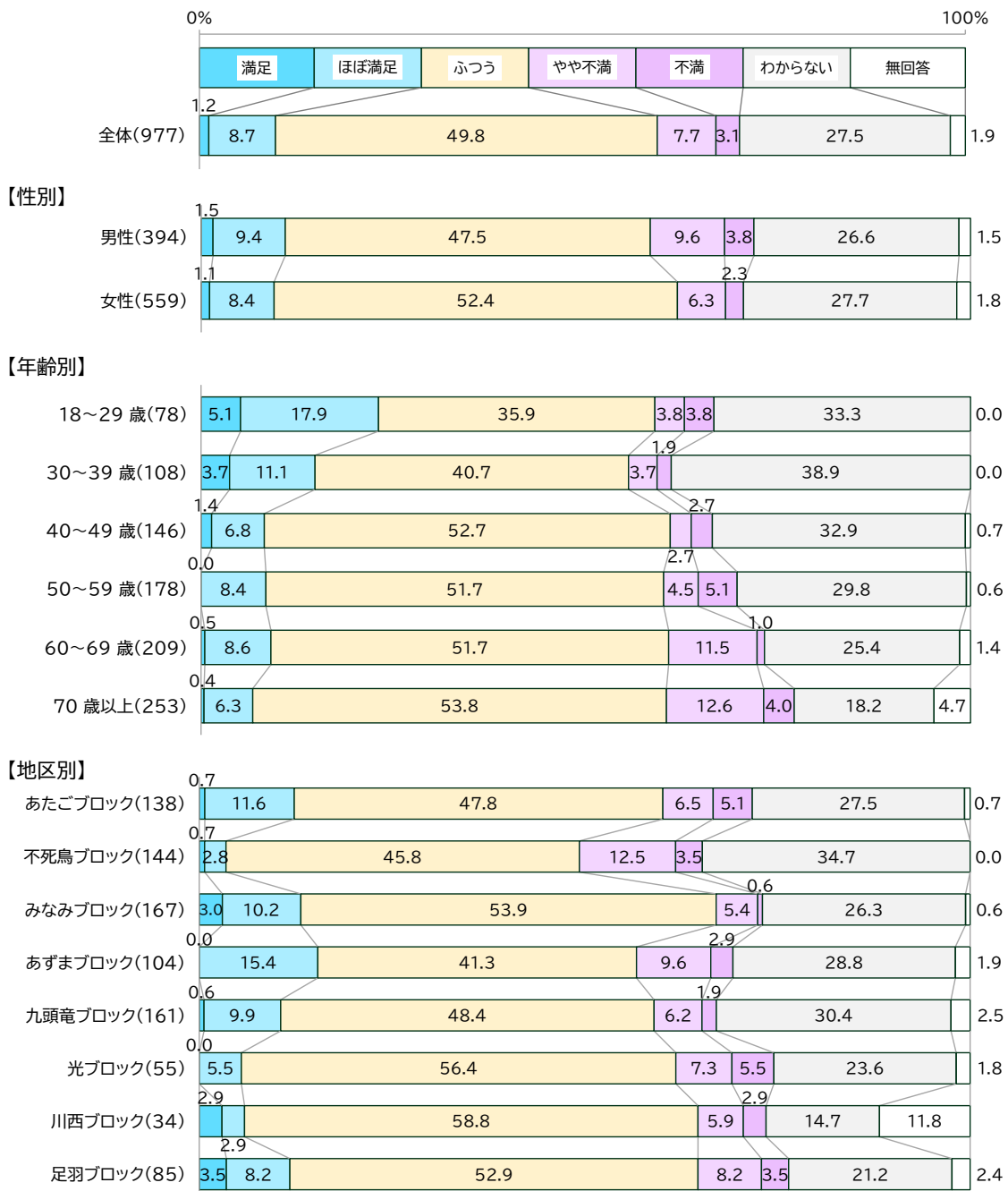
5. 共生、協働に関する政策

(18) ボランティア活動支援、市民団体の協働のまちづくり活動への支援

「男性」「70歳以上」「不死鳥ブロック」の不満度が高い

満足度は9.9%、不満度は10.8%と、不満度が満足度より0.9ポイント高くなっている。

性別では、不満度は、男性(13.4%)が女性(8.6%)より4.8ポイント高い。年齢別に見ると、不満度は、70歳以上(16.6%)が最も高く、40～49歳(5.4%)が最も低くなっている。地区別では、不満度は、不死鳥ブロック(16.0%)が最も高く、みなみブロック(6.0%)が最も低い。

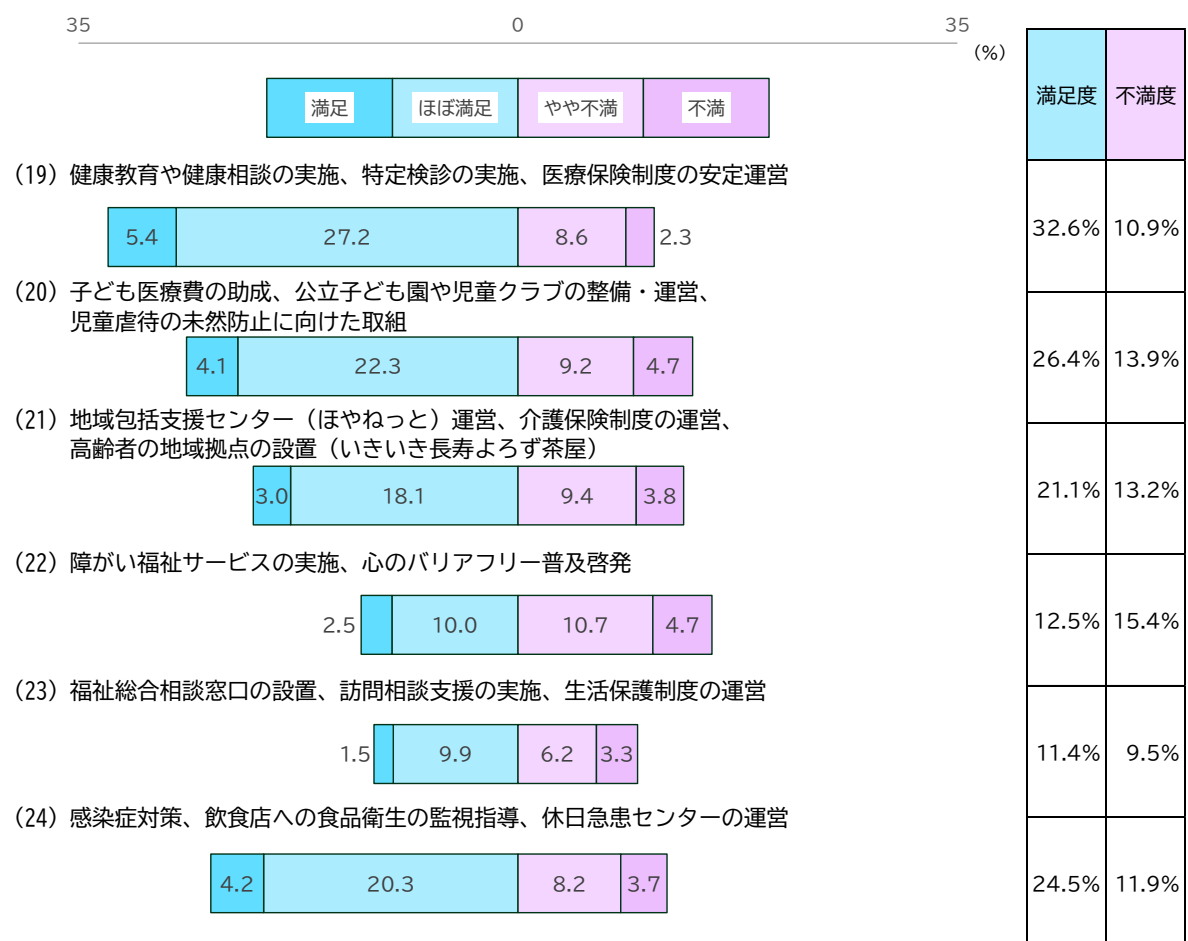


Ⅱ 住みよいまち

6. 福祉に関する政策

満足度は、高い順に「(19) 健康教育や健康相談の実施、特定検診の実施、医療保険制度の安定運営」(32.6%)、「(20) 子ども医療費の助成、公立子ども園や児童クラブの整備・運営、児童虐待の未然防止に向けた取組」(26.4%)、「(24) 感染症対策、飲食店への食品衛生の監視指導、休日急患センターの運営」(24.5%)、「(21) 地域包括支援センター（ほやねっと）運営、介護保険制度の運営、高齢者の地域拠点の設置（いきいき長寿よろず茶屋）」(21.1%) などとなっている。

また、不満度は、高い順に「(22) 障がい福祉サービスの実施、心のバリアフリー普及啓発」(15.4%)、「(20) 子ども医療費の助成、公立子ども園や児童クラブの整備・運営、児童虐待の未然防止に向けた取組」(13.9%)、「(21) 地域包括支援センター（ほやねっと）運営、介護保険制度の運営、高齢者の地域拠点の設置（いきいき長寿よろず茶屋）」(13.2%)、「(24) 感染症対策、飲食店への食品衛生の監視指導、休日急患センターの運営」(11.9%) などとなっている。



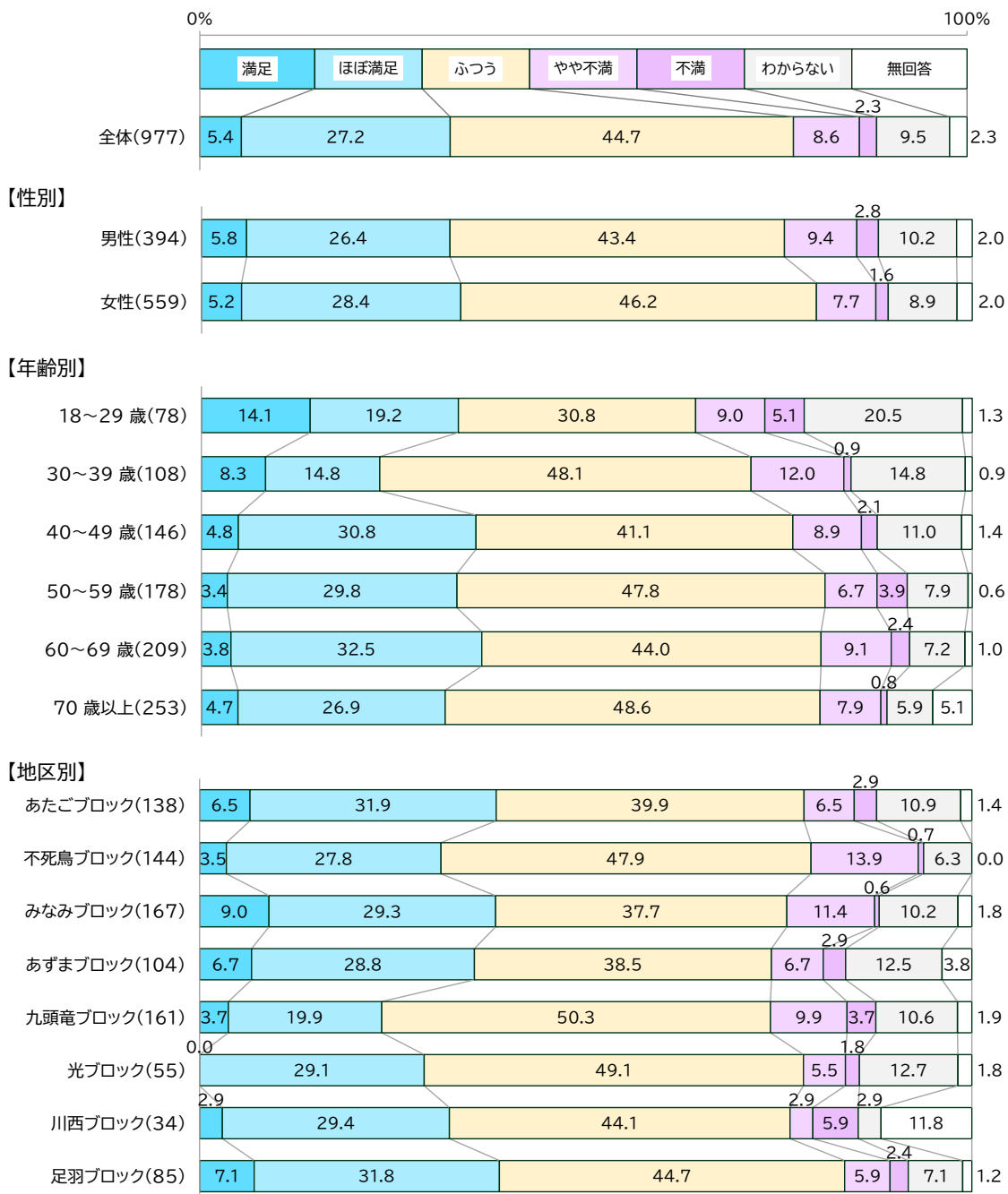
SA(N=977)

6. 福祉に関する政策

(19) 健康教育や健康相談の実施、特定検診の実施、医療保険制度の安定運営

「30～39歳」「九頭竜ブロック」の満足度が低い

満足度は32.6%、不満度は10.9%と、満足度が不満度より21.7ポイント高くなっている。
 年齢別に見ると、満足度は、30～39歳（23.1%）が最も低い。地区別では、満足度は、九頭竜ブロック（23.6%）が最も低くなっている。



6. 福祉に関する政策

(20) 子ども医療費の助成、公立子ども園や児童クラブの整備・運営、児童虐待の未然防止に向けた取組

全体的に満足度が不満足より高い

満足度は 26.4%、不満足度は 13.9%と、満足度が不満足より 12.5 ポイント高くなっている。
年齢別に見ると、「わからない」は、若い世代ほどその割合が高くなる傾向がみられる。

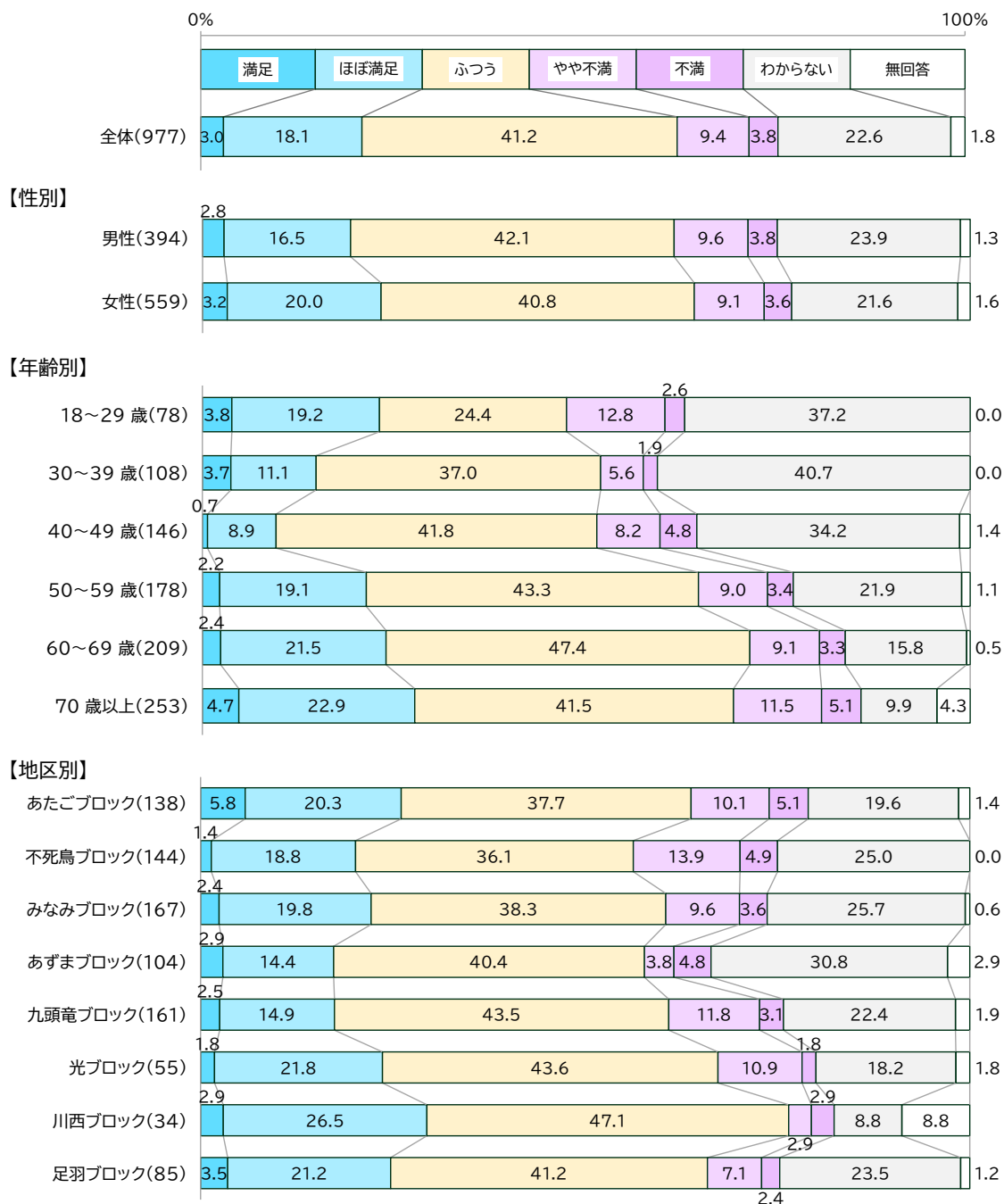


6. 福祉に関する政策

(21) 地域包括支援センター（ほやねっと）運営、介護保険制度の運営、高齢者の地域拠点の設置（いきいき長寿よろず茶屋）

「70歳以上」の満足度が高い

満足度は21.1%、不満度は13.2%と、満足度が不満度より7.9ポイント高くなっている。
年齢別に見ると、満足度は、70歳以上（27.6%）が最も高く、40～49歳（9.6%）が最も低い。地区別では、不満度は、不死鳥ブロック（18.8%）が最も高くなっている。

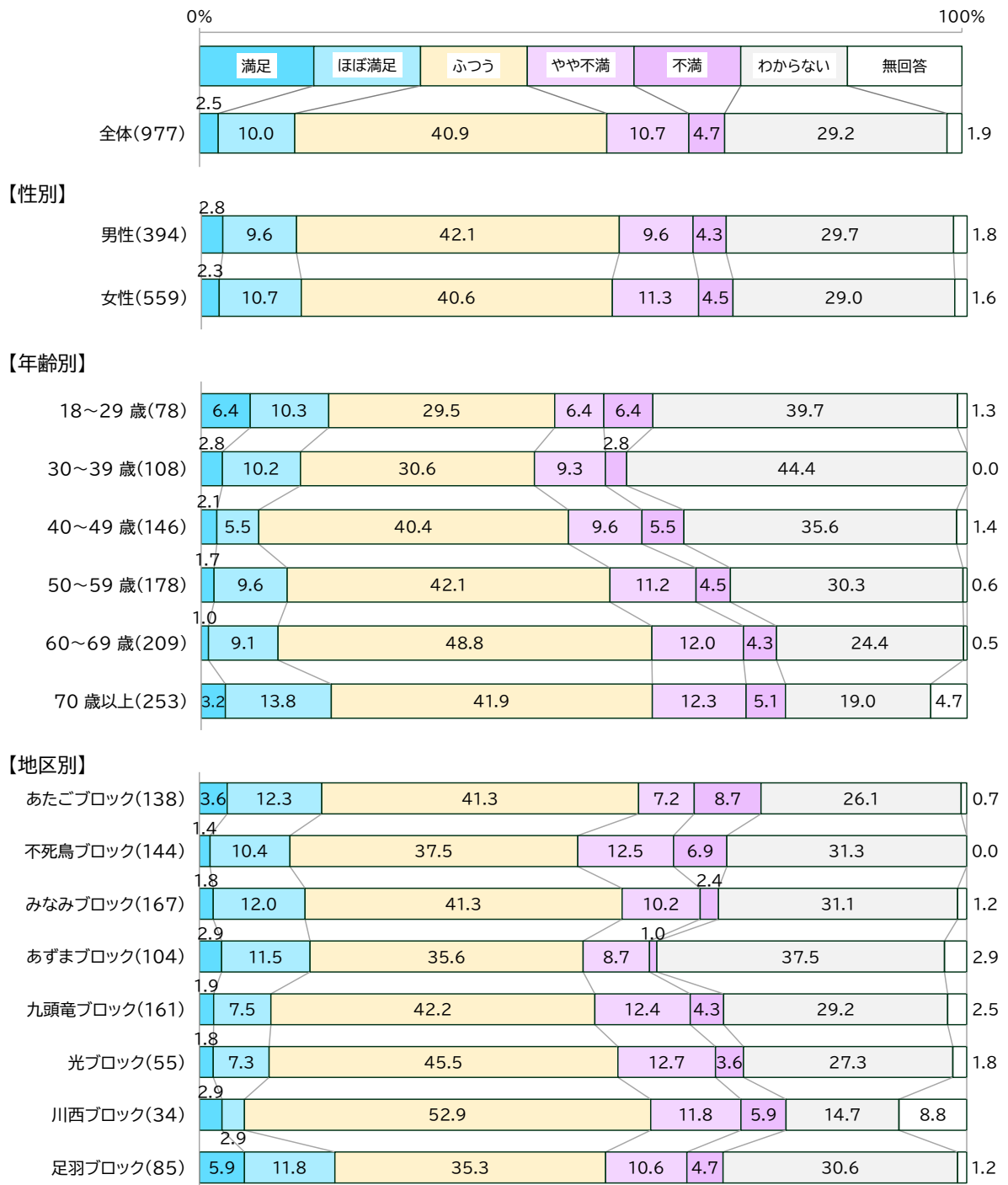


6. 福祉に関する政策

(22) 障がい福祉サービスの実施、心のバリアフリー普及啓発

「70歳以上」の満足度が高い

満足度は12.5%、不満度は15.4%と、不満度が満足度より2.9ポイント高くなっている。
年齢別に見ると、満足度は、70歳以上（17.0%）が最も高く、40～49歳（7.6%）が最も低い。

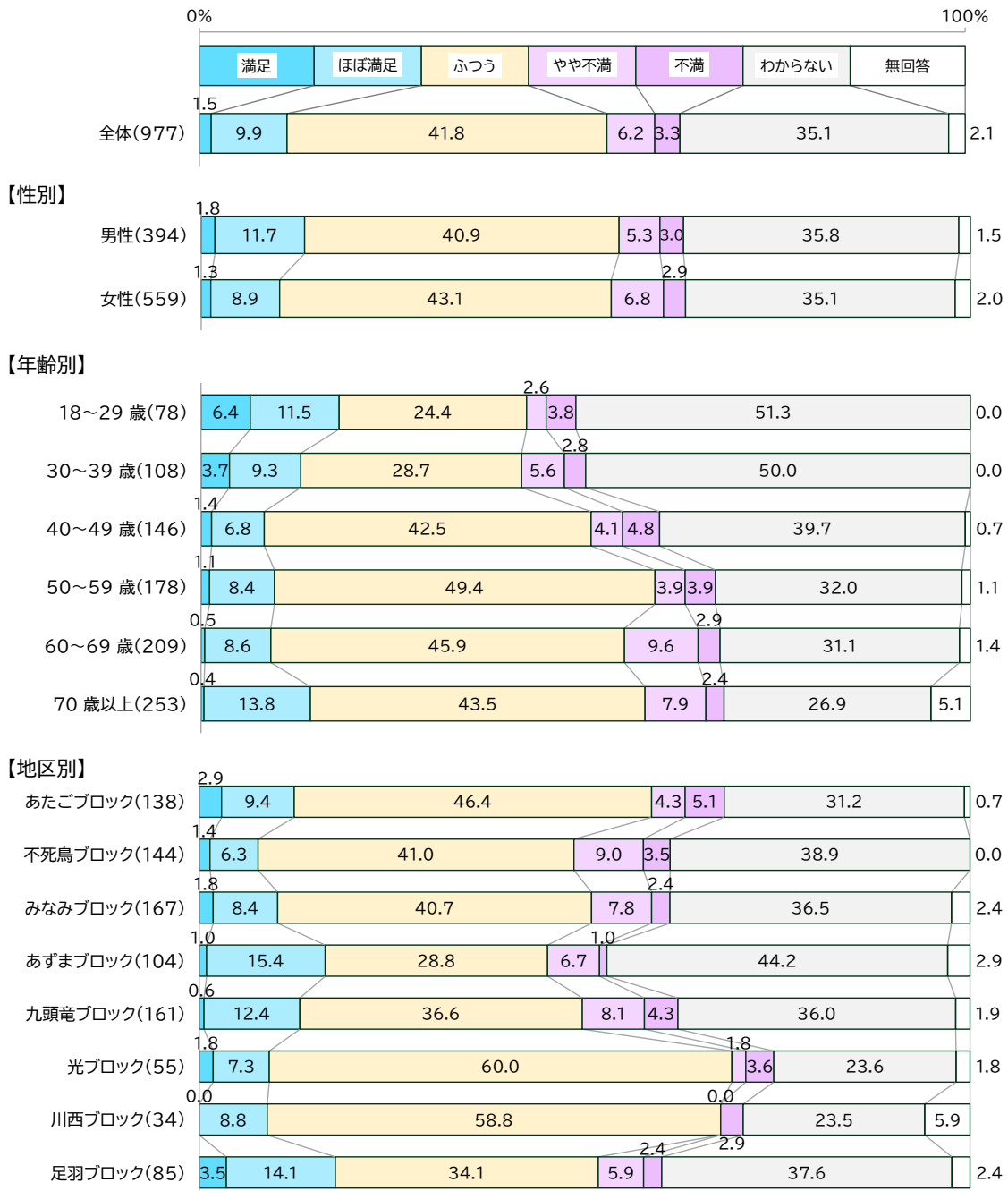


6. 福祉に関する政策

(23) 福祉総合相談窓口の設置、訪問相談支援の実施、生活保護制度の運営

全体的に満足度・不満度は低い

満足度は11.4%、不満度は9.5%と、満足度が不満度より1.9ポイント高くなっている。年齢別に見ると、「わからない」は、若い世代ほどその割合が高くなる傾向がみられる。

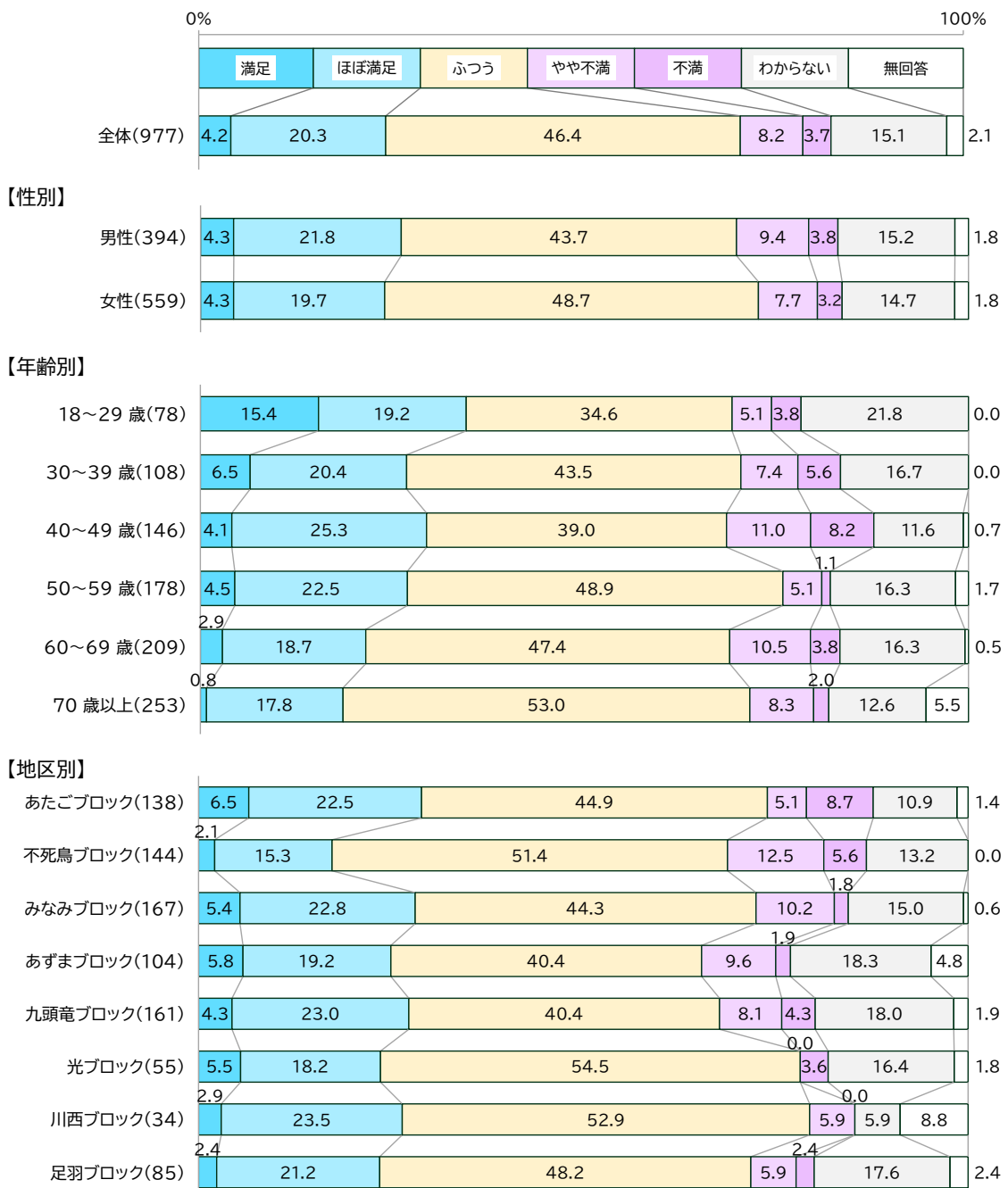


6. 福祉に関する政策

(24) 感染症対策、飲食店への食品衛生の監視指導、休日急患センターの運営

「18～29 歳」の満足度が高い

満足度は 24.5%、不満度は 11.9%と、満足度が不満度より 12.6 ポイント高くなっている。
 年齢別に見ると、満足度は、18～29 歳（34.6%）が最も高く、70 歳以上（18.6%）が最も低い。地区別では、満足度は、不死鳥ブロック（17.4%）が最も低くなっている。

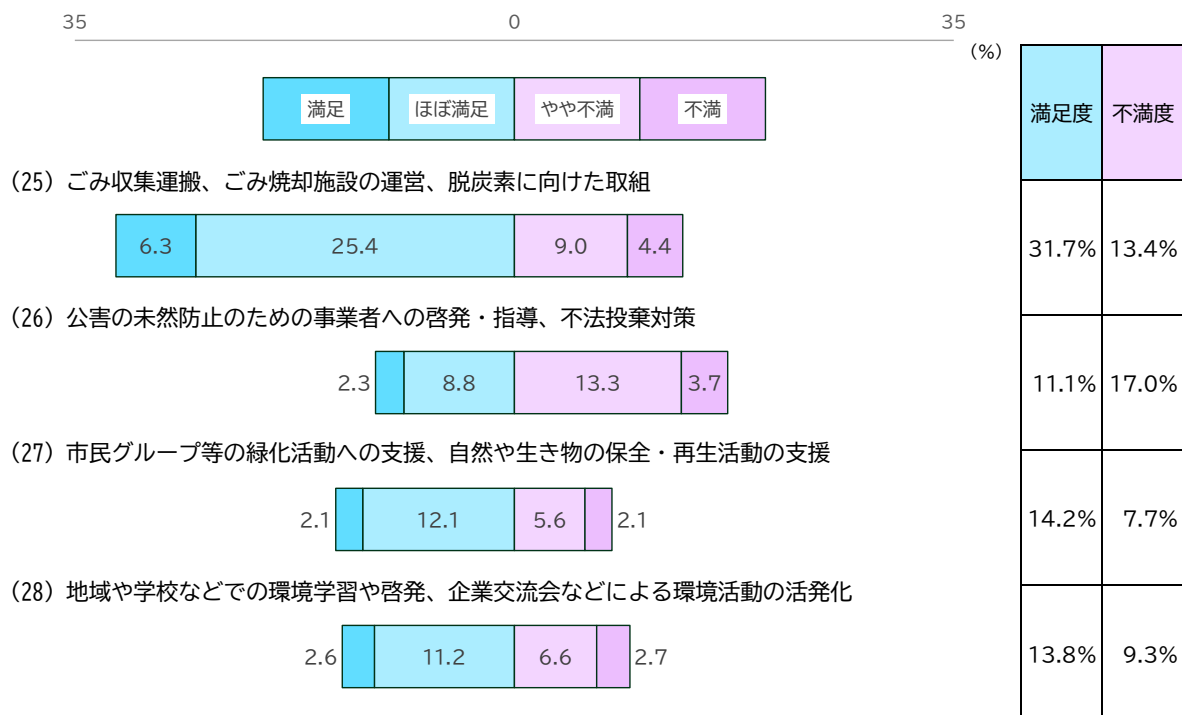


Ⅱ 住みよいまち

7. 環境に関する政策

満足度は、高い順に「(25) ごみ収集運搬、ごみ焼却施設の運営、脱炭素に向けた取組」(31.7%)、「(27) 市民グループ等の緑化活動への支援、自然や生き物の保全・再生活動の支援」(14.2%)、「(28) 地域や学校などでの環境学習や啓発、企業交流会などによる環境活動の活発化」(13.8%)、「(26) 公害の未然防止のための事業者への啓発・指導、不法投棄対策」(11.1%)となっている。

また、不満度は、高い順に「(26) 公害の未然防止のための事業者への啓発・指導、不法投棄対策」(17.0%)、「(25) ごみ収集運搬、ごみ焼却施設の運営、脱炭素に向けた取組」(13.4%)、「(28) 地域や学校などでの環境学習や啓発、企業交流会などによる環境活動の活発化」(9.3%)、「(27) 市民グループ等の緑化活動への支援、自然や生き物の保全・再生活動の支援」(7.7%)となっている。



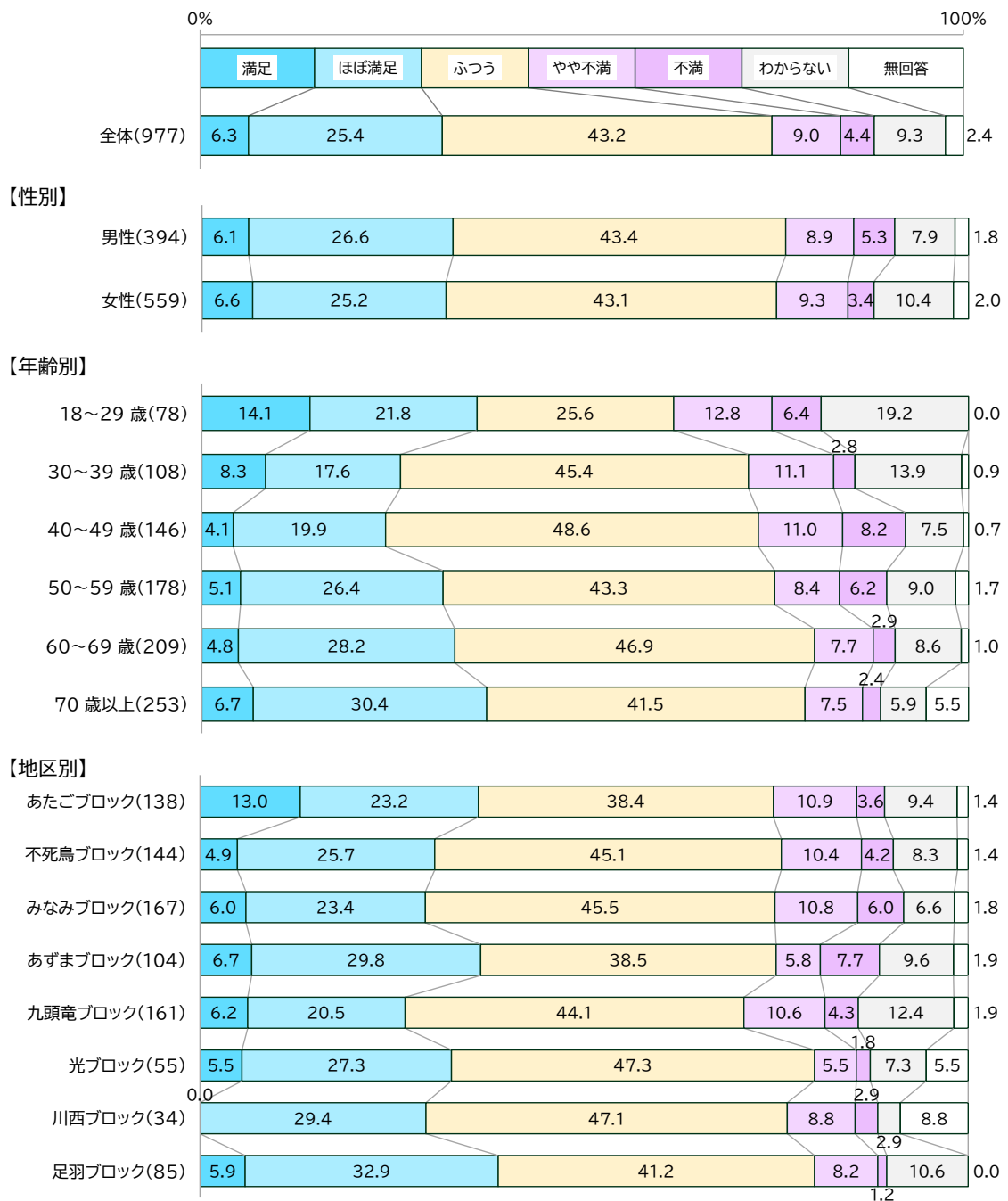
SA(N=977)

7. 環境に関する政策

(25) ごみ収集運搬、ごみ焼却施設の運営、脱炭素に向けた取組

「70歳以上」の満足度が高い

満足度は31.7%、不満度は13.4%と、満足度が不満度より18.3ポイント高くなっている。年齢別に見ると、満足度は、70歳以上(37.1%)が最も高く、40～49歳(24.0%)が最も低い。



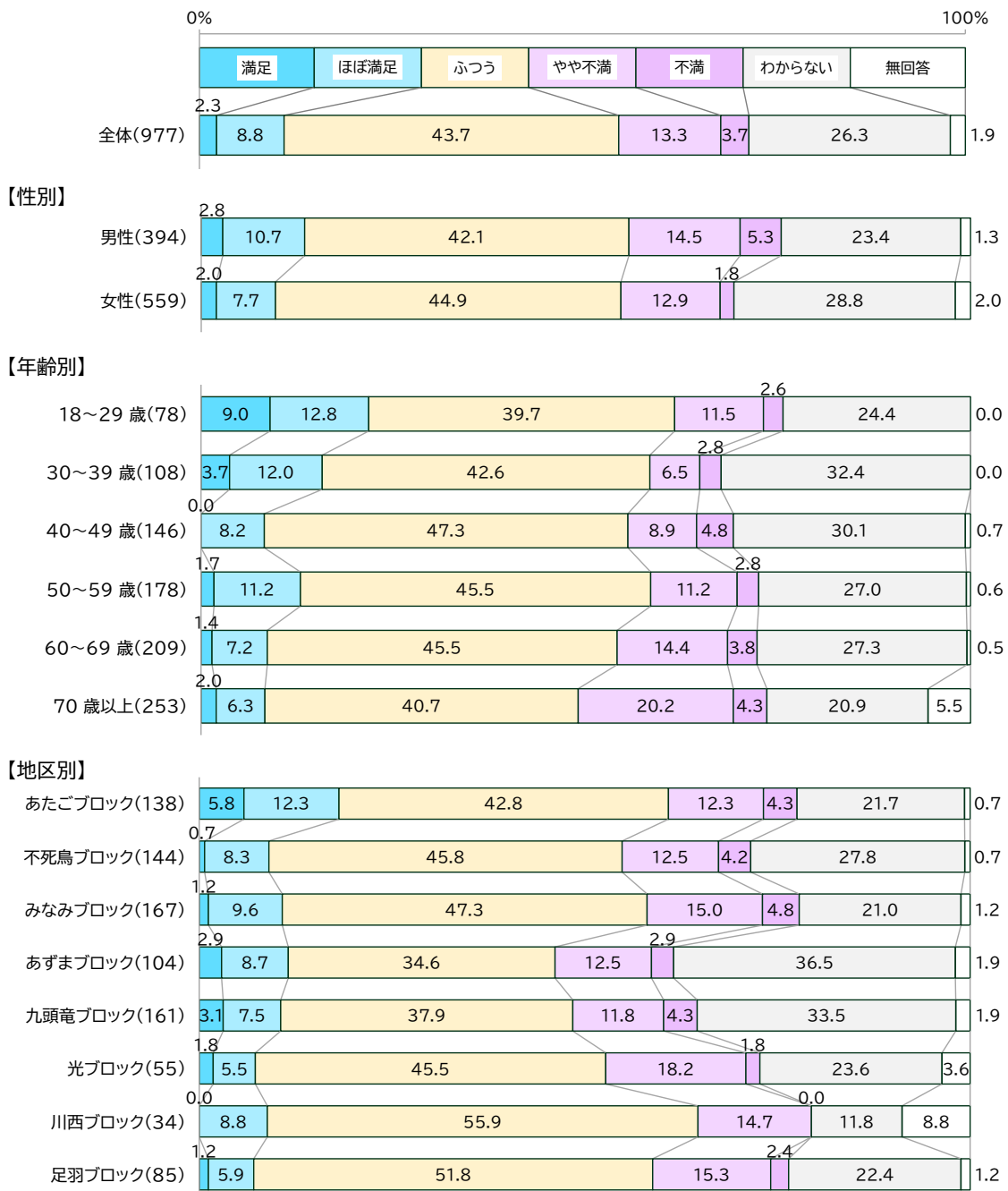
7. 環境に関する政策

(26) 公害の未然防止のための事業者への啓発・指導、不法投棄対策

「男性」「70歳以上」の不満足度が高い

満足度は11.1%、不満足度は17.0%と、不満足度が満足度より5.9ポイント高くなっている。

性別では、不満足度は、男性（19.8%）が女性（14.7%）より5.1ポイント高い。年齢別に見ると、不満足度は、70歳以上（24.5%）が最も高く、30～39歳（9.3%）が最も低くなっている。地区別では、満足度は、あたごブロック（18.1%）が最も高い。



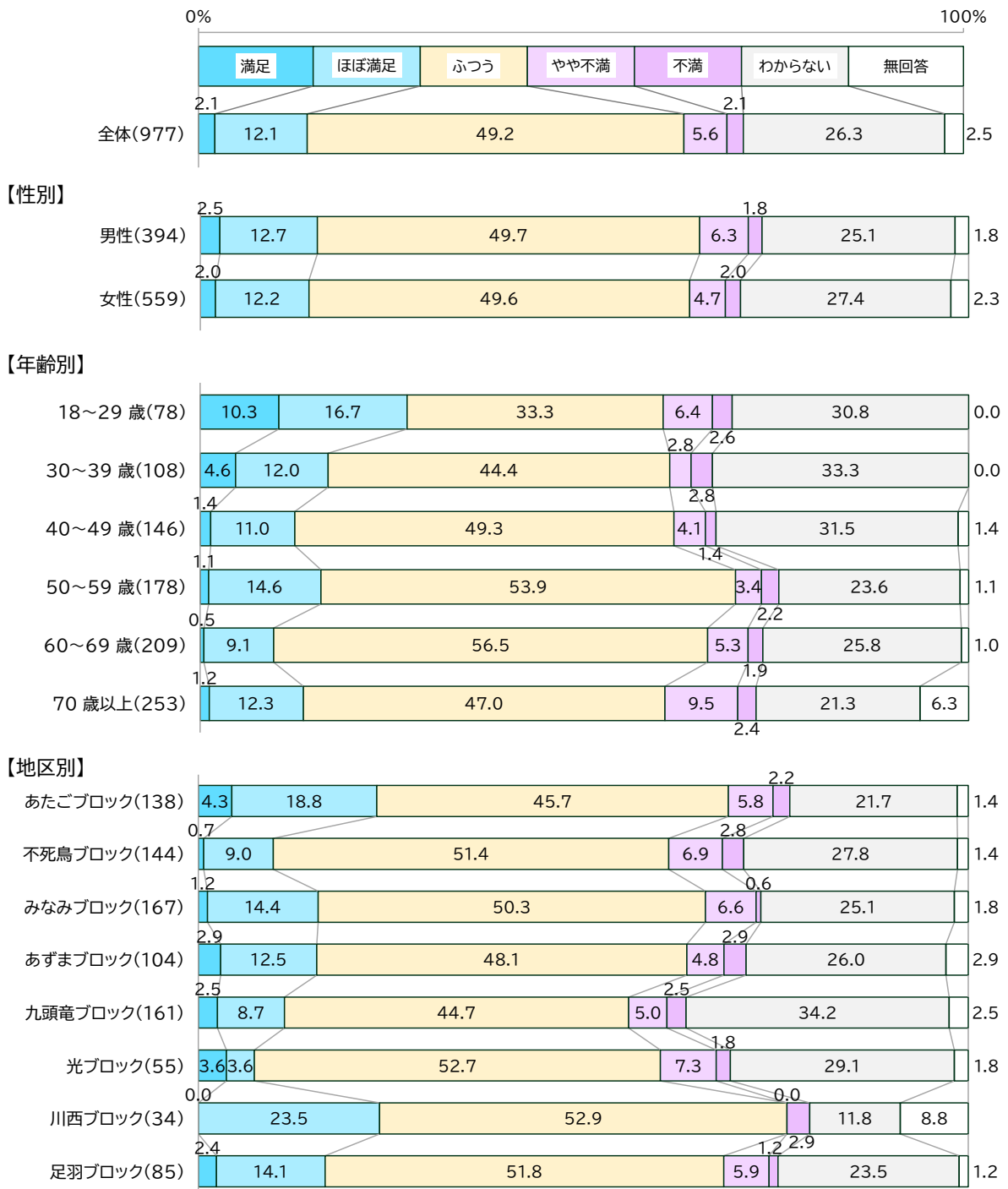
7. 環境に関する政策

(27) 市民グループ等の緑化活動への支援、自然や生き物の保全・再生活動の支援

「18～29歳」「川西ブロック」「あたごブロック」の満足度が高い

満足度は14.2%、不満度は7.7%と、満足度が不満度より6.5ポイント高くなっている。

年齢別に見ると、満足度は、18～29歳(27.0%)が最も高く、60～69歳(9.6%)が最も低い。地区別では、満足度は、川西ブロック(23.5%)、あたごブロック(23.1%)が高くなっている。



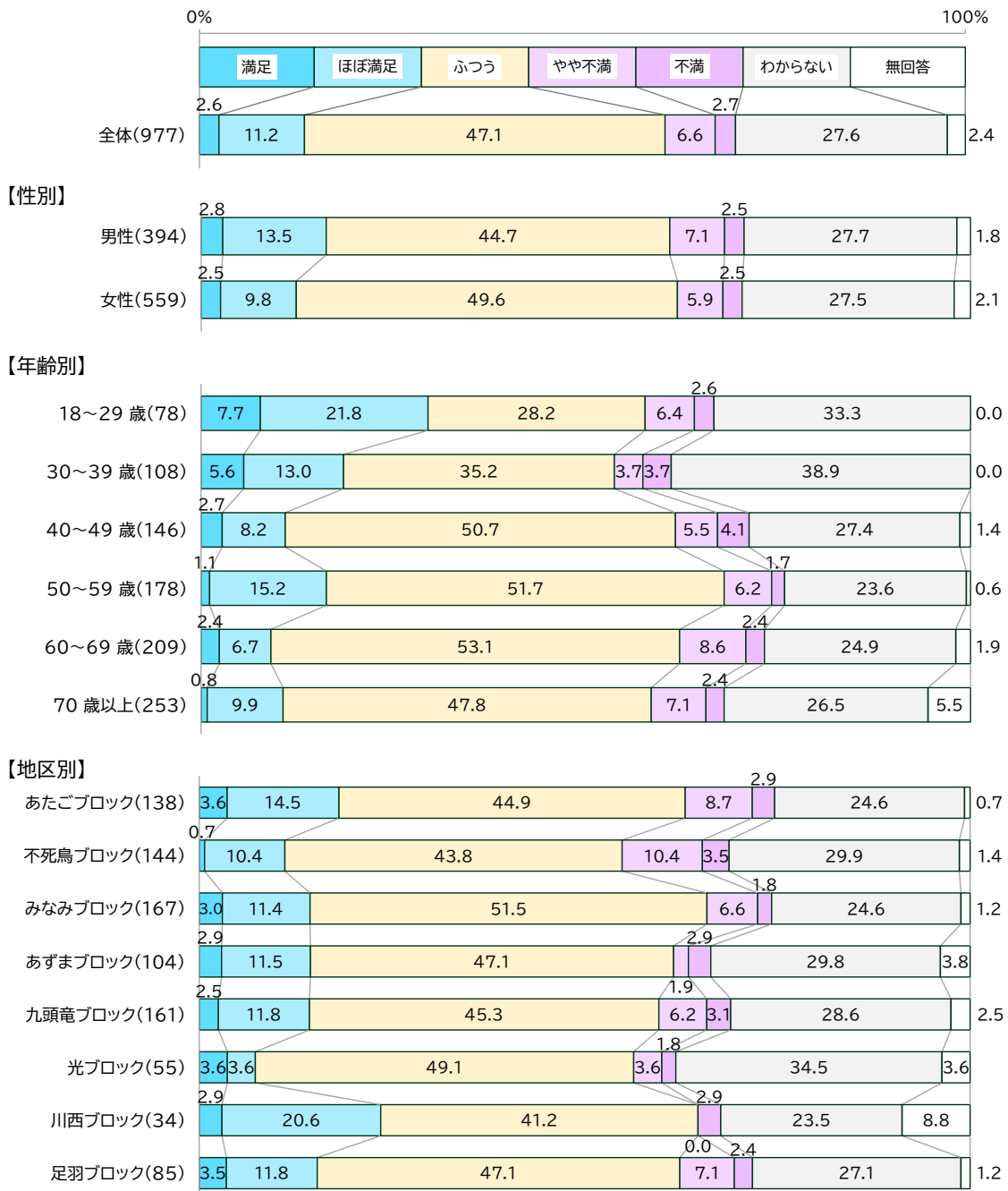
7. 環境に関する政策

(28) 地域や学校などでの環境学習や啓発、企業交流会などによる環境活動の活発化

「18～29 歳」の満足度が高い

満足度は 13.8%、不満度は 9.3%と、満足度が不満度より 4.5 ポイント高くなっている。

年齢別に見ると、満足度は、18～29 歳 (29.5%) が最も高く、60～69 歳 (9.1%) が最も低い。地区別では、不満度は、不死鳥ブロック (13.9%) が最も高くなっている。

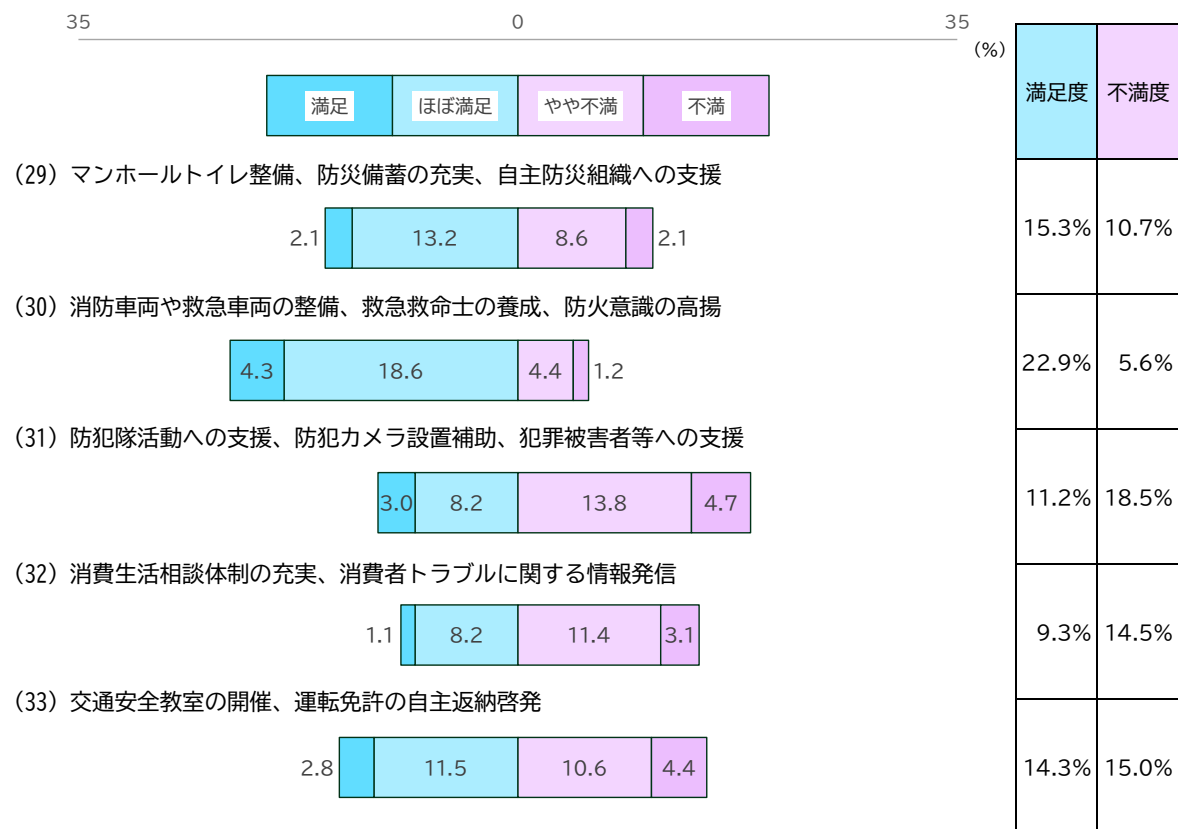


Ⅱ 住みよいまち

8. 防災、安全安心に関する政策

満足度は、高い順に「(30) 消防車両や救急車両の整備、救急救命士の養成、防火意識の高揚」(22.9%)、「(29) マンホールトイレ整備、防災備蓄の充実、自主防災組織への支援」(15.3%)、「(33) 交通安全教室の開催、運転免許の自主返納啓発」(14.3%)、「(31) 防犯隊活動への支援、防犯カメラ設置補助、犯罪被害者等への支援」(11.2%)、「(32) 消費生活相談体制の充実、消費者トラブルに関する情報発信」(9.3%)となっている。

また、不満度は、高い順に「(31) 防犯隊活動への支援、防犯カメラ設置補助、犯罪被害者等への支援」(18.5%)、「(33) 交通安全教室の開催、運転免許の自主返納啓発」(15.0%)、「(32) 消費生活相談体制の充実、消費者トラブルに関する情報発信」(14.5%)、「(29) マンホールトイレ整備、防災備蓄の充実、自主防災組織への支援」(10.7%)、「(30) 消防車両や救急車両の整備、救急救命士の養成、防火意識の高揚」(5.6%)となっている。



SA(N=977)

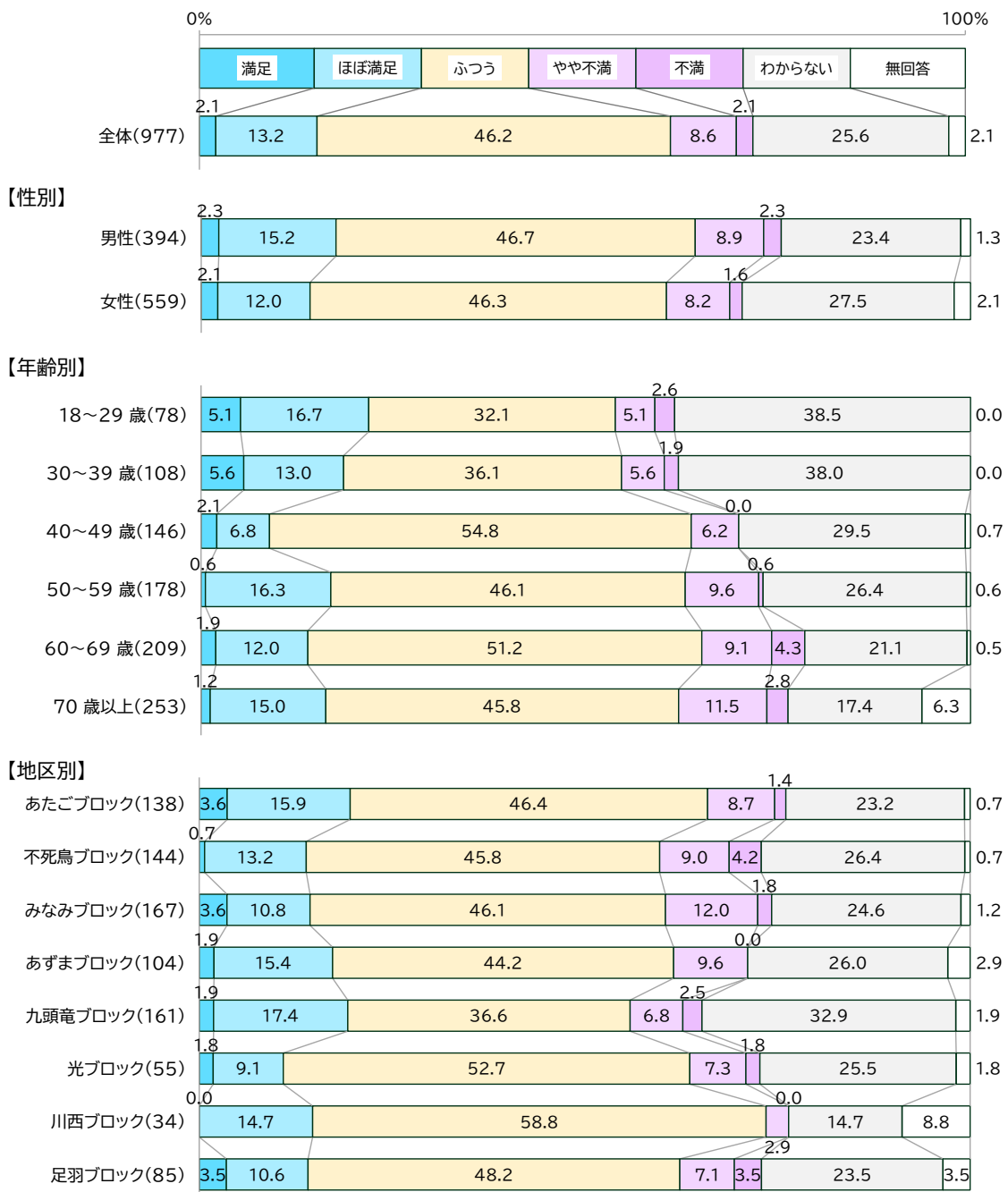
8. 防災、安全安心に関する政策

(29) マンホールトイレ整備、防災備蓄の充実、自主防災組織への支援

「40～49歳」の満足度が低い

満足度は15.3%、不満度は10.7%と、満足度が不満度より4.6ポイント高くなっている。

年齢別に見ると、満足度は、40～49歳（8.9%）が最も低い。また、「わからない」は若い世代ほどその割合が高くなる傾向がみられる。

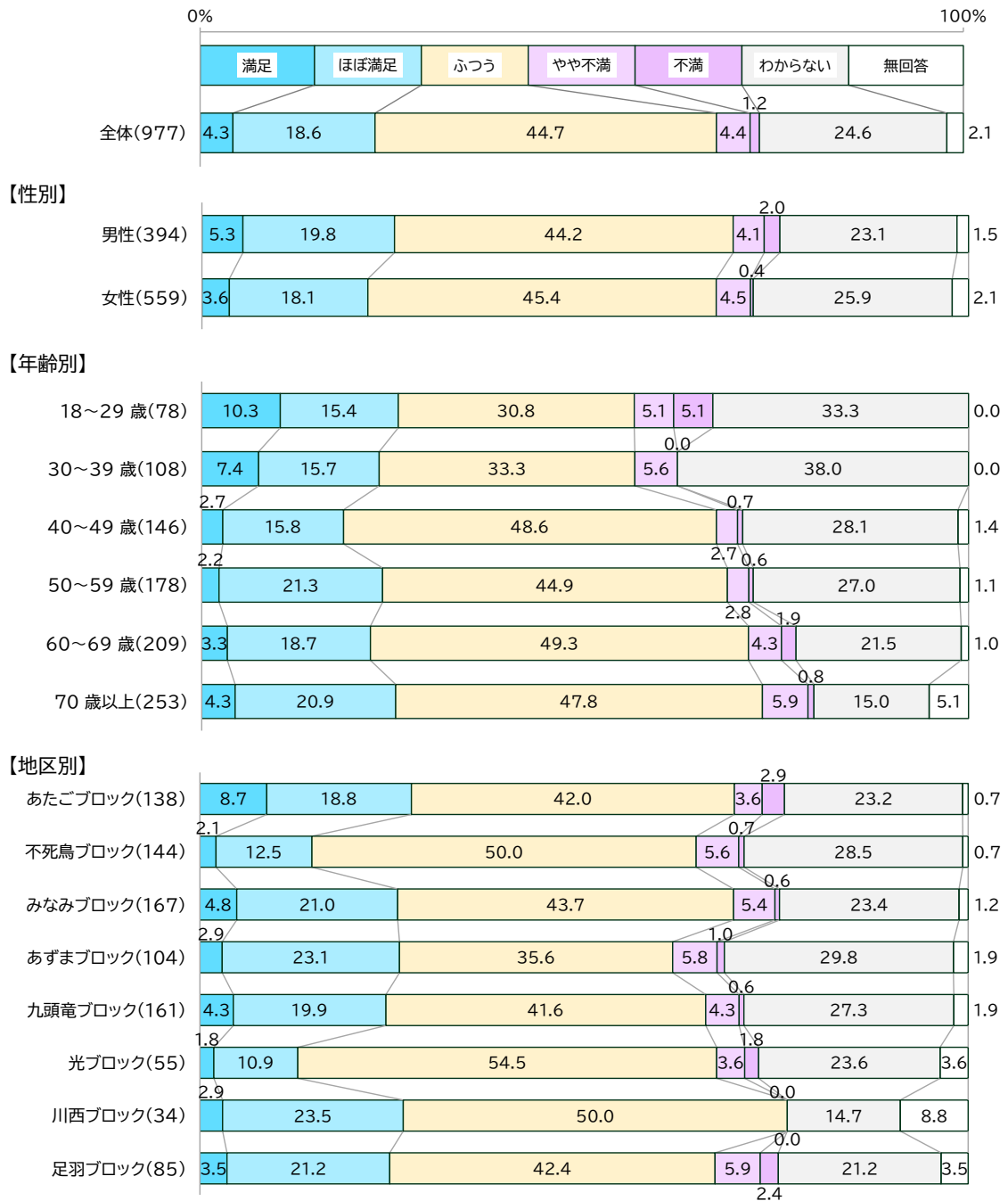


8. 防災、安全安心に関する政策

(30) 消防車両や救急車両の整備、救急救命士の養成、防火意識の高揚

「光ブロック」「不死鳥ブロック」の満足度が低い

満足度は22.9%、不満度は5.6%と、満足度が不満度より17.3ポイント高くなっている。地区別では、満足度は、「光ブロック」(12.7%)、不死鳥ブロック(14.6%)が低い。



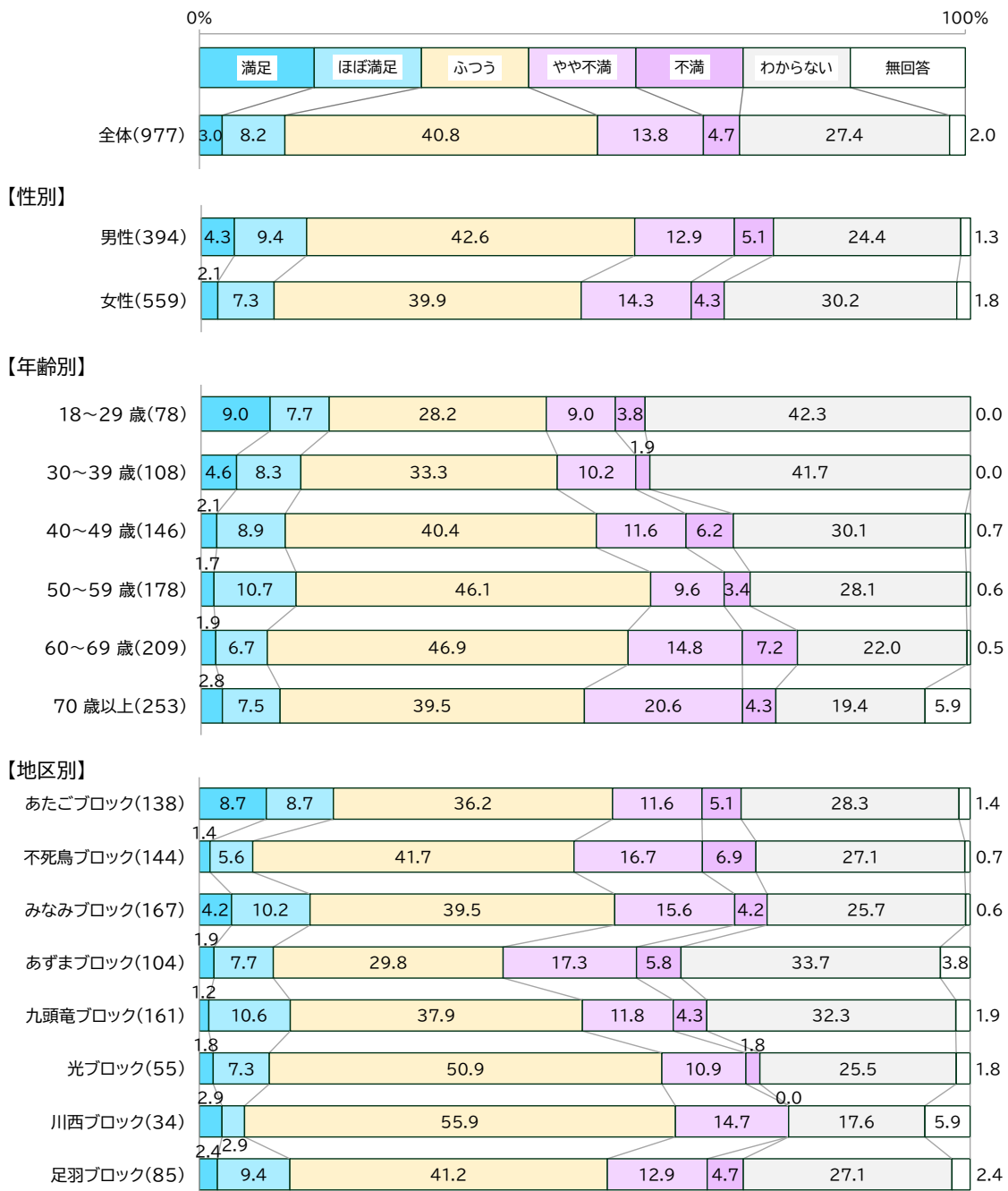
8. 防災、安全安心に関する政策

(31) 防犯隊活動への支援、防犯カメラ設置補助、犯罪被害者等への支援

「70歳以上」の不満足度が高い

満足度は11.2%、不満足度は18.5%と、不満足度が満足度より7.3ポイント高くなっている。

性別では、満足度は、男性（13.7%）が女性（9.4%）より4.3ポイント高い。年齢別に見ると、不満足度は、70歳以上（24.9%）が最も高くなっている。地区別では、満足度は、あたごブロック（17.4%）が最も高い。



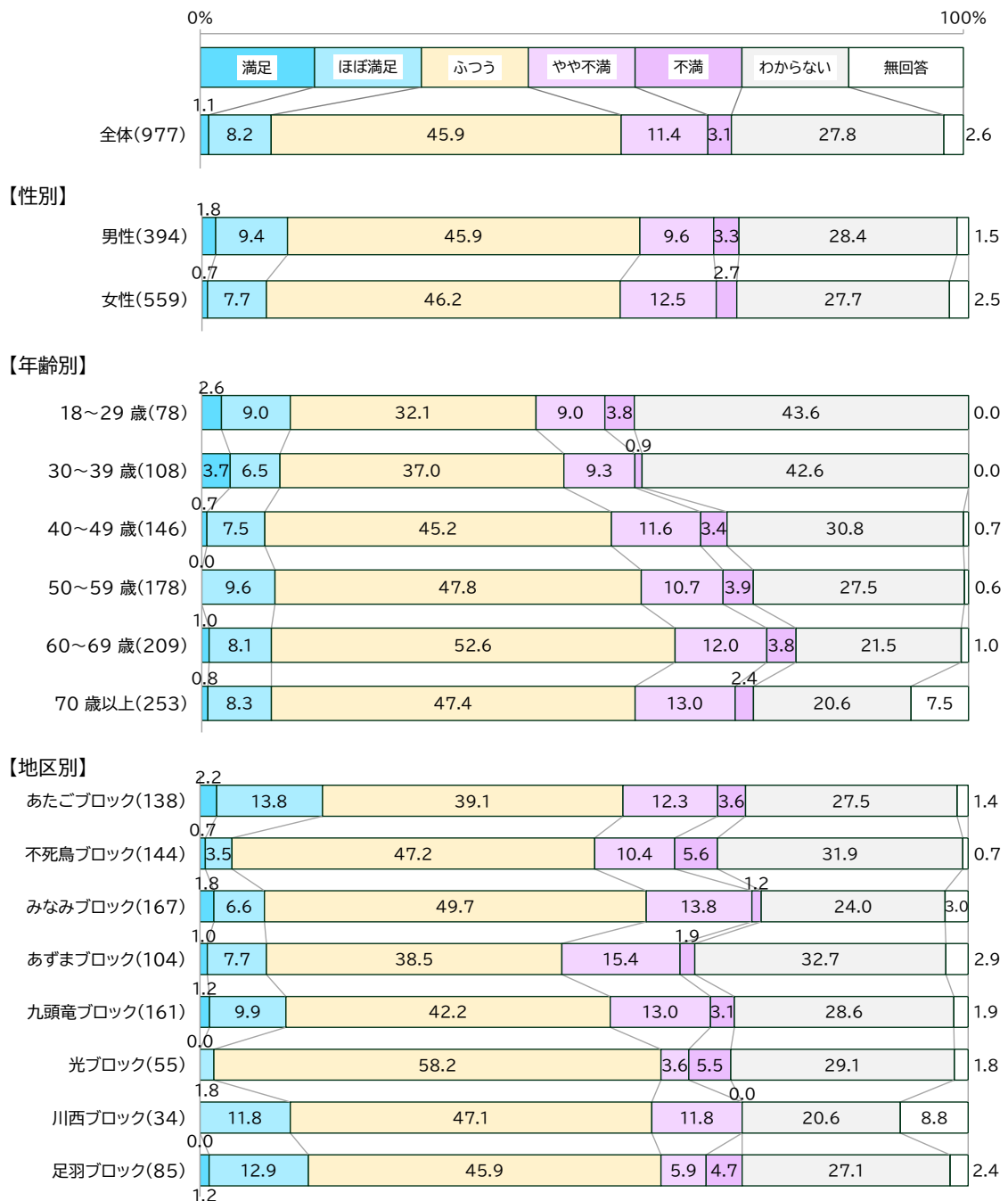
8. 防災、安全安心に関する政策

(32) 消費生活相談体制の充実、消費者トラブルに関する情報発信

「あたごブロック」の満足度が高い

満足度は9.3%、不満度は14.5%と、不満度が満足度より5.2ポイント高くなっている。

年齢別に見ると、「わからない」は、若い世代ほどその割合が高くなる傾向がみられる。地区別では、満足度は、あたごブロック（16.0%）が最も高く、光ブロック（1.8%）、不死鳥ブロック（4.2%）が低い。



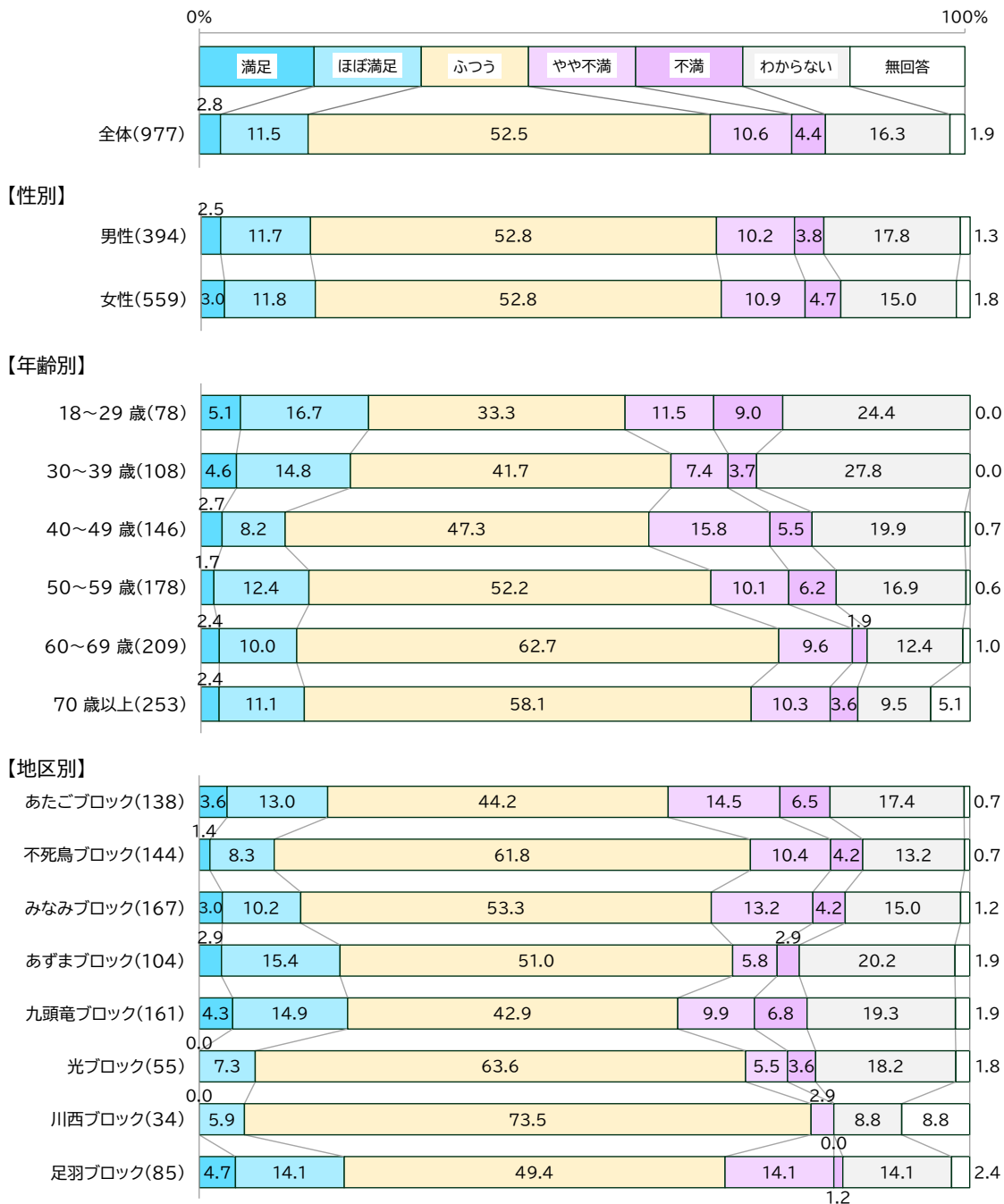
8. 防災、安全安心に関する政策

(33) 交通安全教室の開催、運転免許の自主返納啓発

「40～49 歳」「あたごブロック」の不満度が高い

満足度は 14.3%、不満度は 15.0%と、不満度が満足度より 0.7 ポイント高くなっている。

年齢別に見ると、不満度は、40～49 歳（21.3%）が最も高い。地区別では、不満度は、あたごブロック（21.0%）が最も高く、川西ブロック（2.9%）が最も低くなっている。

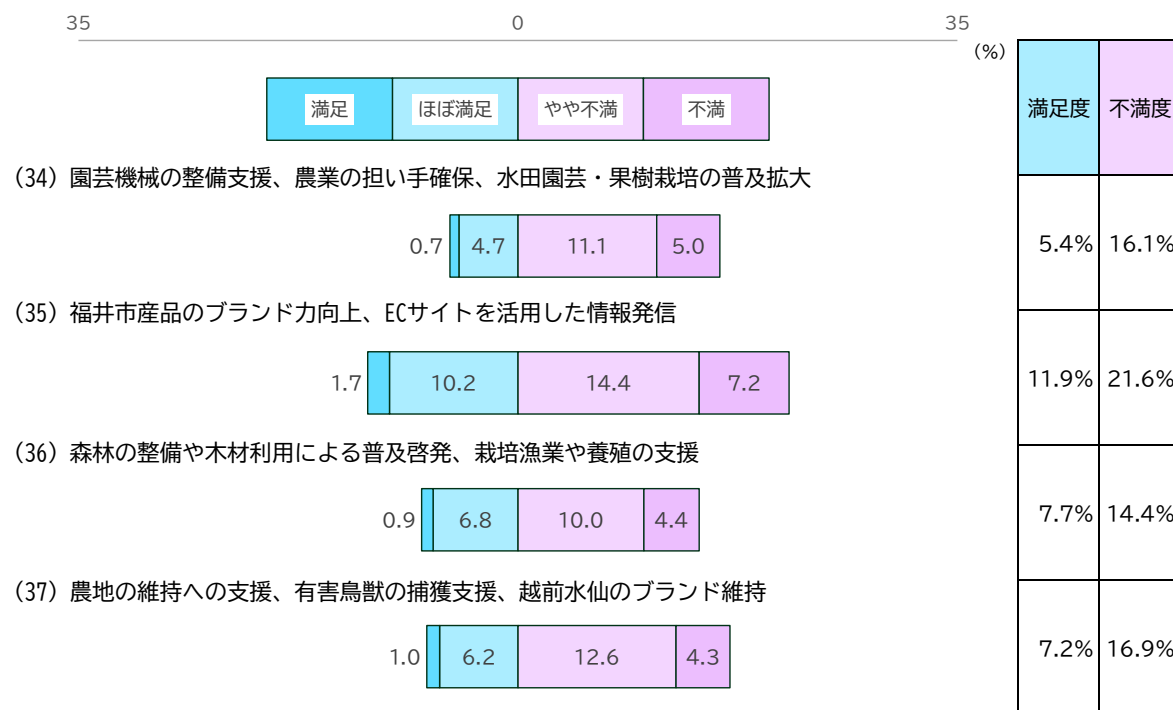


Ⅲ 生き活きと働くまち

9. 農林水産業に関する政策

満足度は、高い順に「(35) 福井市産品のブランド力向上、EC サイトを活用した情報発信」(11.9%)、「(36) 森林の整備や木材利用による普及啓発、栽培漁業や養殖の支援」(7.7%)、「(37) 農地の維持への支援、有害鳥獣の捕獲支援、越前水仙のブランド維持」(7.2%)、「(34) 園芸機械の整備支援、農業の担い手確保、水田園芸・果樹栽培の普及拡大」(5.4%) となっている。

また、不満度は、高い順に「(35) 福井市産品のブランド力向上、EC サイトを活用した情報発信」(21.6%)、「(37) 農地の維持への支援、有害鳥獣の捕獲支援、越前水仙のブランド維持」(16.9%)、「(34) 園芸機械の整備支援、農業の担い手確保、水田園芸・果樹栽培の普及拡大」(16.1%)、「(36) 森林の整備や木材利用による普及啓発、栽培漁業や養殖の支援」(14.4%) となっている。



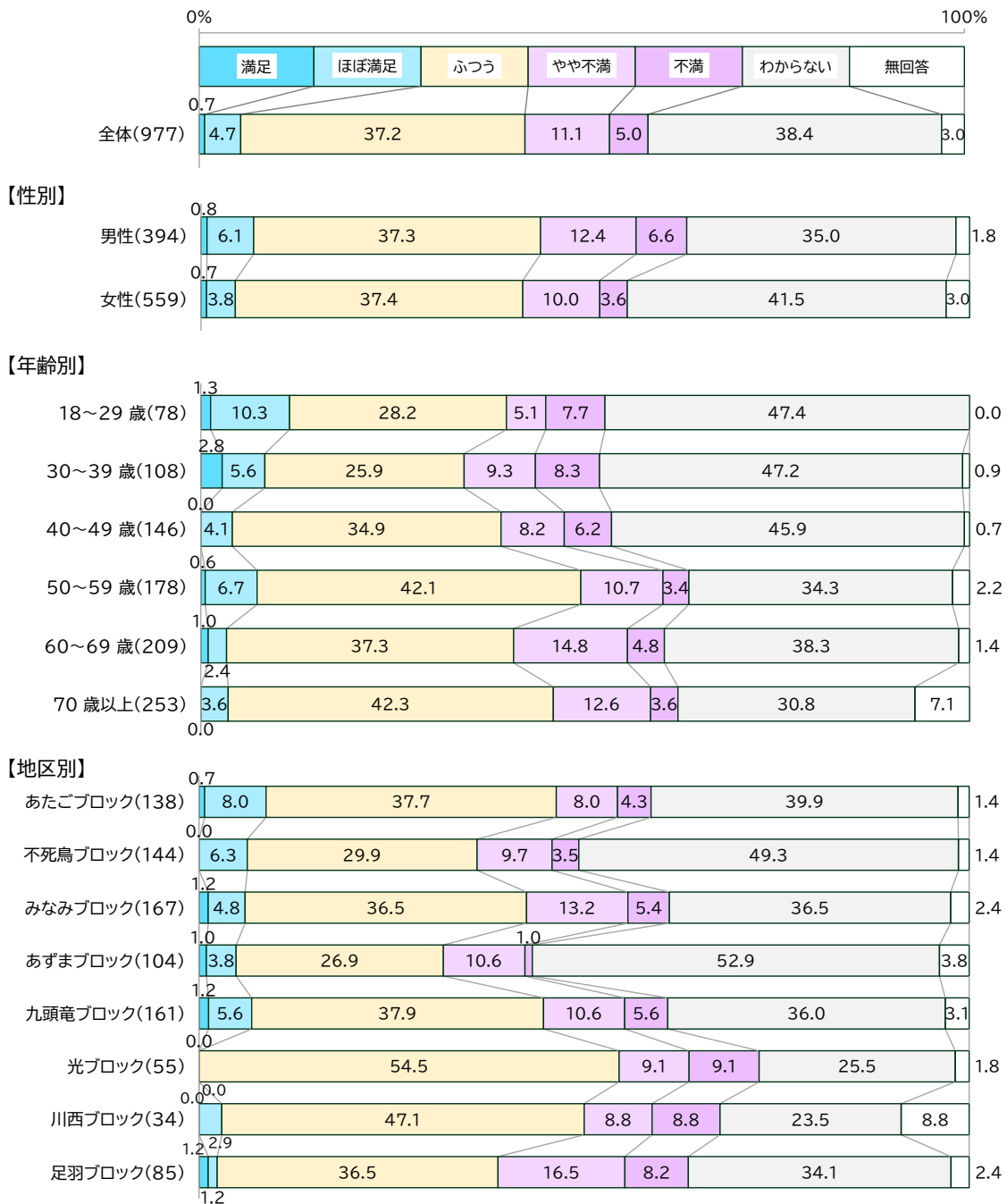
SA(N=977)

9. 農林水産業に関する政策

(34) 園芸機械の整備支援、農業の担い手確保、水田園芸・果樹栽培の普及拡大

「男性」の不満度が高い

満足度は5.4%、不満度は16.1%と、不満度が満足度より10.7ポイント高くなっている。
性別では、不満度は、男性（19.0%）が女性（13.6%）より5.4ポイント高い。年齢別に見ると、満足度は、18～29歳（11.6%）が最も高くなっている。



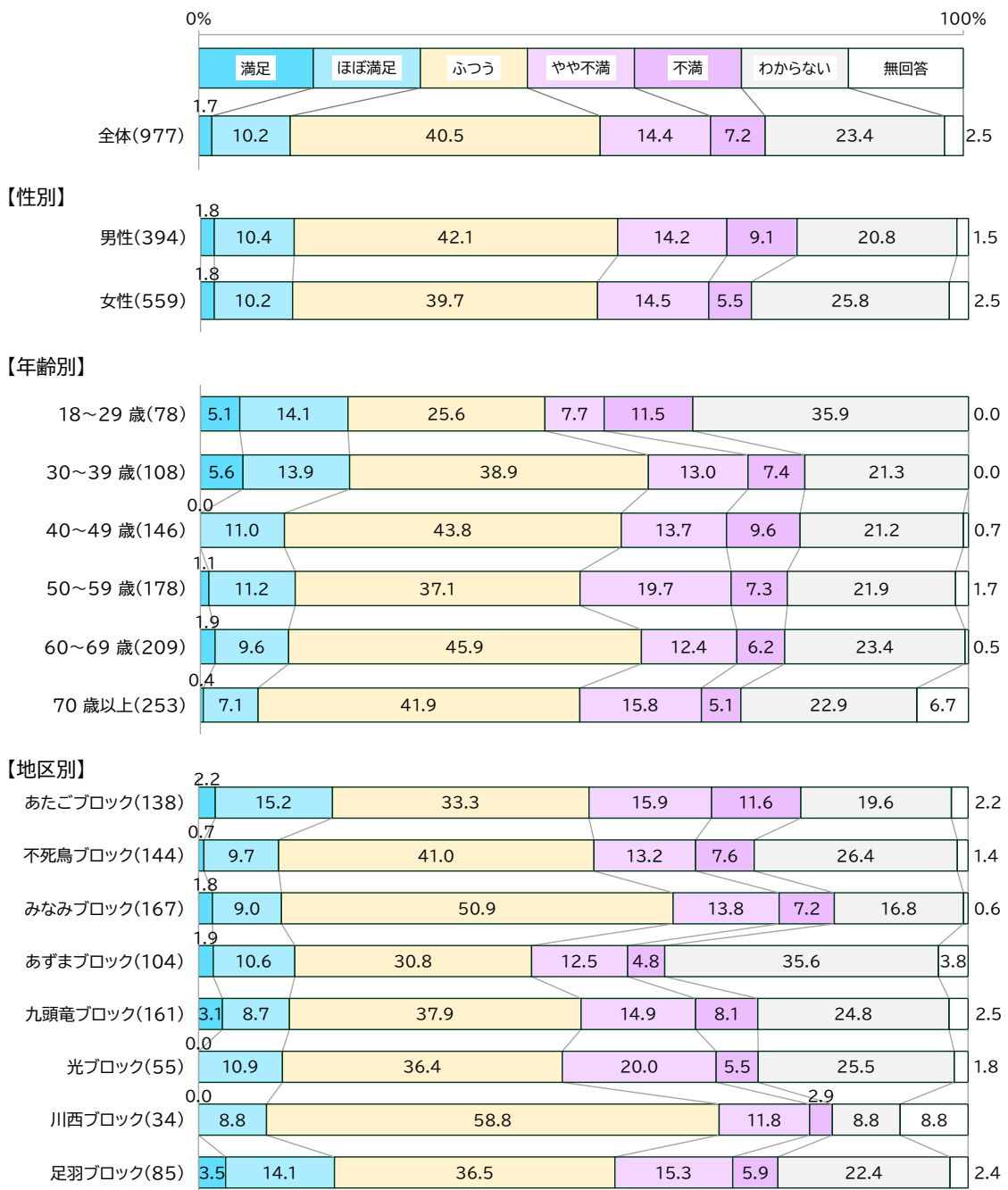
9. 農林水産業に関する政策

(35) 福井市産品のブランド力向上、ECサイトを活用した情報発信

「30～39歳」「18～29歳」の満足度が高い

満足度は11.9%、不満度は21.6%と、不満度が満足度より9.7ポイント高くなっている。

年齢別に見ると、満足度は、30～39歳（19.5%）、18～29歳（19.2%）が高く、70歳以上（7.5%）が最も低い。



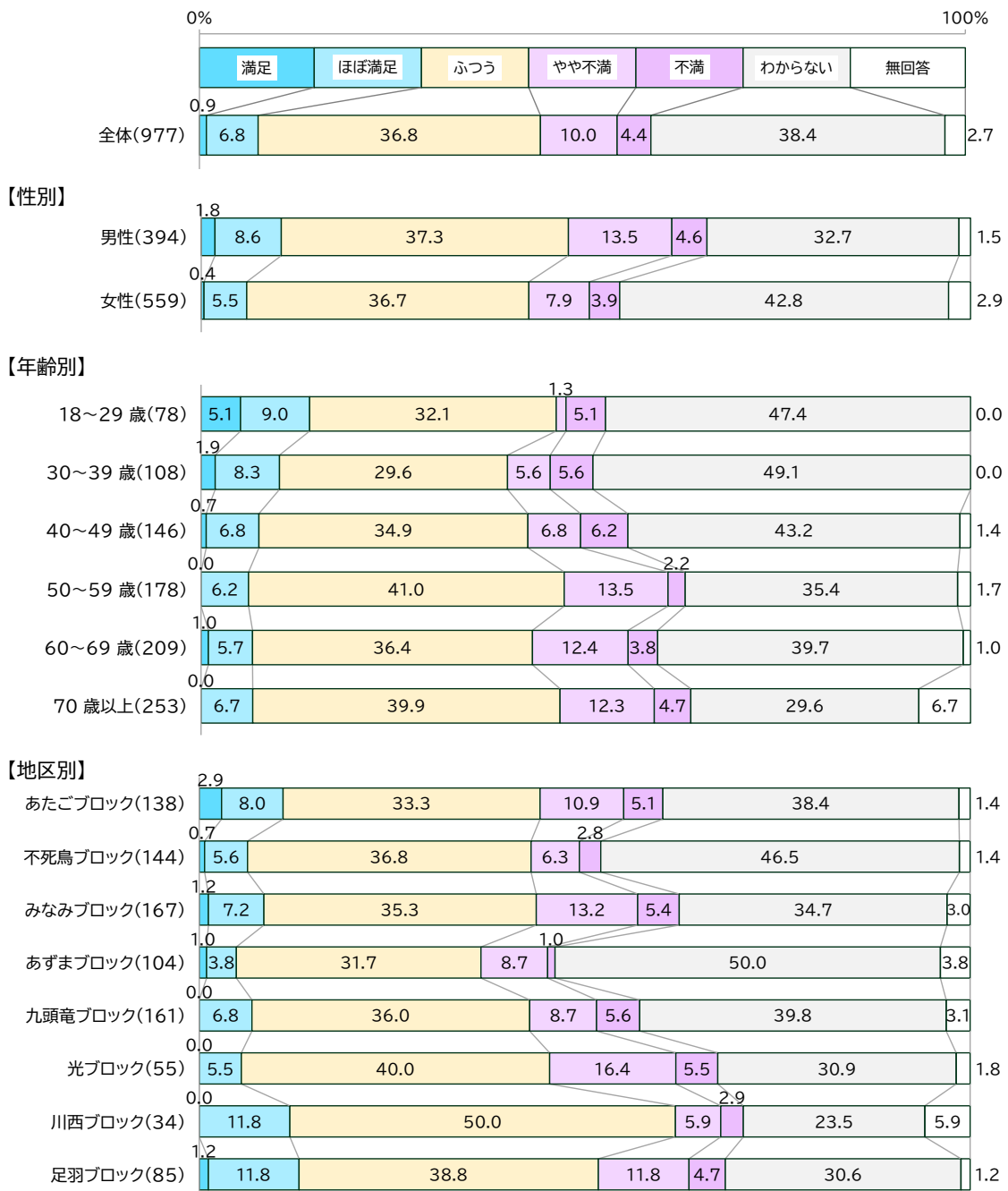
9. 農林水産業に関する政策

(36) 森林の整備や木材利用による普及啓発、栽培漁業や養殖の支援

「男性」の不満度が高い

満足度は7.7%、不満度は14.4%と、不満度が満足度より6.7ポイント高くなっている。

性別では、不満度は、男性（18.1%）が女性（11.8%）より6.3ポイント高い。年齢別に見ると、不満度は、年齢の高い世代ほどその割合が高くなる傾向がみられる。地区別では、不満度は、不死鳥ブロック（9.1%）が最も低い。



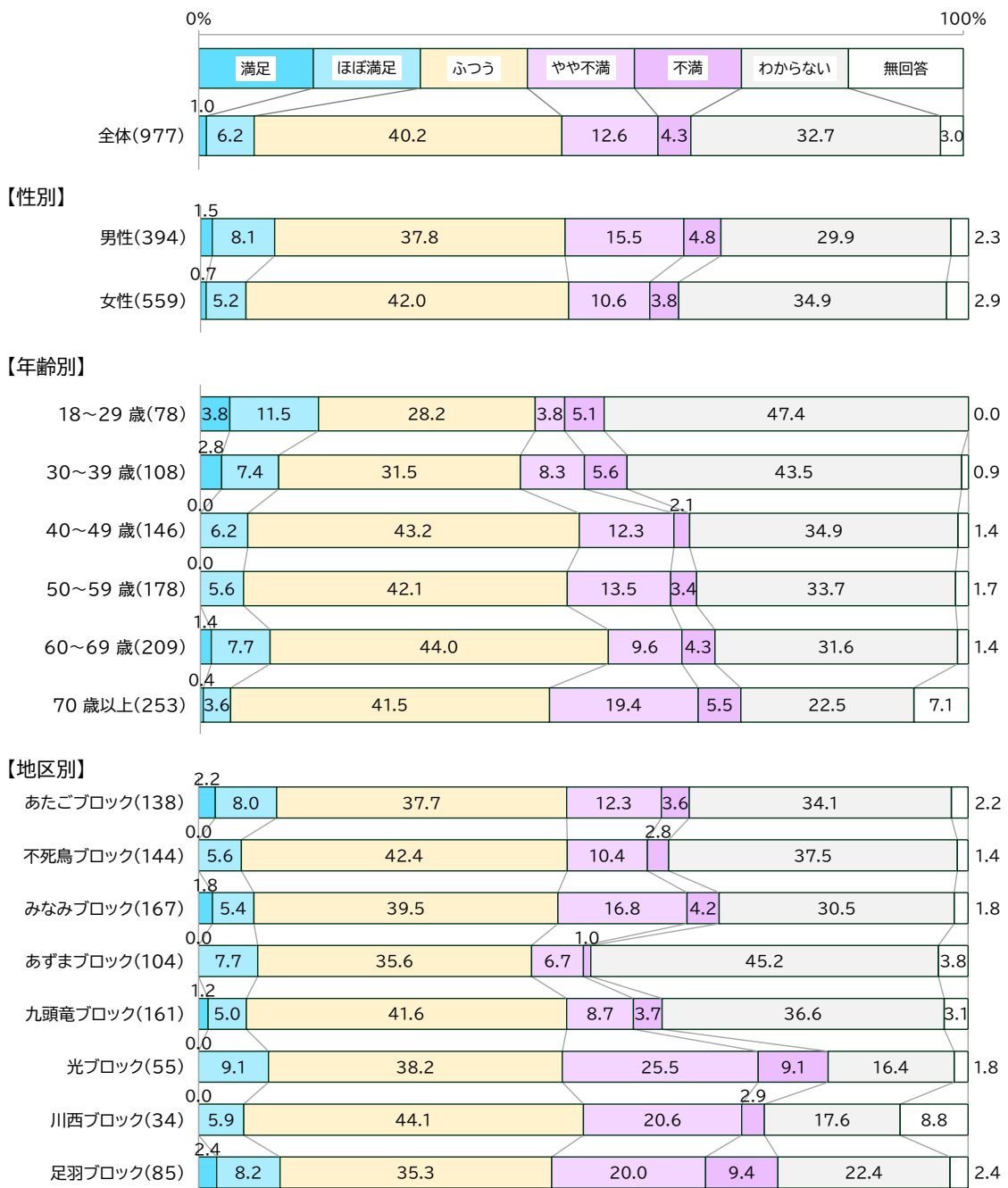
9. 農林水産業に関する政策

(37) 農地の維持への支援、有害鳥獣の捕獲支援、越前水仙のブランド維持

「男性」「70歳以上」「光ブロック」「足羽ブロック」の不満度が高い

満足度は7.2%、不満度は16.9%と、不満度が満足度より9.7ポイント高くなっている。

性別では、不満度は、男性(20.3%)が女性(14.4%)より5.9ポイント高い。年齢別に見ると、不満度は、70歳以上(24.9%)が最も高く、18~29歳(8.9%)が最も低い。地区別では、不満度は、光ブロック(34.6%)、足羽ブロック(29.4%)が高く、あずまブロック(7.7%)が最も低くなっている。

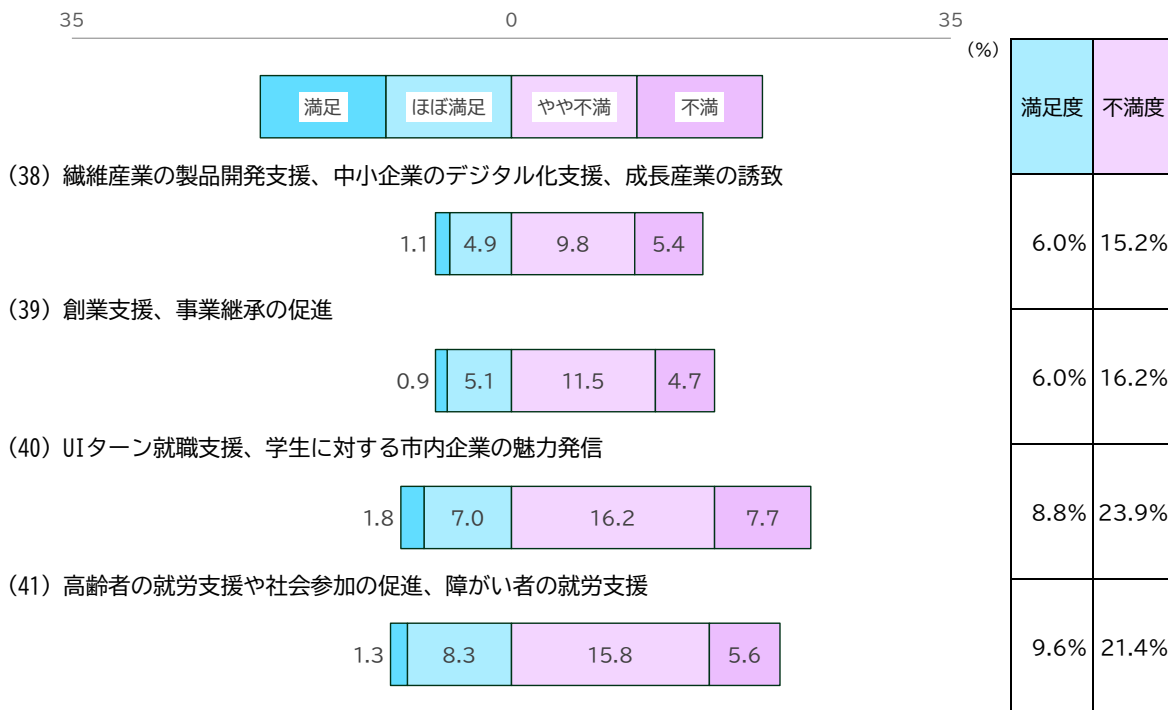


Ⅲ 生き活きと働くまち

10. 商工業に関する政策

満足度は、高い順に「(41) 高齢者の就労支援や社会参加の促進、障がい者の就労支援」(9.6%)、「(40) UI ターン就職支援、学生に対する市内企業の魅力発信」(8.8%)、「(38) 繊維産業の製品開発支援、中小企業のデジタル化支援、成長産業の誘致」(6.0%)、「(39) 創業支援、事業継承の促進」(6.0%) となっている。

また、不満度は、高い順に「(40) UI ターン就職支援、学生に対する市内企業の魅力発信」(23.9%)、「(41) 高齢者の就労支援や社会参加の促進、障がい者の就労支援」(21.4%)、「(39) 創業支援、事業継承の促進」(16.2%)、「(38) 繊維産業の製品開発支援、中小企業のデジタル化支援、成長産業の誘致」(15.2%) となっている。



SA(N=977)

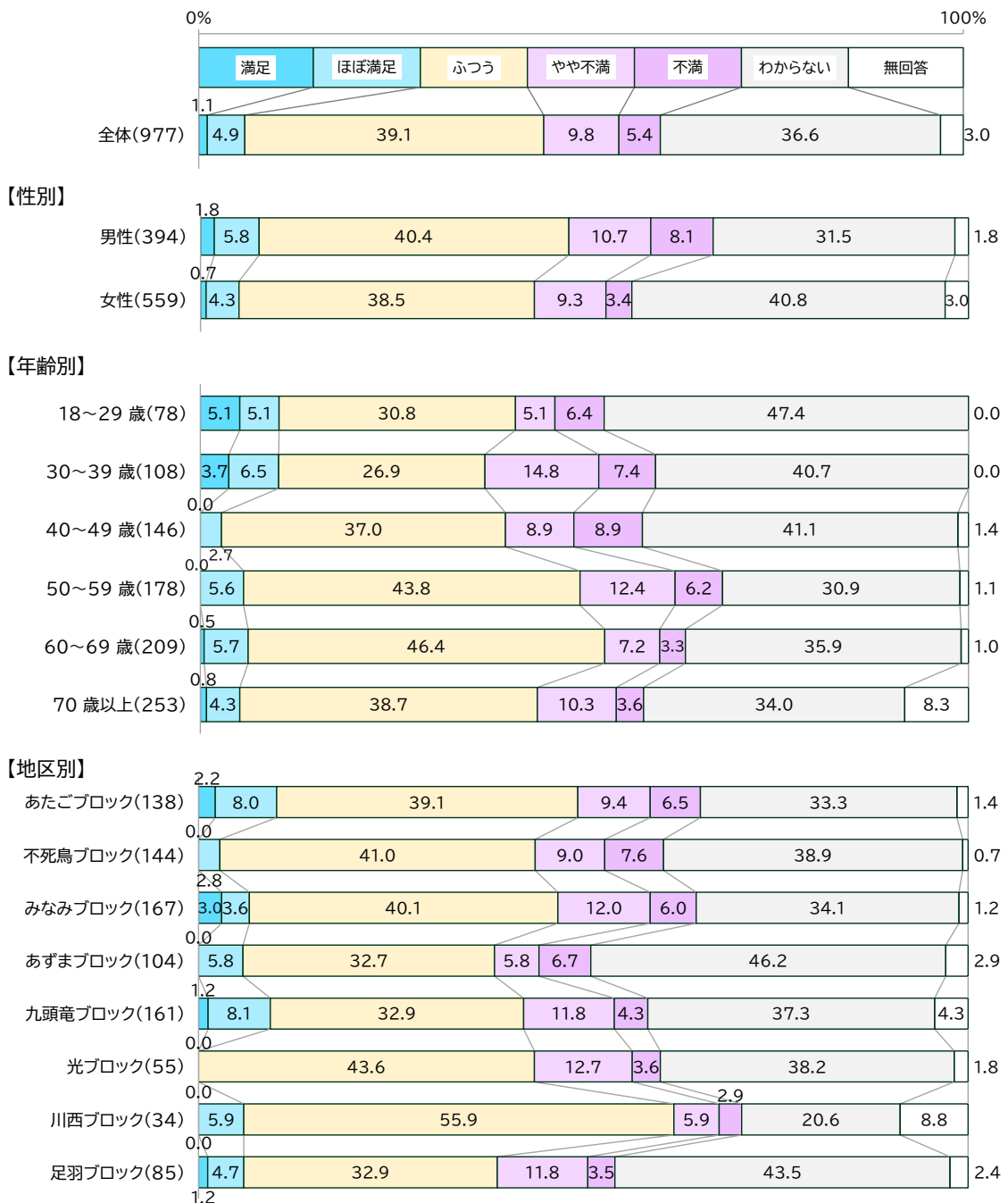
10. 商工業に関する政策

(38) 繊維産業の製品開発支援、中小企業のデジタル化支援、成長産業の誘致

「男性」「30～39歳」の不満度が高い

満足度は6.0%、不満度は15.2%と、不満度が満足度より9.2ポイント高くなっている。

性別では、不満度は、男性（18.8%）が女性（12.7%）より6.1ポイント高い。年齢別に見ると、不満度は、30～39歳（22.2%）が最も高く、60～69歳（10.5%）は最も低くなっている。地区別では、満足度は、光ブロック（0.0%）が最も低い。

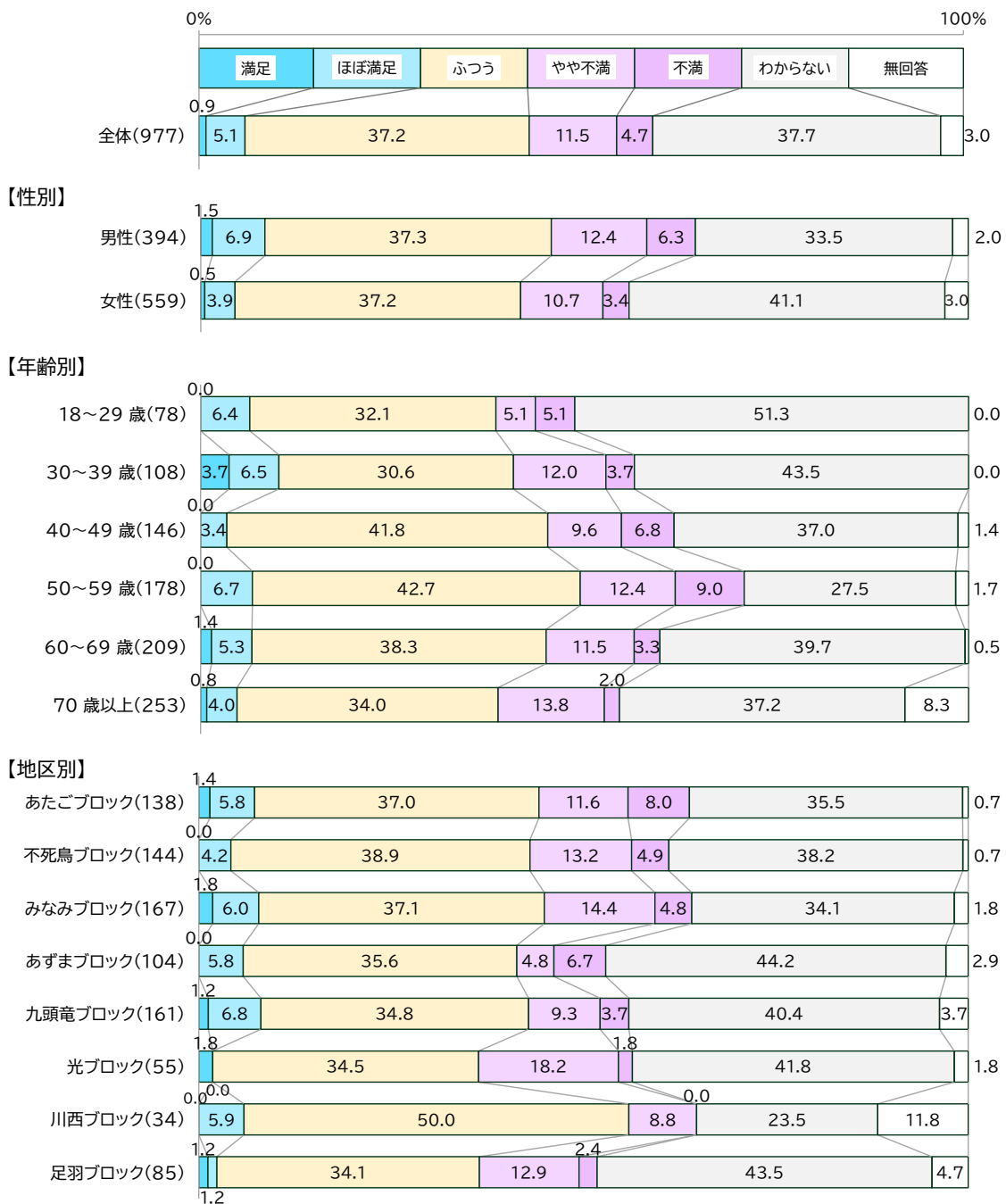


10. 商工業に関する政策

(39) 創業支援、事業継承の促進

「50～59 歳」の不満足度が高い

満足度は 6.0%、不満足度は 16.2%と、不満足度が満足度より 10.2 ポイント高くなっている。
性別では、満足度は、男性（8.4%）が女性（4.4%）より 4.0 ポイント高い。年齢別に見ると、不満足度は、50～59 歳（21.4%）が最も高くなっている。

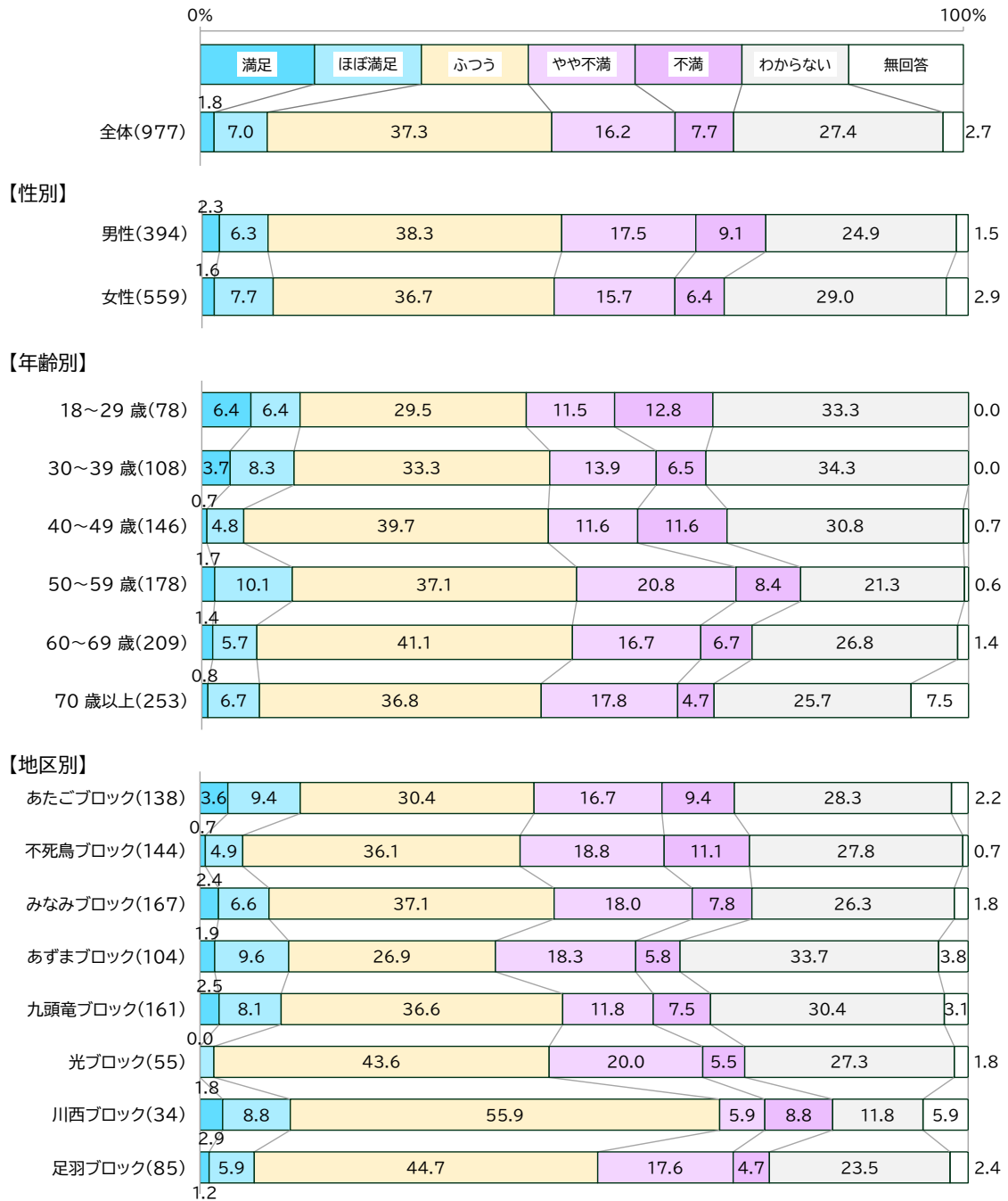


10. 商工業に関する政策

(40) UIターン就職支援、学生に対する市内企業の魅力発信

全体的に不満度が満足度より高い

満足度は8.8%、不満度は23.9%と、不満度が満足度より15.1ポイント高くなっている。



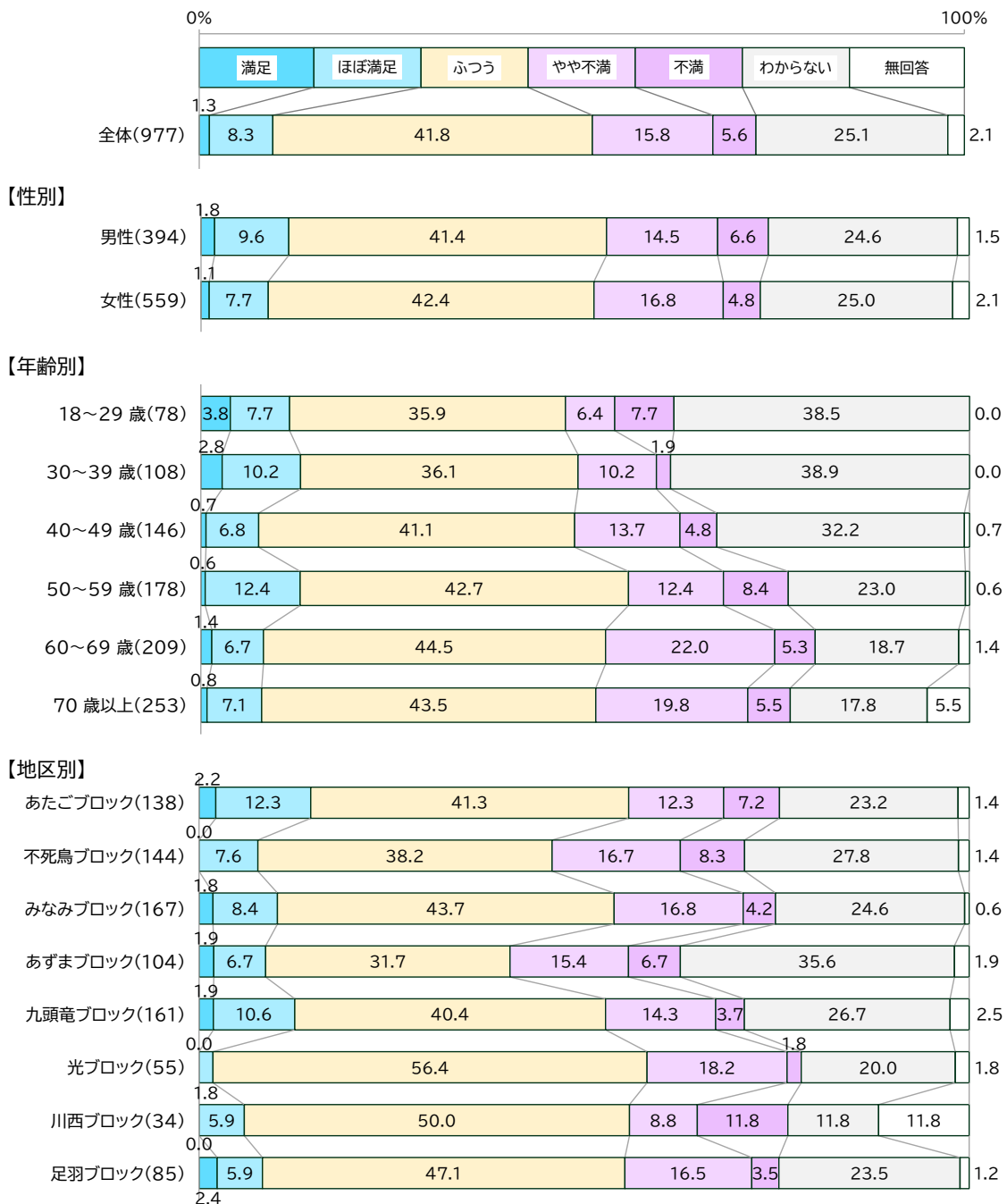
10. 商工業に関する政策

(41) 高齢者の就労支援や社会参加の促進、障がい者の就労支援

「60～69歳」の不満度が高い

満足度は9.6%、不満度は21.4%と、不満度が満足度より11.8ポイント高くなっている。

年齢別に見ると、不満度は、60～69歳(27.3%)が最も高く、30～39歳(12.1%)は最も低い。地区別では、満足度は、あたごブロック(14.5%)が最も高く、光ブロック(1.8%)が最も低くなっている。

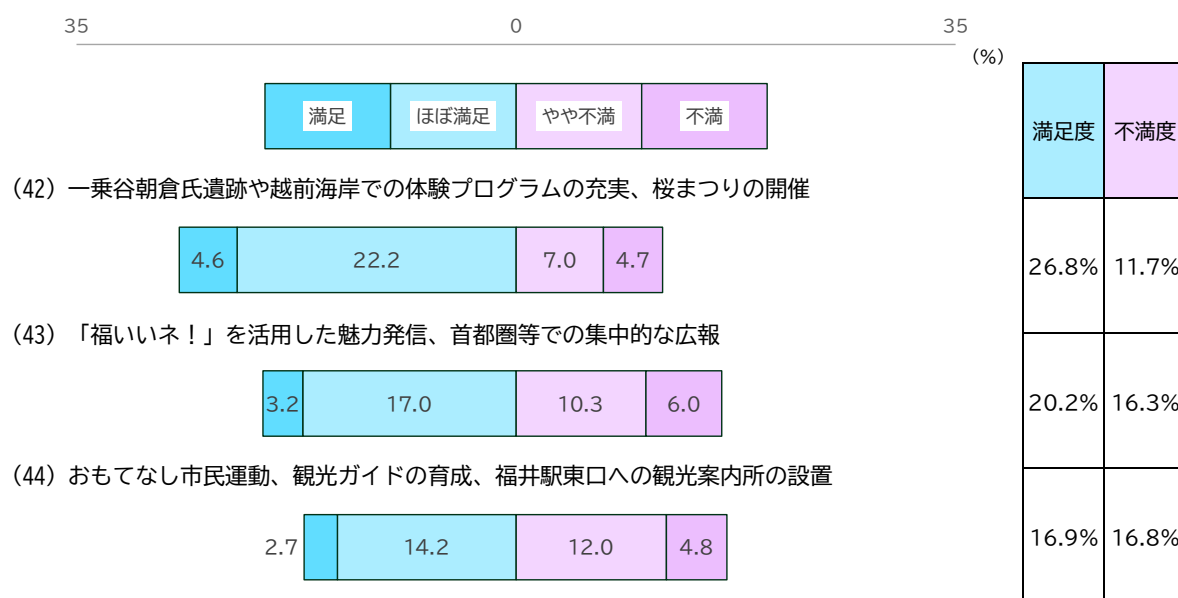


Ⅲ 生き生きと働くまち

11. 観光に関する政策

満足度は、高い順に「(42) 一乗谷朝倉氏遺跡や越前海岸での体験プログラムの充実、桜まつりの開催」(26.8%)、「(43) 「福いいネ！」を活用した魅力発信、首都圏等での集中的な広報」(20.2%)、「(44) おもてなし市民運動、観光ガイドの育成、福井駅東口への観光案内所の設置」(16.9%)となっている。

また、不満度は、高い順に「(44) おもてなし市民運動、観光ガイドの育成、福井駅東口への観光案内所の設置」(16.8%)、「(43) 「福いいネ！」を活用した魅力発信、首都圏等での集中的な広報」(16.3%)、「(42) 一乗谷朝倉氏遺跡や越前海岸での体験プログラムの充実、桜まつりの開催」(11.7%)となっている。



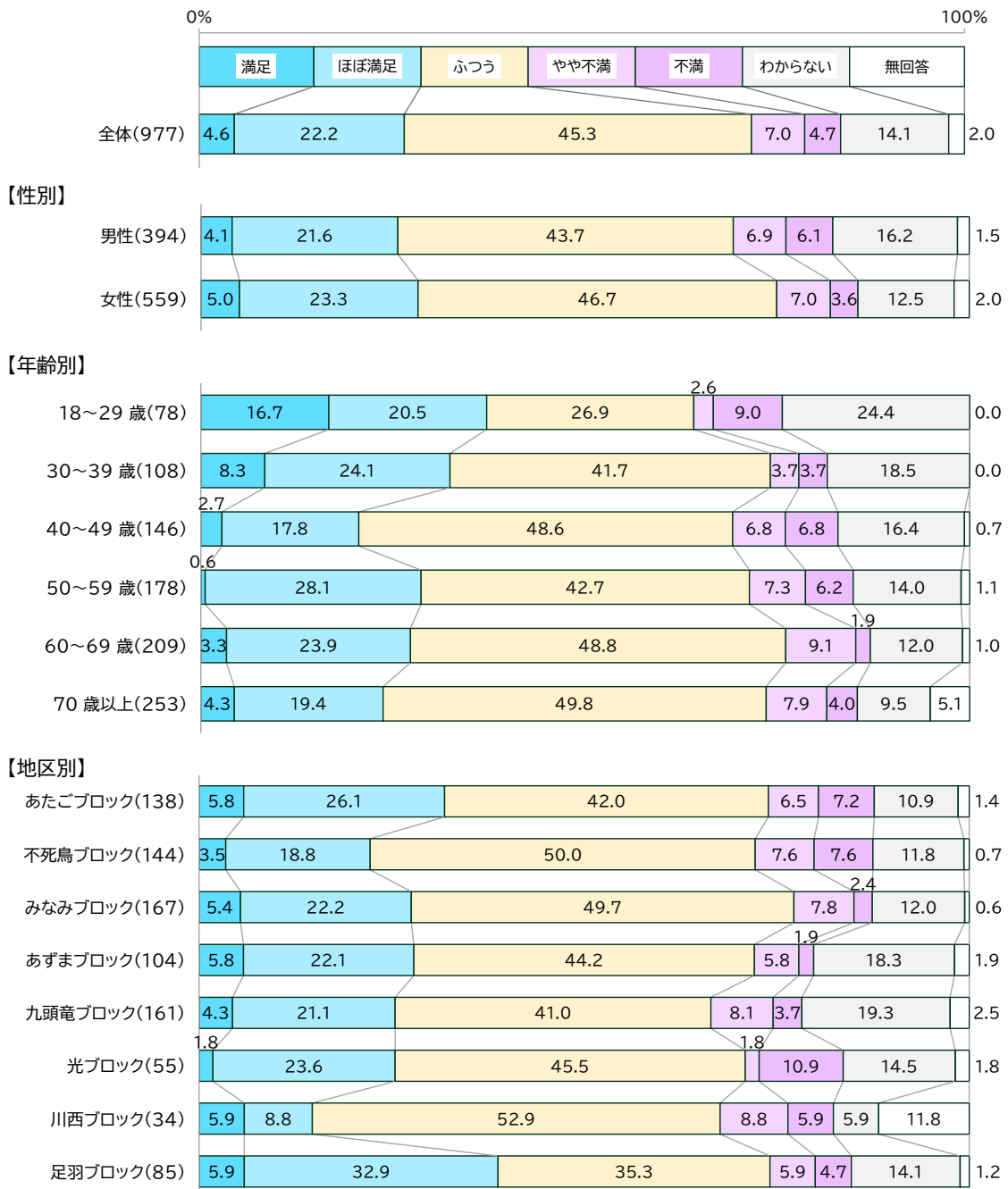
SA(N=977)

11. 観光に関する政策

(42) 一乗谷朝倉氏遺跡や越前海岸での体験プログラムの充実、桜まつりの開催

「18～29 歳」「足羽ブロック」の満足度が高い

満足度は 26.8%、不満度は 11.7%と、満足度が不満度より 15.1 ポイント高くなっている。
 年齢別に見ると、満足度は、18～29 歳（37.2%）が最も高い。地区別では、満足度は、足羽ブロック（38.8%）が最も高くなっている。



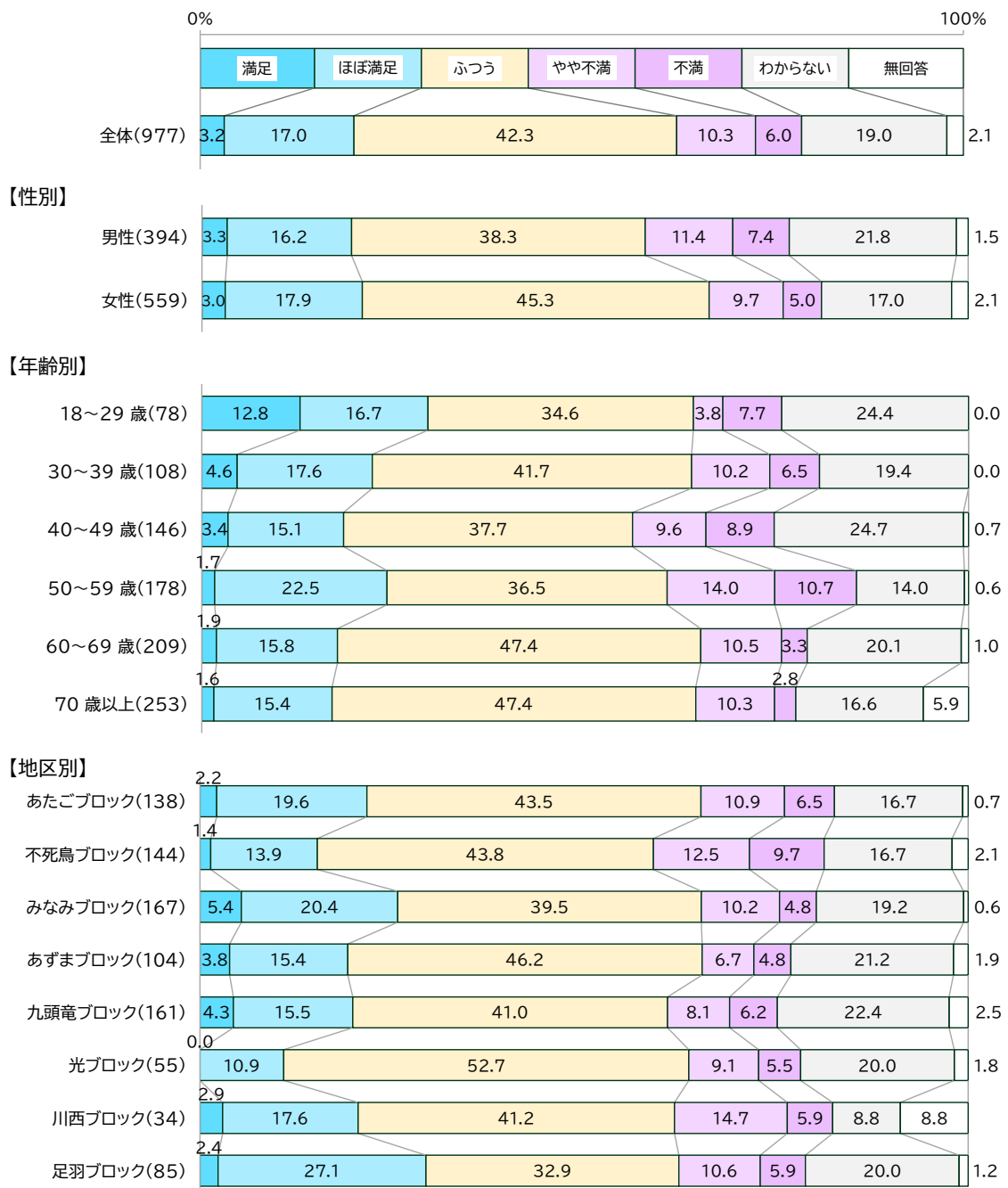
11. 観光に関する政策

(43) 「福いいネ！」を活用した魅力発信、首都圏等での集中的な広報

「18～29 歳」「足羽ブロック」の満足度が高い

満足度は 20.2%、不満度は 16.3%と、満足度が不満度より 3.9 ポイント高くなっている。

年齢別に見ると、満足度は、18～29 歳（29.5%）が最も高い。地区別では、満足度は、足羽ブロック（29.5%）が最も高くなっている。

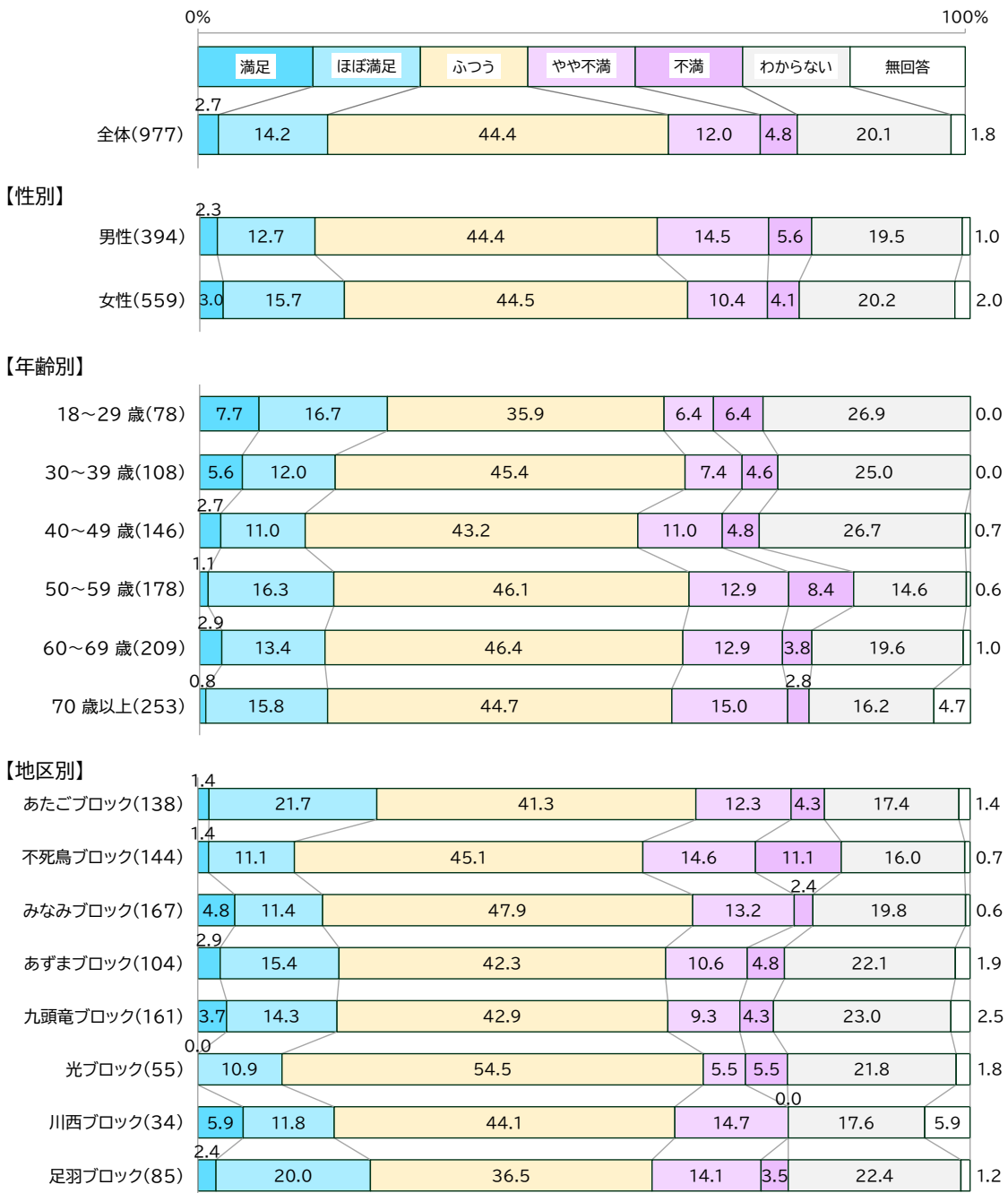


11. 観光に関する政策

(44) おもてなし市民運動、観光ガイドの育成、福井駅東口への観光案内所の設置

「男性」「不死鳥ブロック」の不満度が高い

満足度は16.9%、不満度は16.8%と、満足度が不満度より0.1ポイント高くなっている。
性別では、不満度は、男性(20.1%)が女性(14.5%)より5.6ポイント高い。地区別では、不満度は、不死鳥ブロック(25.7%)が最も高くなっている。

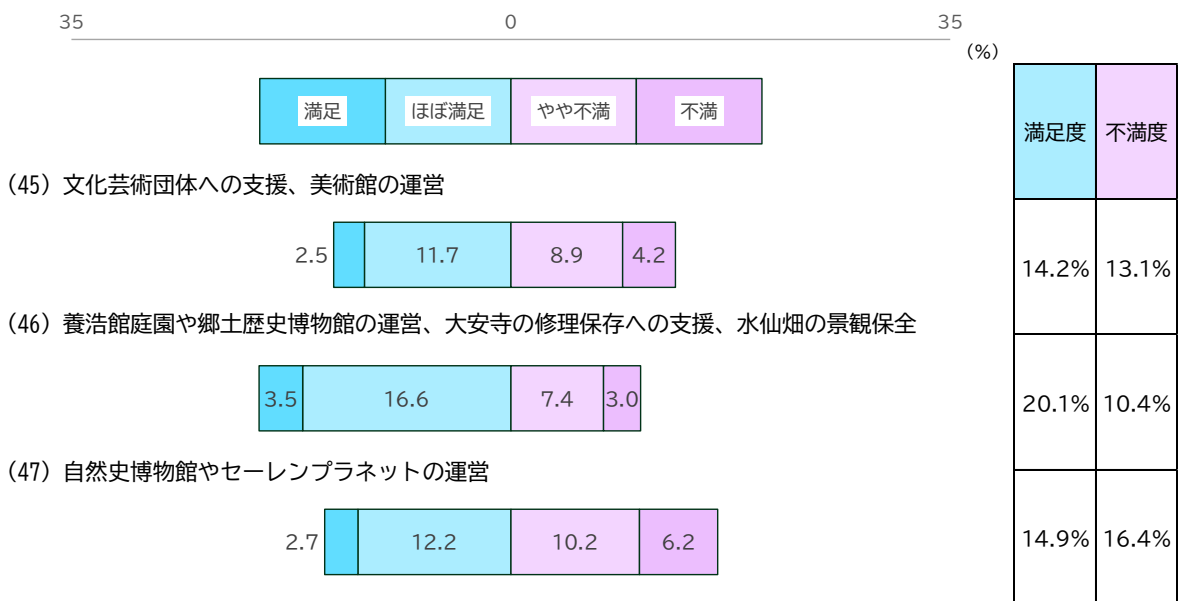


IV 学び成長するまち

12. 文化、歴史、自然に関する政策

満足度は、高い順に「(46) 養浩館庭園や郷土歴史博物館の運営、大安寺の修理保存への支援、水仙畑の景観保全」(20.1%)、「(47) 自然史博物館やセーレンプラネットの運営」(14.9%)、「(45) 文化芸術団体への支援、美術館の運営」(14.2%)となっている。

また、不満度は、高い順に「(47) 自然史博物館やセーレンプラネットの運営」(16.4%)、「(45) 文化芸術団体への支援、美術館の運営」(13.1%)、「(46) 養浩館庭園や郷土歴史博物館の運営、大安寺の修理保存への支援、水仙畑の景観保全」(10.4%)となっている。



SA(N=977)

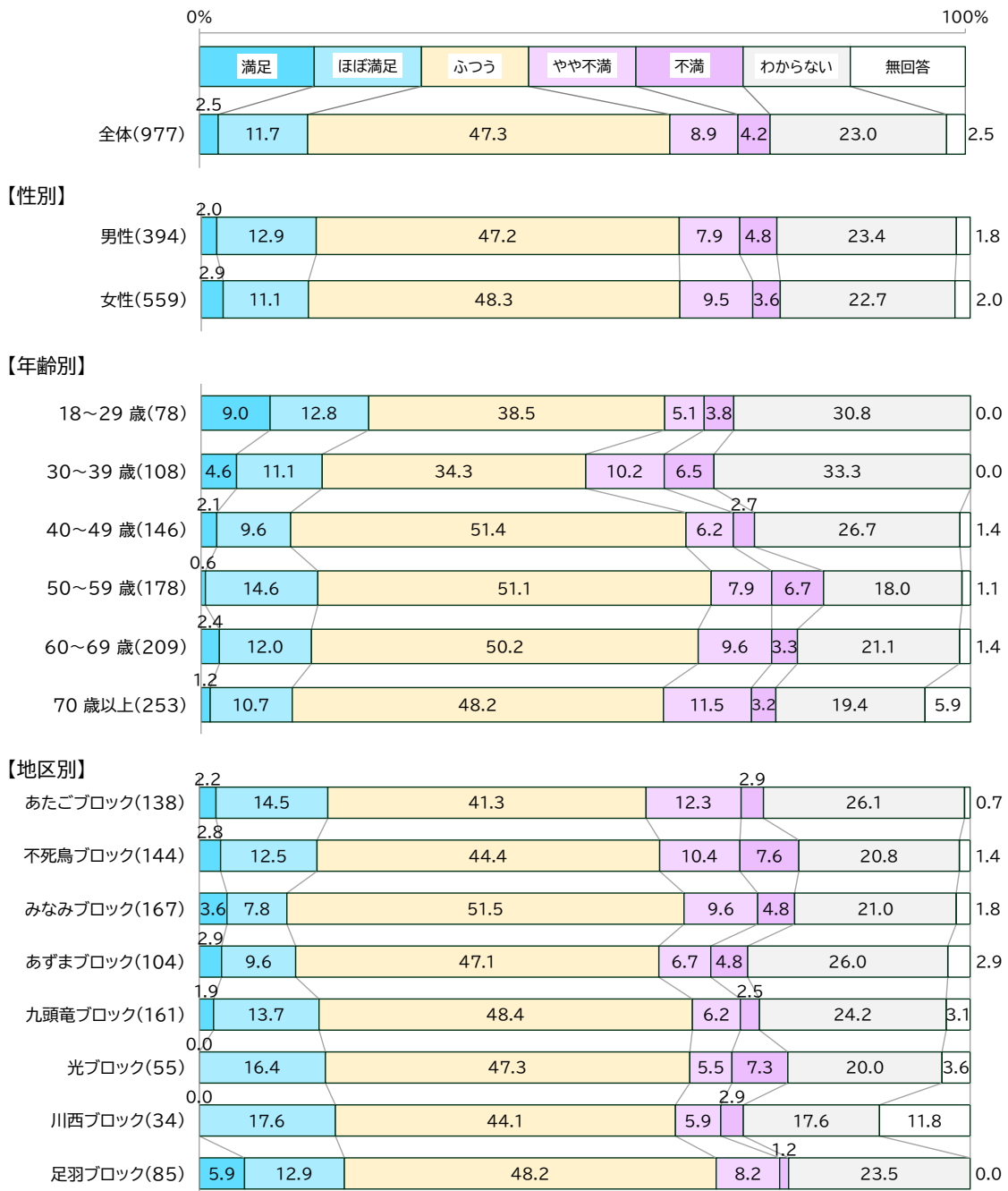
12. 文化、歴史、自然に関する政策

(45) 文化芸術団体への支援、美術館の運営

「18～29 歳」の満足度が高い

満足度は 14.2%、不満度は 13.1%と、満足度が不満度より 1.1 ポイント高くなっている。

年齢別に見ると、満足度は、18～29 歳（21.8%）が最も高い。地区別では、不満度は、不死鳥ブロック（18.0%）が最も高くなっている。



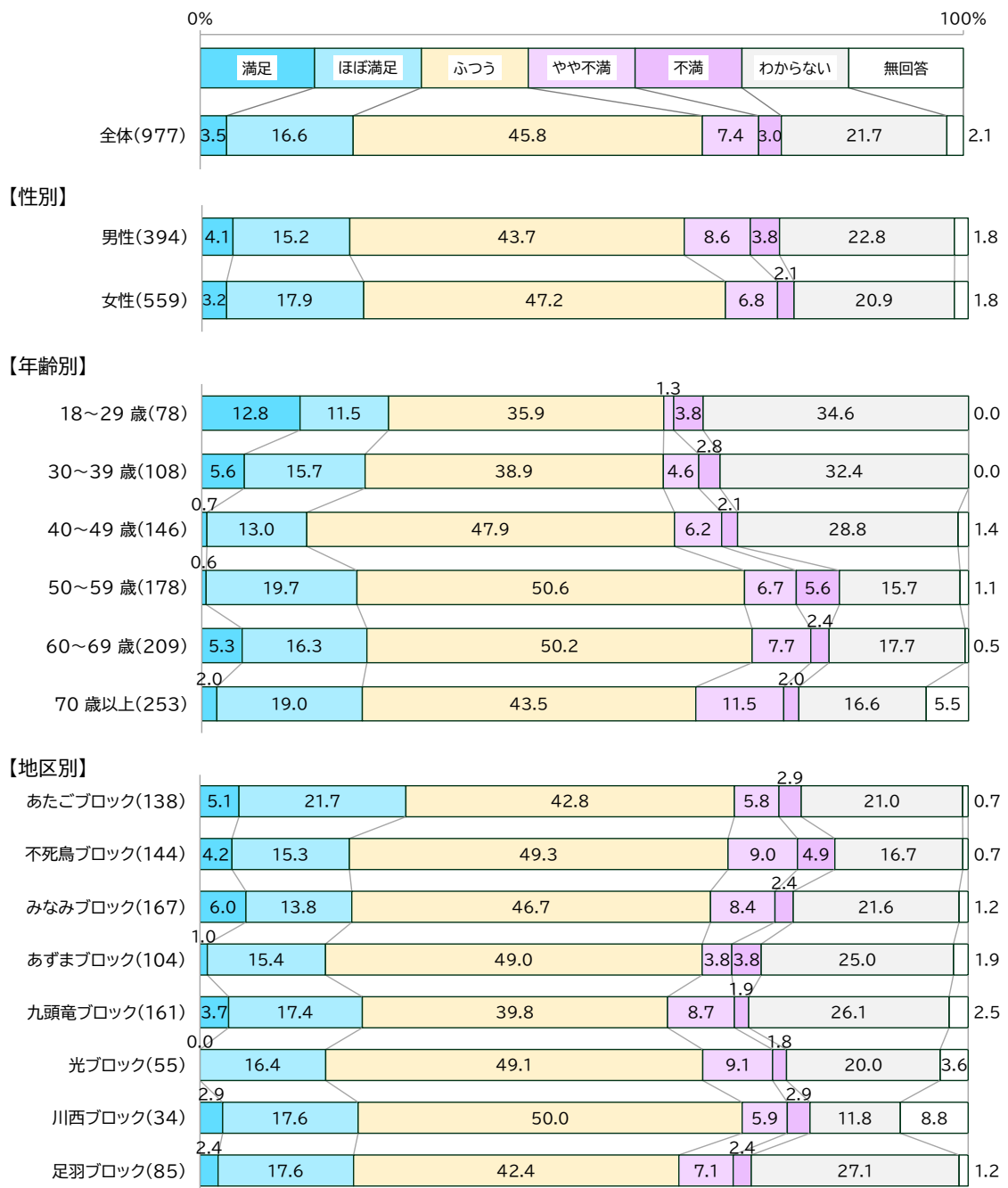
12. 文化、歴史、自然に関する政策

(46) 養浩館庭園や郷土歴史博物館の運営、大安寺の修理保存への支援、水仙畑の景観保全

「あたごブロック」の満足度が高い

満足度は20.1%、不満度は10.4%と、満足度が不満度より9.7ポイント高くなっている。

年齢別に見ると、満足度は、40～49歳（13.7%）が最も低い。地区別では、満足度は、あたごブロック（26.8%）が最も高くなっている。

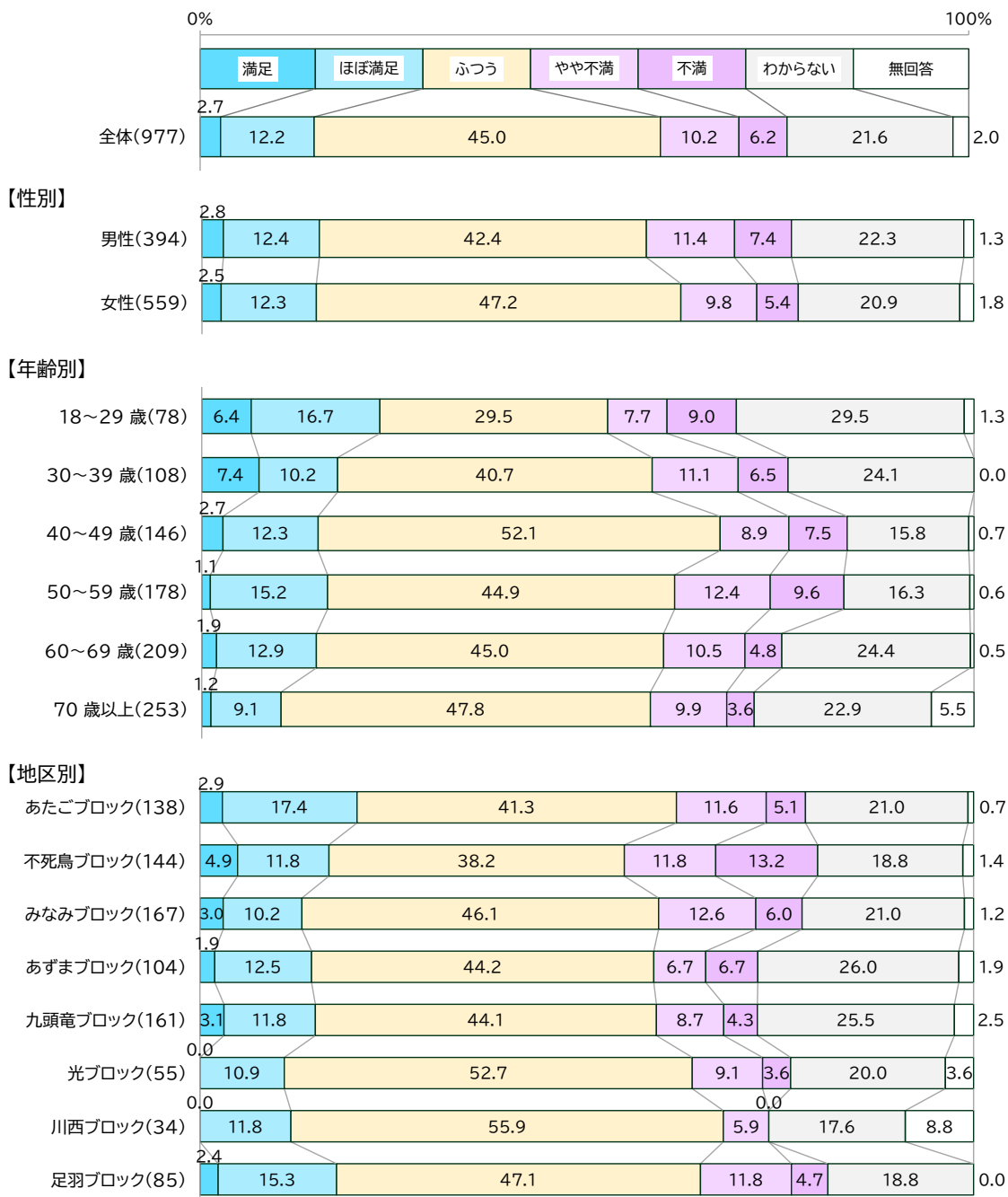


12. 文化、歴史、自然に関する政策

(47) 自然史博物館やセーレンプラネットの運営

「50～59 歳」「不死鳥ブロック」の満足度が高い

満足度は 14.9%、不満度は 16.4%と、不満度が満足度より 1.5 ポイント高くなっている。
 年齢別に見ると、不満度は、50～59 歳（22.0%）が最も高い。地区別では、不満度は、不死鳥ブロック（25.0%）が最も高くなっている。

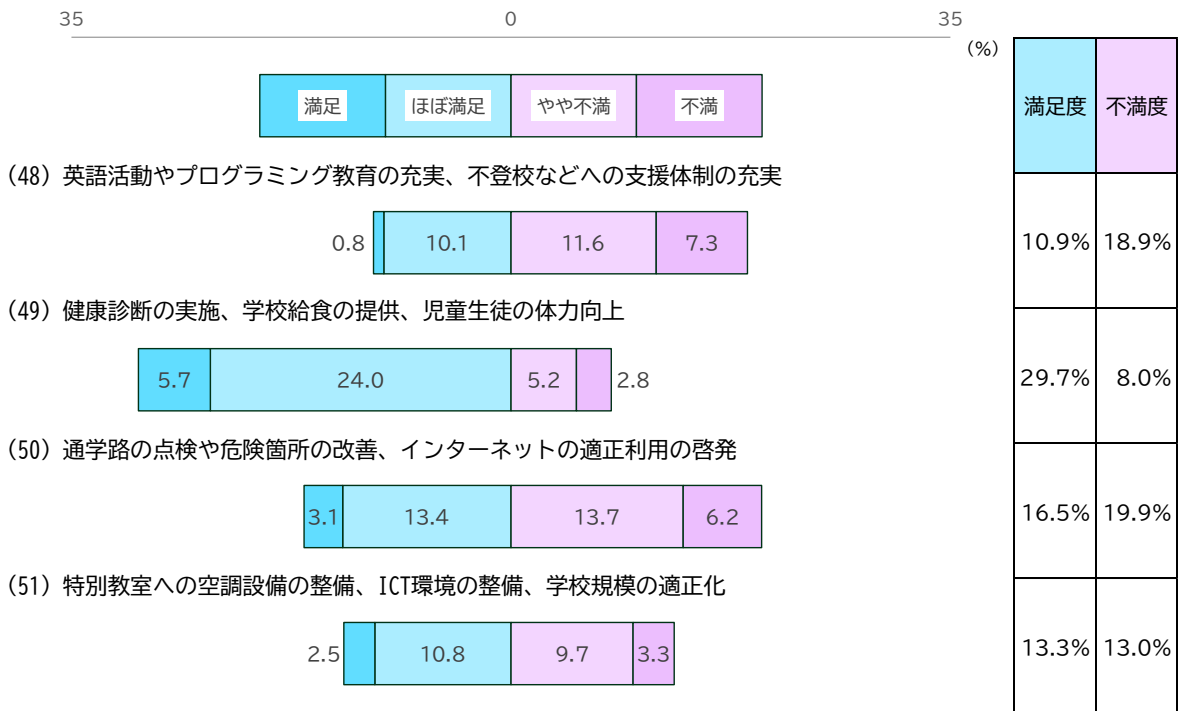


IV 学び成長するまち

13. 学校教育に関する政策

満足度は、高い順に「(49) 健康診断の実施、学校給食の提供、児童生徒の体力向上」(29.7%)、「(50) 通学路の点検や危険箇所の改善、インターネットの適正利用の啓発」(16.5%)、「(51) 特別教室への空調設備の整備、ICT環境の整備、学校規模の適正化」(13.3%)、「(48) 英語活動やプログラミング教育の充実、不登校などへの支援体制の充実」(10.9%)となっている。

また、不満度は、高い順に「(50) 通学路の点検や危険箇所の改善、インターネットの適正利用の啓発」(19.9%)、「(48) 英語活動やプログラミング教育の充実、不登校などへの支援体制の充実」(18.9%)、「(51) 特別教室への空調設備の整備、ICT環境の整備、学校規模の適正化」(13.0%)、「(49) 健康診断の実施、学校給食の提供、児童生徒の体力向上」(8.0%)となっている。



SA(N=977)

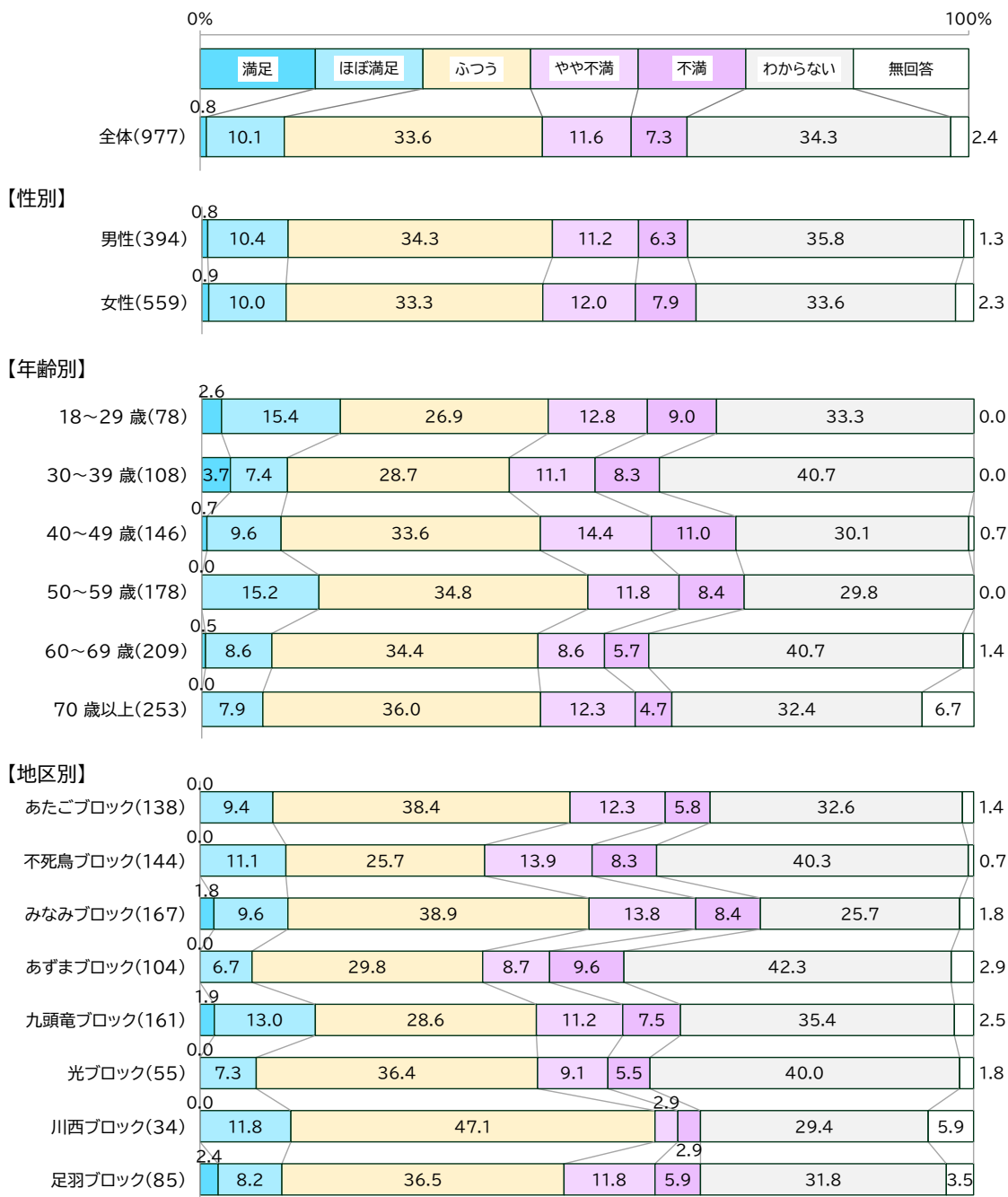
13. 学校教育に関する政策

(48) 英語活動やプログラミング教育の充実、不登校などへの支援体制の充実

「40～49 歳」の不満度が高い

満足度は 10.9%、不満度は 18.9%と、不満度が満足度より 8.0 ポイント高くなっている。

年齢別に見ると、不満度は、40～49 歳（25.4%）が最も高い。地区別では、不満度は、川西ブロック（5.8%）が最も低くなっている。



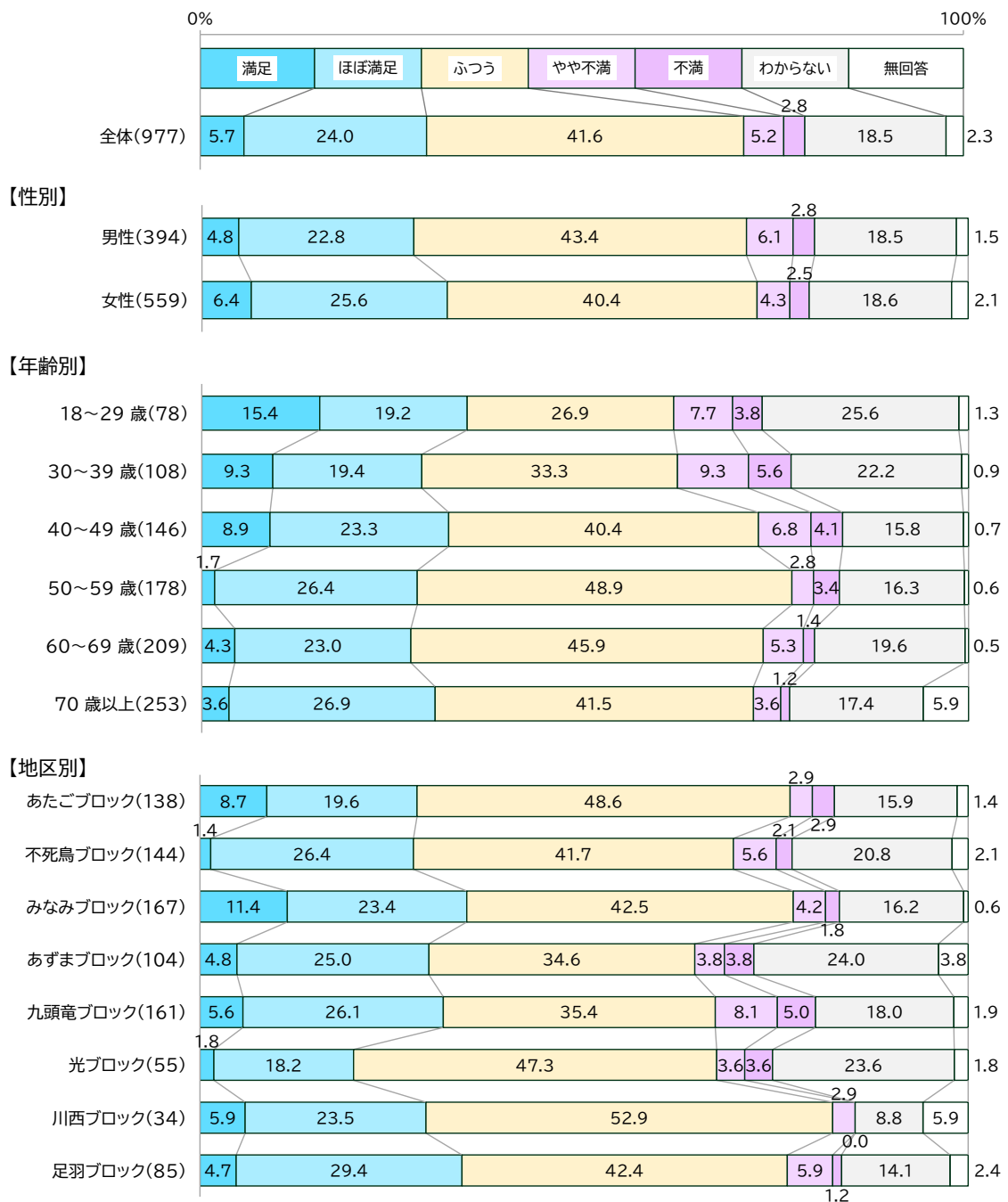
13. 学校教育に関する政策

(49) 健康診断の実施、学校給食の提供、児童生徒の体力向上

「30～39 歳」「九頭竜ブロック」の不満足度が高い

満足度は 29.7%、不満度は 8.0%と、満足度が不満度より 21.7 ポイント高くなっている。

年齢別に見ると、不満度は、30～39 歳（14.9%）が最も高く、70 歳以上（4.8%）は最も低い。地区別では、不満度は、九頭竜ブロック（13.1%）が最も高くなっている。



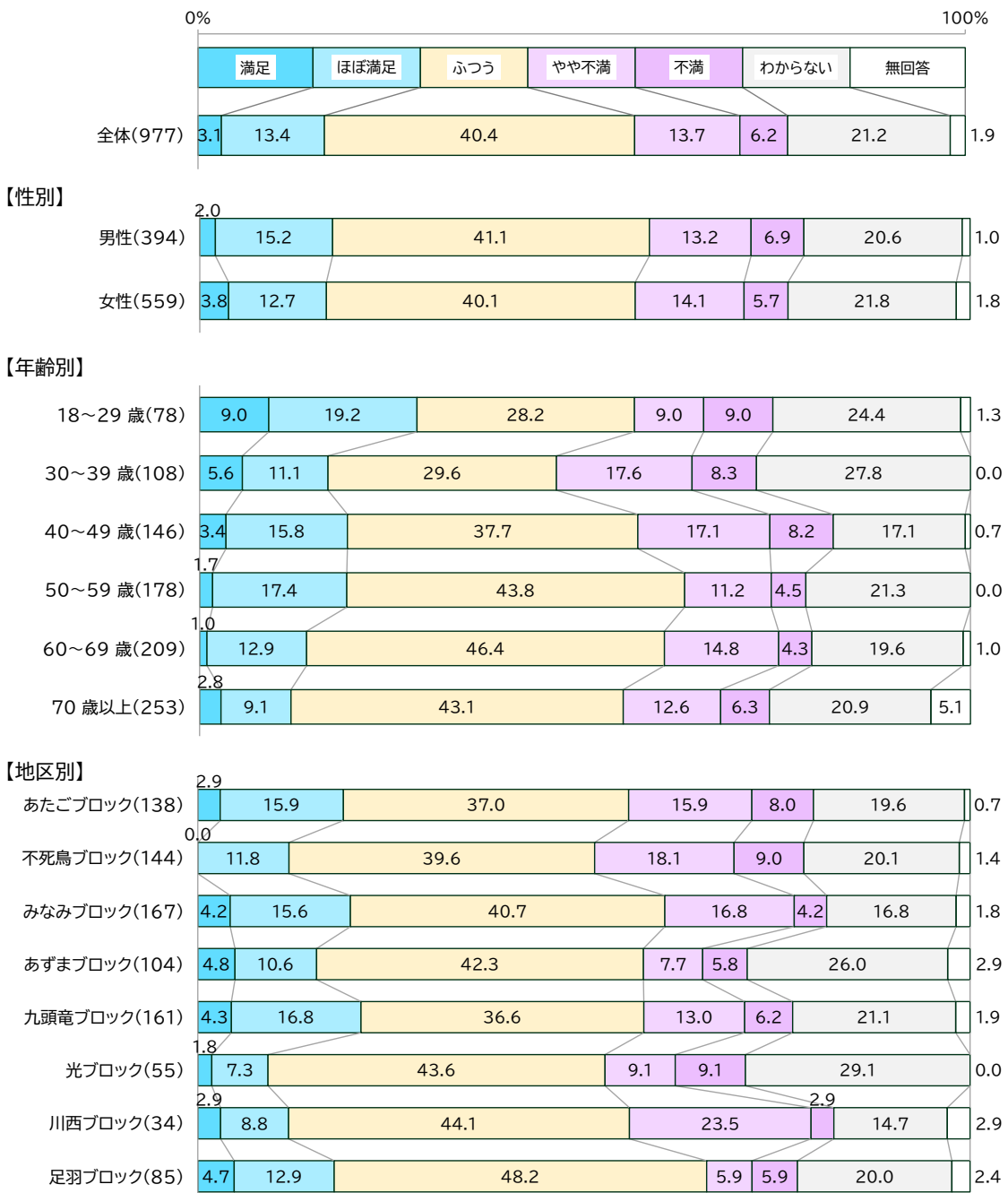
13. 学校教育に関する政策

(50) 通学路の点検や危険箇所の改善、インターネットの適正利用の啓発

「不死鳥ブロック」の不満度が高い

満足度は16.5%、不満度は19.9%と、不満度が満足度より3.4ポイント高くなっている。

年齢別に見ると、満足度は、18～29歳(28.2%)が最も高く、70歳以上(11.9%)が最も低い。地区別では、不満度は、不死鳥ブロック(27.1%)が最も高く、足羽ブロック(11.8%)は最も低くなっている。



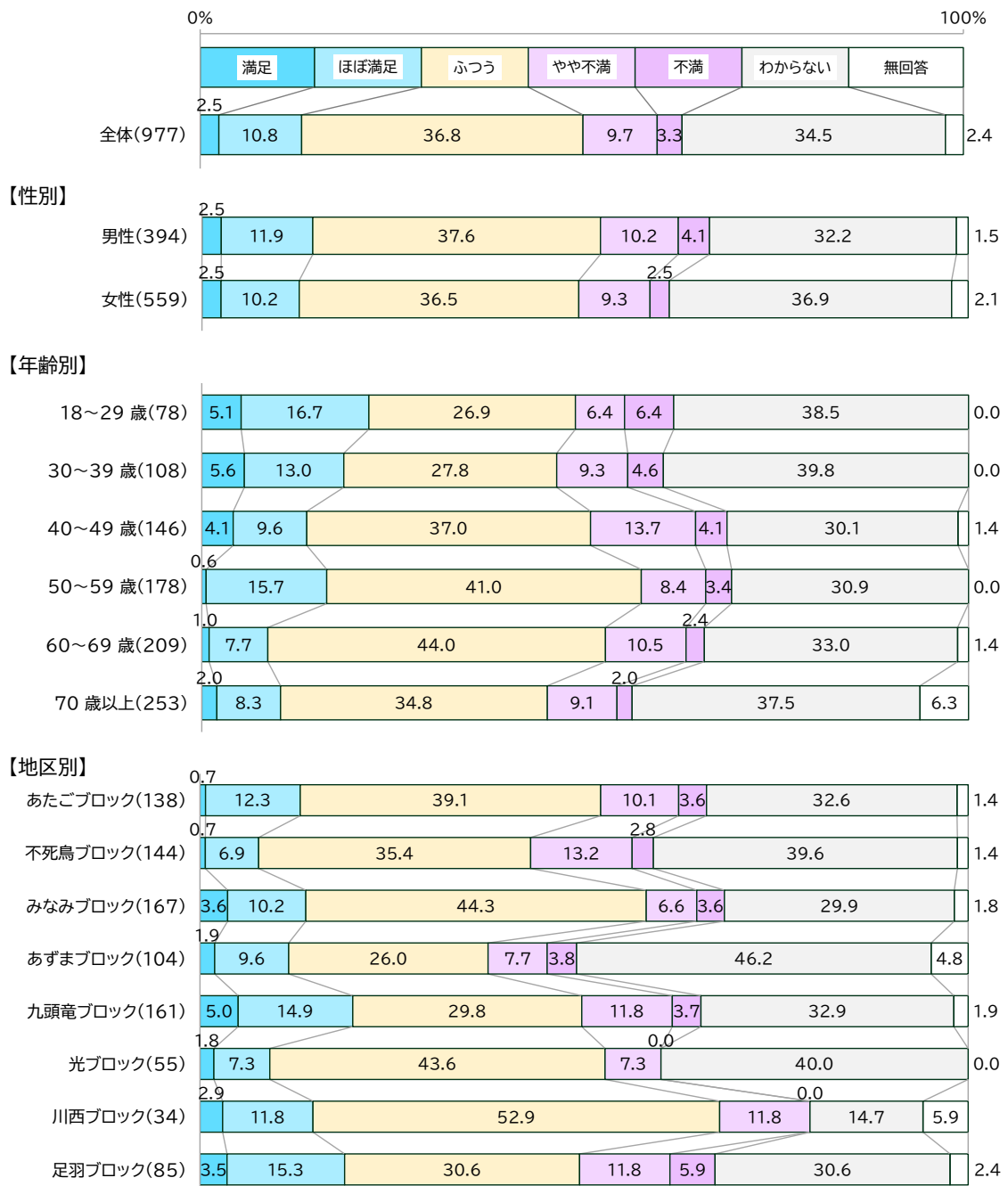
13. 学校教育に関する政策

(51) 特別教室への空調設備の整備、ICT環境の整備、学校規模の適正化

「18～29歳」「九頭竜ブロック」の満足度が高い

満足度は13.3%、不満度は13.0%と、満足度が不満度より0.3ポイント高くなっている。

年齢別に見ると、満足度は、18～29歳（21.8%）が最も高く、60～69歳（8.7%）が最も低い。地区別では、満足度は、九頭竜ブロック（19.9%）が最も高く、不死鳥ブロック（7.6%）が最も低くなっている。

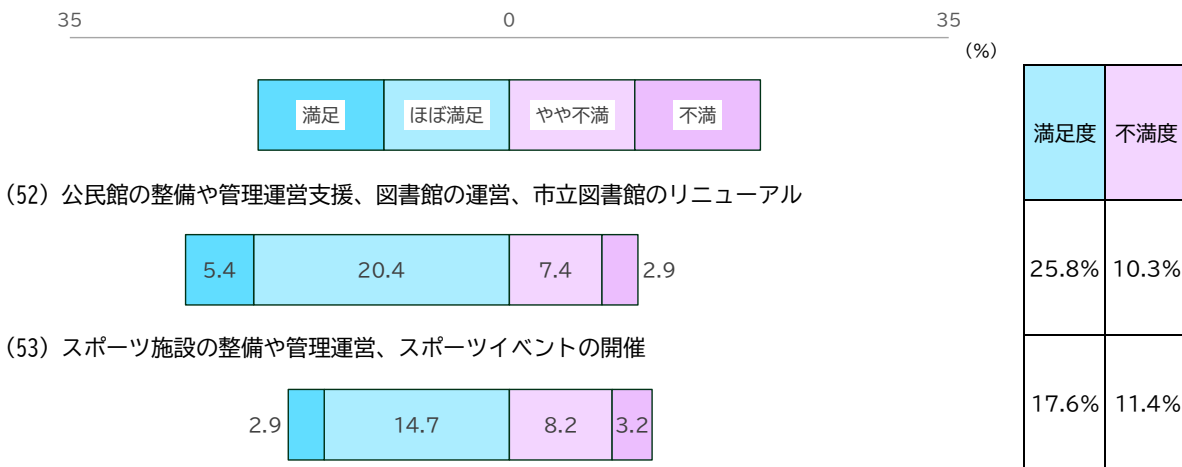


IV 学び成長するまち

14. 生涯学習、生涯スポーツに関する政策

満足度は、高い順に「(52) 公民館の整備や管理運営支援、図書館の運営、市立図書館のリニューアル」(25.8%)、「(53) スポーツ施設の整備や管理運営、スポーツイベントの開催」(17.6%) となっている。

また、不満度は、高い順に「(53) スポーツ施設の整備や管理運営、スポーツイベントの開催」(11.4%)、「(52) 公民館の整備や管理運営支援、図書館の運営、市立図書館のリニューアル」(10.3%) となっている。



SA(N=977)

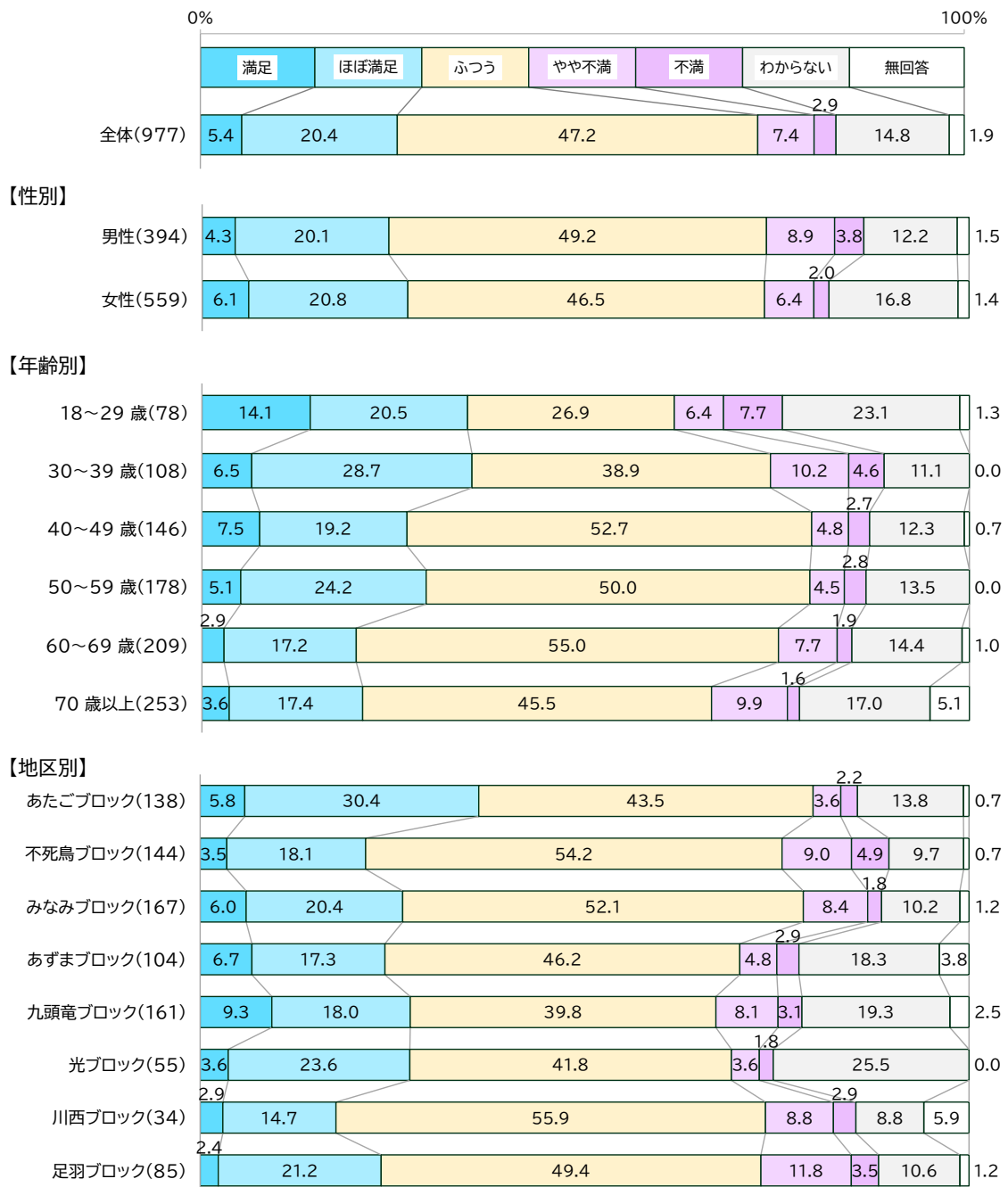
14. 生涯学習、生涯スポーツに関する政策

(52) 公民館の整備や管理運営支援、図書館の運営、市立図書館のリニューアル

「30～39 歳」の満足度が高い

満足度は 25.8%、不満度は 10.3%と、満足度が不満度より 15.5 ポイント高くなっている。

性別では、不満度は、男性（12.7%）が女性（8.4%）より 4.3 ポイント高い。年齢別に見ると、満足度は、30～39 歳（35.2%）が最も高く、70 歳以上（21.0%）、60～69 歳（20.1%）が低くなっている。



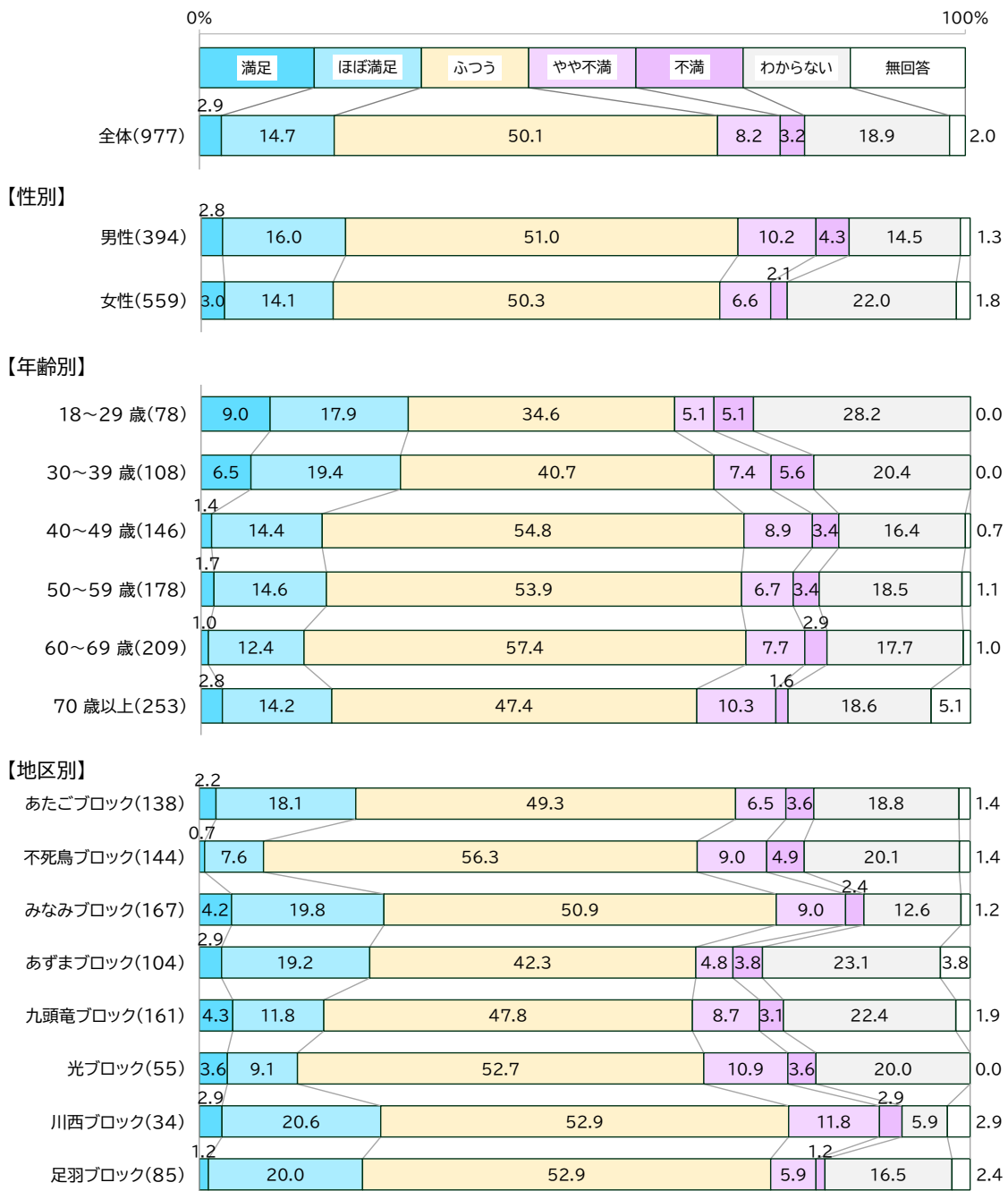
14. 生涯学習、生涯スポーツに関する政策

(53) スポーツ施設の整備や管理運営、スポーツイベントの開催

「18～29歳」「30～39歳」「みなみブロック」の満足度が高い

満足度は17.6%、不満度は11.4%と、満足度が不満度より6.2ポイント高くなっている。

性別では、不満度は、男性(14.5%)が女性(8.7%)より5.8ポイント高い。年齢別に見ると、満足度は、18～29歳(26.9%)、30～39歳(25.9%)が高くなっている。地区別では、満足度は、みなみブロック(24.0%)が最も高く、不死鳥ブロック(8.3%)が最も低い。



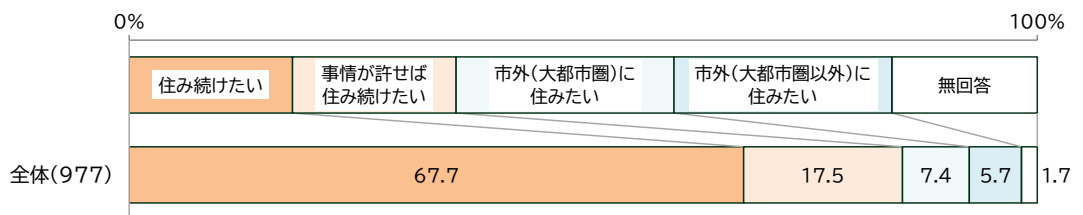
● 福井市について

問1 あなたは、福井市にこれからも住み続けたいと思いますか。(1つ)

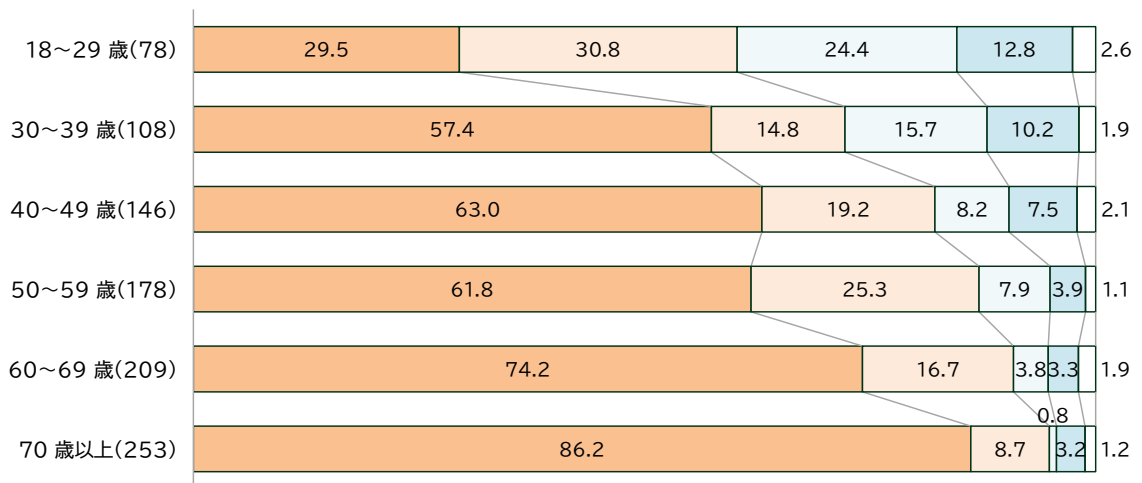
「福井市に住み続けたい」が8割以上

「福井市に住み続けたい」(「住み続けたい」(67.7%)及び「事情が許せば住み続けたい」(17.5%)の合計)が85.2%となっている。

年齢別に見ると、「福井市に住み続けたい」は、70歳以上(94.9%)が最も高く、年齢の高い世代ほどその割合が高くなる傾向がみられる。



【年齢別】

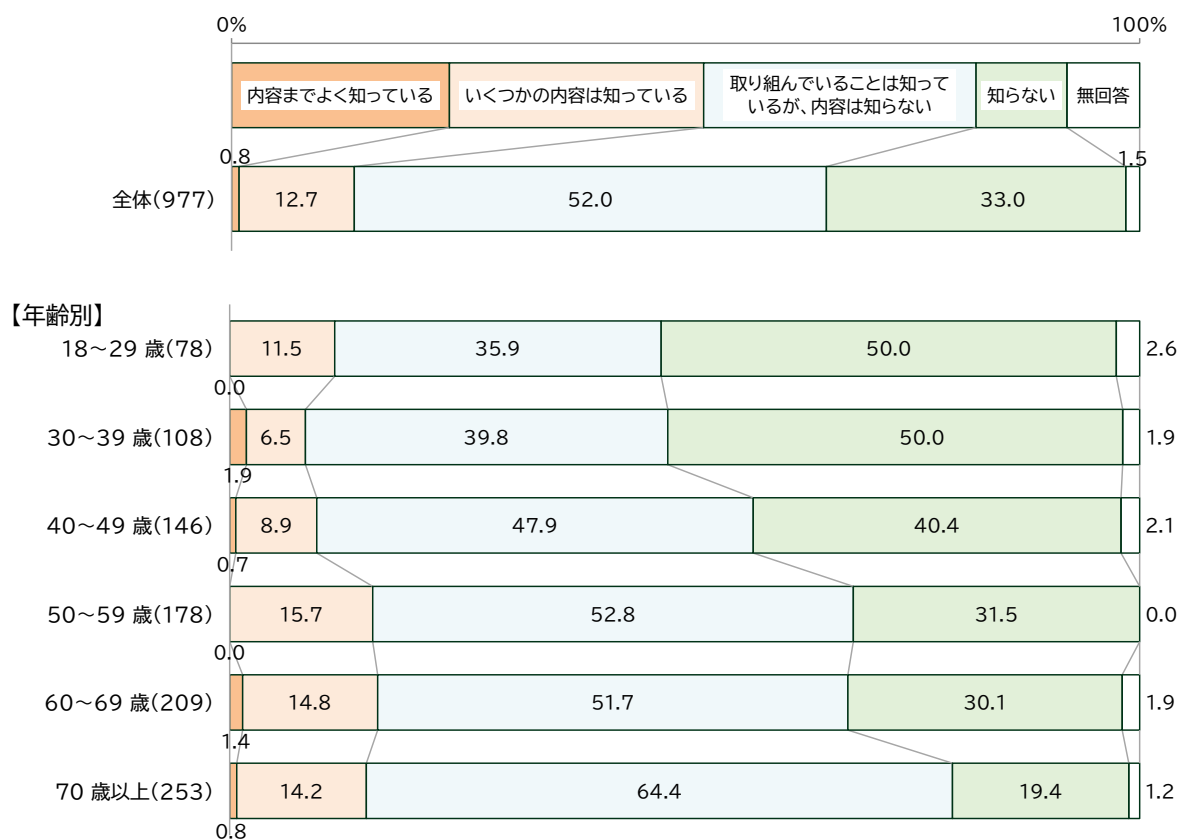


問2 あなたは、福井市が実施する都市部からの移住（UIターン）を促進するための施策を知っていますか。（1つ）

「内容は知らない」が8割以上

「内容は知らない」（「取り組んでいることは知っているが、内容は知らない」（52.0%）及び「知らない」（33.0%）の合計）が85.0%となっている。

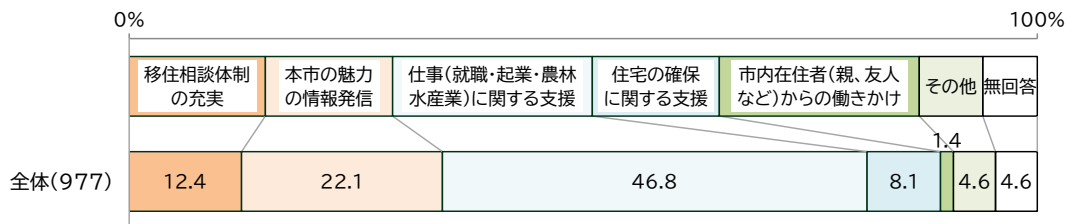
年齢別に見ると、「内容は知らない」は、30～39歳（89.8%）が最も高い。



問3 都市部からの移住を促進するために重要だと思うことは何ですか。(1つ)

「仕事(就職・起業・農林水産業)に関する支援」が4割以上

「仕事(就職・起業・農林水産業)に関する支援」(46.8%)が最も高く、次いで「本市の魅力の情報発信」(22.1%)が高くなっている。

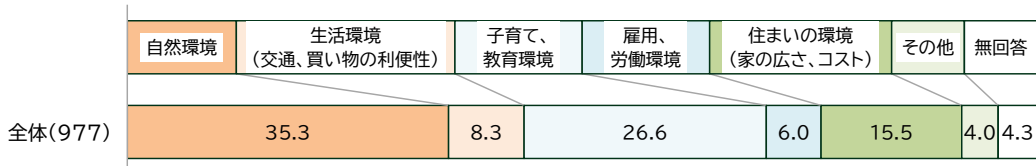


問4 都市部からの移住を促進するにあたり、本市の強みは何だと思いますか。(1つ)

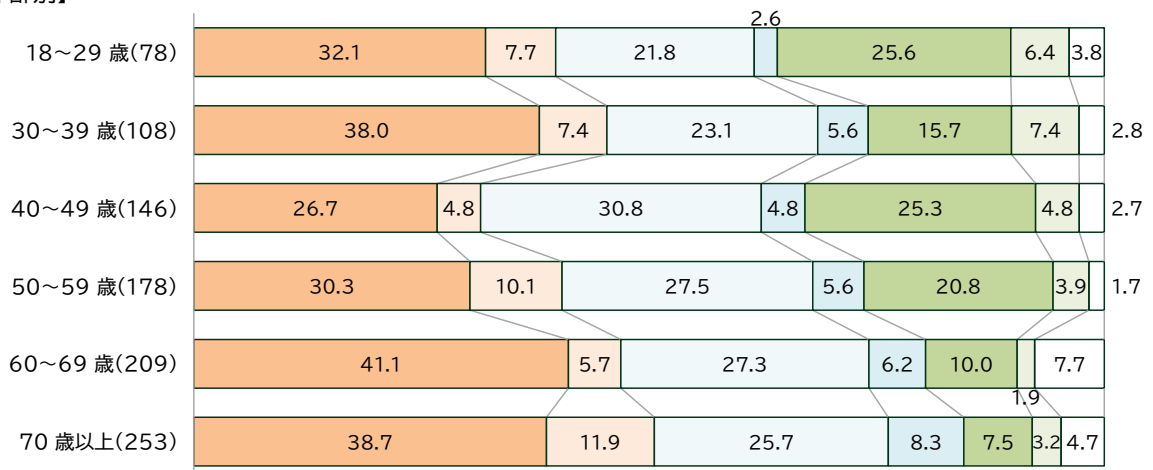
「自然環境」が3割以上

「自然環境」(35.3%)が最も高く、次いで「子育て、教育環境」(26.6%)が高くなっている。

年齢別に見ると、「自然環境」は、60～69歳(41.1%)が最も高い。



【年齢別】



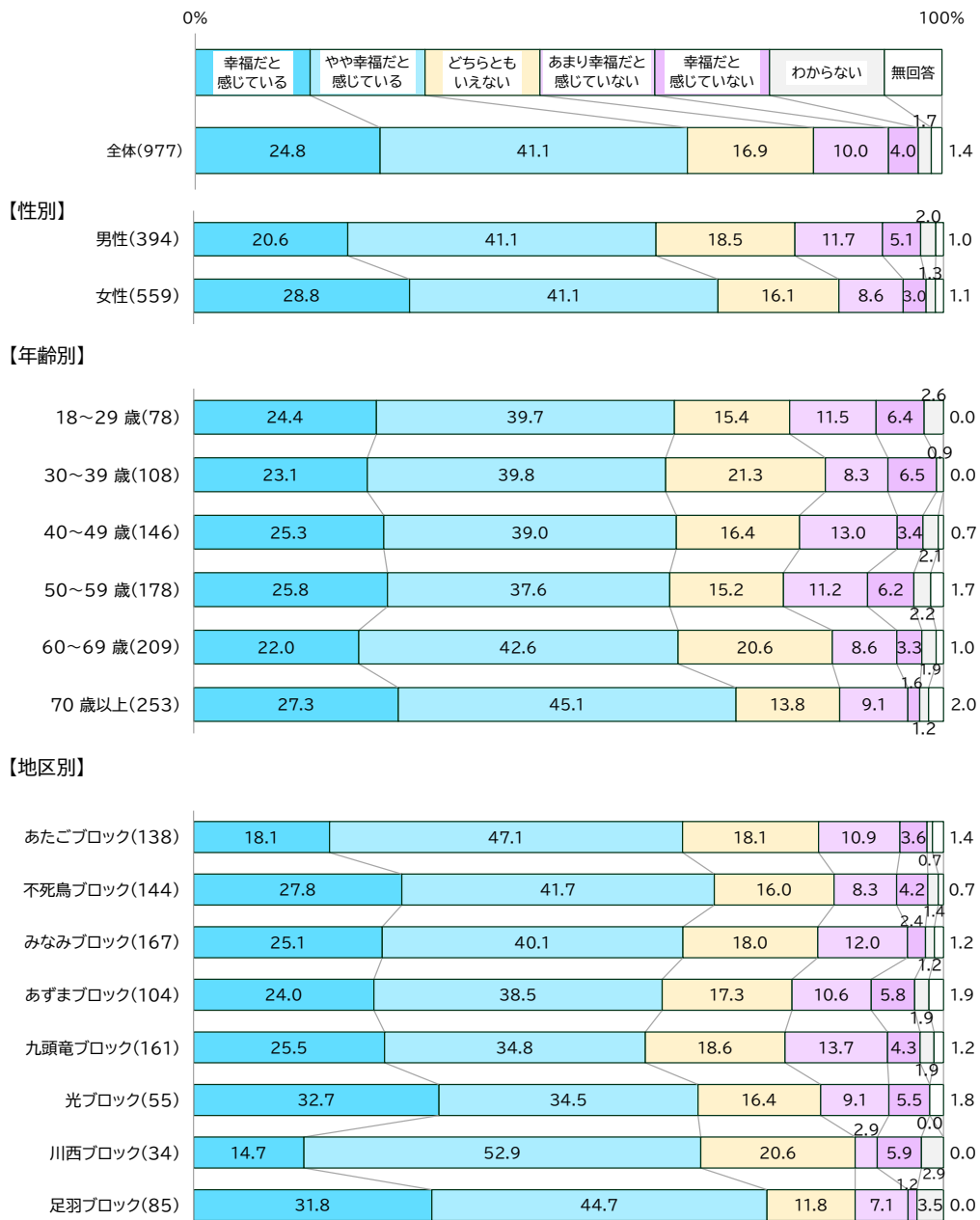
● あなたの「幸福度」について

問1 あなたは、現在、どの程度幸福だと感じていますか。(1つ)

「幸福度が高い」は6割以上

「幸福度が高い」(「幸福だと感じている」(24.8%)及び「やや幸福だと感じている」(41.1%)の合計)が65.9%となっている。

性別では、「幸福度が高い」は、女性(69.9%)が男性(61.7%)より8.2ポイント高い。年齢別に見ると、「幸福度が高い」は、70歳以上(72.4%)が最も高くなっている。地区別では、「幸福度が高い」は、足羽ブロック(76.5%)が最も高い。

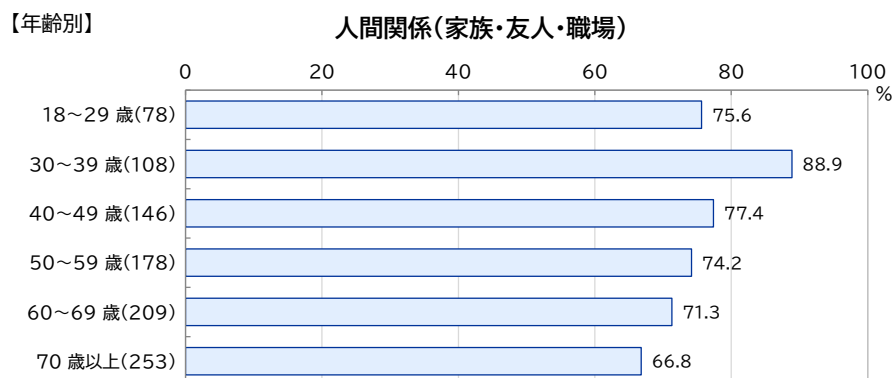
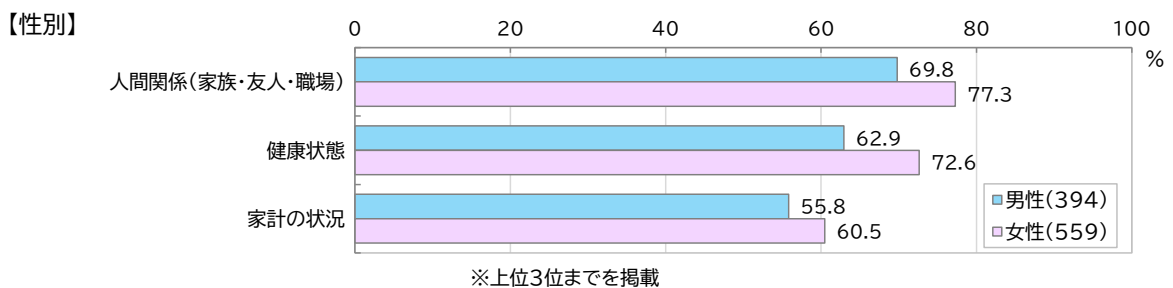
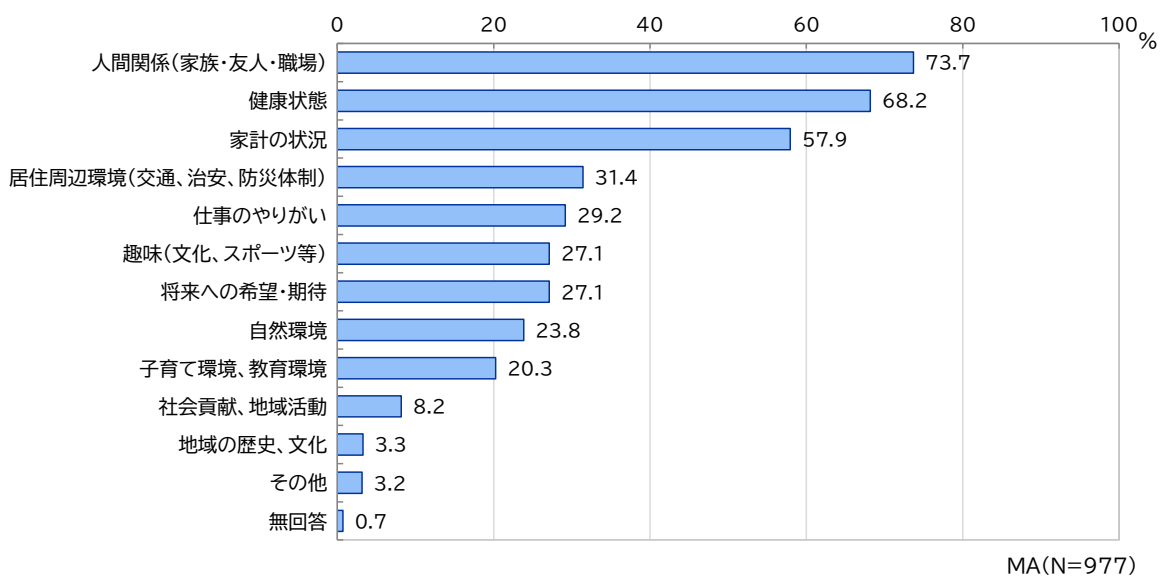


問2 あなたが幸福かどうかを判断する際に重視した事項は何ですか。(すべて)

「人間関係(家族・友人・職場)」が7割以上

「人間関係(家族・友人・職場)」(73.7%)が最も高く、次いで「健康状態」(68.2%)、「家計の状況」(57.9%)が高くなっている。

性別では、「人間関係(家族・友人・職場)」は、女性(77.3%)が男性(69.8%)より7.5ポイント高く、「健康状態」は、女性(72.6%)が男性(62.9%)より9.7ポイント高くなっている。年齢別に見ると、「人間関係(家族・友人・職場)」は、30～39歳(88.9%)が最も高い。



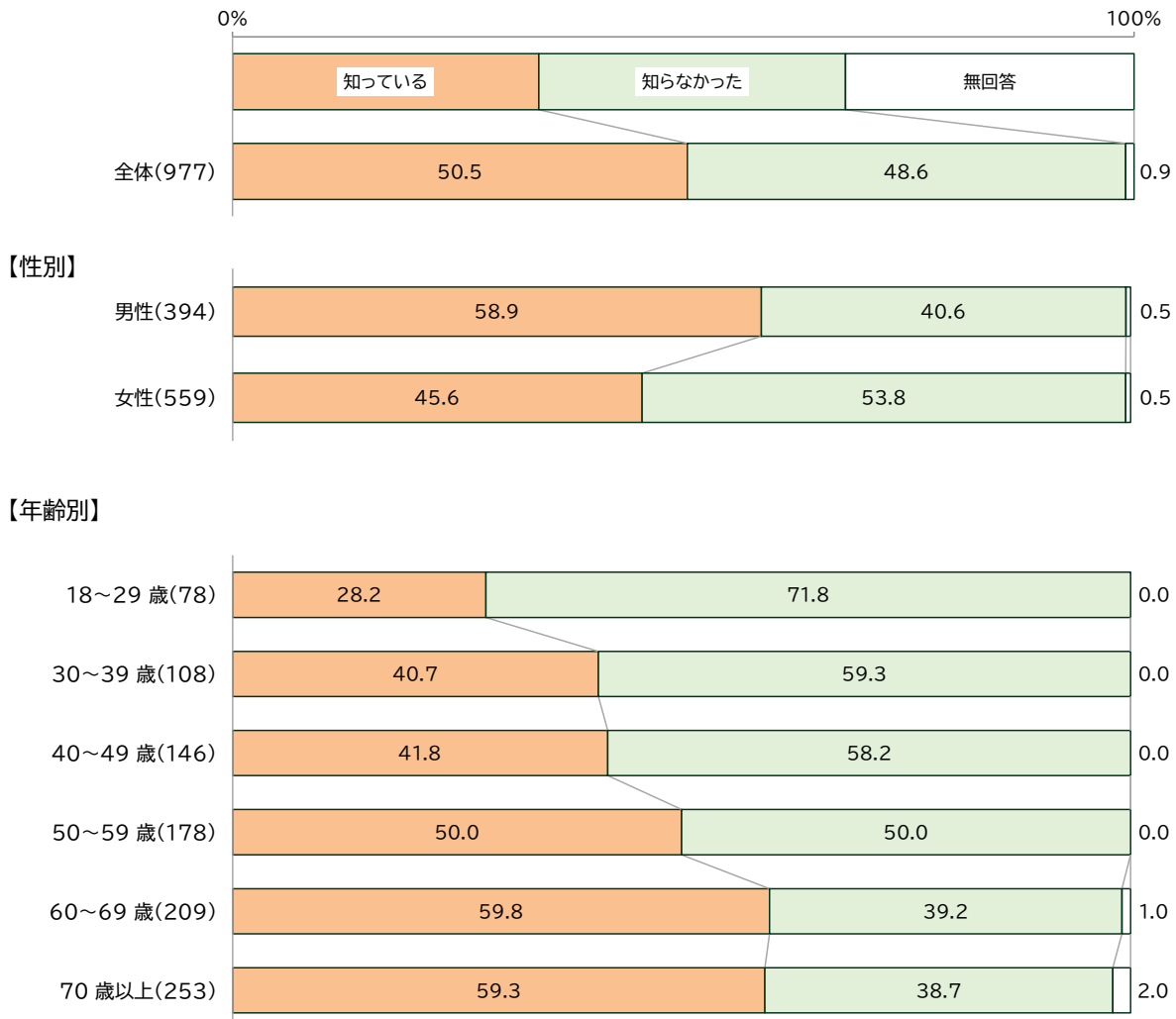
● 並行在来線開業について

問1 あなたは、来年の北陸新幹線開業にあわせて、北陸本線（敦賀駅～大聖寺駅）がJRから経営分離され、株式会社ハピラインふくいが運営することを知っていますか。
(1つ)

「知っている」が約5割

「知っている」が50.5%、「知らなかった」が48.6%となっている。

性別では、「知っている」は、男性（58.9%）が女性（45.6%）より13.3ポイント高い。年齢別に見ると、「知っている」は、60～69歳（59.8%）、70歳以上（59.3%）が高く、年齢の高い世代ほどその割合が高くなる傾向がみられる。

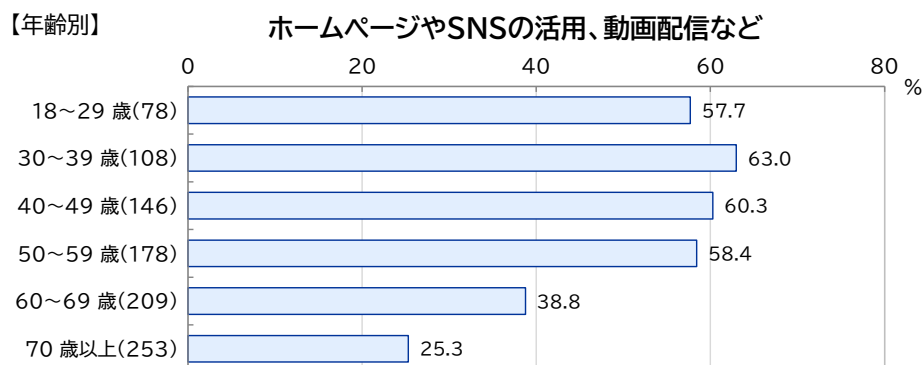
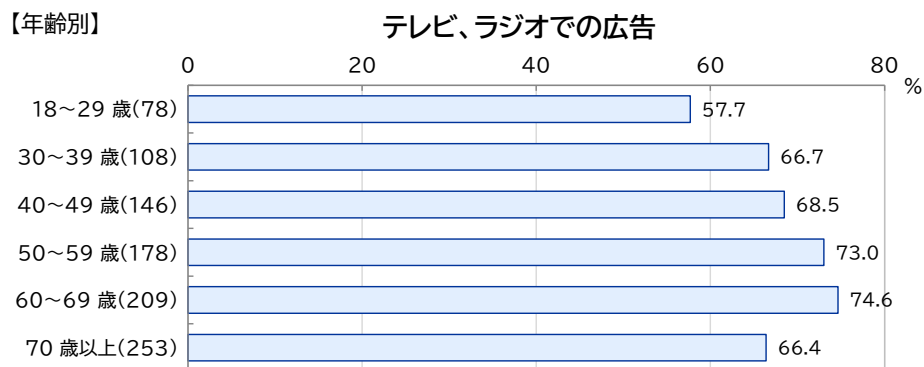
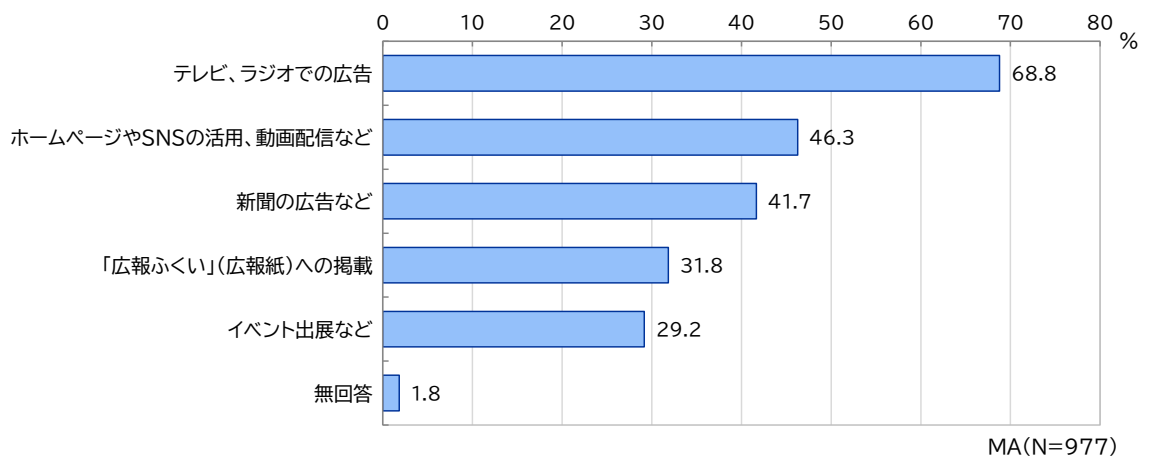


問2 あなたは、ハピラインふくいを多くの人に知ってもらうには、どのような広報をしていくと良いと思いますか。(すべて)

「テレビ、ラジオでの広告」が約7割

「テレビ、ラジオでの広告」(68.8%)が最も高く、次いで「ホームページやSNSの活用、動画配信など」(46.3%)が高くなっている。

年齢別に見ると、「テレビ、ラジオでの広告」は、60～69歳(74.6%)が最も高く、「ホームページやSNSの活用、動画配信など」は、30～39歳(63.0%)が最も高くなっている。

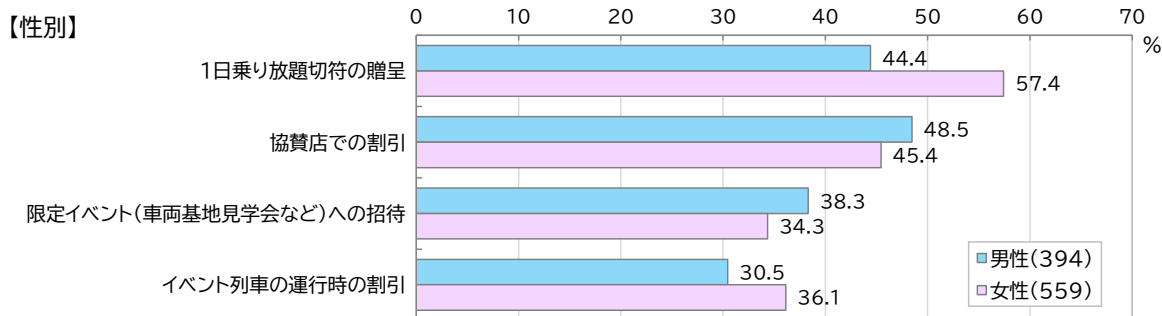
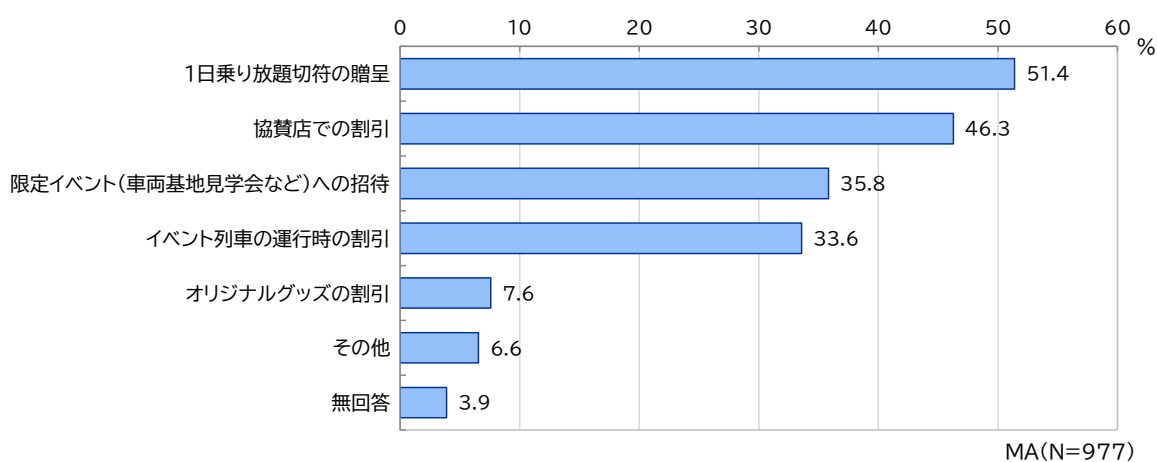


問3 ハピラインふくいでは、ファンクラブを設立し様々なサービス提供を検討しております。あなたが良いと思うサービスはどれですか。(すべて)

「1日乗り放題切符の贈呈」が約5割

「1日乗り放題切符の贈呈」(51.4%)が最も高く、次いで「協賛店での割引」(46.3%)が高くなっている。

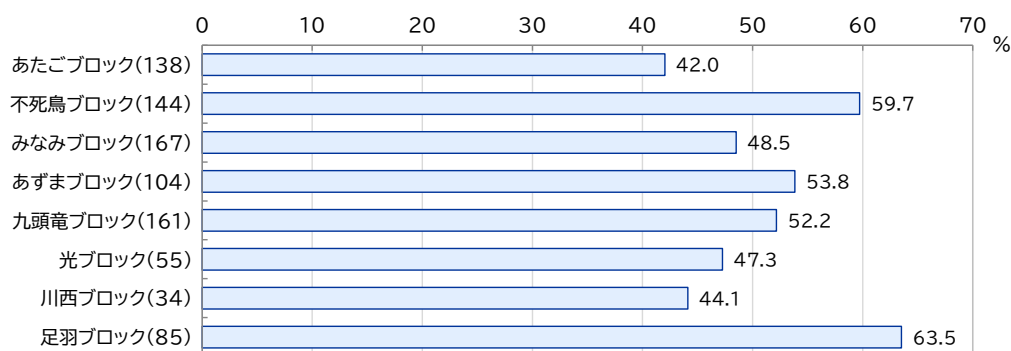
性別では、「1日乗り放題切符の贈呈」は、女性(57.4%)が男性(44.4%)より13.0ポイント高い。地区別では、「1日乗り放題切符の贈呈」は、足羽ブロック(63.5%)、不死鳥ブロック(59.7%)が高くなっている。



※上位4位までを掲載

【地区別】

1日乗り放題切符の贈呈



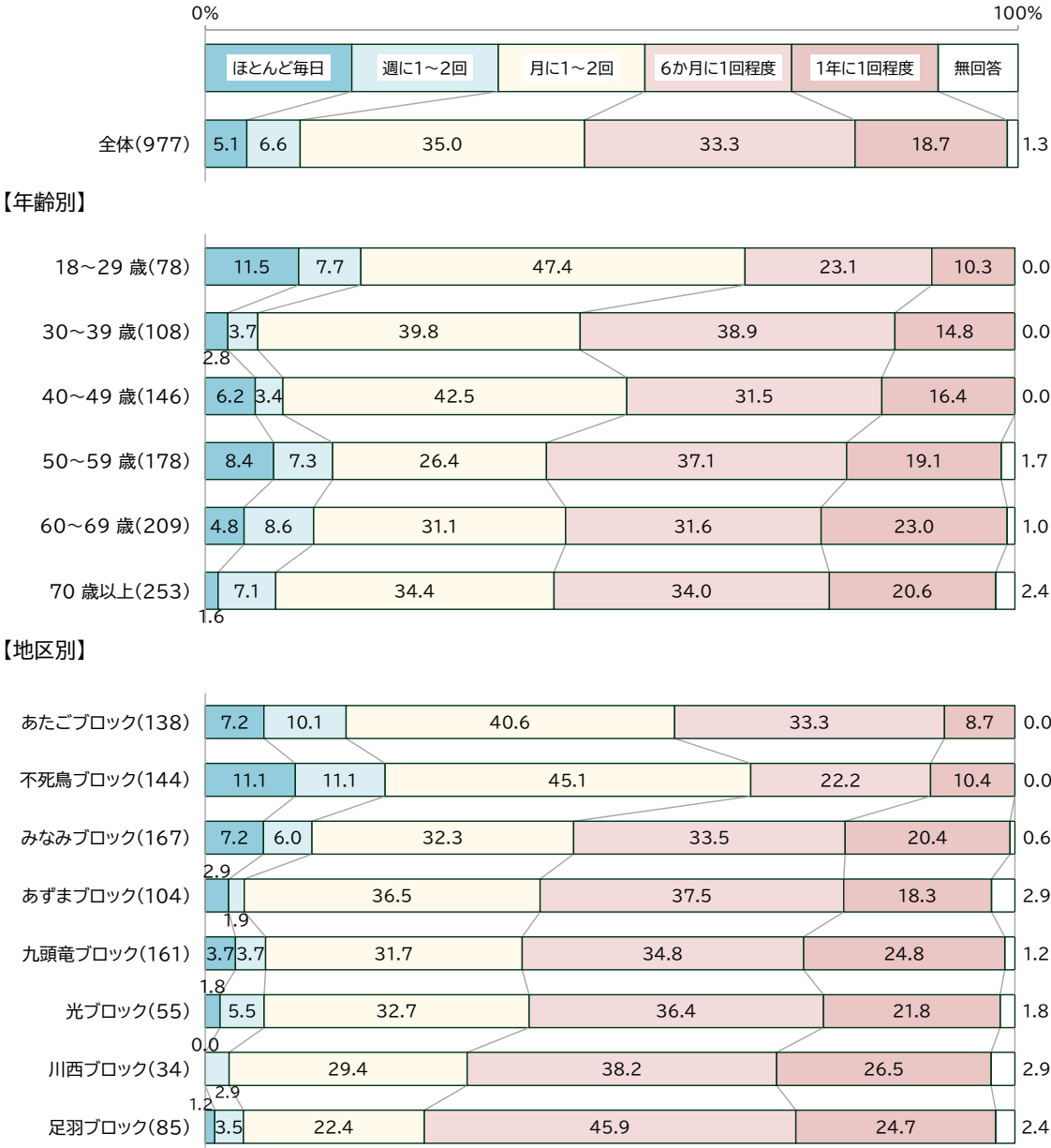
● 福井市の都市づくりについて

問1 あなたは、JR福井駅を中心とした中心市街地には、どのくらいの割合で訪れますか。
(1つ)

「月に1回以上」が4割以上

「月に1回以上」(「ほとんど毎日」(5.1%)、「週に1~2回」(6.6%)及び「月に1~2回」(35.0%))の合計は、全体の46.7%となっている。

年齢別に見ると、「月に1回以上」は、18~29歳(66.6%)が最も高い。地区別では、「月に1回以上」は、不死鳥ブロック(67.3%)、あたごブロック(57.9%)が高くなっている。

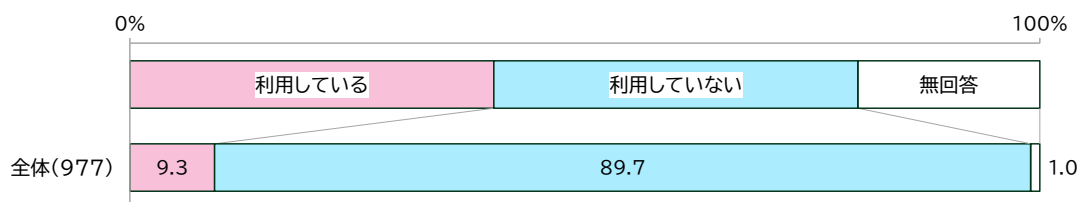


問2 あなたは、通勤・通学や買い物・通院など、日常生活でバス・鉄道を利用していますか。(1つ)

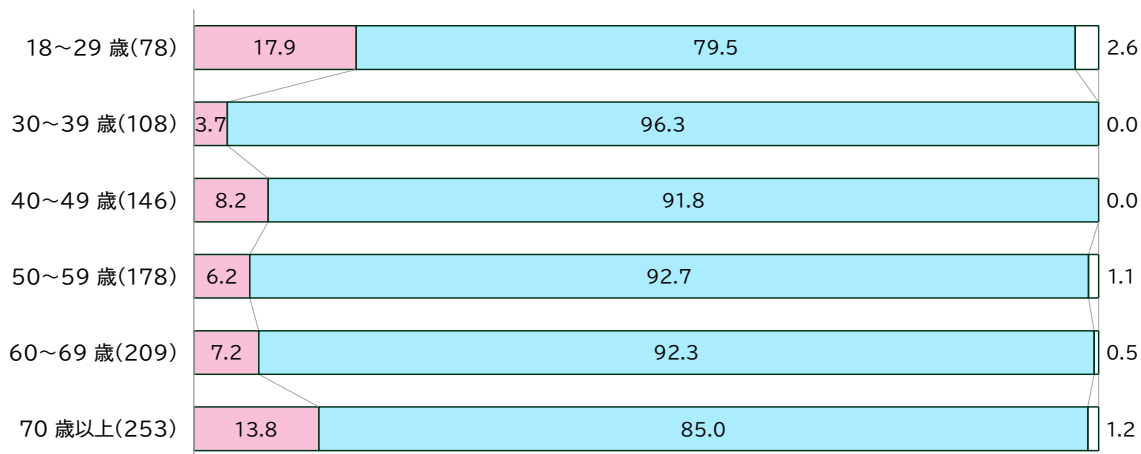
「利用している」が約1割

「利用している」が9.3%、「利用していない」が89.7%となっている。

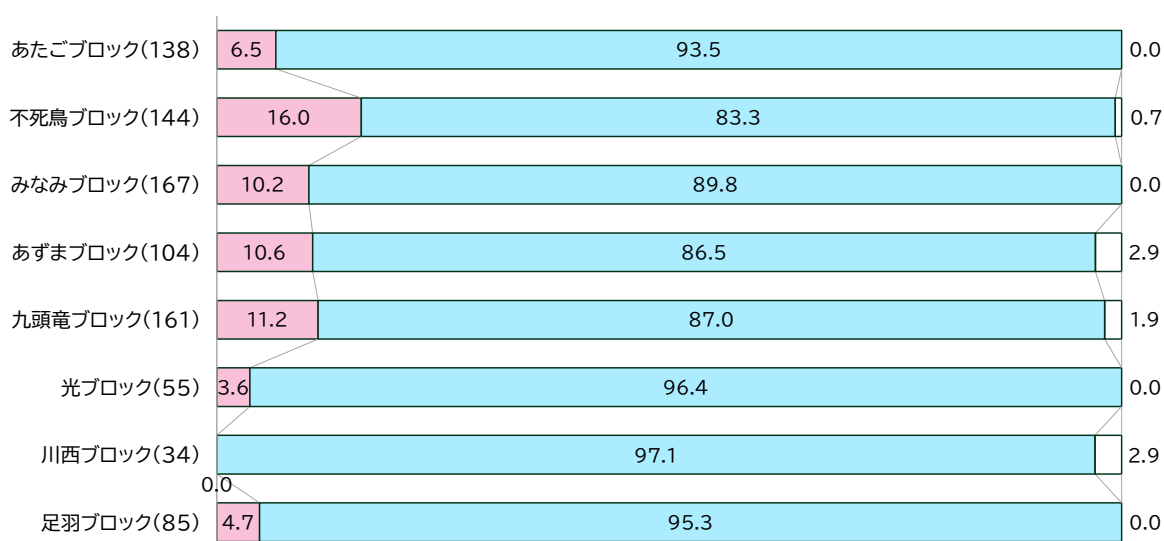
年齢別に見ると、「利用している」は、18～29歳(17.9%)、70歳以上(13.8%)が高い。地区別では、「利用している」は、不死鳥ブロック(16.0%)が最も高い。



【年齢別】



【地区別】

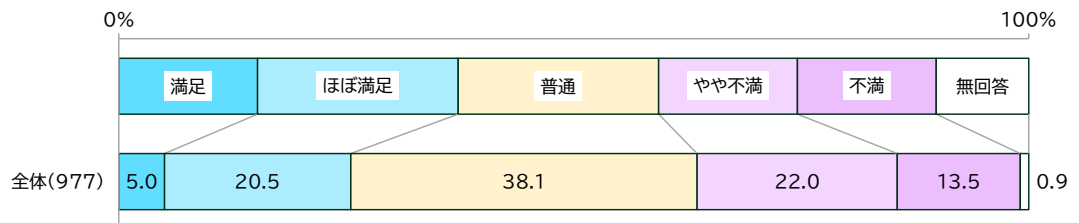


問3 あなたは、お住まいの地区の「交通安全（歩道の設置、道路幅など）」について、どの程度満足していますか。（1つ）

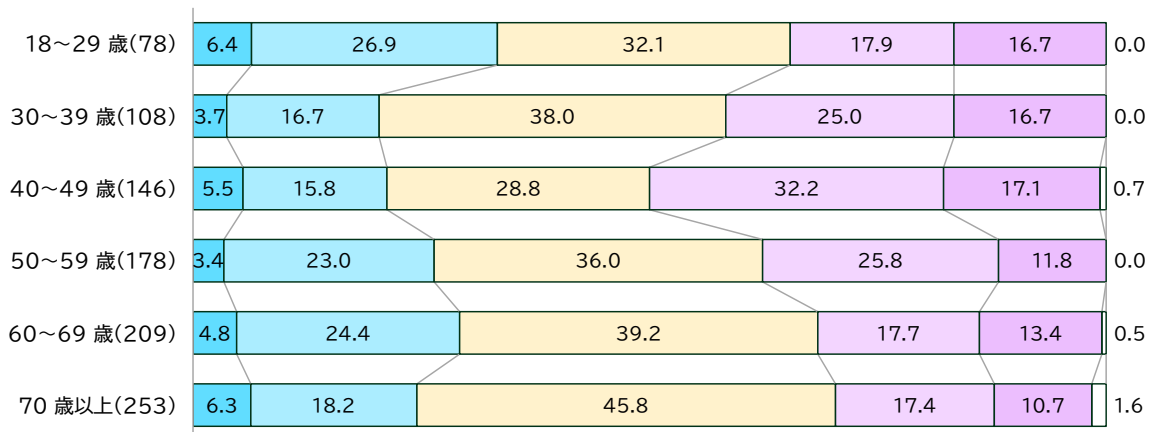
「不満である」が3割以上

「満足している」（「満足」（5.0%）及び「ほぼ満足」（20.5%）の合計）が25.5%、「不満である」（「やや不満」（22.0%）及び「不満」（13.5%）の合計）が35.5%と、「不満である」が「満足している」より10.0ポイント高くなっている。

年齢別では、「不満である」は、40～49歳（49.3%）が最も高くなっている。



【年齢別】

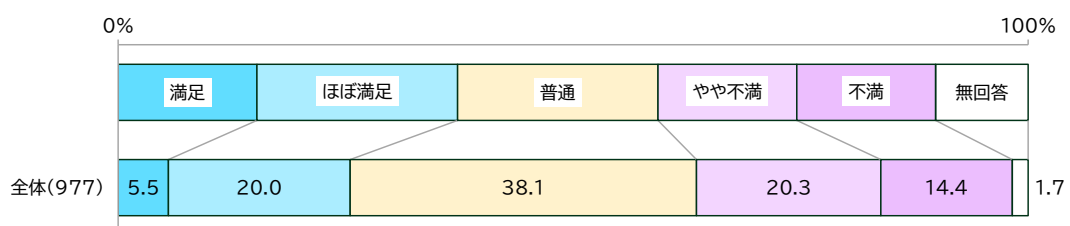


問4 あなたは、お住まいの地区の「通勤・通学の利便性」について、どの程度満足していますか。(1つ)

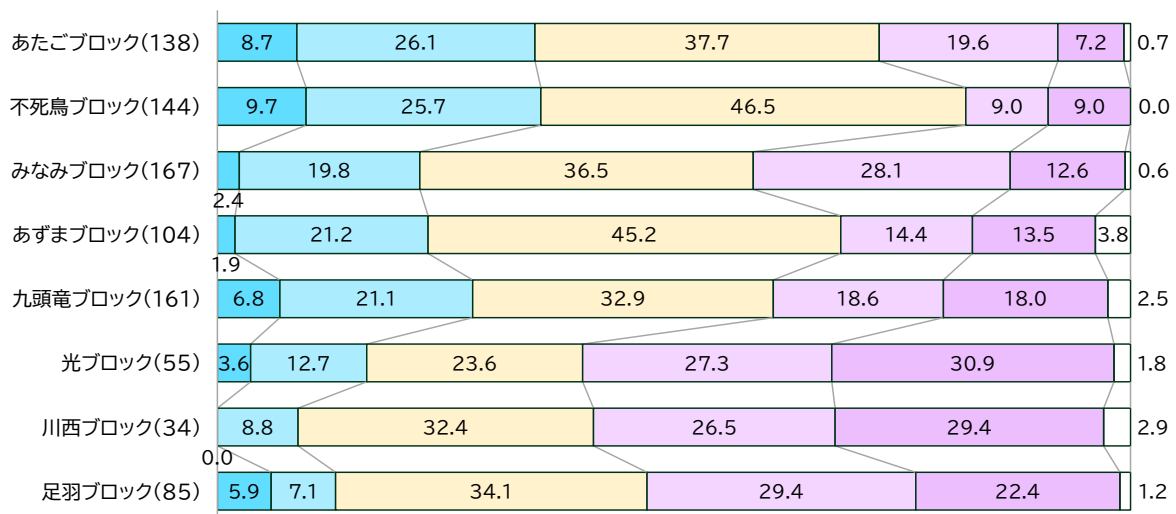
「不満である」が3割以上

「満足している」(「満足」(5.5%) 及び「ほぼ満足」(20.0%) の合計) が25.5%、「不満である」(「やや不満」(20.3%) 及び「不満」(14.4%) の合計) が34.7%と、「不満である」が「満足している」より9.2ポイント高くなっている。

地区別では、「不満である」は、光ブロック(58.2%)、川西ブロック(55.9%)、足羽ブロック(51.8%)が高い。



【地区別】



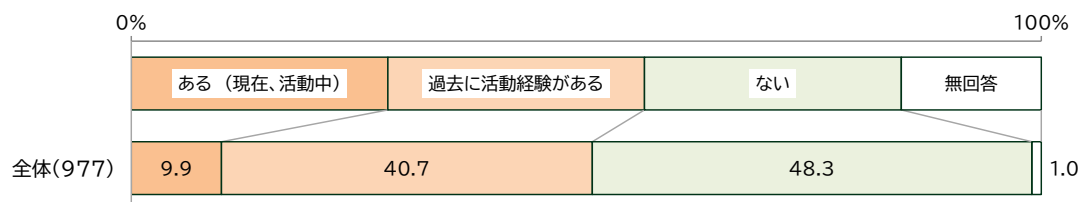
● ボランティア活動について

問1 あなたは、ボランティア活動をしたことがありますか。(1つ)

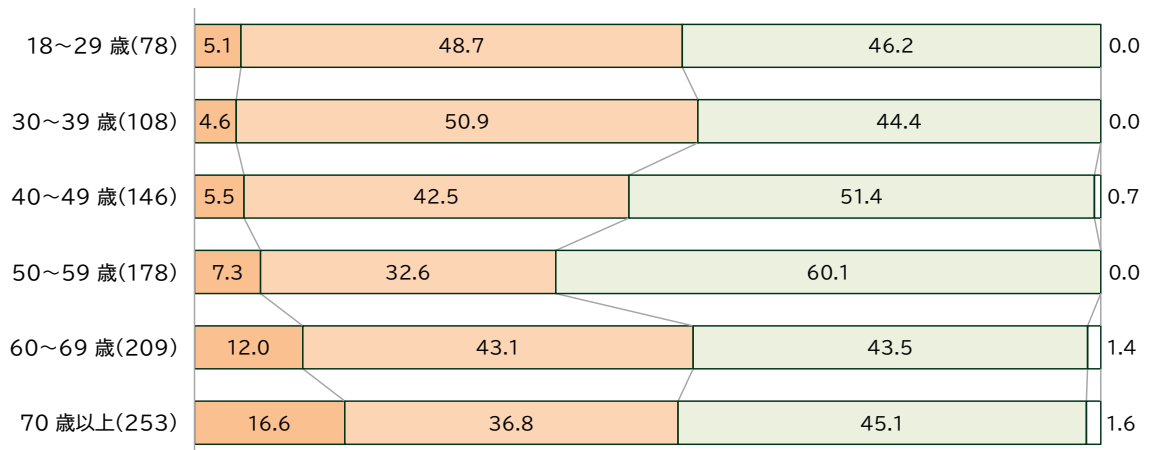
「活動したことがある」が約5割

「活動したことがある」(「ある」(9.9%)及び「過去に活動経験がある」(40.7%)の合計)が50.6%となっている。

年齢別に見ると、「活動したことがある」は、50～59歳(39.9%)が最も低くなっている。



【年齢別】

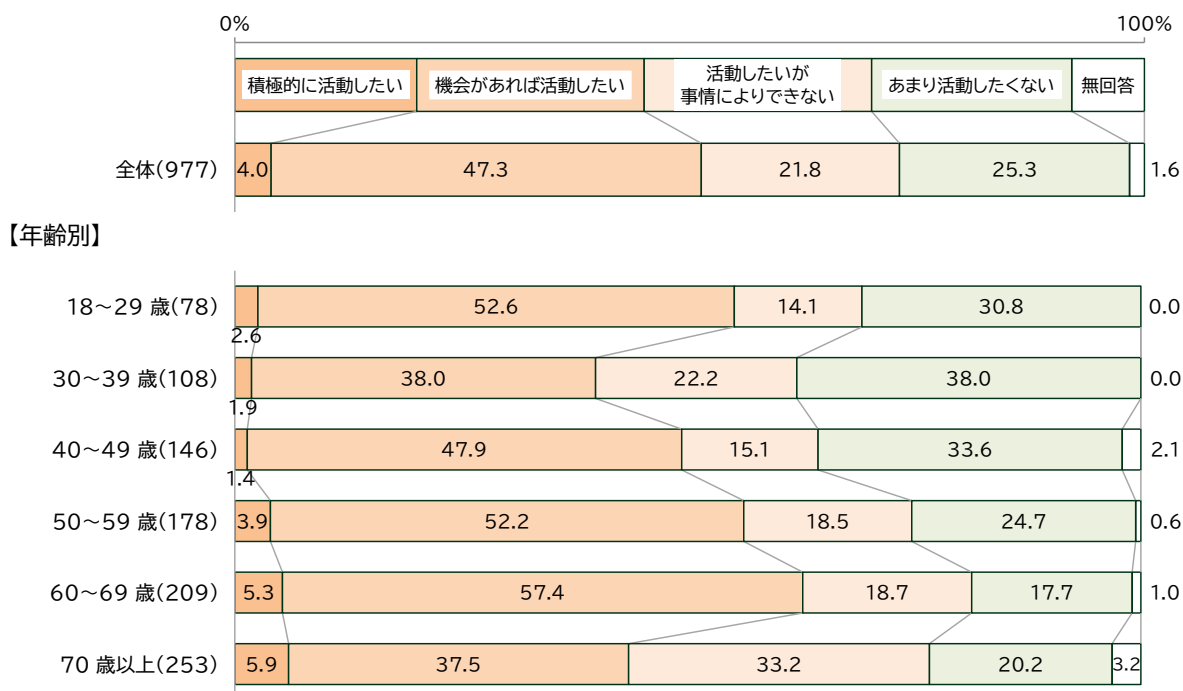


問2 あなたは、今後、ボランティア活動にどの程度取り組みたいですか。(1つ)

「活動したい」が7割以上

「活動したい」(「積極的に活動したい」(4.0%)、「機会があれば活動したい」(47.3%)及び「活動したいが事情によりできない」(21.8%)の合計)が73.1%となっている。

年齢別に見ると、「活動したい」は、60～69歳(81.4%)が最も高い。

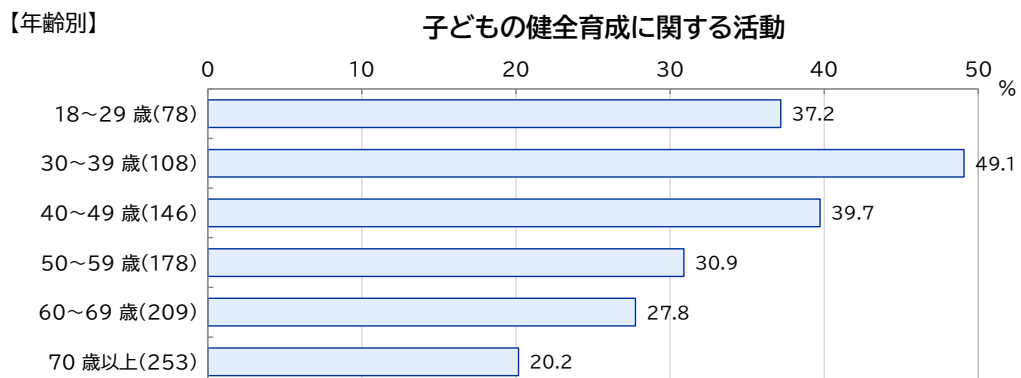
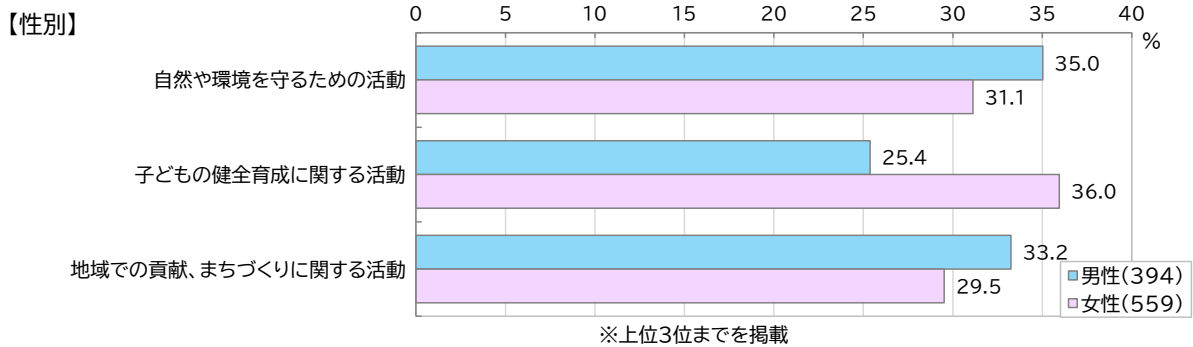
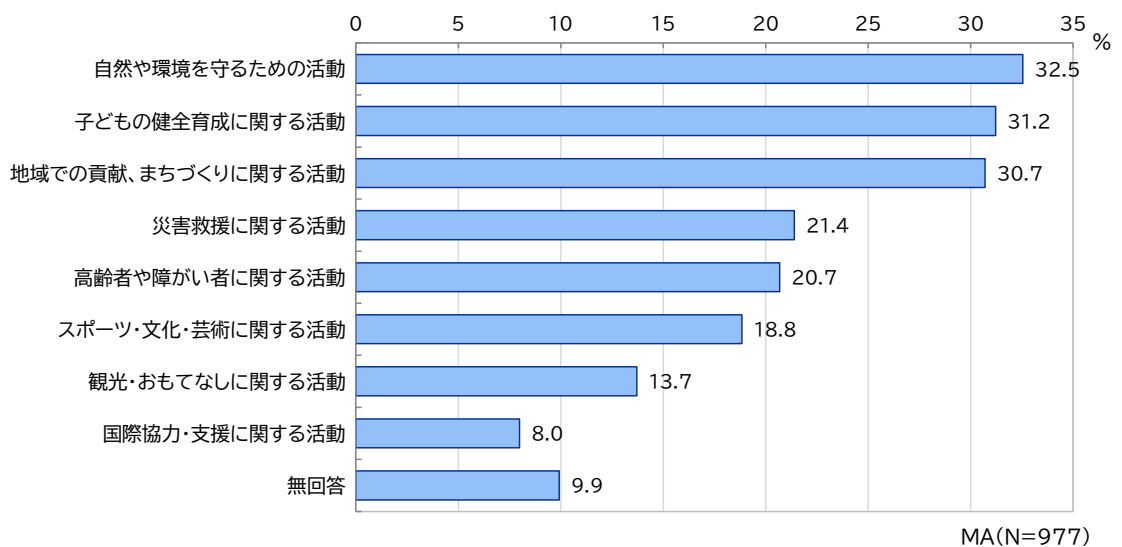


問3 あなたは、今後、どんなボランティア活動に参加したいと思いますか。(すべて)

「自然や環境を守るための活動」が約3割

「自然や環境を守るための活動」(32.5%)が最も高く、次いで「子どもの健全育成に関する活動」(31.2%)、「地域での貢献、まちづくりに関する活動」(30.7%)が高くなっている。

性別では、「子どもの健全育成に関する活動」は、女性(36.0%)が男性(25.4%)より10.6ポイント高い。年齢別に見ると、「子どもの健全育成に関する活動」は、30~39歳(49.1%)が最も高くなっている。

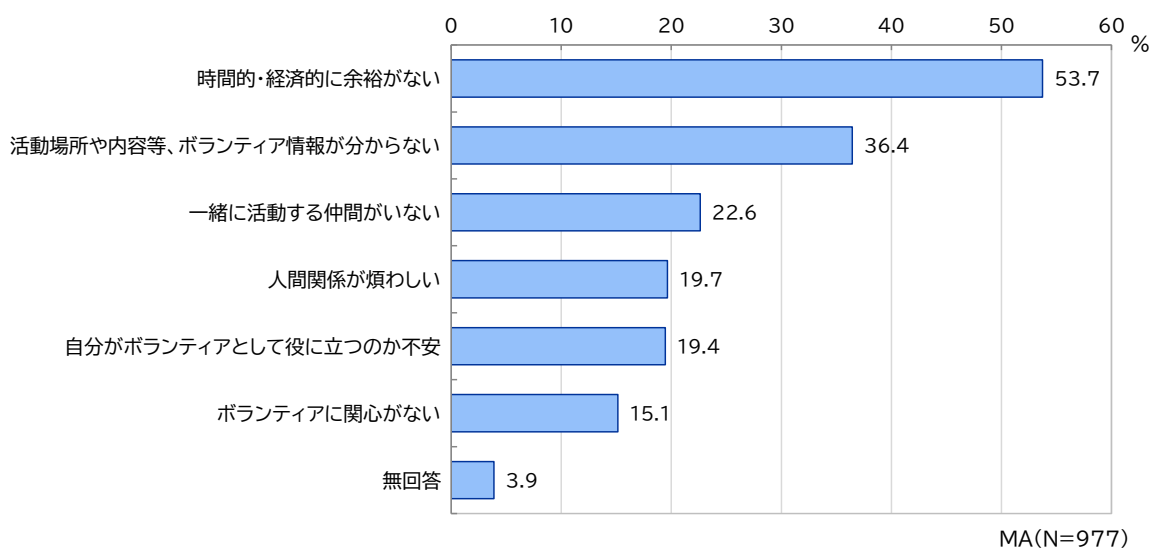


問4 あなたは、ボランティア活動への参加を妨げるのは、どのような理由からだと思いますか。(すべて)

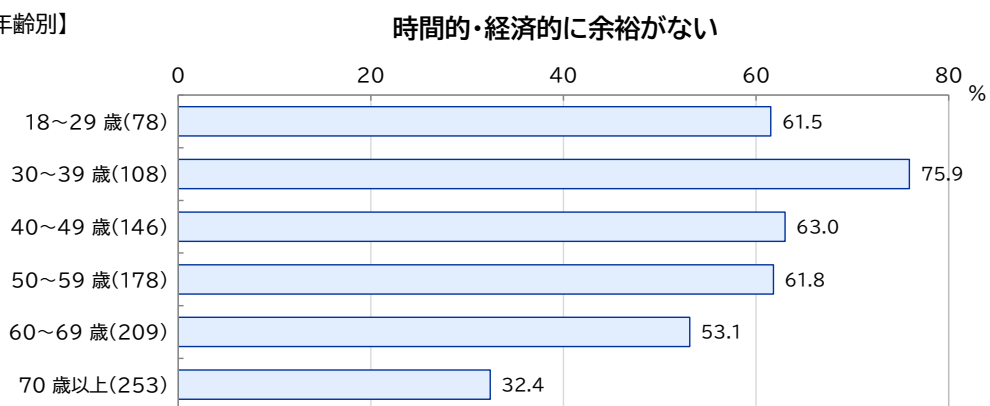
「時間的・経済的に余裕がない」が5割以上

「時間的・経済的に余裕がない」(53.7%)が最も高く、次いで「活動場所や内容等、ボランティア情報が分からない」(36.4%)が高くなっている。

年齢別に見ると、「時間的・経済的に余裕がない」は、30～39歳(75.9%)が最も高くなっている。



【年齢別】



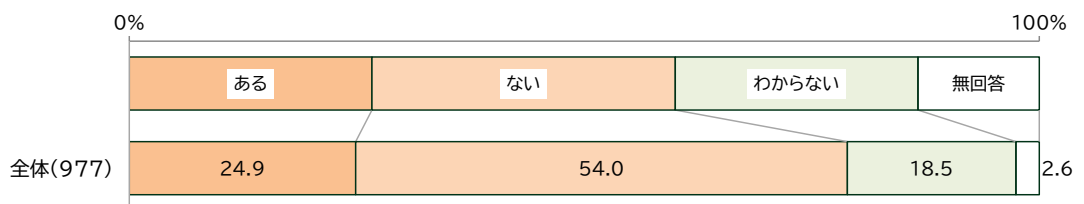
● 人権について

問1 あなたは、過去5年間のうち、あなた自身や身の回りで、差別や不平等な扱いなどの人権侵害を受けたり、見聞きしたりしたことがありますか。(1つ)

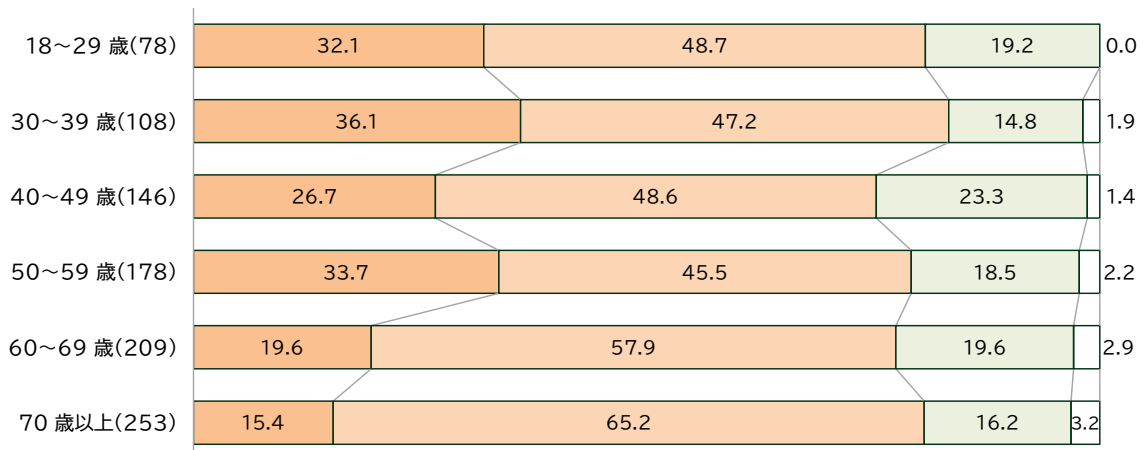
「ある」が2割以上

「ある」が24.9%、「ない」が54.0%となっている。

年齢別に見ると、「ある」は、30～39歳(36.1%)、50～59歳(33.7%)が高い。



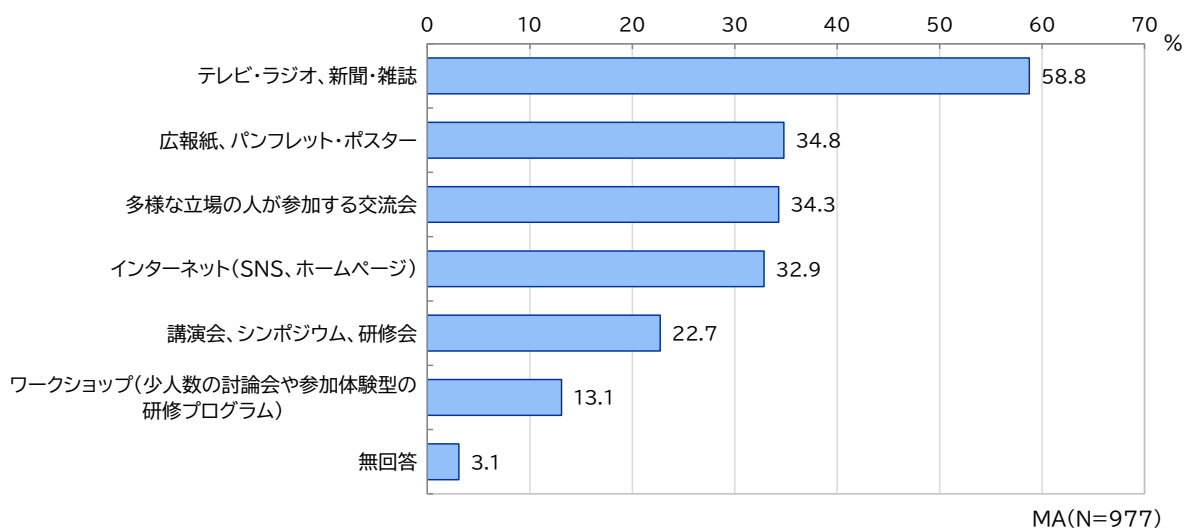
【年齢別】



問2 あなたは、人権尊重意識が市民に浸透するためには、市はどのような方法で啓発広報活動を行うことが効果的だと思いますか。(すべて)

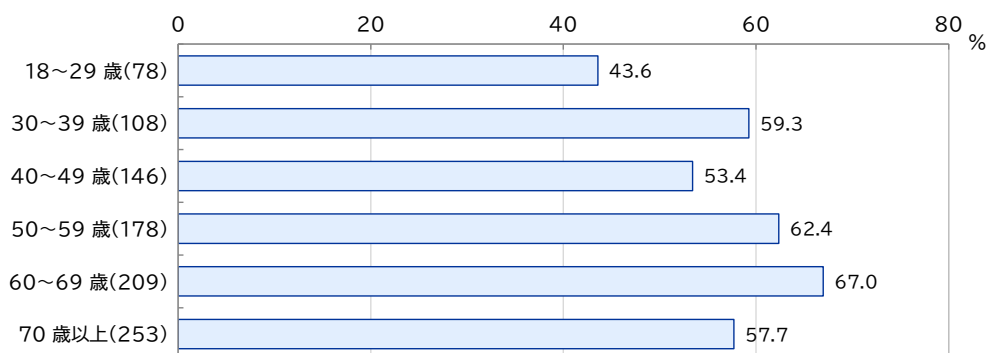
「テレビ・ラジオ、新聞・雑誌」が約6割

「テレビ・ラジオ、新聞・雑誌」(58.8%)が最も高い。
 年齢別に見ると、「テレビ・ラジオ、新聞・雑誌」は、60～69歳(67.0%)が最も高くなっている。



【年齢別】

テレビ・ラジオ、新聞・雑誌



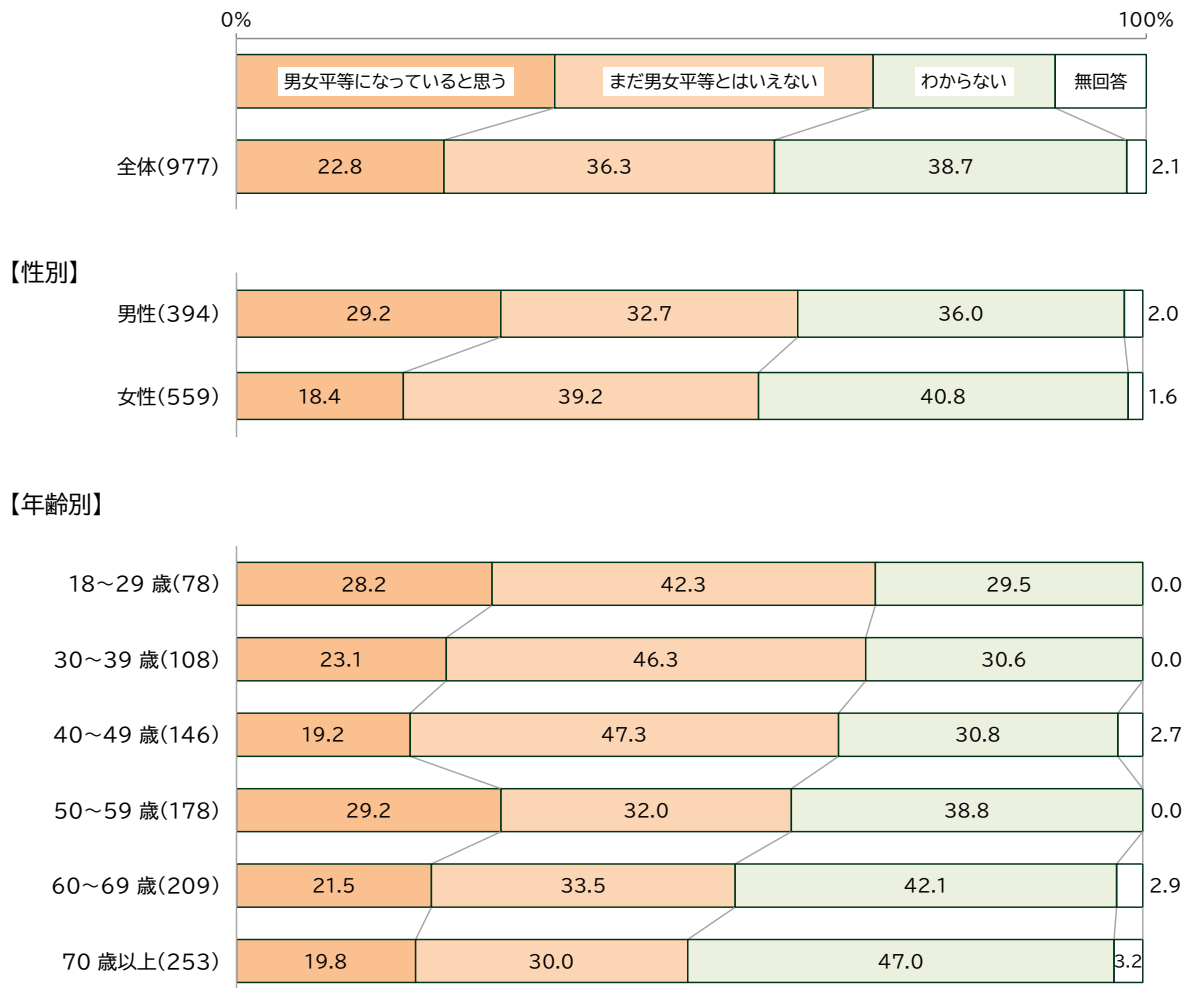
● 男女共同参画について

問1 あなたは、現在の学校教育の場において、男女平等になっていると思いますか。
(1つ)

「男女平等になっていると思う」が約2割

「男女平等になっていると思う」が22.8%、「まだ男女平等とはいえない」が36.3%、「わからない」が38.7%となっている。

性別では、「男女平等になっていると思う」は、男性(29.2%)が女性(18.4%)より10.8ポイント高い。年齢別に見ると、「男女平等になっていると思う」は、50~59歳(29.2%)が最も高くなっている。

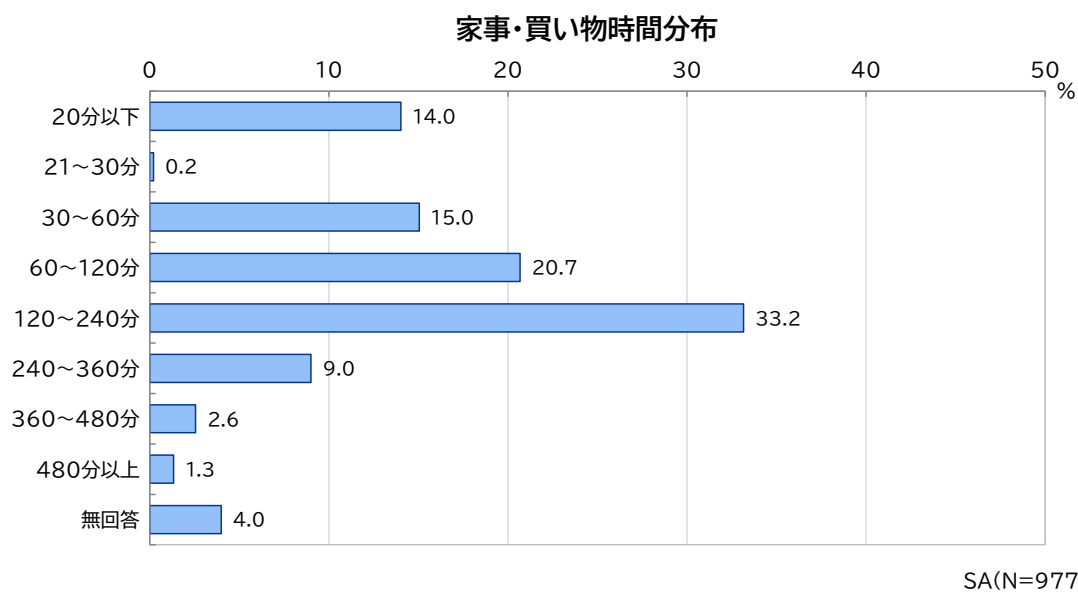


問2 あなたは、1日平均すると、どのくらい家事・買い物をしていますか。(分)

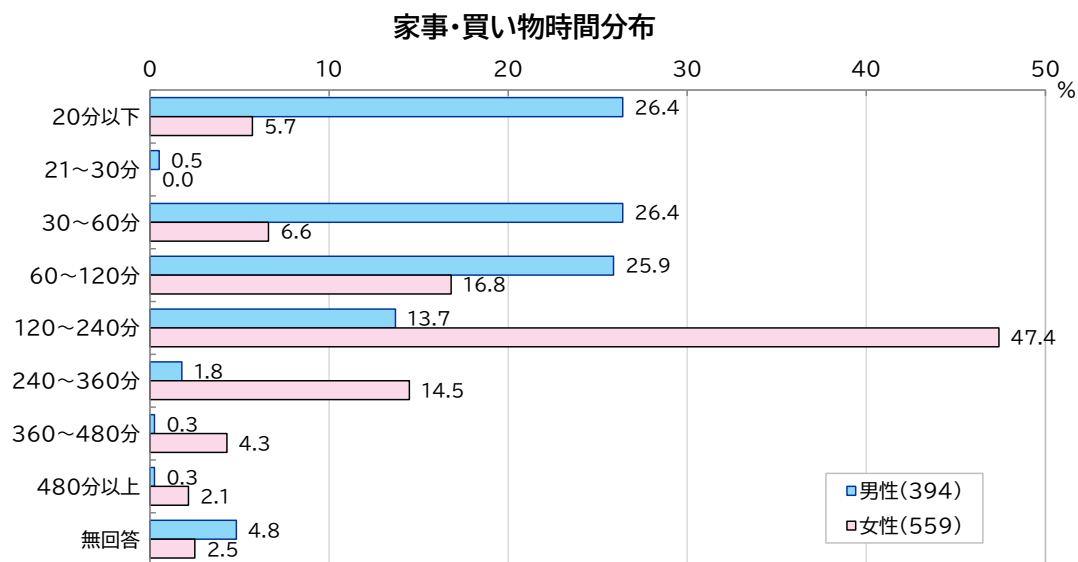
女性は「120～240分」が約5割、男性は「60分以下」が5割以上

「120～240分」(33.2%)が最も高く、「20分以下」は14.0%となっている。

性別では、女性は「120～240分」(47.4%)が最も高く、男性は「60分以下」(「20分以下」(26.4%)、「21～30分」(0.5%)及び「30～60分」(26.4%)の合計)が53.3%となっている。



【性別】

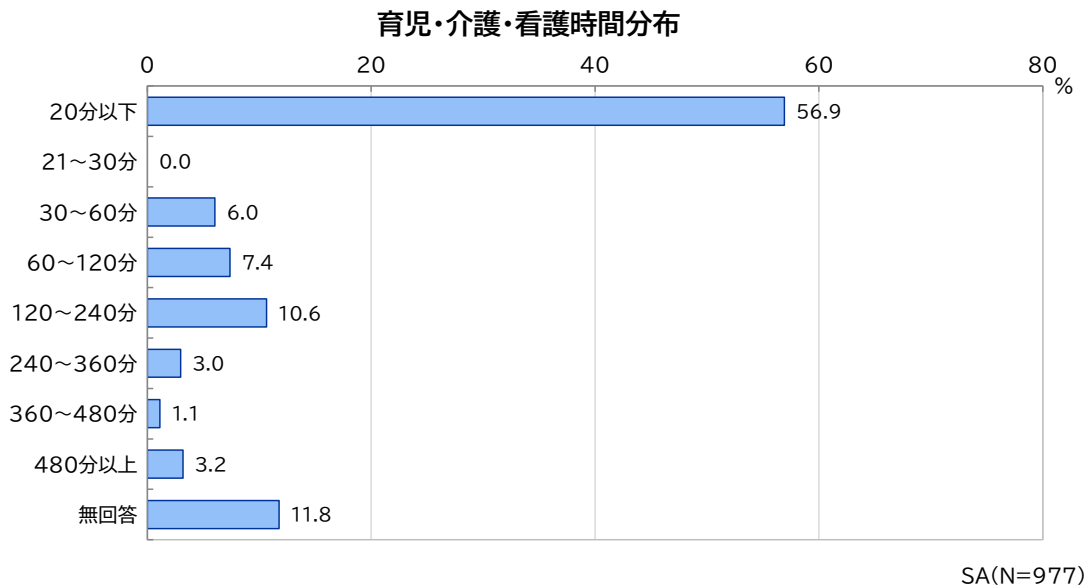


問3 あなたは、1日平均すると、どのくらい育児・介護・看護をしていますか。(分)

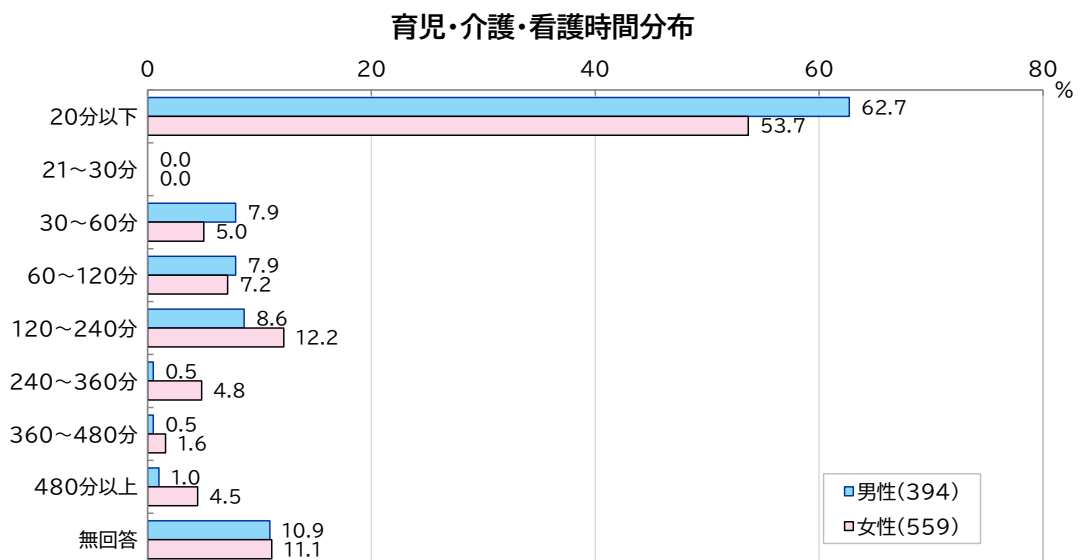
「20分以下」が5割以上

「20分以下」(56.9%)が最も高くなっている。

性別では、「20分以下」は、男性(62.7%)が女性(53.7%)より9.0ポイント高い。



【性別】

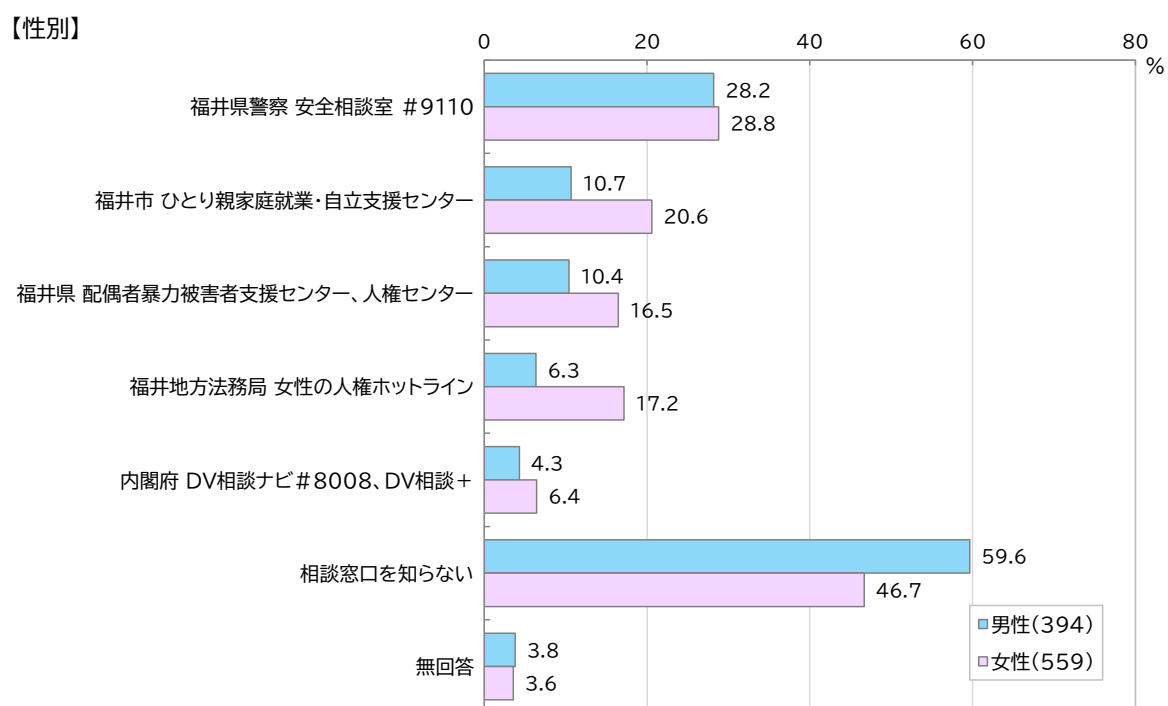
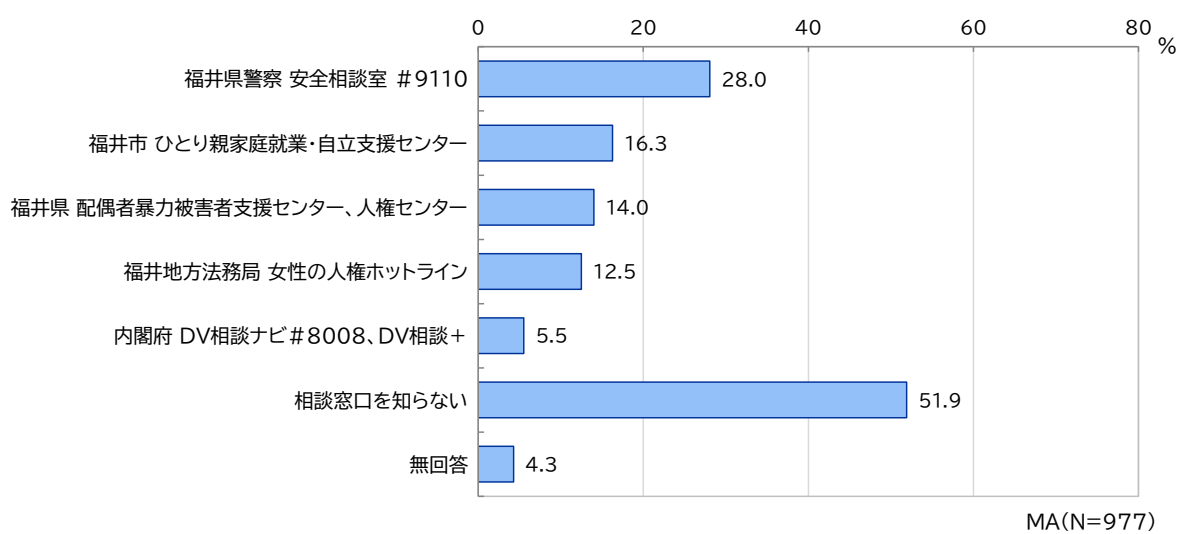


問4 次に示すDV（ドメスティック・バイオレンス）に関する相談窓口のうち、あなたが知っているものはどれですか。（すべて）

「福井県警察 安全相談室 #9110」が約3割

相談窓口の中で「福井県警察 安全相談室 #9110」（28.0%）が最も高く、「相談窓口を知らない」は51.9%となっている。

性別では、「相談窓口を知らない」は、男性（59.6%）が女性（46.7%）より12.9ポイント高い。



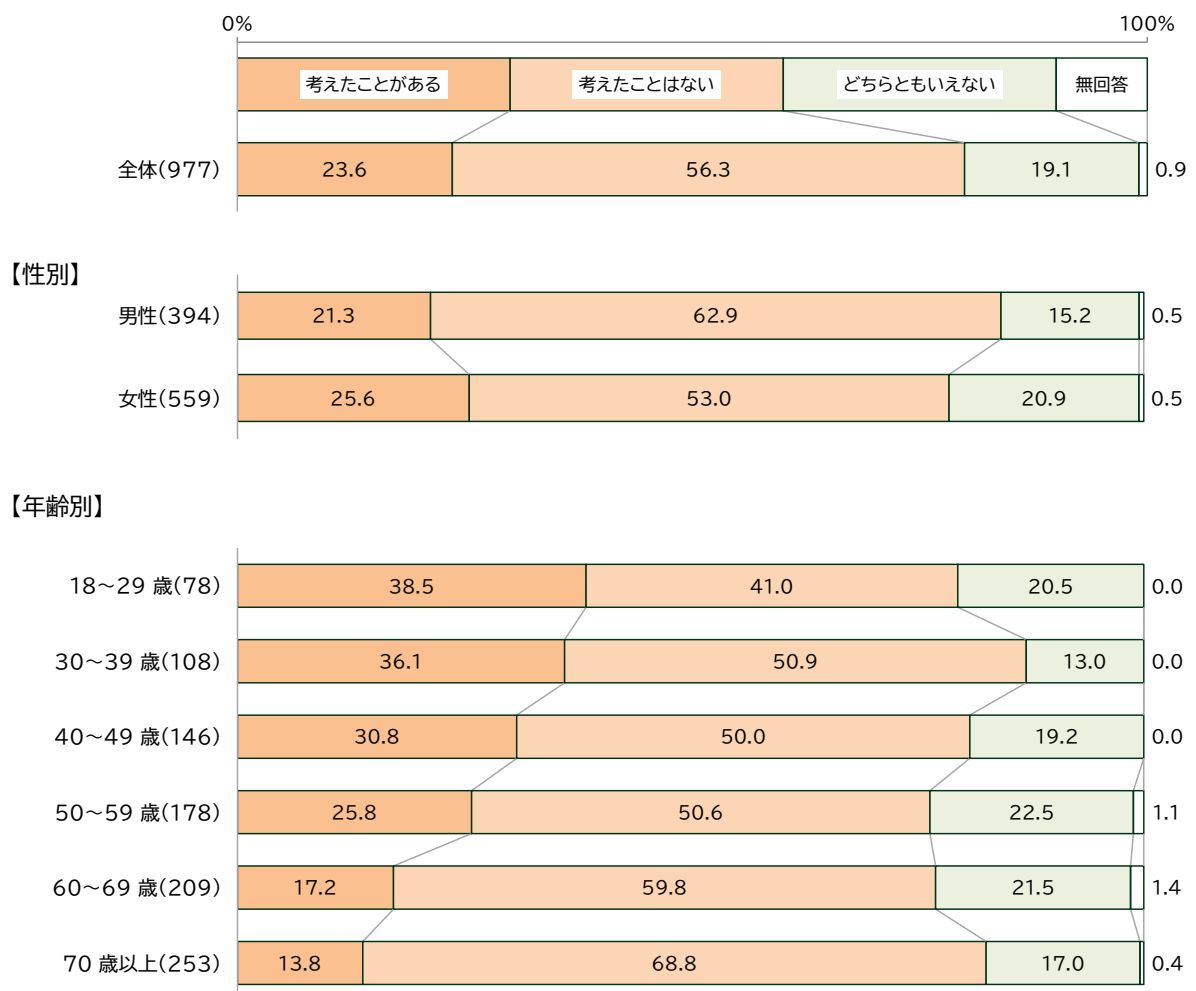
● 自殺対策について

問1 あなたは、これまでの人生のなかで、自殺したい、またはそれに近いことを考えたことがありますか。(1つ)

「考えたことがある」が2割以上

「考えたことがある」が23.6%、「考えたことはない」が56.3%となっている。

性別では、「考えたことはない」は、男性(62.9%)が女性(53.0%)より9.9ポイント高い。年齢別に見ると、「考えたことがある」は、若い世代ほどその割合が高くなる傾向がみられる。

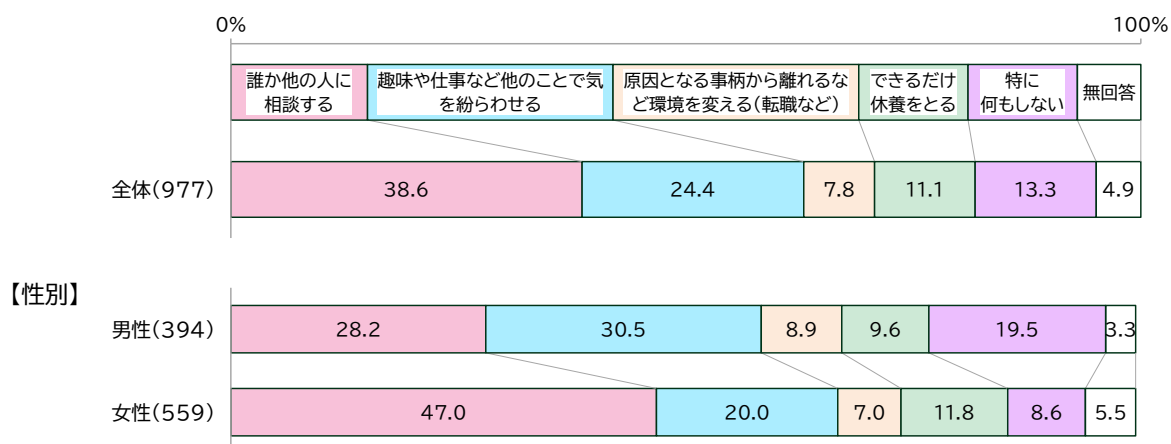


問2 あなたは、悩みごとにどのように対処しますか。(1つ)

「誰か他の人に相談する」が約4割

「誰か他の人に相談する」(38.6%)が最も高く、次いで「趣味や仕事など他のことで気を紛らわせる」(24.4%)が高くなっている。

性別では、「誰か他の人に相談する」は、女性(47.0%)が男性(28.2%)より18.8ポイント高く、「趣味や仕事など他のことで気を紛らわせる」は、男性(30.5%)が女性(20.0%)より10.5ポイント高くなっている。

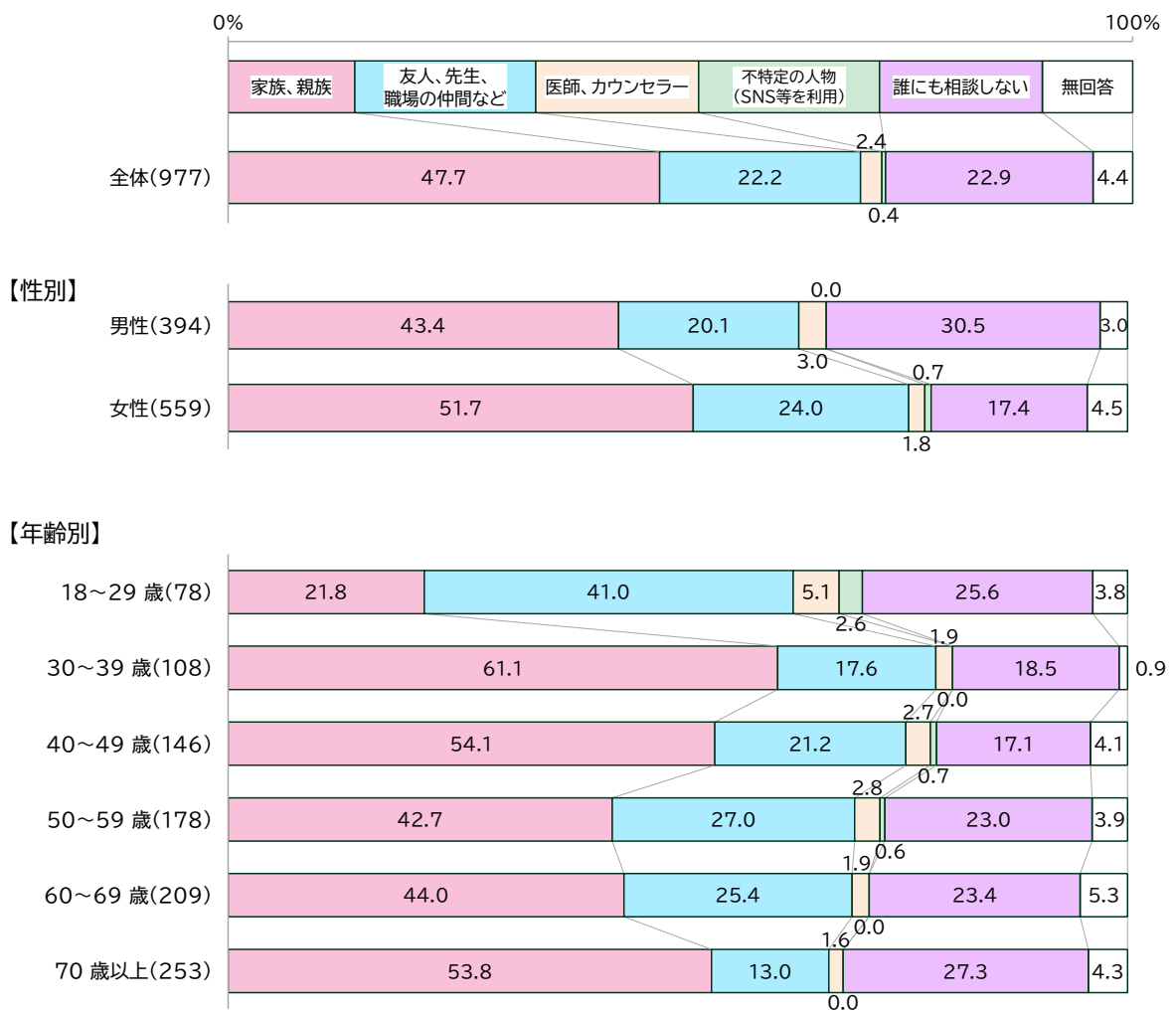


問3 あなたは、悩みごとを誰に相談しますか。(1つ)

「家族、親族」が約5割

「家族、親族」(47.7%)が最も高く、「誰にも相談しない」が22.9%となっている。

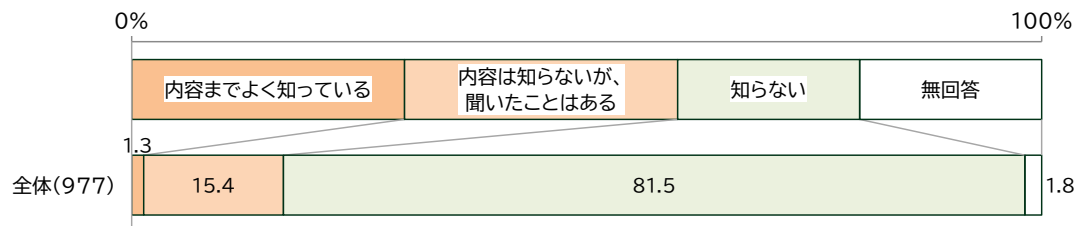
性別では、「家族、親族」は、女性(51.7%)が男性(43.4%)より8.3ポイント高く、「誰にも相談しない」は、男性(30.5%)が女性(17.4%)より13.1ポイント高くなっている。年齢別に見ると、「友人、先生、職場の仲間など」は、18~29歳(41.0%)が最も高くなっている。



問4 あなたは、ゲートキーパー（悩みを聞き支援につなぐ人）を知っていますか。（1つ）

「知っている」が1割以上

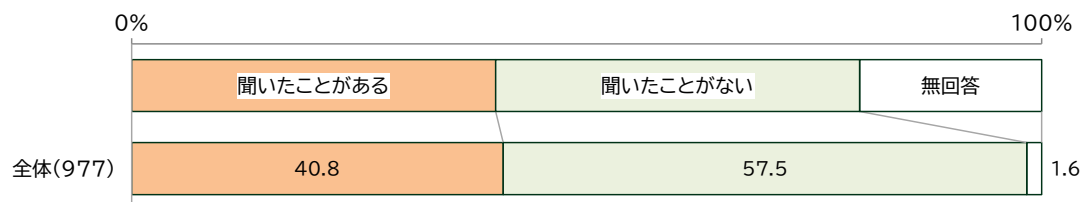
「知っている」（「内容までよく知っている」（1.3%）及び「内容は知らないが、聞いたことはある」（15.4%）の合計）が16.7%、「知らない」が81.5%となっている。



問5 あなたは、自殺予防週間や自殺対策強化月間について聞いたことはありますか。（1つ）

「聞いたことがある」が約4割

「聞いたことがある」が40.8%、「聞いたことがない」が57.5%となっている。

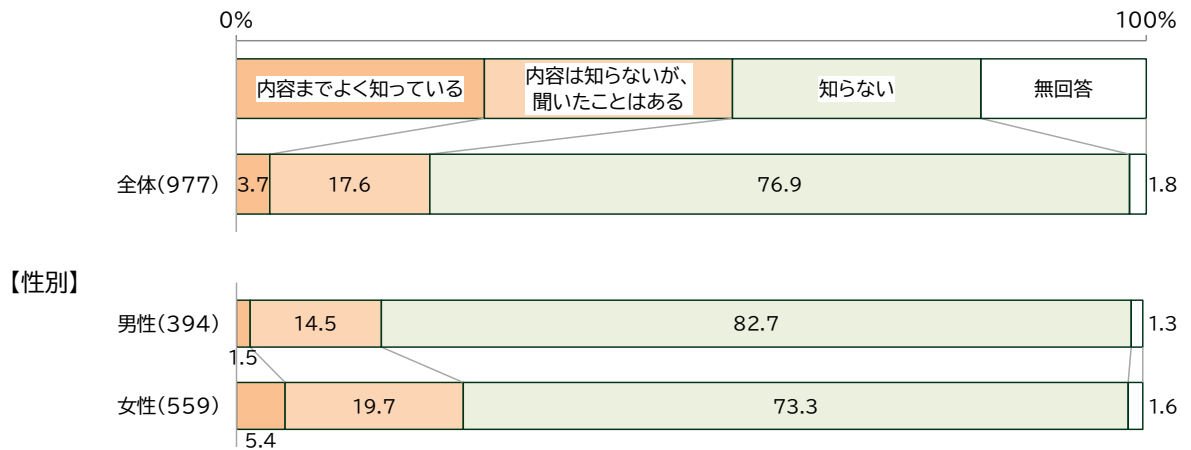


問6 あなたは、グリーフケア（死別の悲しみに寄り添い支援すること）を知っていますか。
（1つ）

「知っている」が約2割

「知っている」（「内容までよく知っている」（3.7%）及び「内容は知らないが、聞いたことはある」（17.6%）の合計）が21.3%、「知らない」が76.9%、となっている。

性別では、「知っている」は、女性（25.1%）が男性（16.0%）より9.1ポイント高い。

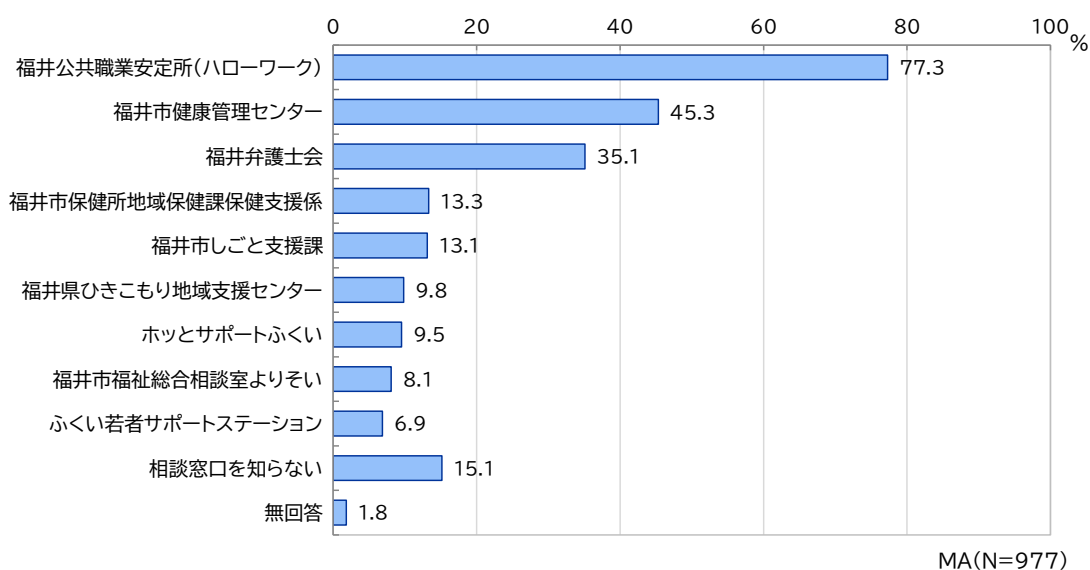


問7 あなたは、下記相談窓口を知っていますか。(すべて)

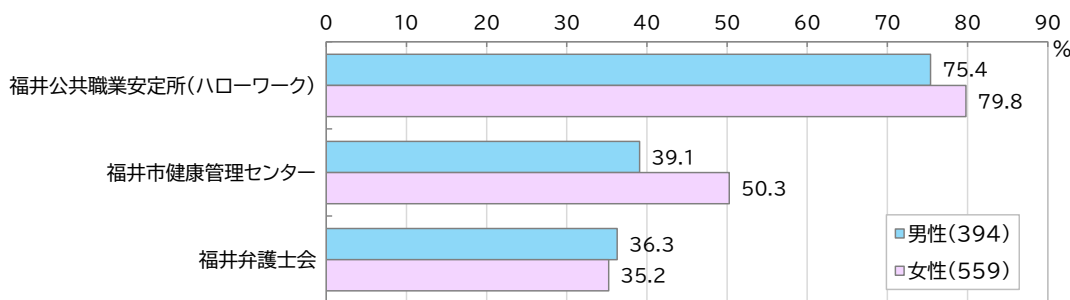
「福井公共職業安定所（ハローワーク）」が約8割

「福井公共職業安定所（ハローワーク）」（77.3%）が最も高く、次いで「福井市健康管理センター」（45.3%）、「福井弁護士会」（35.1%）が高くなっている。

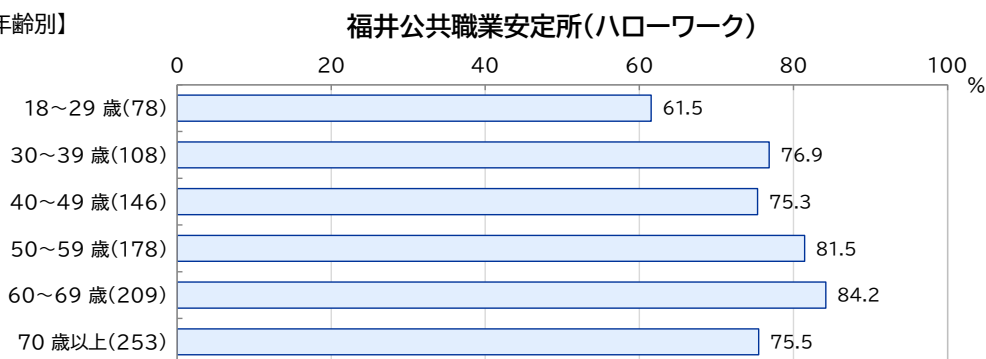
性別では、「福井市健康管理センター」は、女性（50.3%）が男性（39.1%）より11.2ポイント高い。年齢別に見ると、「福井公共職業安定所（ハローワーク）」は、60～69歳（84.2%）が最も高くなっている。



【性別】



【年齢別】



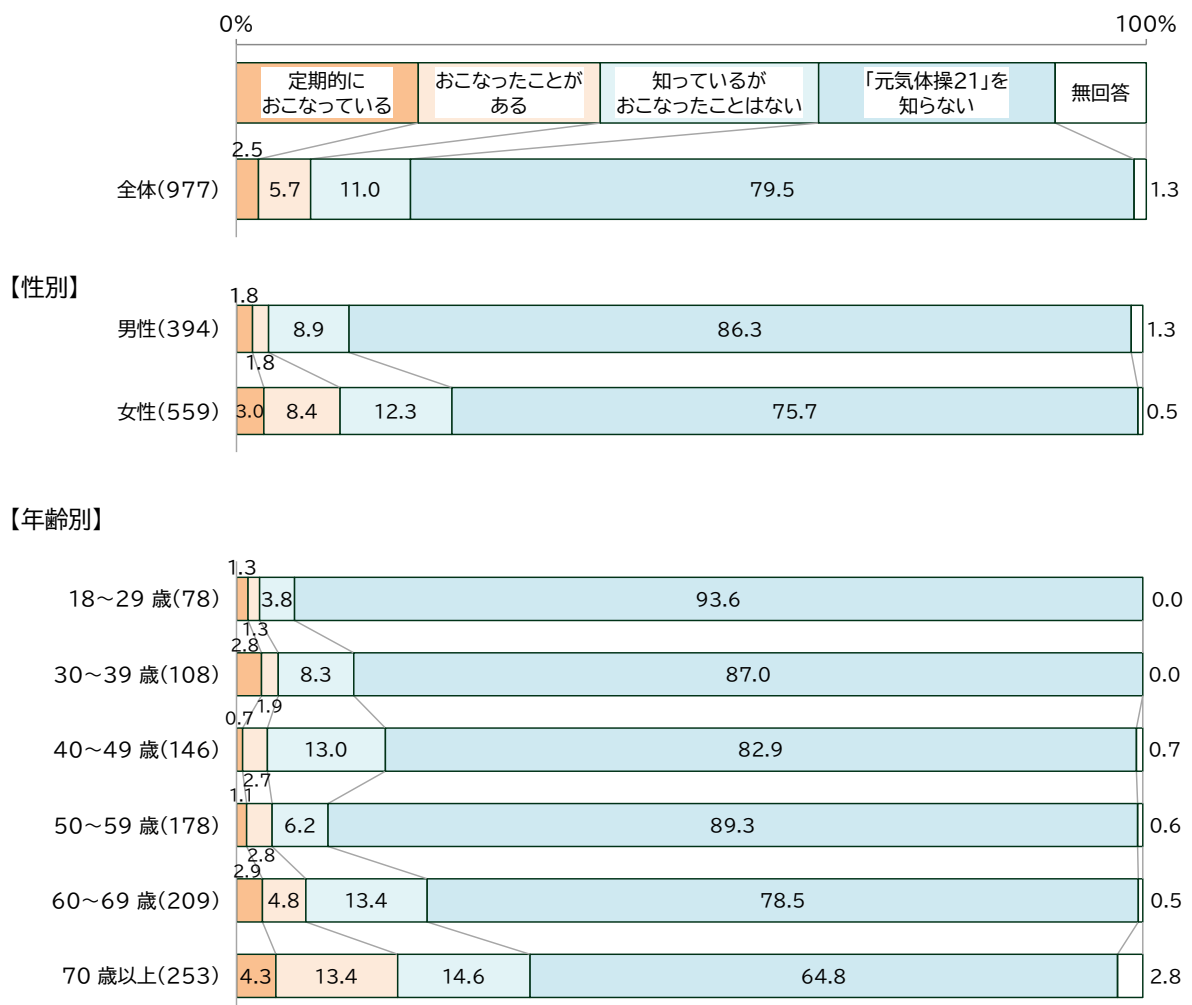
● 健康づくりに対する意識について

問1 あなたは、元気体操21をおこなっていますか。(1つ)

「元気体操21をおこなったことがある」が約1割

「元気体操21をおこなったことがある」(「定期的におこなっている」(2.5%)及び「おこなったことがある」(5.7%)の合計)が8.2%、「元気体操21をおこなったことはない」(「知っているがおこなったことはない」(11.0%)及び「『元気体操21』を知らない」(79.5%)の合計)が90.5%となっている。

性別では、「元気体操21をおこなったことがある」は、女性(11.4%)が男性(3.6%)より7.8ポイント高い。年齢別に見ると、「元気体操21をおこなったことがある」は、70歳以上(17.7%)が最も高くなっている。

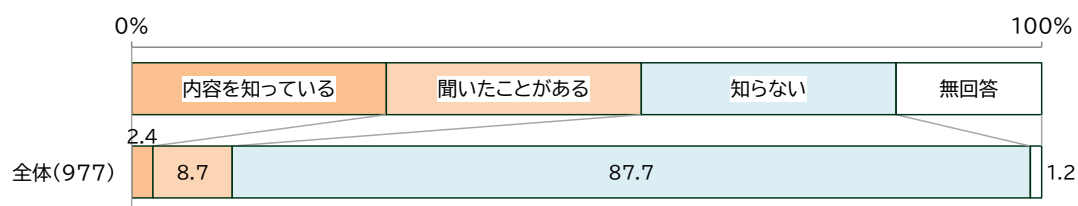


問2 あなたは、「ずっと健康101宣言」を知っていますか。(1つ)

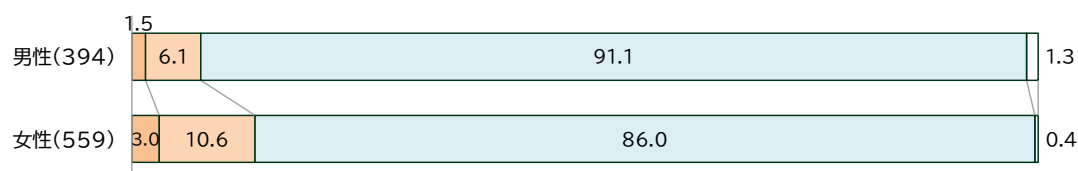
「知っている」が約1割

「知っている」(「内容を知っている」(2.4%) 及び「聞いたことがある」(8.7%) の合計) が 11.1%、「知らない」が 87.7%となっている。

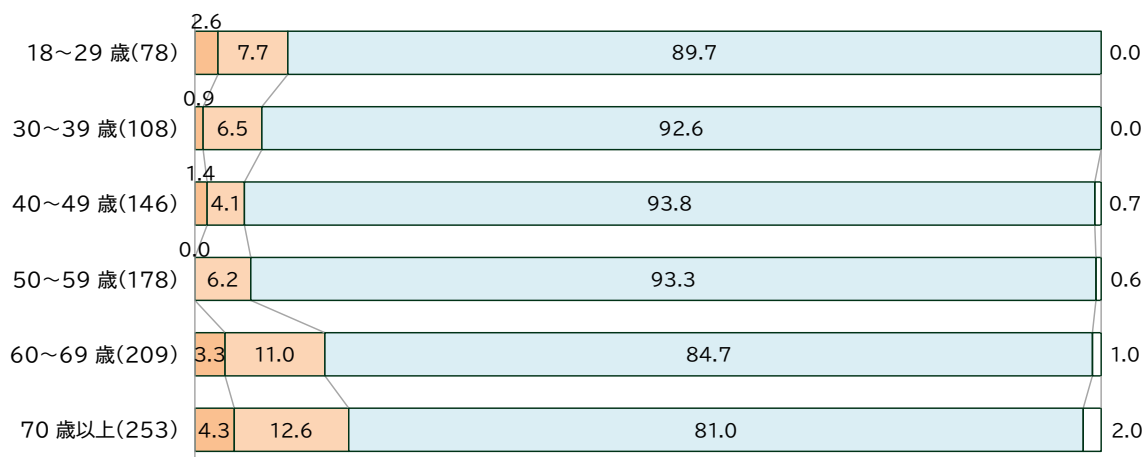
性別では、「知っている」は、女性(13.6%)が男性(7.6%)より6.0ポイント高い。年齢別に見ると、「知っている」は、70歳以上(16.9%)が最も高くなっている。



【性別】



【年齢別】

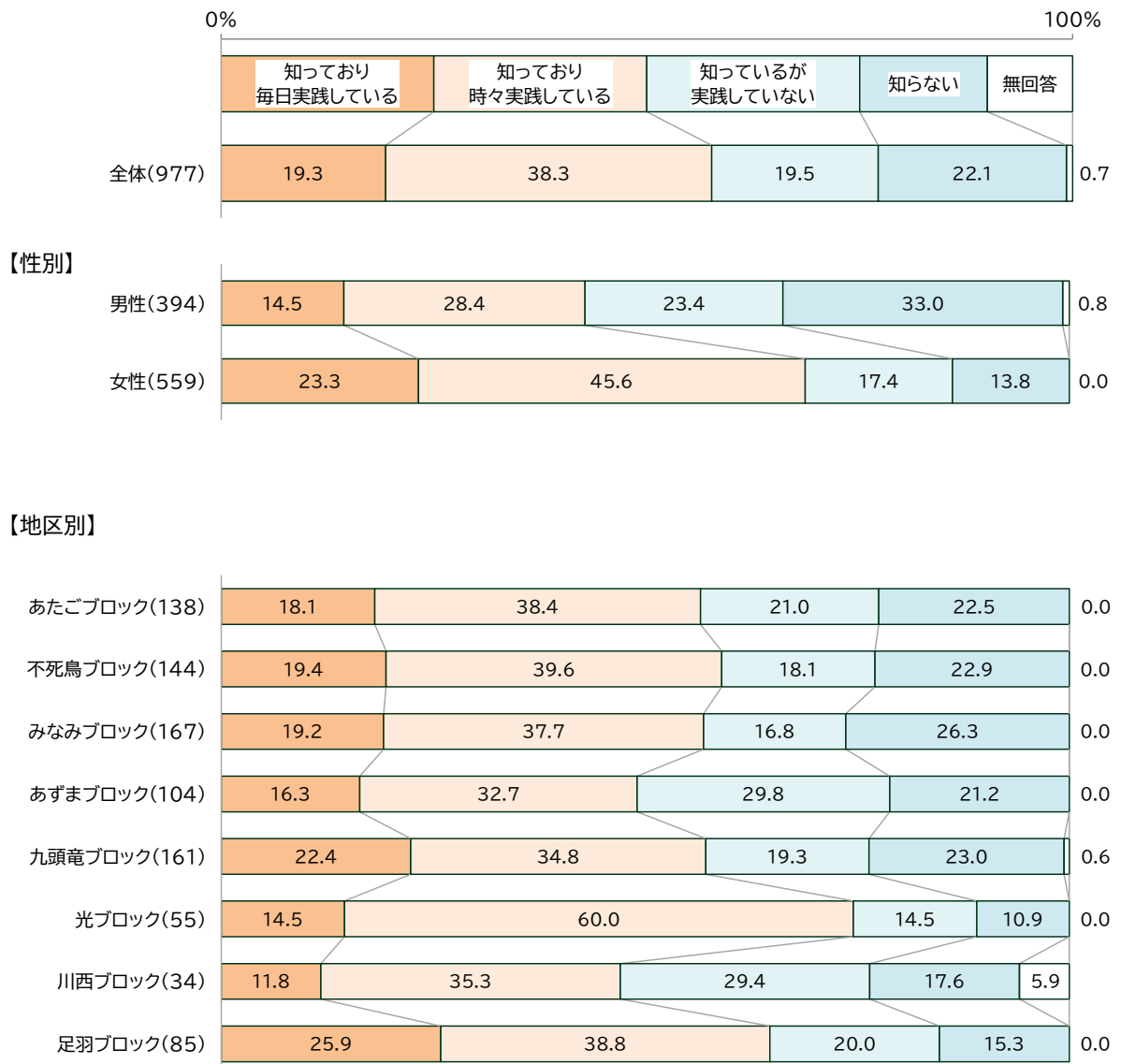


問3 あなたは、ベジ・ファーストには生活習慣病の予防効果（血糖値の上昇を抑えるなど）があることを知っていますか。また、実践していますか。（1つ）

「実践している」が約6割

「実践している」（「知っており毎食実践している」（19.3%）及び「知っており時々実践している」（38.3%）の合計）が57.6%、「知らない」が22.1%となっている。

性別では、「実践している」は、女性（68.9%）が男性（42.9%）より26.0ポイント高い。地区別では、「実践している」は、光ブロック（74.5%）が最も高い。

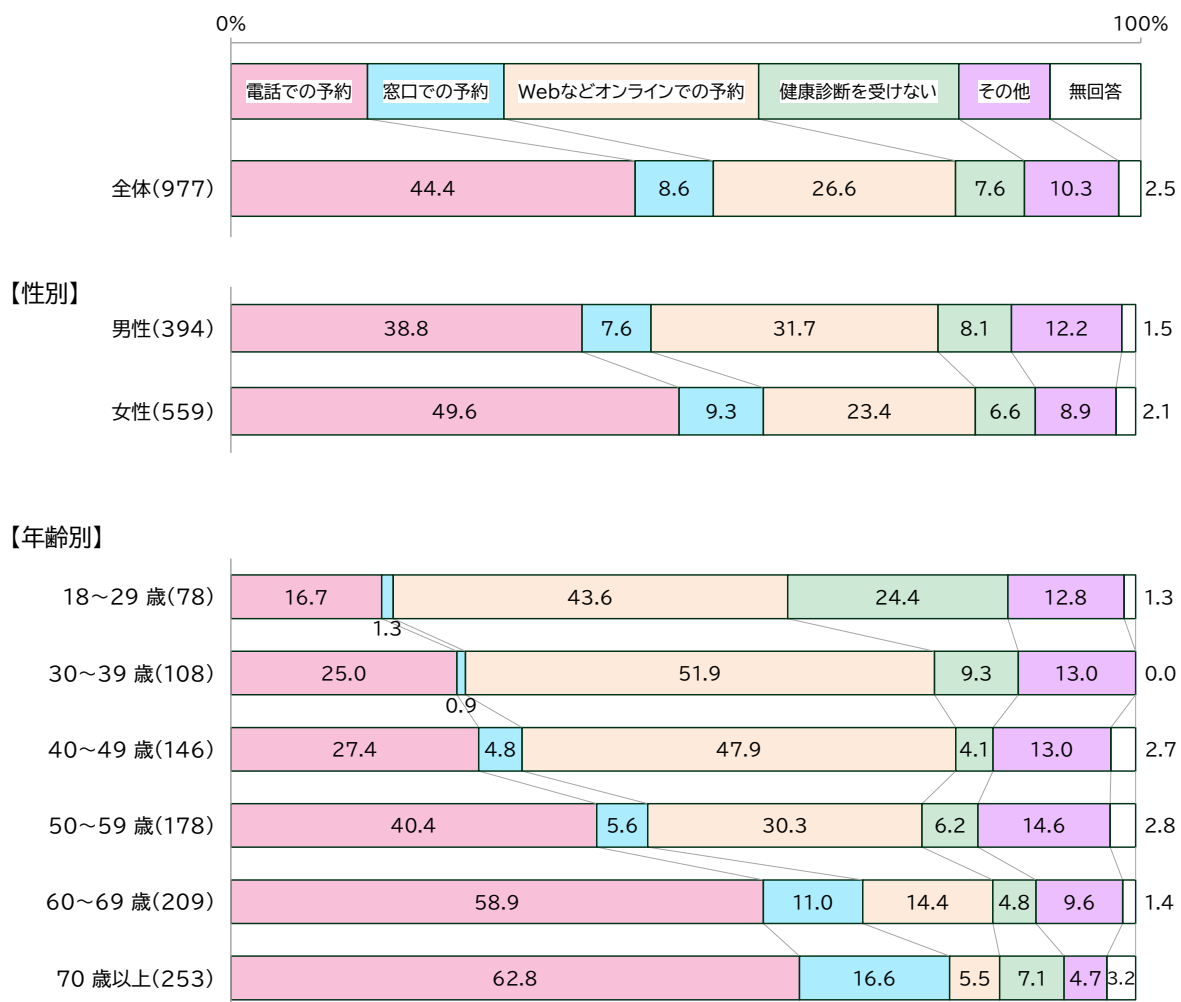


問4 あなたは、ご自身の健康診断（人間ドックを含む）を予約する場合、どの手段を希望しますか。（1つ）

「電話での予約」が4割以上

「電話での予約」（44.4%）が最も高く、次いで「Webなどオンラインでの予約」（26.6%）が高くなっている。

性別では、「電話での予約」は、女性（49.6%）が男性（38.8%）より10.8ポイント高く、「Webなどオンラインでの予約」は、男性（31.7%）が女性（23.4%）より8.3ポイント高くなっている。年齢別に見ると、「電話での予約」は、年齢の高い世代ほどその割合が高くなる傾向がある一方で、「Webなどオンラインでの予約」は、30～39歳（51.9%）を中心とした若い世代でその割合が高くなっている。



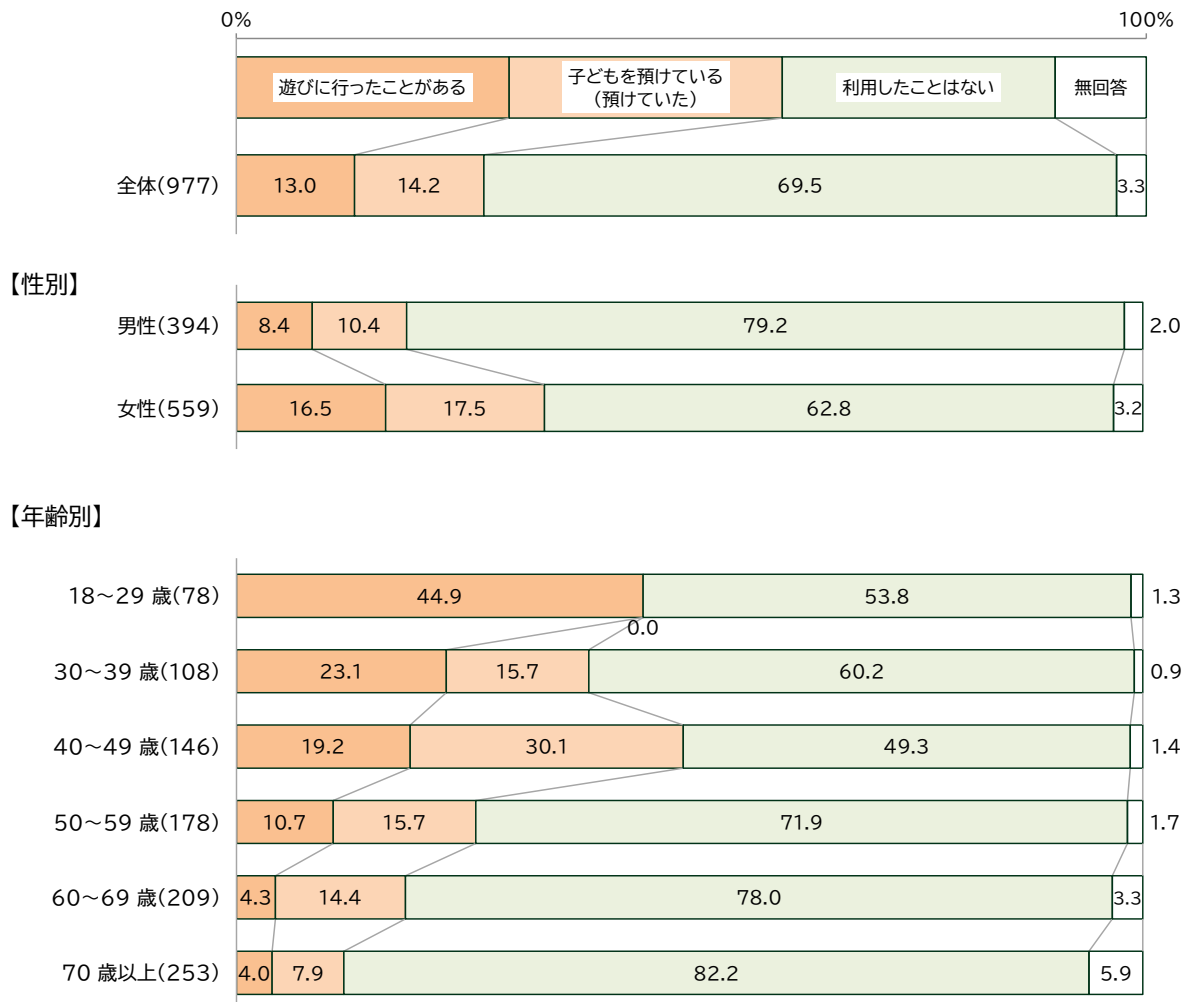
● 児童館について

問1 あなたは、児童館を利用したことがありますか。(1つ)

「利用したことがある」が約3割

「利用したことがある」(「遊びに行ったことがある」(13.0%)及び「子どもを預けている(預けていた)」(14.2%)の合計)が27.2%、「利用したことはない」が69.5%となっている。

性別では、「利用したことがある」は、女性(34.0%)が男性(18.8%)より15.2ポイント高い。年齢別に見ると、「遊びに行ったことがある」は、若い世代ほどその割合が高くなる傾向がみられる。

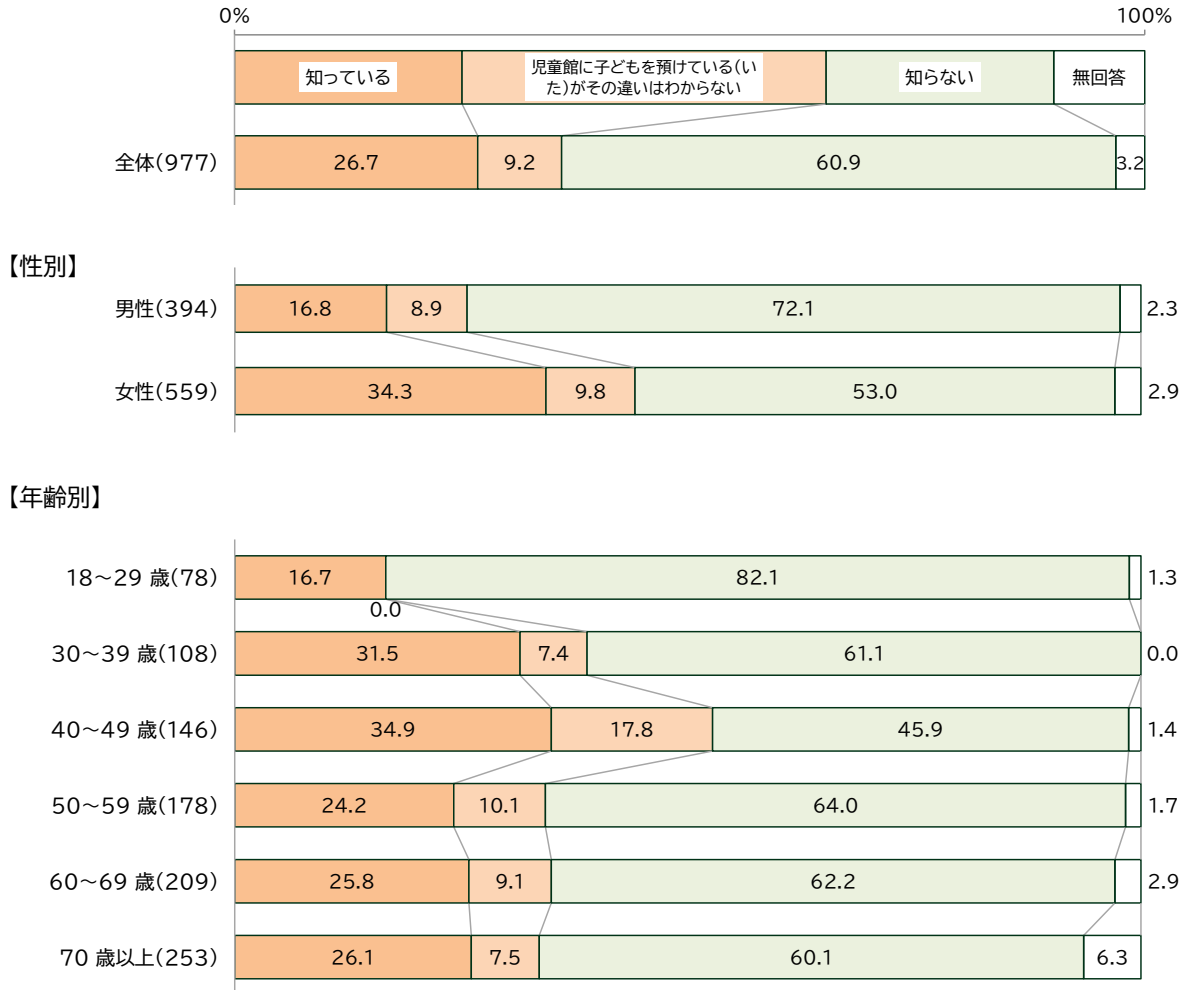


問2 あなたは、児童館と児童クラブの違いをご存じですか。(1つ)

「違いを知らない」が約7割

「知っている」が26.7%、「違いを知らない」(「児童館に子どもを預けている(いた)がその違いはわからない」(9.2%)及び「知らない」(60.9%)の合計)は70.1%となっている。

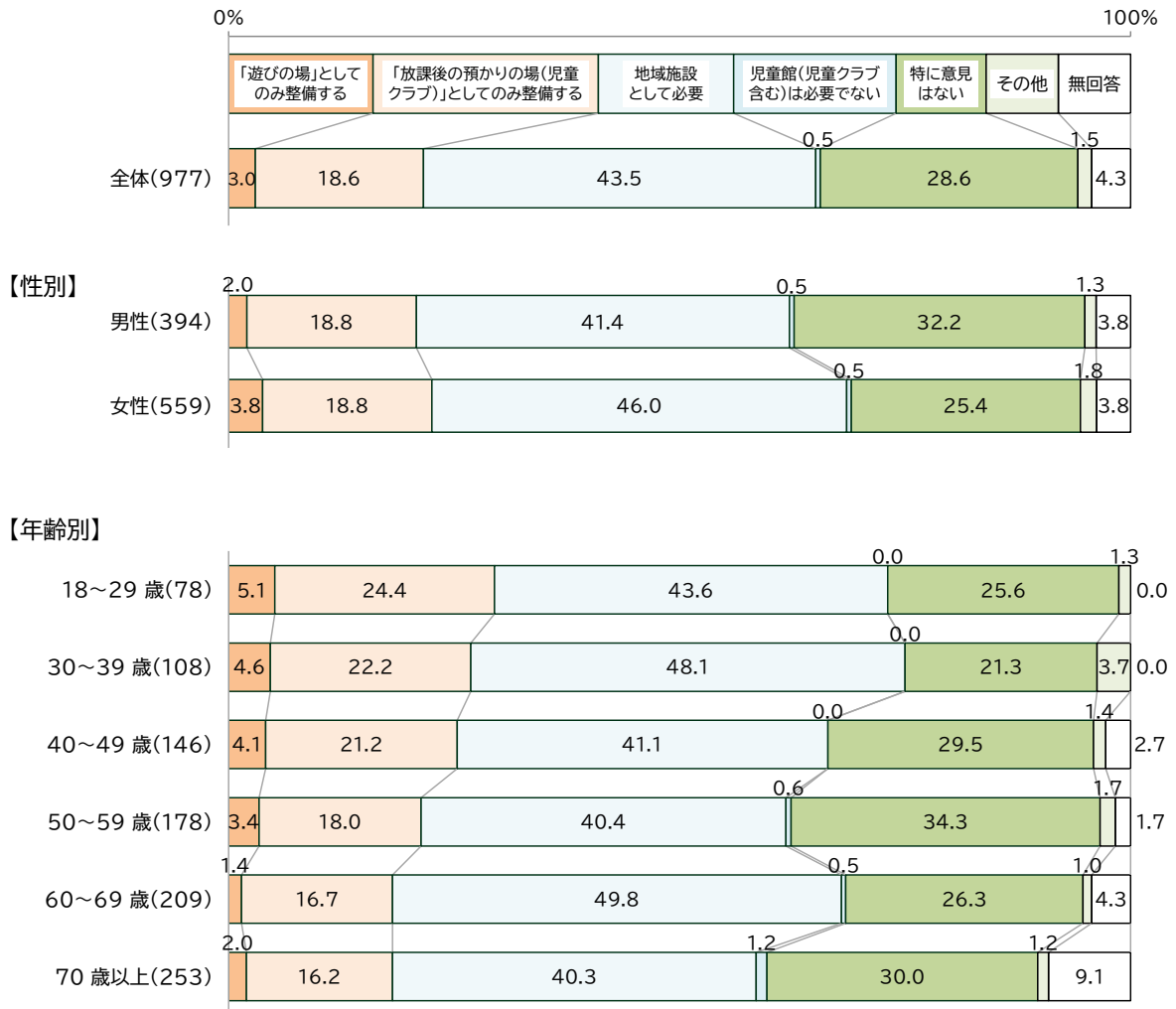
性別では、「知っている」は、女性(34.3%)が男性(16.8%)より17.5ポイント高い。年齢別に見ると、「知らない」は、18~29歳(82.1%)が最も高くなっている。



問3 あなたは、今後の児童館のあり方について、どのように考えますか。(1つ)

「地域施設として必要」が4割以上

「地域施設として必要」(43.5%)が最も高く、「特に意見はない」は28.6%となっている。
性別では、「特に意見はない」は、男性(32.2%)が女性(25.4%)より6.8ポイント高い。
年齢別に見ると、「地域施設として必要」は、60～69歳(49.8%)が最も高くなっている。



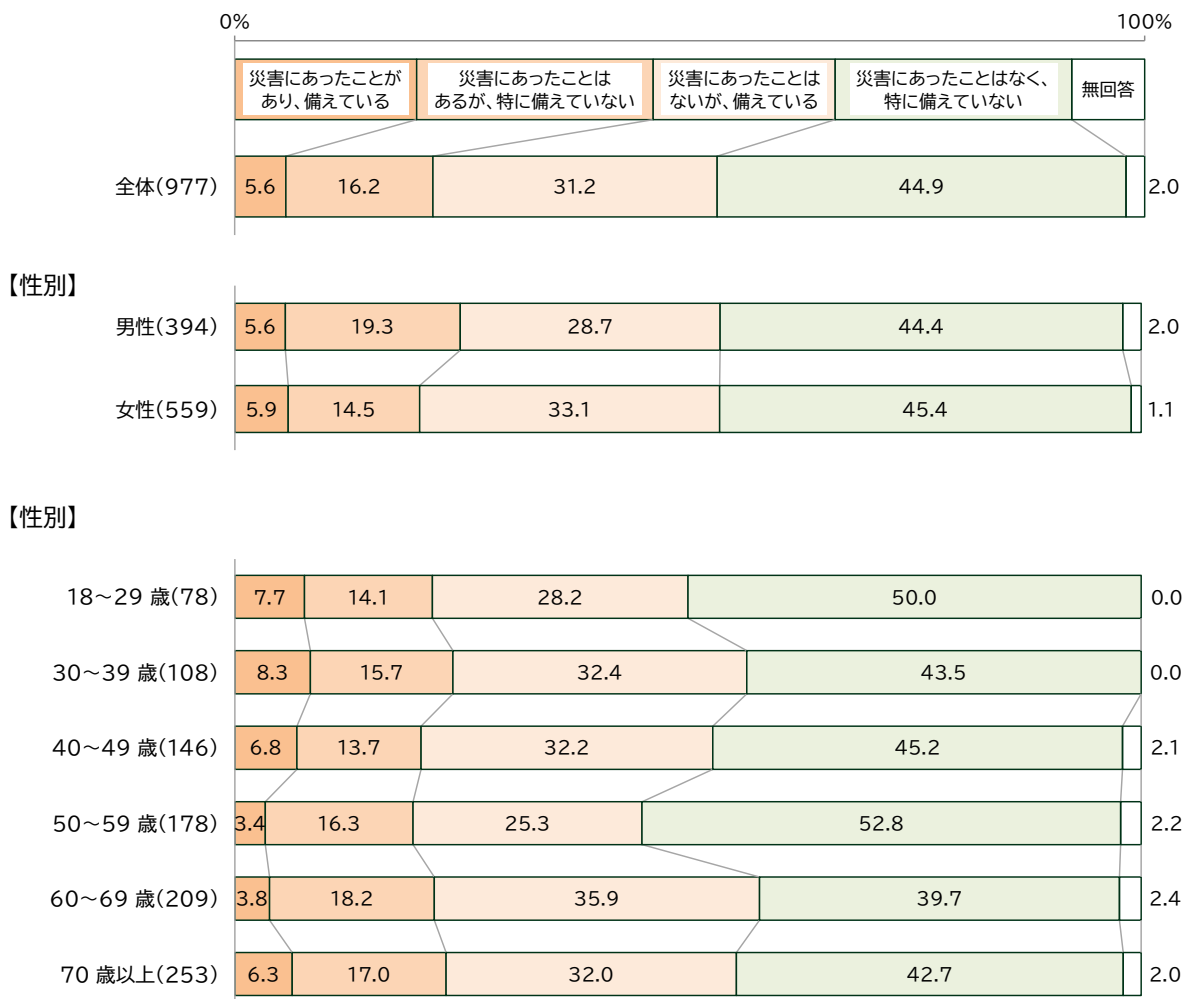
● 防災に対する意識について

問1 あなたは、身の危険を感じる災害にあったことがありますか。また、災害に備えていますか。(1つ)

「災害にあったことがある」は約2割 「災害に備えている」は3割以上

「災害にあったことがある」(「災害にあったことがあります、備えている」(5.6%)及び「災害にあったことはあるが、特に備えていない」(16.2%)の合計)は21.8%、「災害に備えている」(「災害にあったことがあります、備えている」(5.6%)及び「災害にあったことはないが、備えている」(31.2%)の合計)は36.8%となっている。

性別では、「災害にあったことはあるが、特に備えていない」は、男性(19.3%)が女性(14.5%)より4.8ポイント高い。年齢別に見ると、「災害に備えている」は、50～59歳(28.7%)が最も低くなっている。

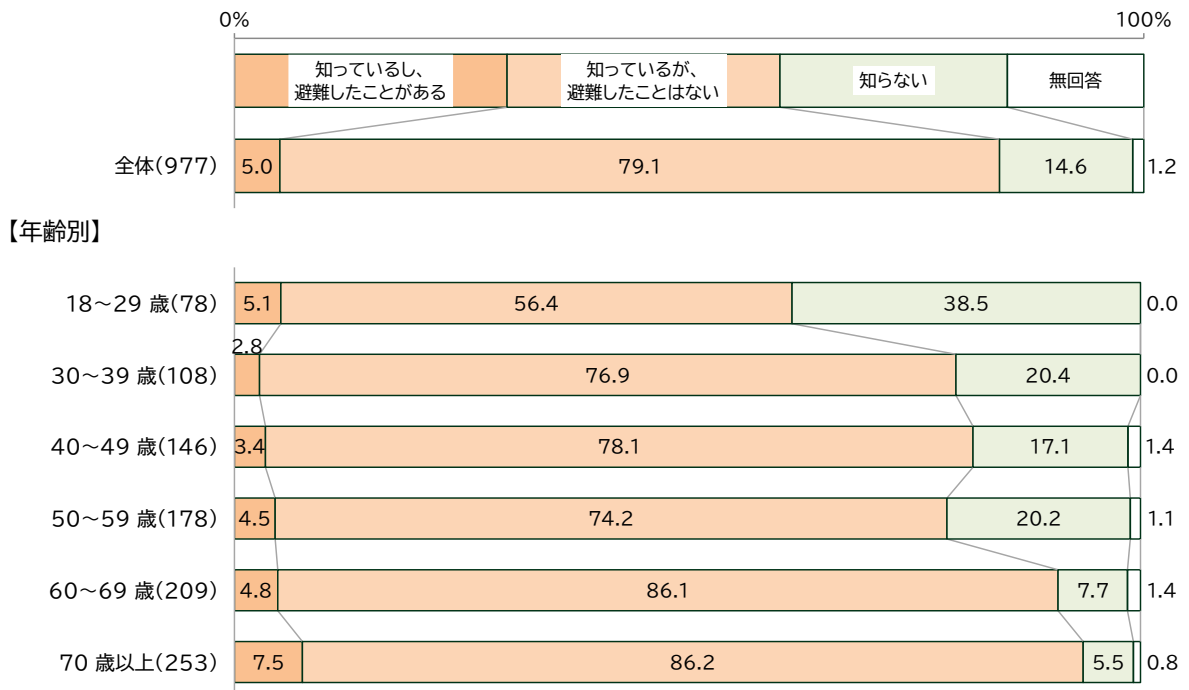


問2 あなたは、風水害時や地震が起こった際に、避難する場所を知っていますか。また、実際に避難したことがありますか。(1つ)

「知っている」が8割以上

「知っている」(「知っているし、避難したことがある」(5.0%) 及び「知っているが、避難したことはない」(79.1%) の合計) は84.1%となっている。

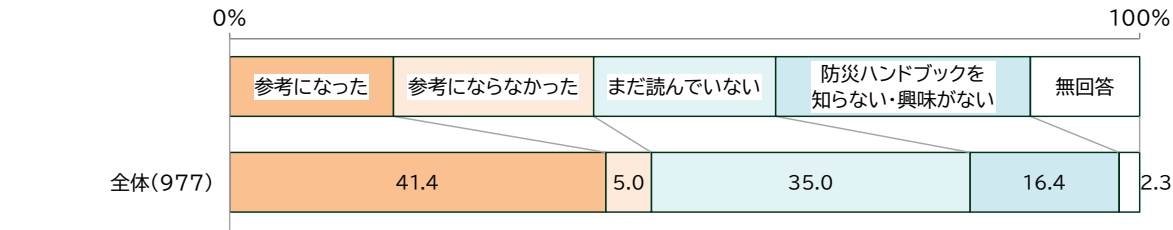
年齢別に見ると、「知っている」は、70歳以上(93.7%)が最も高い。



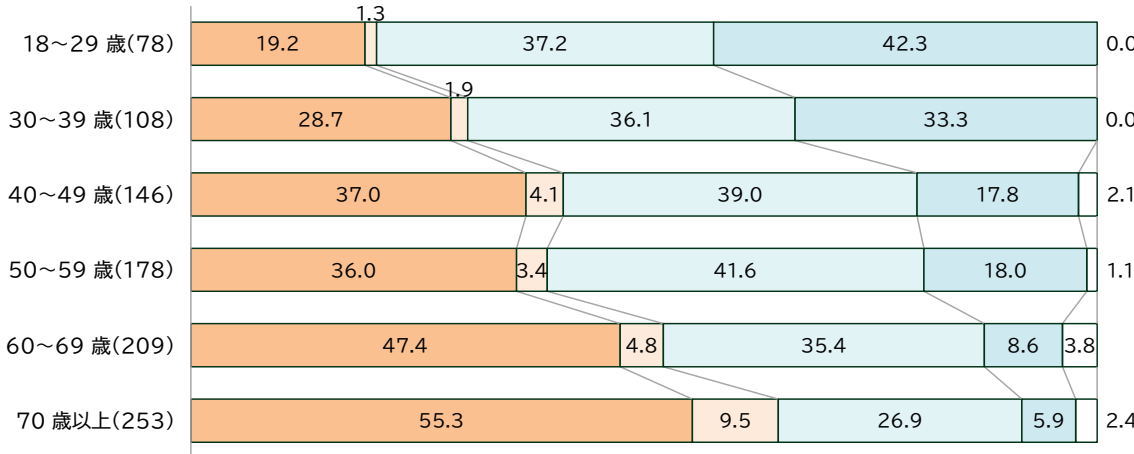
問3 あなたは、福井市が昨年配布した「防災ハンドブック」についてどのように思われましたか。(1つ)

「参考になった」が約4割

「参考になった」(41.4%)が最も高く、「まだ読んでいない」は35.0%となっている。
 年齢別に見ると、「参考になった」は、70歳以上(55.3%)が最も高く、「防災ハンドブックを知らない・興味がない」は、18～29歳(42.3%)が最も高くなっている。



【年齢別】

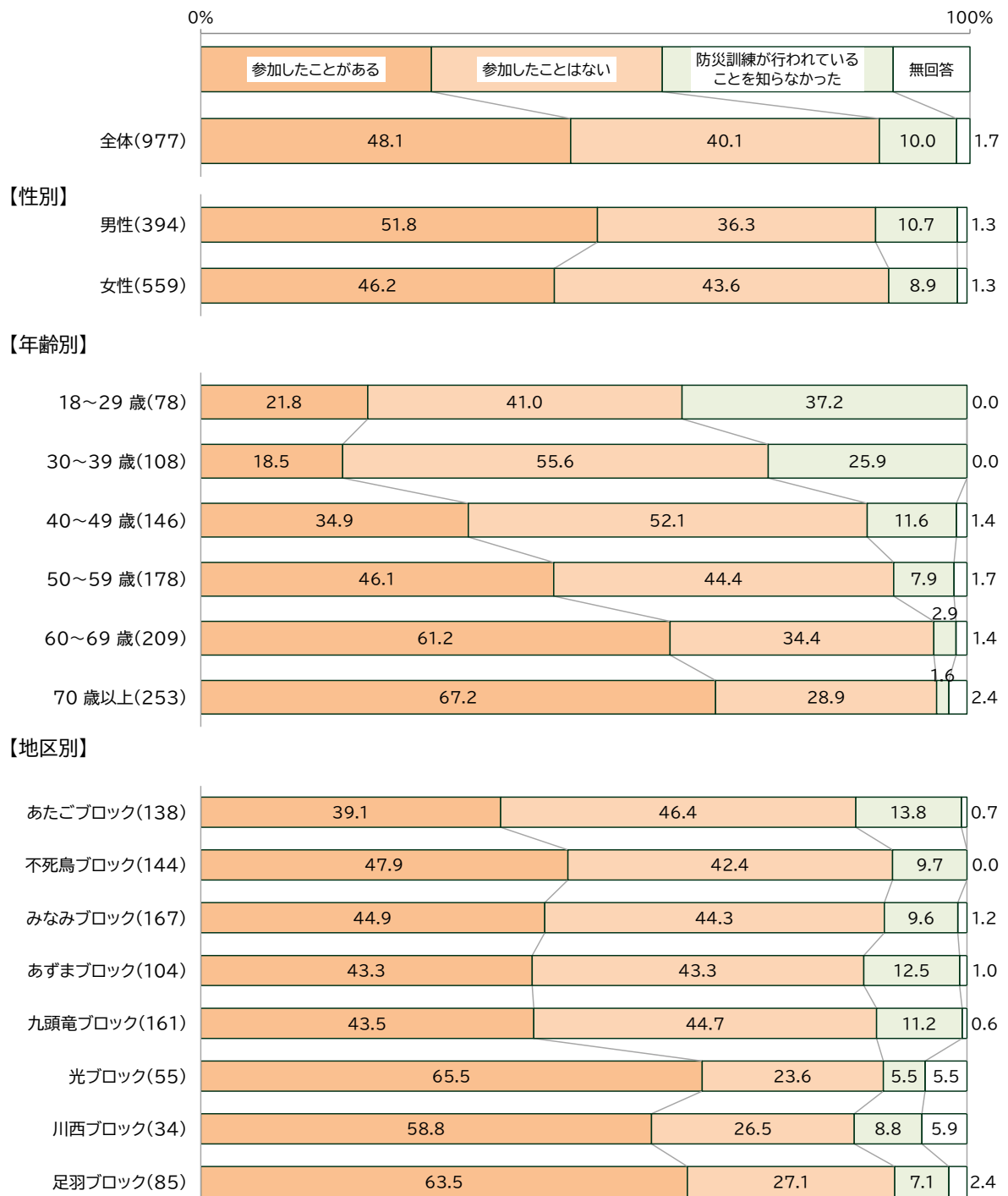


問4 あなたは、福井市総合防災訓練に参加したことがありますか。(1つ)

「参加したことがある」が約5割

「参加したことがある」が48.1%、「参加したことはない」が40.1%となっている。

性別では、「参加したことはない」は、女性(43.6%)が男性(36.3%)より7.3ポイント高い。年齢別に見ると、「参加したことがある」は、70歳以上(67.2%)、60～69歳(61.2%)が高くなっている。地区別では、「参加したことがある」は、光ブロック(65.5%)、足羽ブロック(63.5%)が高い。

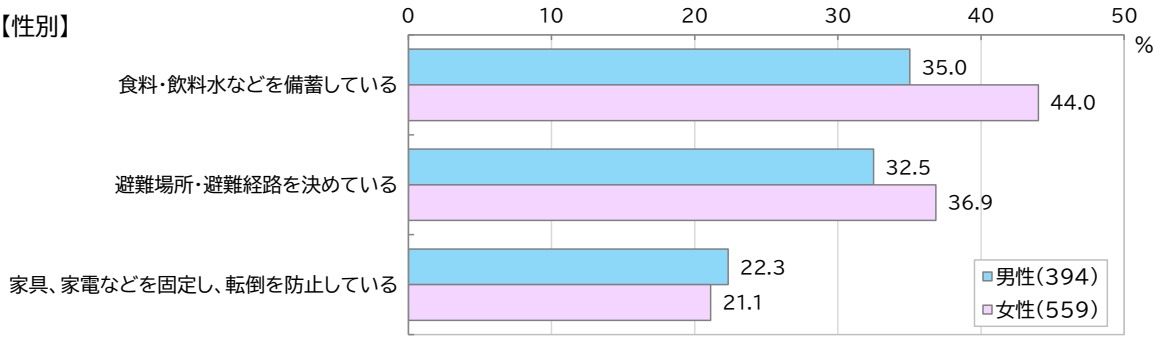
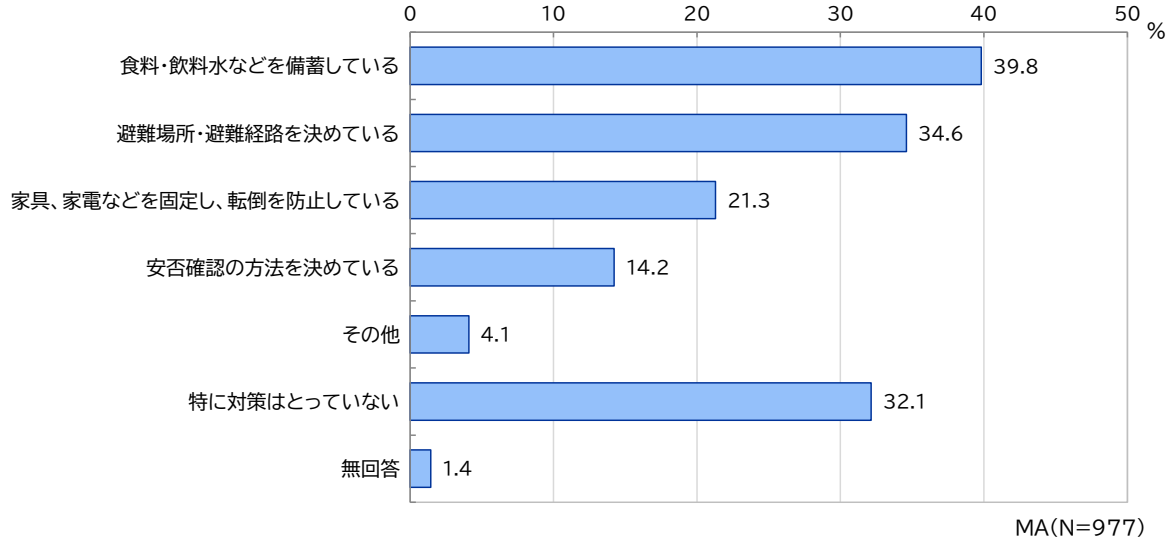


問5 あなたは、災害に備えて、どのような対策をとっていますか。(すべて)

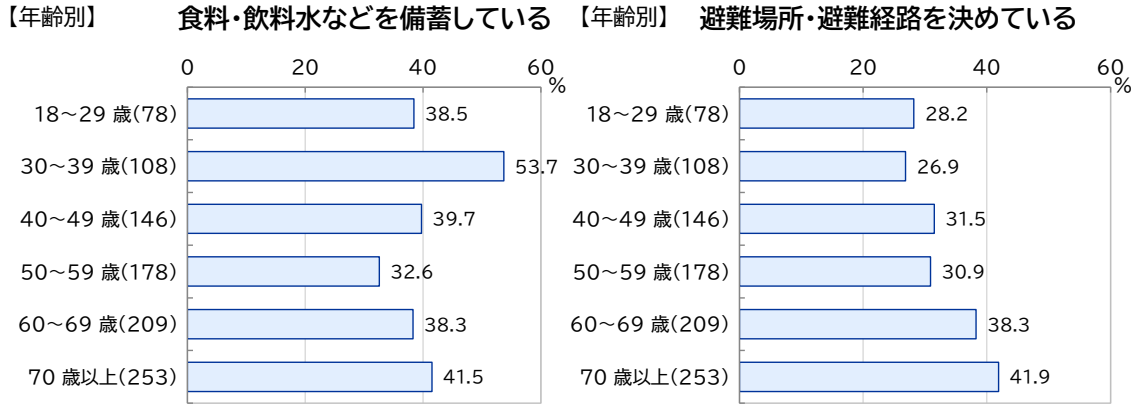
「食料・飲料水などを備蓄している」が約4割

「食料・飲料水などを備蓄している」(39.8%)、「避難場所・避難経路を決めている」(34.6%)が高く、「特に対策は取っていない」は32.1%となっている。

性別では、「食料・飲料水などを備蓄している」は、女性(44.0%)が男性(35.0%)より9.0ポイント高い。年齢別に見ると、「食料・飲料水などを備蓄している」は、30~39歳(53.7%)が最も高く、「避難場所・避難経路を決めている」は70歳以上(41.9%)が最も高くなっている。



※上位3位までを掲載

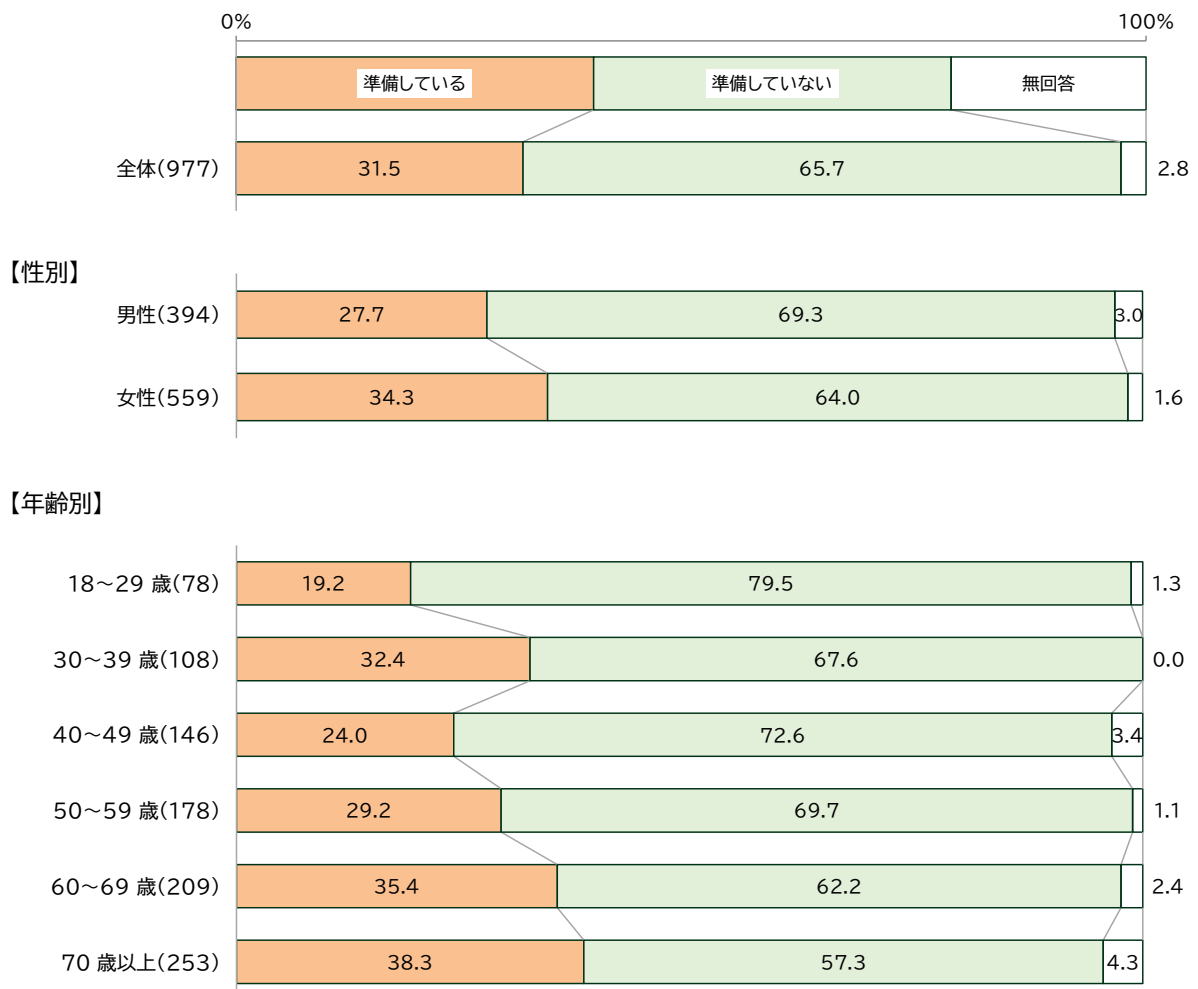


問6 あなたは、非常持出品（袋）を準備していますか。（1つ）

「準備している」が約3割

「準備している」が31.5%、「準備していない」が65.7%となっている。

性別では、「準備している」は、女性（34.3%）が男性（27.7%）より6.6ポイント高い。年齢別に見ると、「準備している」は、70歳以上（38.3%）、60～69歳（35.4%）が高くなっている。



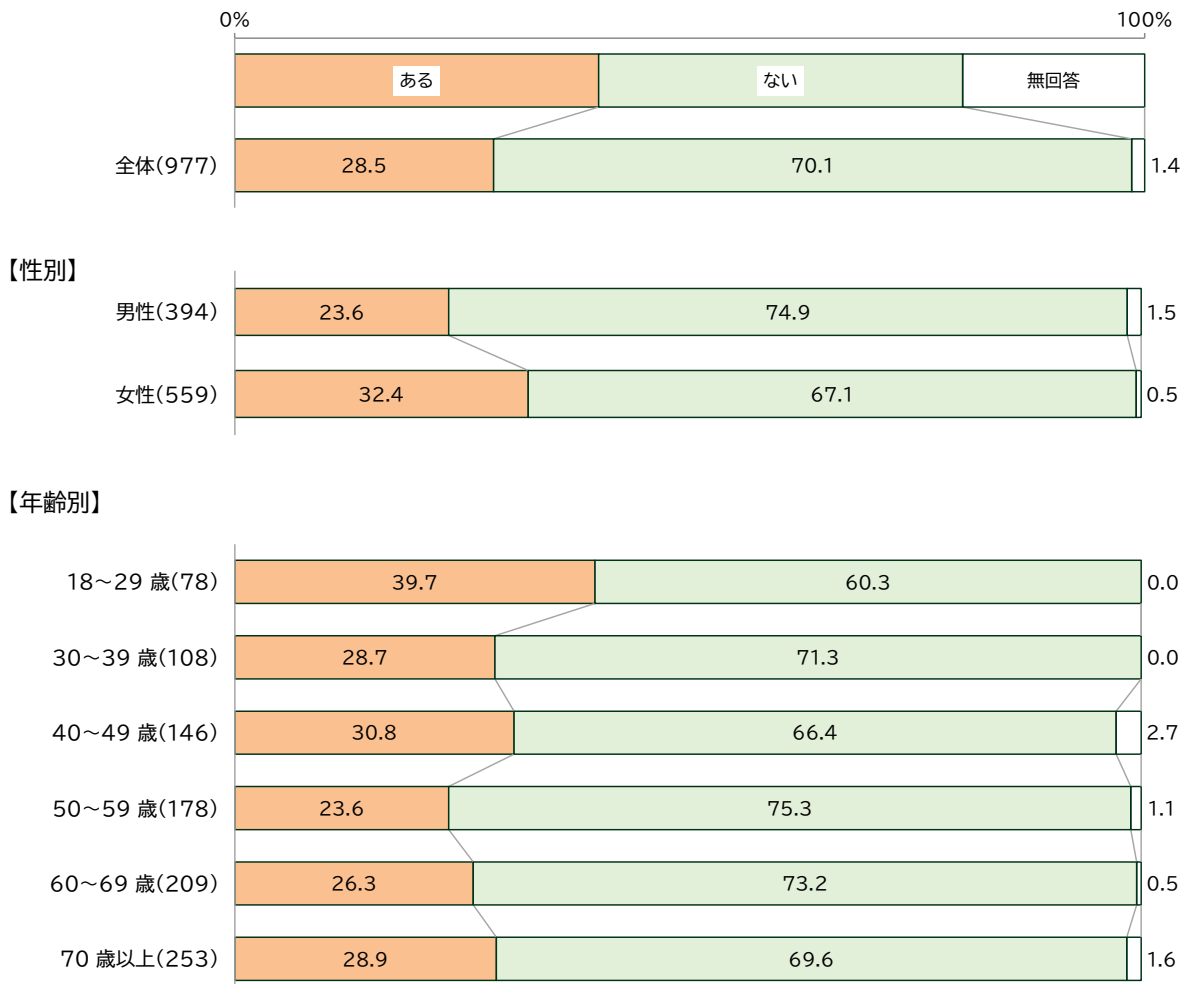
● 食育について

問1 あなたは、これまでに農林漁業体験（田植え、野菜・果物の収穫、定置網漁、味噌づくりなどの体験）に参加したことがありますか。（1つ）

「ある」が約3割

「ある」が28.5%、「ない」が70.1%となっている。

性別では、「ある」は、女性（32.4%）が男性（23.6%）より8.8ポイント高い。年齢別に見ると、「ある」は、18～29歳（39.7%）が最も高くなっている。

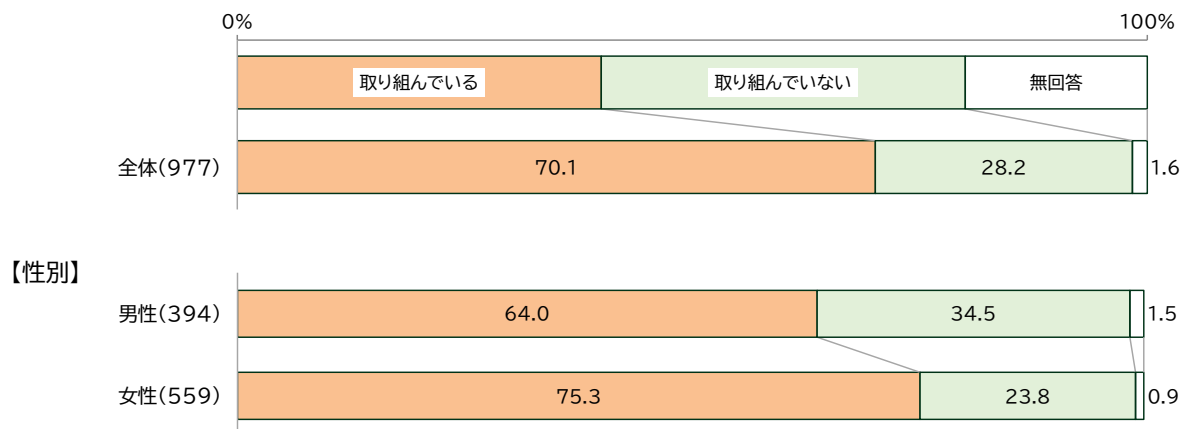


問2 あなたは、ふだんから「買いすぎない」「使い切る」「食べきる」など、食品ロス削減につながる行動に取り組んでいますか。(1つ)

「取り組んでいる」が約7割

「取り組んでいる」が70.1%、「取り組んでいない」が28.2%となっている。

性別では、「取り組んでいる」は、女性(75.3%)が男性(64.0%)より11.3ポイント高い。

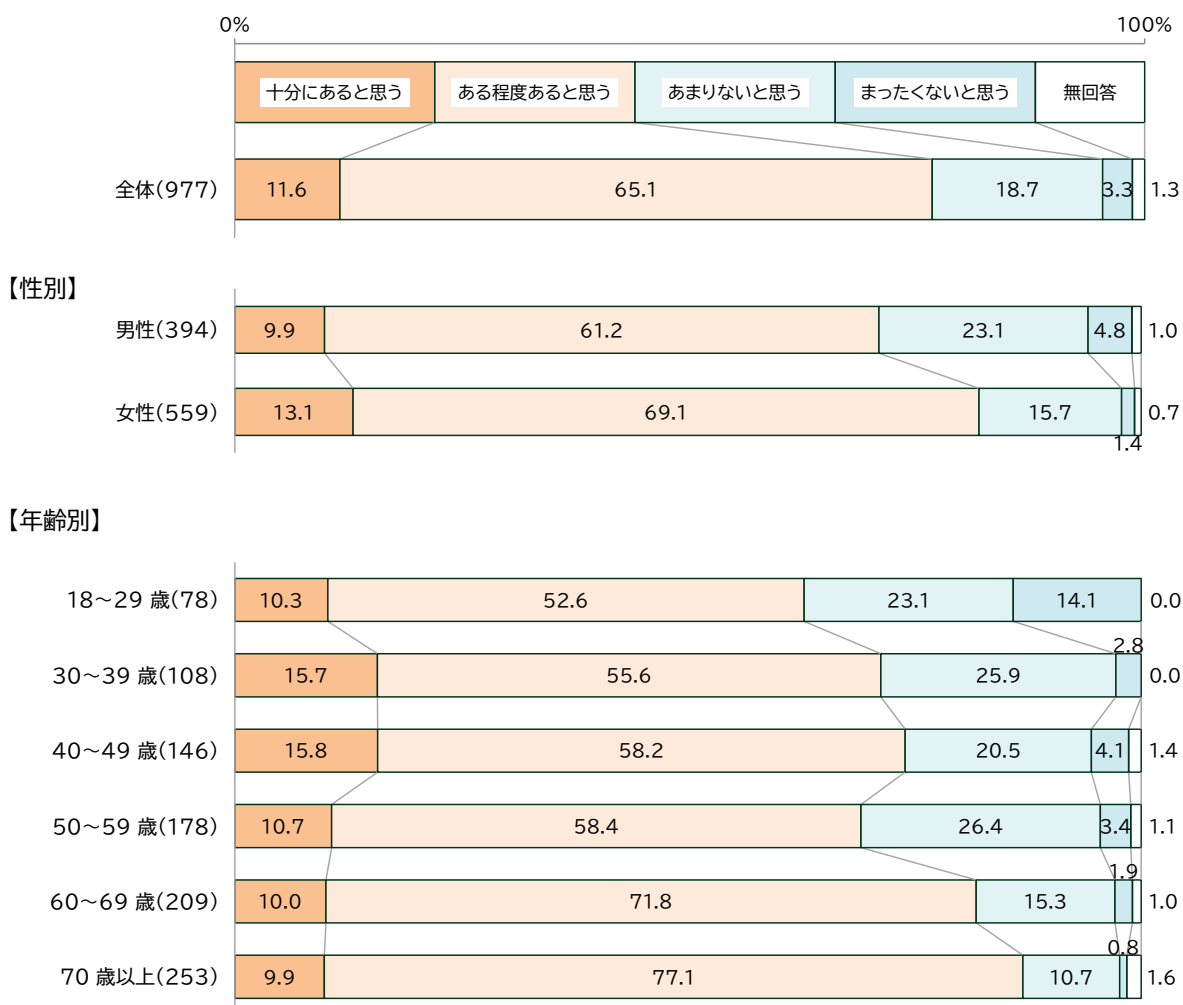


問3 あなたは、安全な食生活を送るための、食品の安全性に関する基礎的な知識（消費・賞味期限などの食品表示や調理方法などの知識）があると思いますか。（1つ）

「あると思う」が7割以上

「あると思う」（「十分にあると思う」（11.6%）及び「ある程度あると思う」（65.1%）の合計）が76.7%となっている。

性別では、「あると思う」は、女性（82.2%）が男性（71.1%）より11.1ポイント高い。年齢別に見ると、「あると思う」は、70歳以上（87.0%）が最も高くなっている。

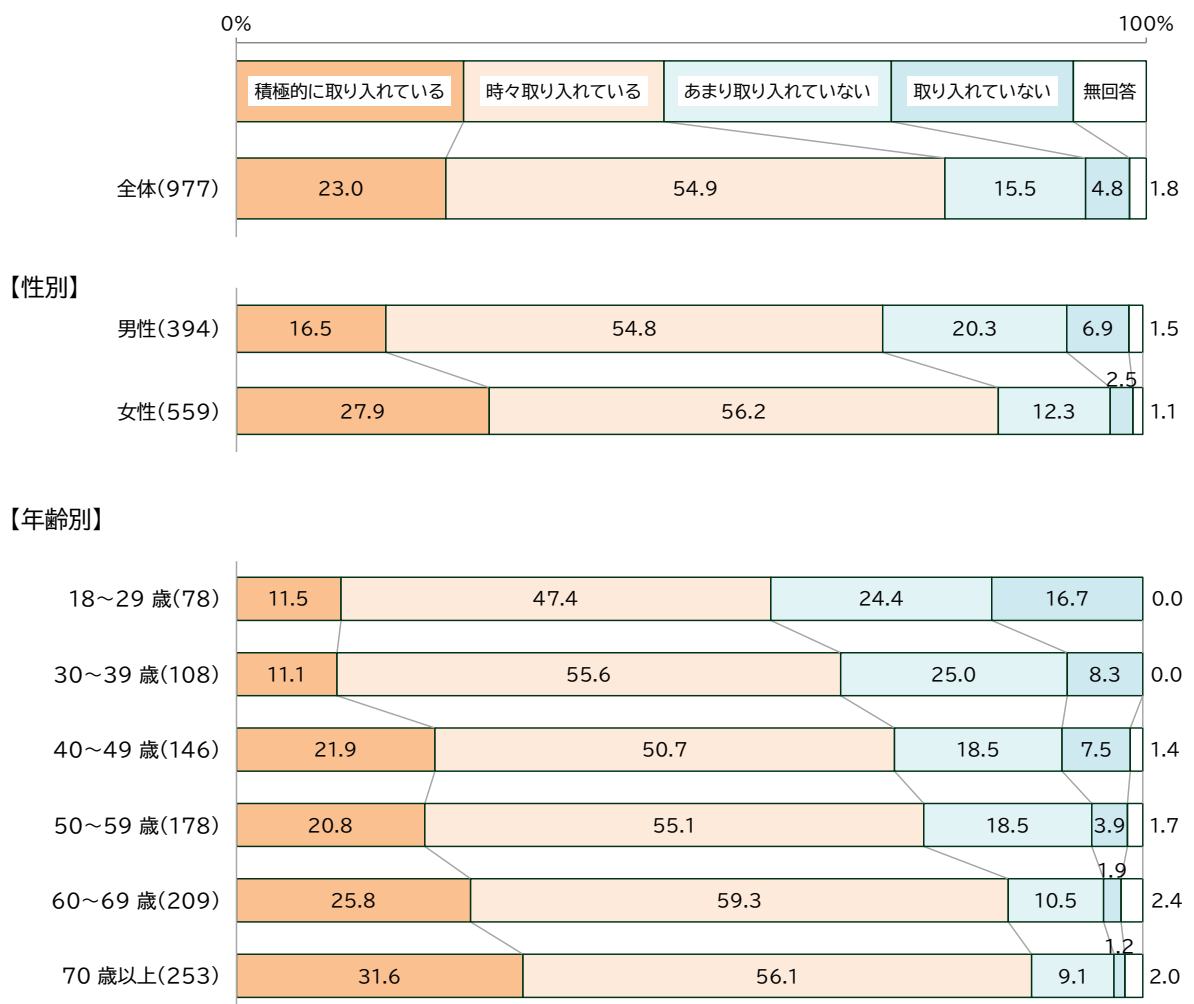


問4 あなたは、ふだんの食生活において、地元の食材、食品をどの程度取り入れていますか。(1つ)

「取り入れている」が約8割

「取り入れている」(「積極的に取り入れている」(23.0%)及び「時々取り入れている」(54.9%)の合計)が77.9%となっている。

性別では、「取り入れている」は、女性(84.1%)が男性(71.3%)より12.8ポイント高い。年齢別に見ると、「取り入れている」は、年齢の高い世代ほどその割合が高くなる傾向がみられる。



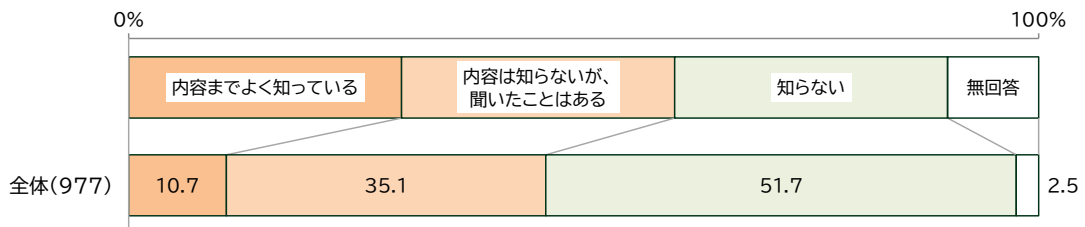
● 福井市市民憲章について

問1 あなたは、市民憲章に実践目標があることを知っていますか。(1つ)

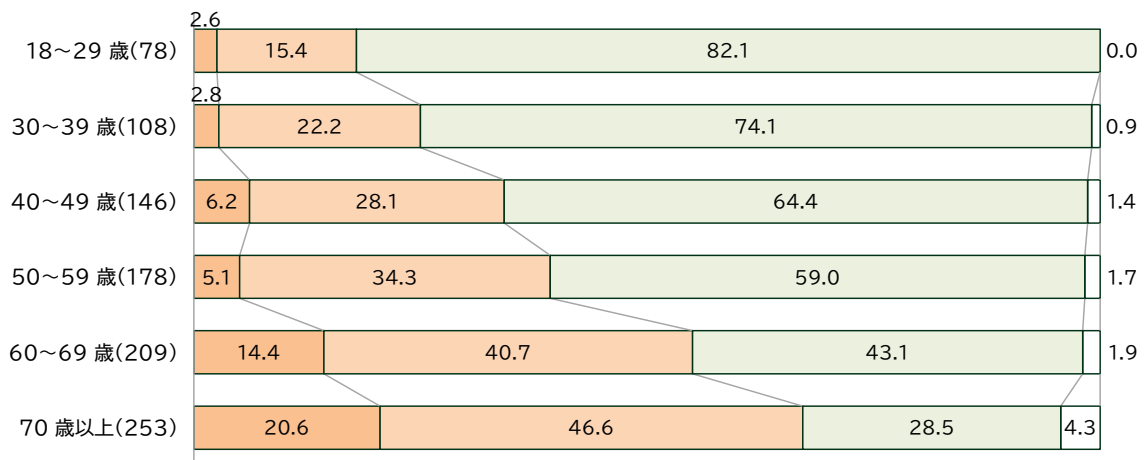
「知っている」が4割以上

「知っている」(「内容までよく知っている」(10.7%) 及び「内容は知らないが、聞いたことはある」(35.1%) の合計) が 45.8%、「知らない」が 51.7%となっている。

年齢別に見ると、「知っている」は、年齢の高い世代ほどその割合が高くなる傾向がみられる。



【年齢別】

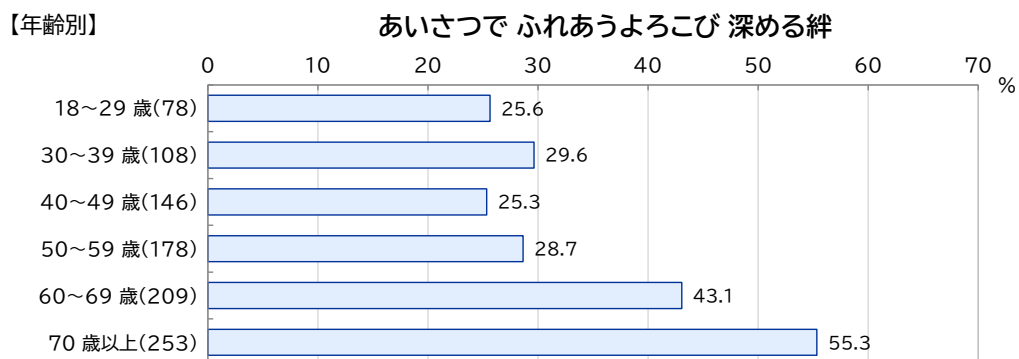
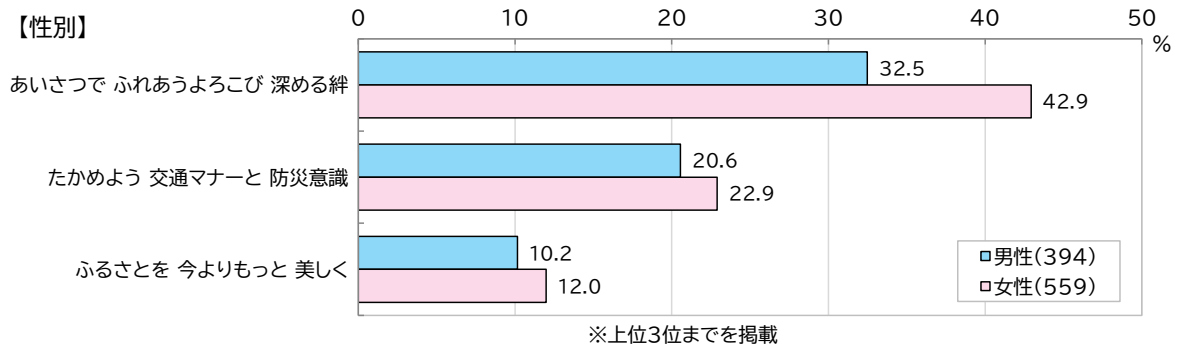
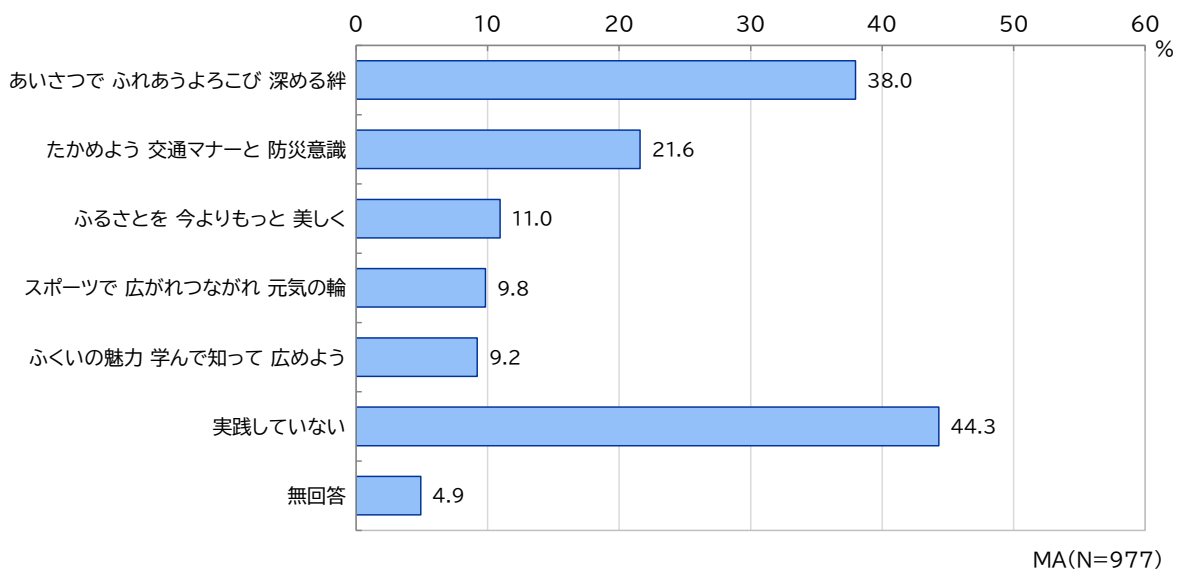


問2 実践目標のうち、あなたが実践しているものをお答えください。(すべて)

「あいさつで ふれあうよろこび 深める絆」が約4割

「実践していない」(44.3%)を除く項目のうち、「あいさつで ふれあうよろこび 深める絆」(38.0%)が最も高く、次いで「たかめよう 交通マナーと 防災意識」(21.6%)が高くなっている。

性別では、「あいさつで ふれあうよろこび 深める絆」は、女性(42.9%)が男性(32.5%)より10.4ポイント高い。年齢別に見ると、「あいさつで ふれあうよろこび 深める絆」は、70歳以上(55.3%)が最も高くなっている。



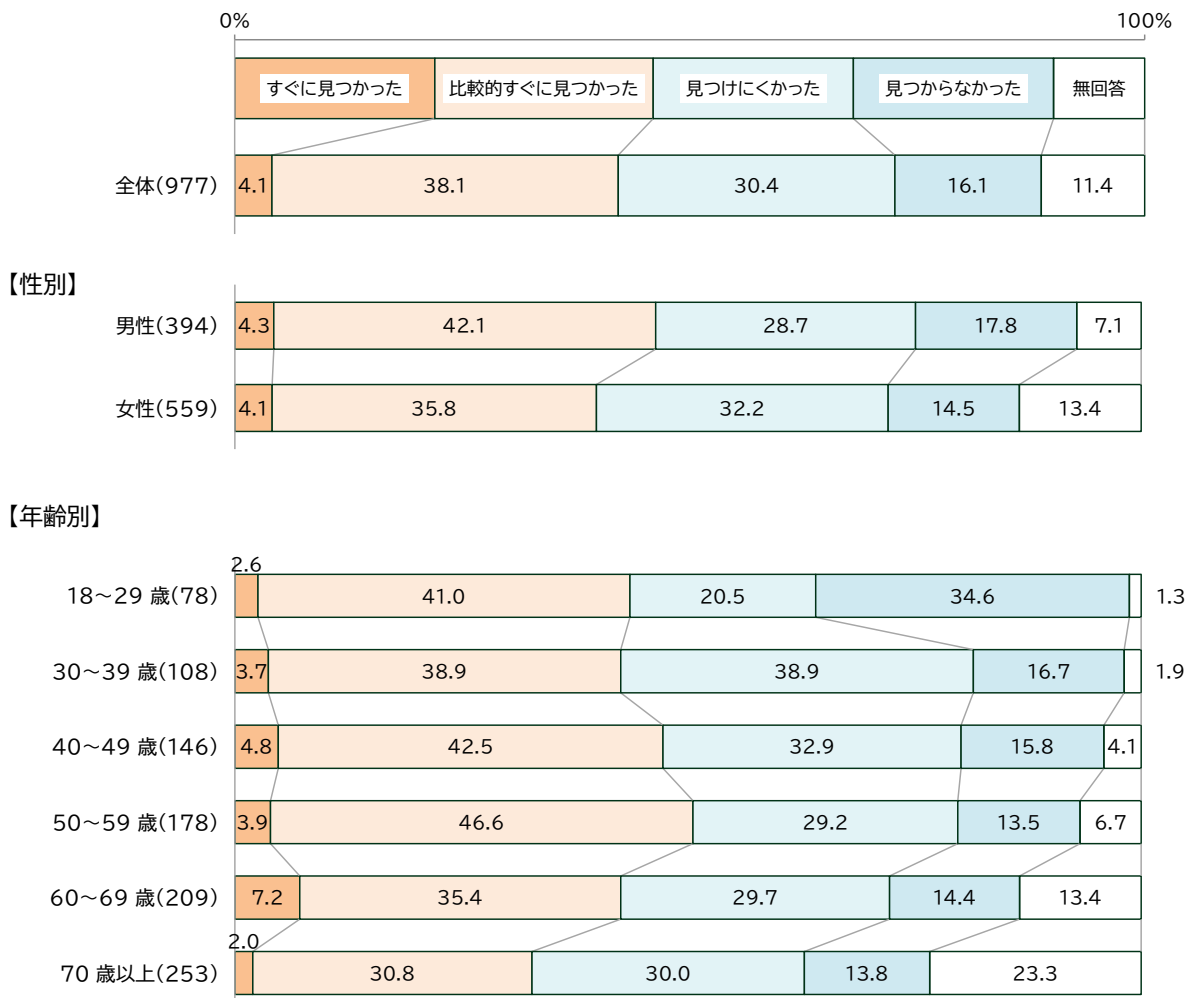
● 福井市のホームページおよび広報紙について

問1 あなたは、福井市のホームページで知りたい情報を見つけることができましたか。
(1つ)

「すぐに見つけることができた」が約4割

「すぐに見つけることができた」（「すぐに見つかった」（4.1%）及び「比較的すぐに見つかった」（38.1%）の合計）が42.2%、「見つからなかった」が16.1%となっている。

性別では、「すぐに見つけることができた」は、男性（46.4%）が女性（39.9%）より6.5ポイント高い。年齢別に見ると、「すぐに見つけることができた」は、50～59歳（50.5%）が最も高く、「見つからなかった」は、18～29歳（34.6%）が最も高くなっている。

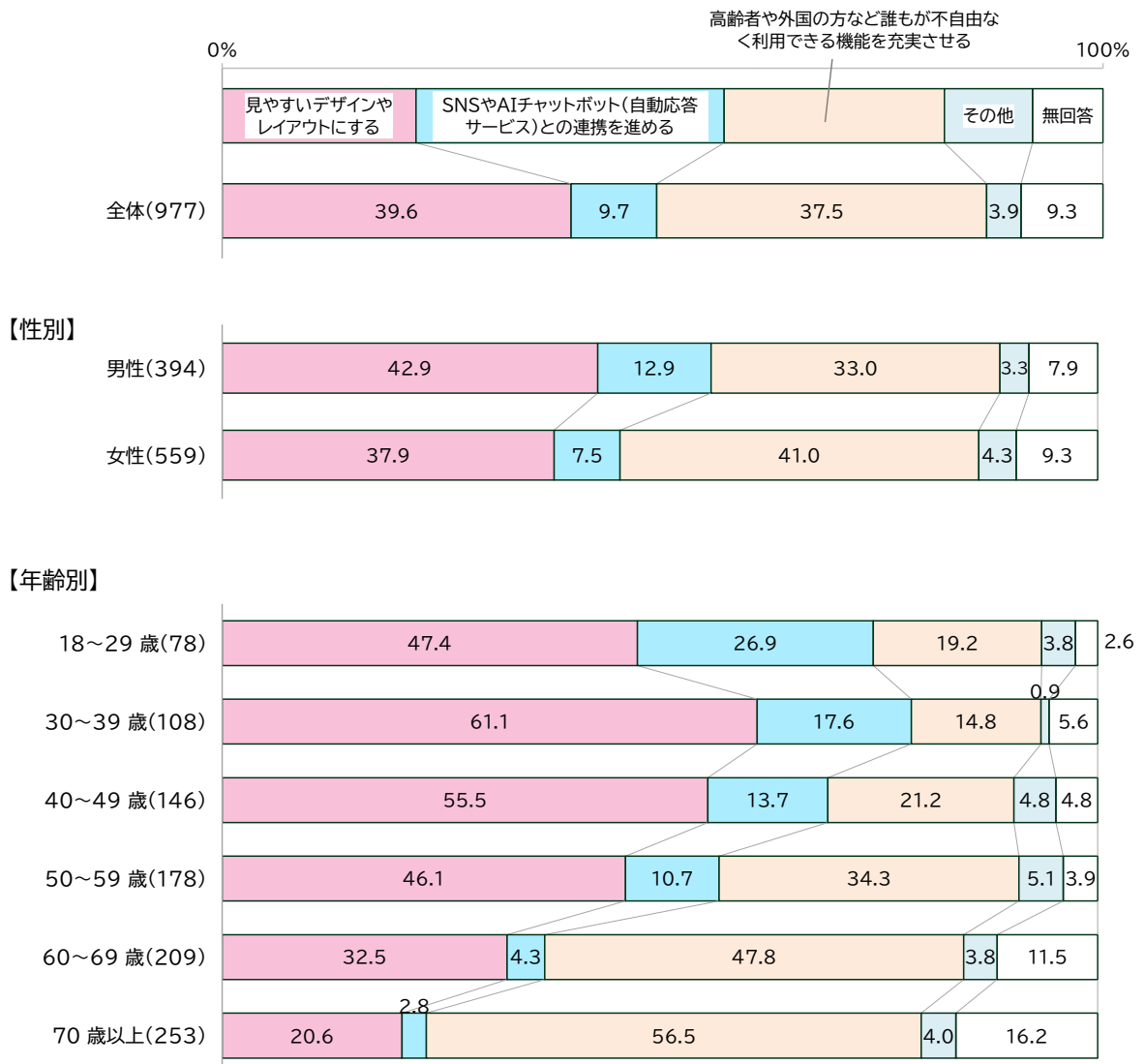


問2 あなたは、福井市のホームページを快適に閲覧するためにはどういった改善が必要だと思いますか。(1つ)

「見やすいデザインやレイアウトにする」が約4割

「見やすいデザインやレイアウトにする」(39.6%)が最も高く、次いで「高齢者や外国の方など誰もが不自由なく利用できる機能を充実させる」(37.5%)が高くなっている。

性別では、「高齢者や外国の方など誰もが不自由なく利用できる機能を充実させる」は、女性(41.0%)が男性(33.0%)より8.0ポイント高い。年齢別に見ると、「見やすいデザインやレイアウトにする」は、30～39歳(61.1%)を中心とした若い世代でその割合が高くなっている。

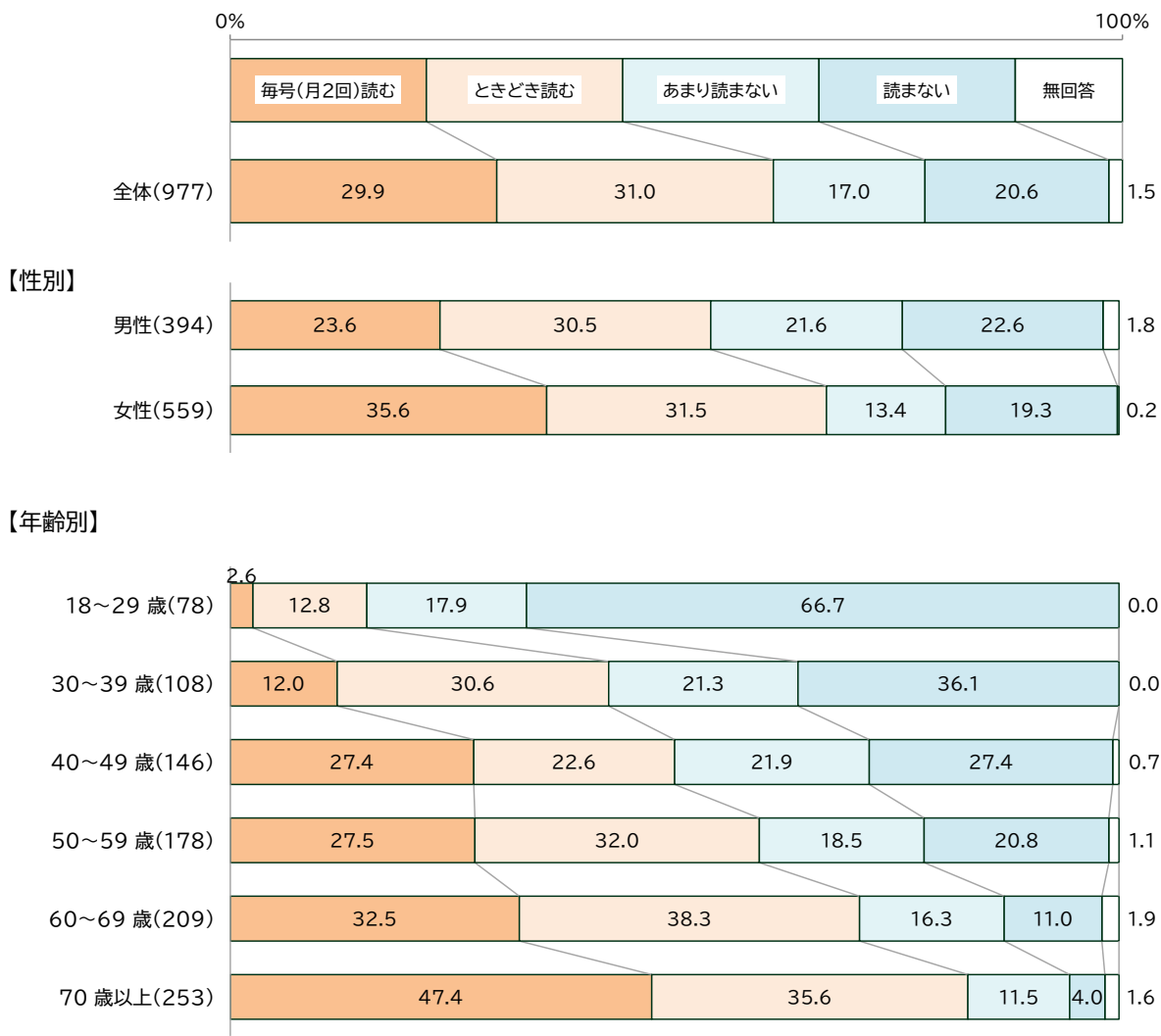


問3 あなたは、「広報ふくい」をどれくらいの頻度で読みますか。(1つ)

「広報ふくいを読む」が約6割

「広報ふくいを読む」（「毎号読む」（29.9%）及び「ときどき読む」（31.0%）の合計）が、60.9%となっている。

性別では、「広報ふくいを読む」は、女性（67.1%）が男性（54.1%）より13.0ポイント高い。年齢別に見ると、「広報ふくいを読む」は、年齢の高い世代ほどその割合が高くなる傾向がみられる。

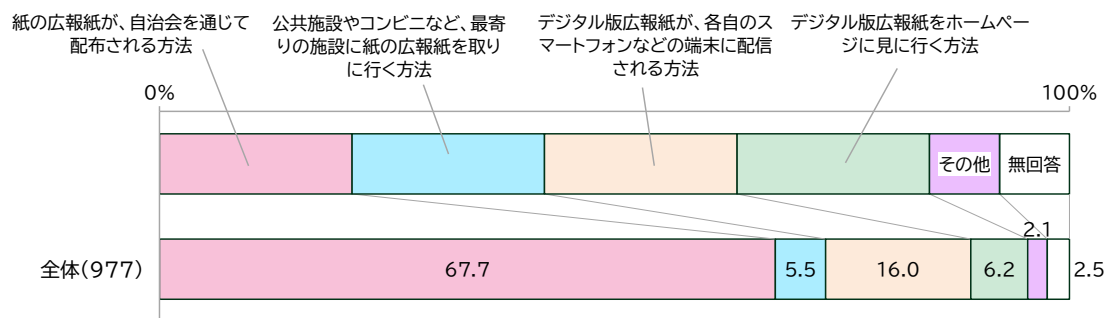


問4 あなたは、「広報ふくい」を手に入れる方法についてどれが良いと思いますか。(1つ)

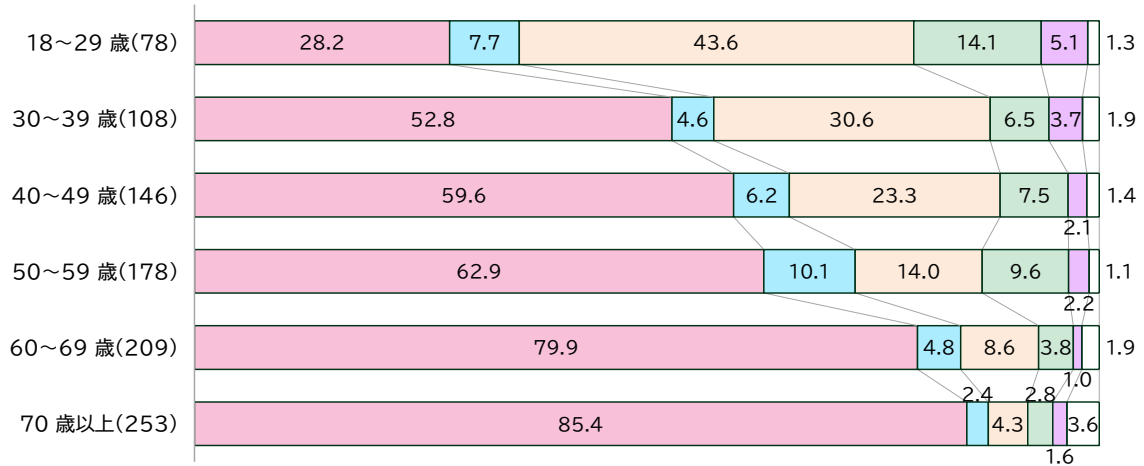
「紙の広報紙が、自治会を通じて配布される方法」が約7割

「紙の広報紙が、自治会を通じて配布される方法」(67.7%)が最も高く、次いで「デジタル版広報紙が、各自のスマートフォンなどの端末に配信される方法」(16.0%)が高くなっている。

年齢別に見ると、「紙の広報紙が、自治会を通じて配布される方法」は、年齢の高い世代ほどその割合が高くなる傾向がみられ、一方で「デジタル版広報紙が、各自のスマートフォンなどの端末に配信される方法」は、若い世代ほどその割合が高くなる傾向がみられる。



【年齢別】



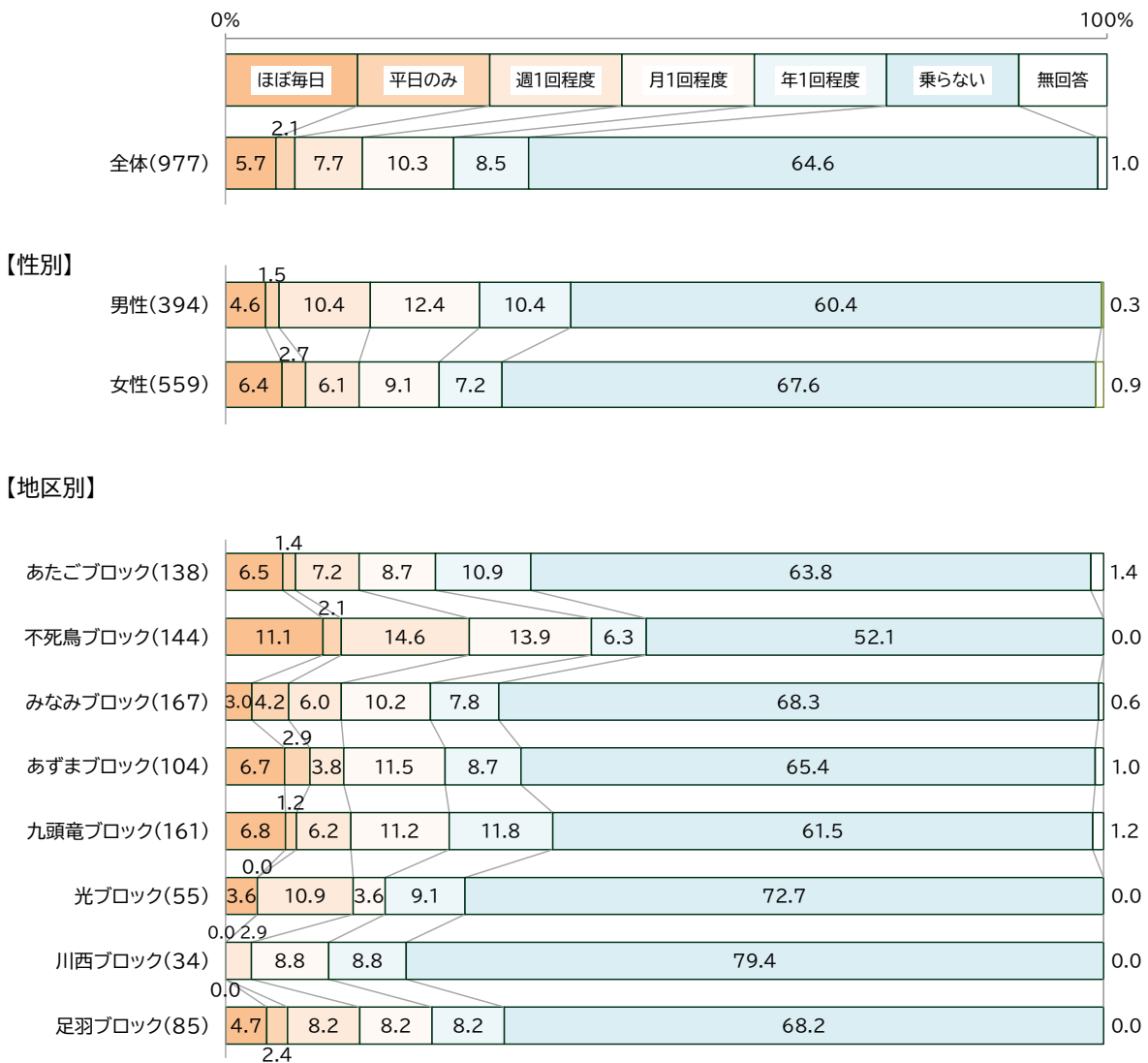
● 自転車利用促進について

問1 あなたは、移動手段として自転車をどのくらいご利用になりますか。(1つ)

「月1回以上利用している」が2割以上

「月1回以上利用している」(「ほぼ毎日」(5.7%)、「平日のみ」(2.1%)、「週に1回程度」(7.7%)及び「月1回程度」(10.3%)の合計)が25.8%、「乗らない」が64.6%となっている。

性別では、「乗らない」は、女性(67.6%)が男性(60.4%)より7.2ポイント高い。地区別では、地区別では、「月1回以上利用している」は、不死鳥ブロック(41.7%)が最も高い。

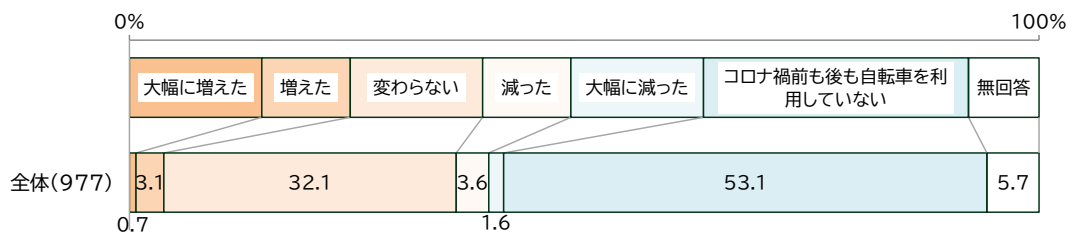


問2 あなたが自転車を利用する頻度は、コロナ禍前と比べて変わりましたか。(1つ)

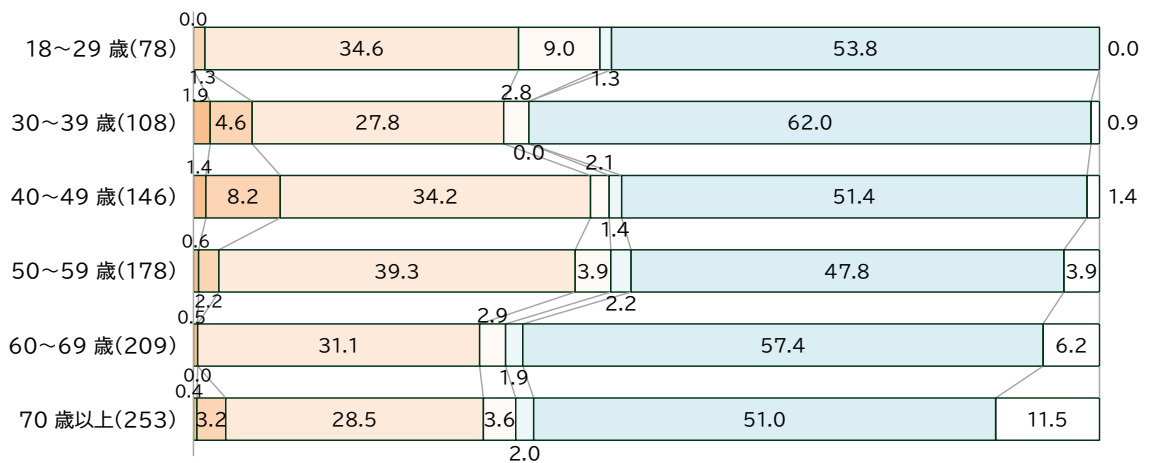
「変わらない」が約3割

「利用が増えた」(「大幅に増えた」(0.7%)及び「増えた」(3.1%)の合計)が3.8%、「利用が減った」(「減った」(3.6%)及び「大幅に減った」(1.6%)の合計)が5.2%、「変わらない」が32.1%となっている。

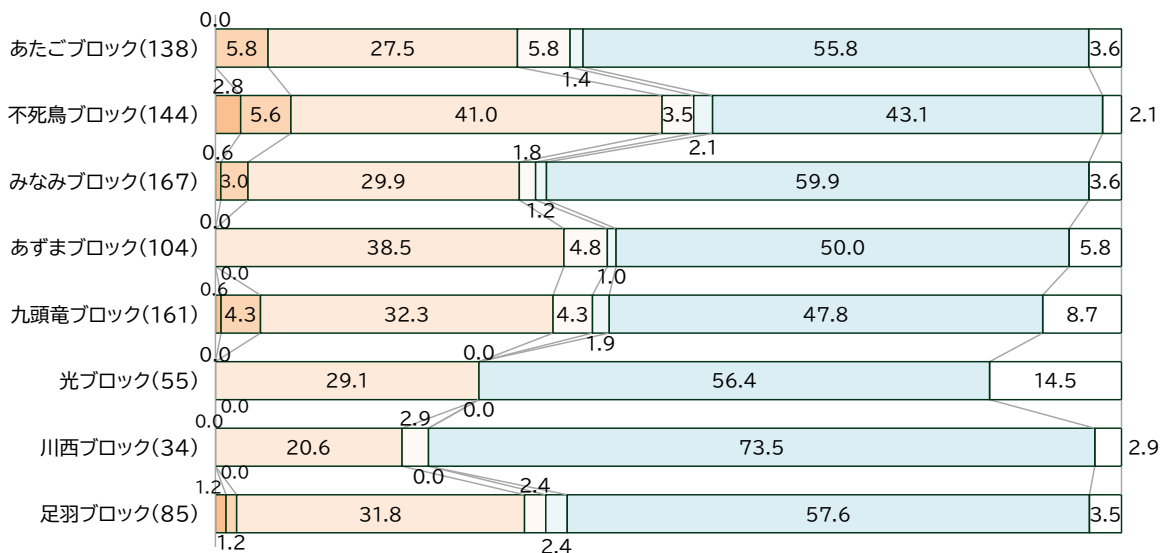
年齢別に見ると、「利用が増えた」は、40～49歳(9.6%)が最も高くなっている。地区別では、「利用が増えた」は、不死鳥ブロック(8.4%)が最も高い。



【年齢別】



【地区別】

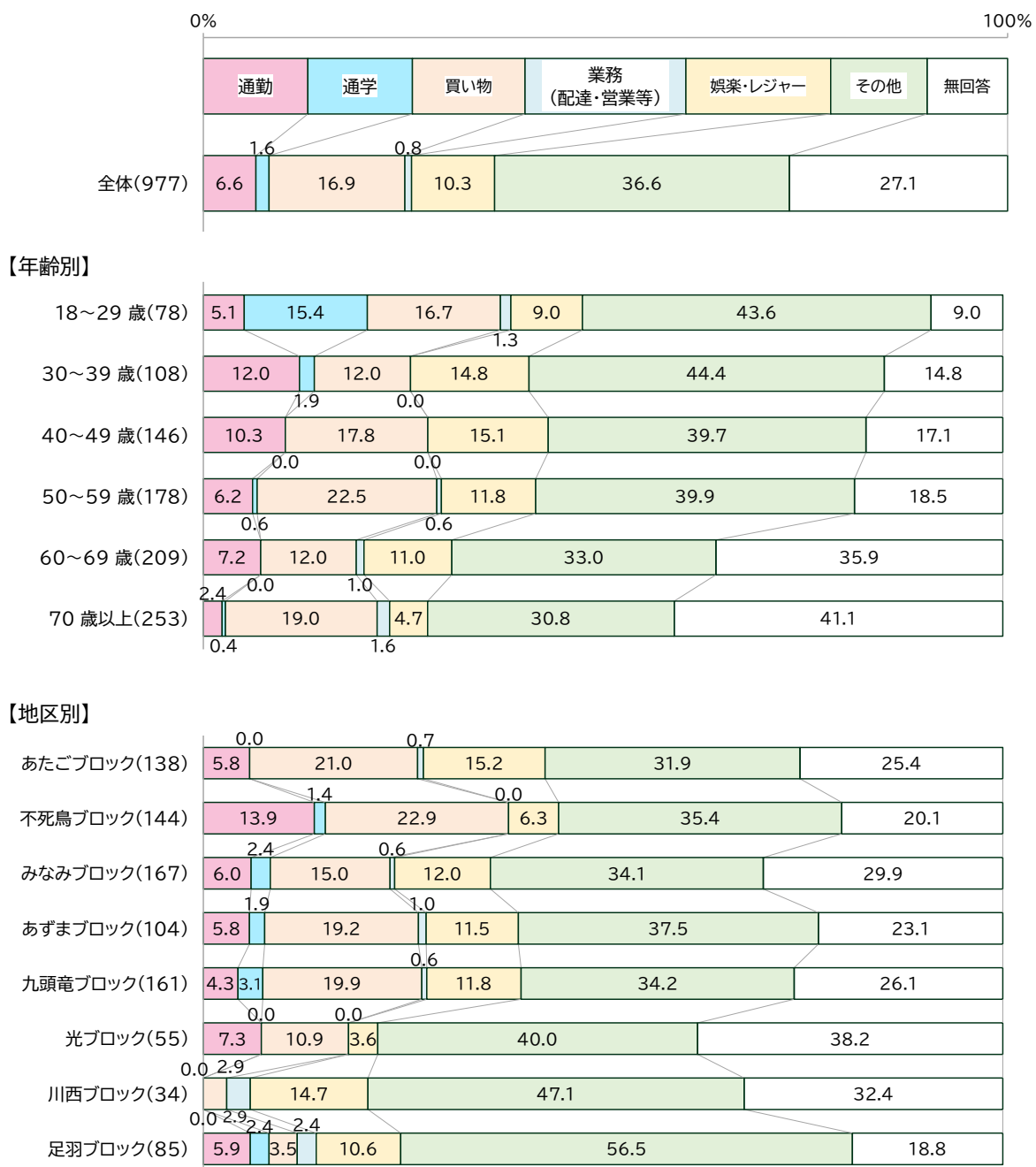


問3 あなたが自転車を利用する目的は何ですか。(1つ)

「買い物」が1割以上

「その他」(36.6%)及び無回答(27.1%)を除いて、「買い物」(16.9%)が最も高くなっている。

年齢別に見ると、「買い物」は、50～59歳(22.5%)が最も高い。地区別では、「買い物」は、不死鳥ブロック(22.9%)が最も高くなっている。

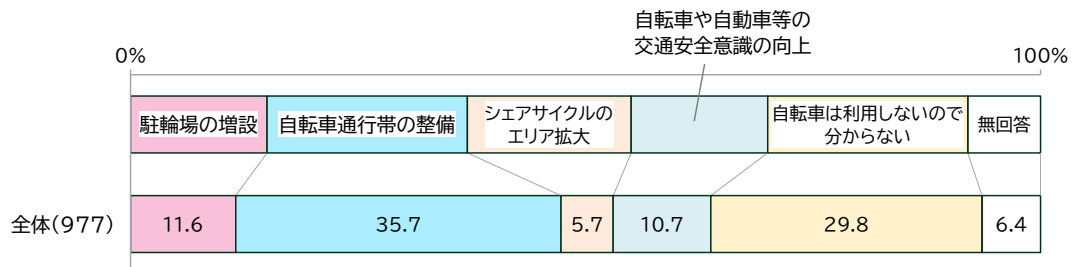


問4 あなたは、自転車利用を促進するためにどのような取り組みが重要だと思いますか。
(1つ)

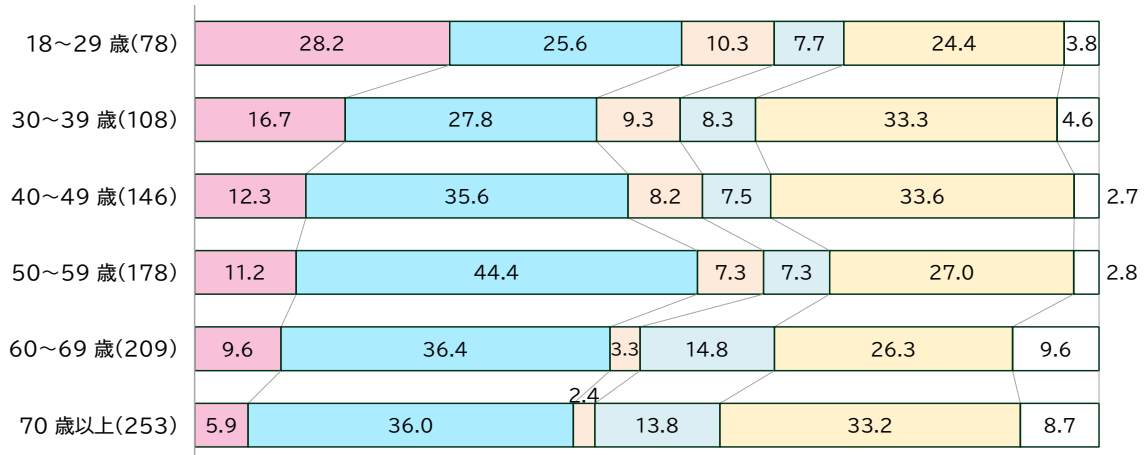
「自転車通行帯の整備」が3割以上

「自転車通行帯の整備」(35.7%)が最も高く、「自転車は利用しないので分からない」は、29.8%となっている。

年齢別に見ると、「自転車通行帯の整備」は、50～59歳(44.4%)が最も高くなっている。



【年齢別】

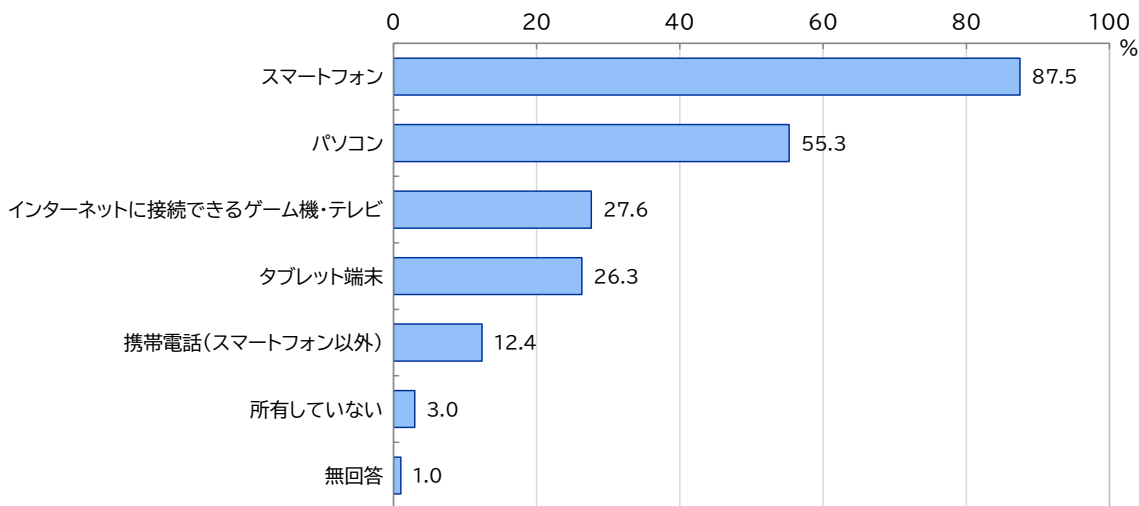


● デジタルの活用について

問1 あなたが所有している情報通信機器を教えてください。(すべて)

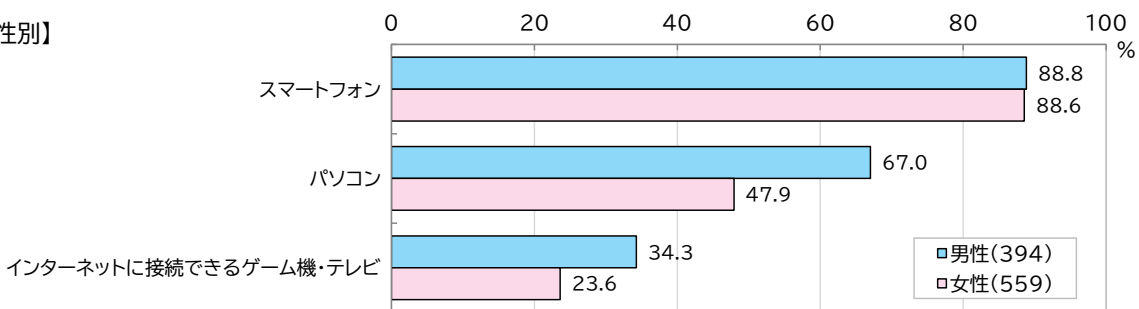
「スマートフォン」が約9割

「スマートフォン」(87.5%)が最も高く、次いで「パソコン」(55.3%)が高くなっている。
性別では、「パソコン」は、男性(67.0%)が女性(47.9%)より19.1ポイント高い。年齢別に見ると、「スマートフォン」は、30~39歳(99.1%)を中心とした若い世代でその割合が高く、「パソコン」は、40~49歳(70.5%)を中心とした世代でその割合が高くなっている。



MA(N=977)

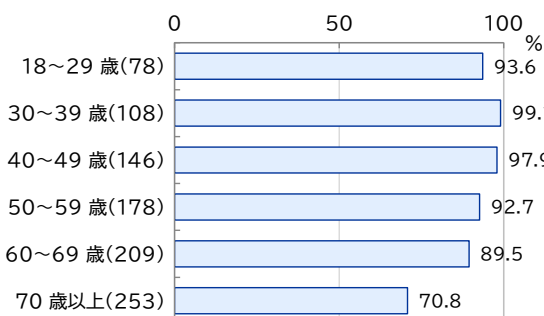
【性別】



※上位3位までを掲載

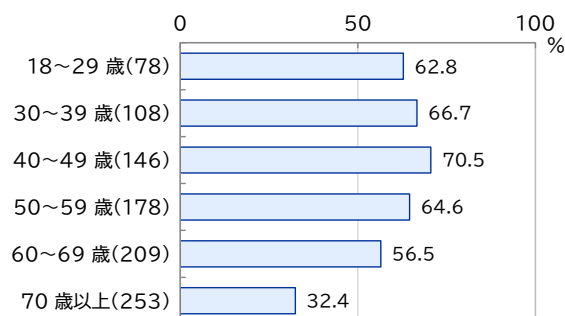
【年齢別】

スマートフォン



【年齢別】

パソコン

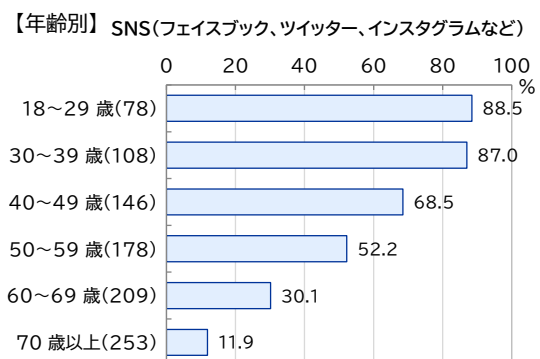
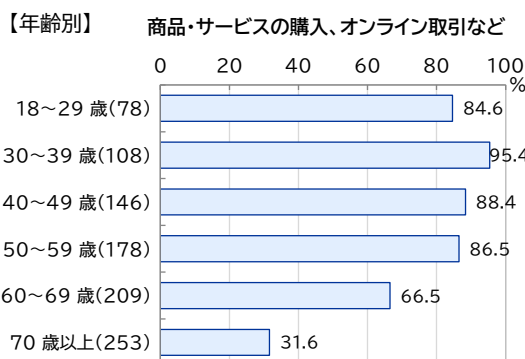
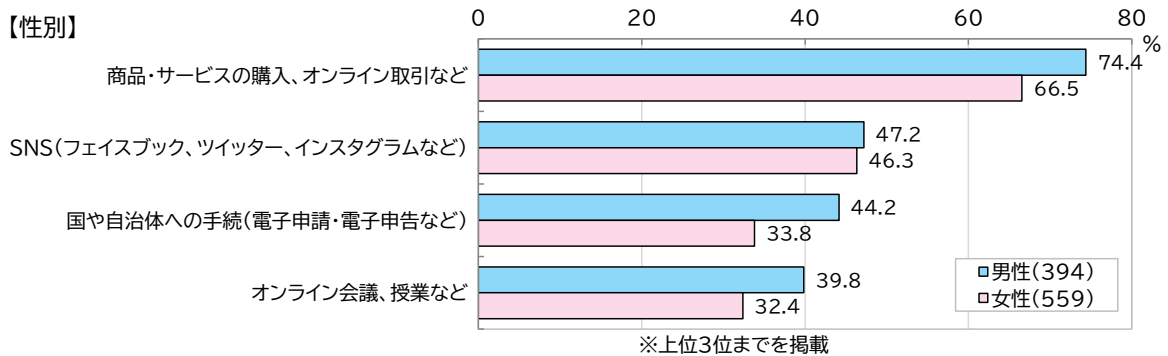
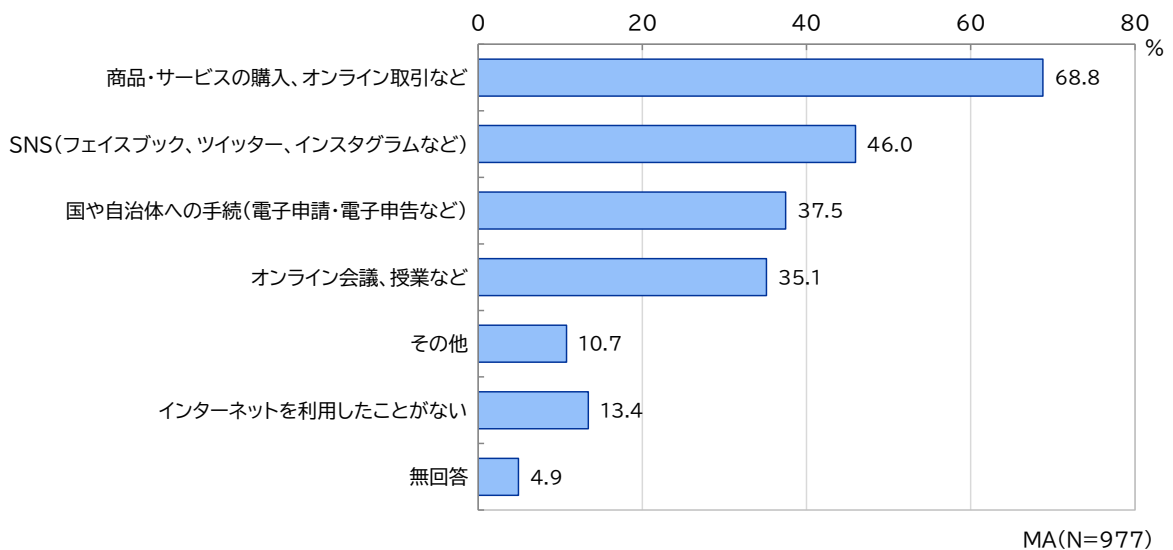


問2 あなたがインターネットを使って利用したことがあるものを教えてください。
(すべて)

「商品・サービスの購入、オンライン取引など」が約7割

「商品・サービスの購入、オンライン取引など」(68.8%)が最も高く、次いで「SNS(フェイスブック、ツイッター、インスタグラムなど)」(46.0%)が高くなっている。

性別では、「商品・サービスの購入、オンライン取引など」は、男性(74.4%)が女性(66.5%)より7.9ポイント高い。年齢別に見ると、「商品・サービスの購入、オンライン取引など」は、30~39歳(95.4%)を中心とした世代で高く、「SNS(フェイスブック、ツイッター、インスタグラムなど)」は、若い世代ほどその割合が高くなる傾向がみられる。

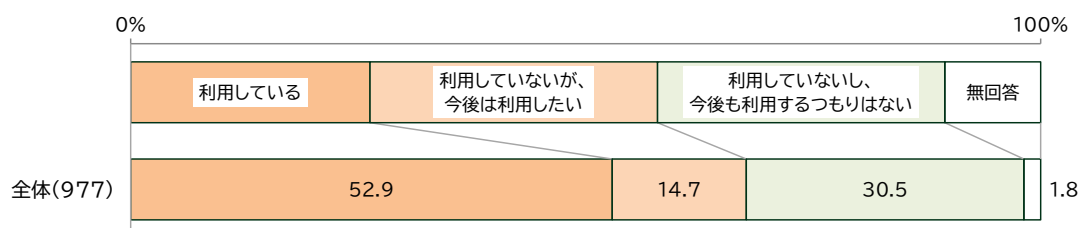


問3 あなたは、お店で対面で買い物をする時に、スマートフォンなどを使用した決済サービス（二次元コード払いなど）を利用していますか。（1つ）

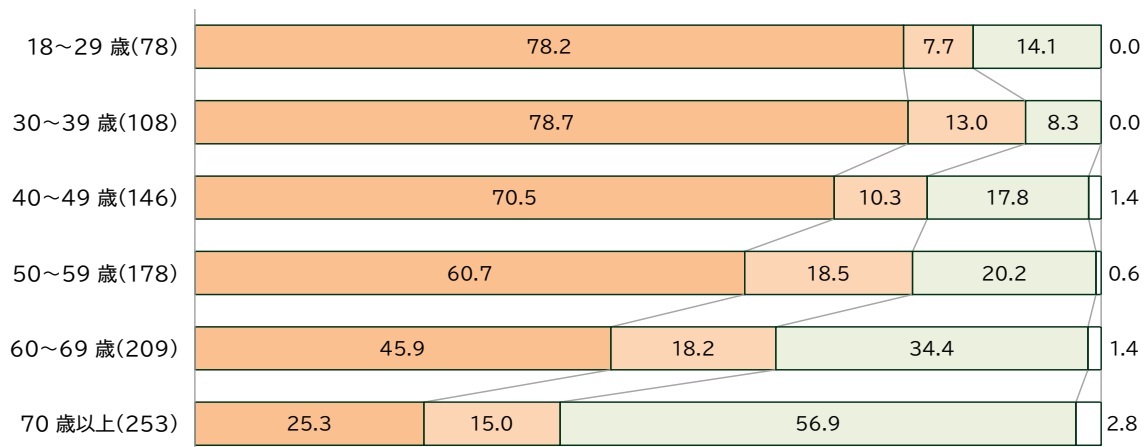
「利用している」が約5割

「利用している」(52.9%)が最も高く、「利用していないし、今後も利用するつもりはない」は、30.5%となっている。

年齢別に見ると、「利用している」は、30～39歳(78.7%)を中心とした若い世代でその割合が高くなっている。



【年齢別】

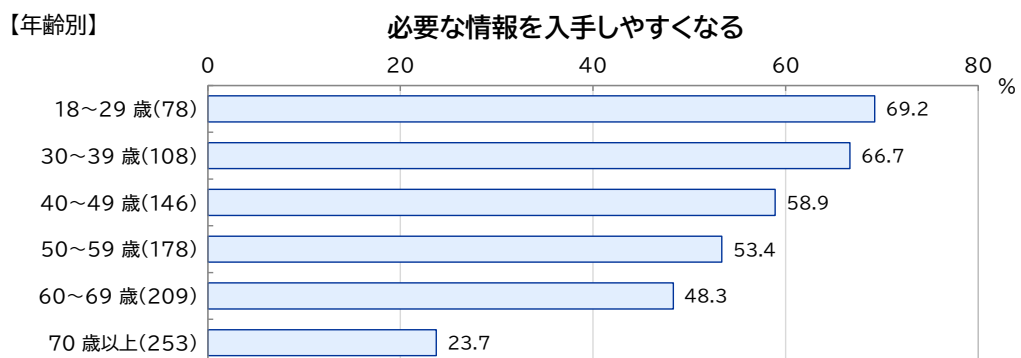
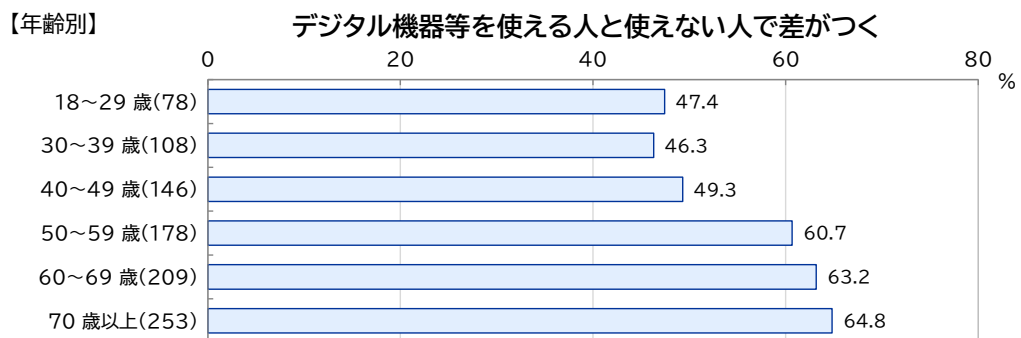
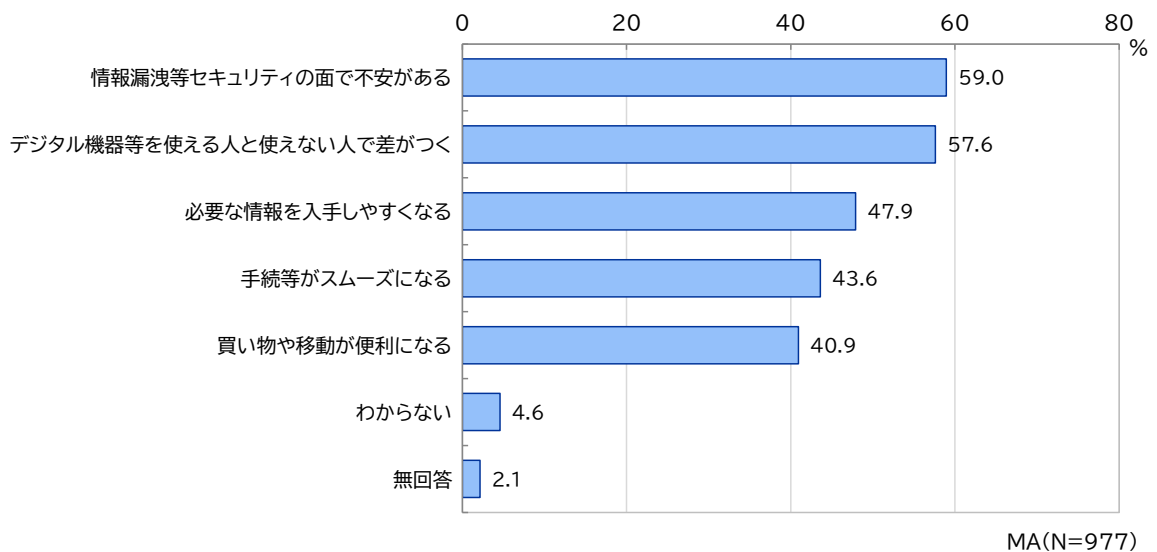


問4 あなたは、社会全体のデジタル化が進むことについてどのように考えますか。
(すべて)

「情報漏洩等セキュリティの面で不安がある」が約6割

「情報漏洩等セキュリティの面で不安がある」(59.0%)が最も高く、次いで「デジタル機器等を使える人と使えない人で差がつく」(57.6%)が高くなっている。

年齢別に見ると、「デジタル機器等を使える人と使えない人で差がつく」は、50歳以上でその割合が60.7~64.8%と高く、「必要な情報を入手しやすくなる」は、若い世代ほどその割合が高くなる傾向がみられる。



IV 自由意見

自由意見は次のとおりである。

本報告書では、市民意識調査に寄せられた意見・提案を第八次福井市総合計画に掲げられている 14 の政策に基づいて分類し、それぞれ主な意見・提案内容を全文もしくは一部抜粋して原文のまま掲載している。

※自由意見の取扱い

市民意識調査は無記名で、回答者を特定し個別に回答することができないため、寄せられた自由意見の原文については、今後の行政の取組の参考とするため全庁で共有する。

1. 公共交通に関する政策
新幹線は走らせればいいが、しらぎをなくさないでほしい地元の人は逆に不便になる。(29 歳以下 女性)
北陸新幹線が待望の福井にやってきます。とても嬉しい事だと思っております。福井の良さをわかって頂き、交流を深める絶好の機会だと思います。ハード面もとても大切ですが、福井市民の心に寄り添って頂くソフト面も同じくらい大切だと思います。いろいろな状況の人、いろいろな年代、男女、老若男女の方々が今何を思っておられるのか、自由に話せて聞いてもらう場がもっと増えたらいいなと思っています。(70 歳以上 女性)
交通の利便性を上げてほしい。(バスの本数を増やす、シャトルバス、鉄道の増便) (40 代 男性)
私が住んでいる地区は地域バスだけが公共交通機関である。しかし越美北線や京福バス等との連携は全く考慮されておらず、運行回数も少ない。今は自分で自家用車を運転して、買い物や通院等に利用しているが、今後いつまで運転できるか分からない。福井市中心部支援も大事だが、過疎地域(特に交通対策、高齢者対策)への支援を強く望む。 (70 歳以上 男性)
バスの便数が少なく、学生が通学するのも困難である。高齢となり、免許を返納するにも、足が確保できないと進まないと思う。中心部のバスや新幹線もいいが、日常生活の足をまず確保して欲しい。よろしくをお願いします。(50 代 男性)
フェニックススタジアムの周りに店が何もなく、公共交通機関でのアクセスが悪い。高齢者がマレット等をしているが自転車で向かう姿もあり、バスなど考えてもらいたい。(40 代 女性)

2. 中心市街地に関する政策

福井市街地に観光客が来る（留まる）目玉が必要。人口が減少している中、福井市民を駅前誘客しても賑わい効果は小さい。福井駅から 500m ぐらい離れたところに観光の目玉を造れば人の流れが出来、そこに向かう道も観光客で賑わい、街は廃れない。目玉は個性があり中途半端じゃない規模感。今後も恐竜を売りにするなら恐竜テーマパークのような施設を作り、道には小さいモニュメントを設置して、ワクワク感をあおる工夫も。（水木しげるロードのように）（50代 男性）

中心部の開発について

後世に残していく、すたれない価値のある、そして利活用しやすいものを、欲張らずに創ってほしい。地味がいい福井でありたい。（40代 女性）

福井市は郷土を大切にしながら全面的にこれからの福井駅周辺、ちょっと離れた場所でも、福井の物を重点に考えているようだけど、大都市にある物もとりにいれていこうという事を考えてほしい（若い子の為にも）。隣の県には、多々ある〇〇モールは福井には無い!!（60代 女性）

駐車場代を支払っても良いと思うぐらい駅前に行きたくなるようにしてほしい。今は大和田方面にしか行ってません。（40代 女性）

3. 生活インフラに関する政策

歩道の凸凹が多すぎると思います。大きすぎる段差など子供が生まれるまで気づきませんでした。ベビーカーで散歩したりする時、危ないと思う所が本当に沢山ありました。（40代 女性）

ガタガタになった道路すべてきれいに舗装し直してほしい。（50代 男性）

公園をもっと安全に遊べるように整備してほしい。年々日差しが強くなっているが、どの公園も屋根付きの休憩スペースがない。公園の遊具に黄色の危険テープがまかれたままなかなか修繕されないため、素早く対応してほしい。（30代 女性）

4. 地域活性化に関する政策

久しぶりの地域の春まつり、家の前を子供神輿が練り歩いて下さり、にぎやかなひとときをうれしく思いました。町内に空き家もあり、子供さんも少なくなりましたが、祭りなどの行事は続いてほしいと思います。（70歳以上 女性）

自治会の回覧板のデジタル化、ペーパーレス化など、回覧しなくてもいいようにしてほしい。（40代 男性）

夫はIターンにて福井市にやってきて結婚し子供も生まれましたが、UIターン者への支援、結婚する人への支援、子育て支援などどれも他の市町と比べて手厚くないと感じます。職場やマイホームがある関係で市外へ引越しが出来ませんが、福井県といえばというような観光地（東尋坊や恐竜博物館など）が市外にあり、たとえ新幹線が来たとしても観光客はのぞめないと思うので観光より居住者に手厚くしていくべきだと思います。（29歳以下 女性）

<p>5. 共生、協働に関する政策</p>
<p>地域のボランティアなど、私のような40代50代は、仕事があるので、保健推進員（仕方ないので、様々な地域のことはやっていますが、負担が多すぎる）など言われてもなかなかできない。もう少し、担い手の年齢や生活も考えて、選んだらどうか？仕事の欲しい。少しでも体の動くシニアは沢山いる。そのような方に、給与ありの仕事でゴミ拾いや、清掃、庭木の手入れ、子供の送迎など、してもらってはどうか？（40代 女性）</p>
<p>6. 福祉に関する政策</p>
<p>子供の医療費無料期間を延ばして欲しい。（30代 男性）</p>
<p>子育てに対する支援を細かく知れるサイトがあるといいと思います。（40代 男性）</p>
<p>現在福井市では、子ども医療費が、未就学児までは全額補助してもらえますが、小学生から一部負担金があります。一カ月のうちに小児科と耳鼻科にかかる1000円医療費がかかります。福井市外の市町村では小中学生も全額補助が出る場所もあります。同じ県内に住んでいて差が出るのは不満な部分があります。（40代 女性）</p>
<p>高齢化に伴い、自分の今後についての不安がある。3世代での毎日であるが、病気になった時に、また障害者になった時に入所できる施設が少ないように思う。空家も多く、安全上の不安もある。（70歳以上 女性）</p>
<p>7. 環境に関する政策</p>
<p>ゴミ集積場へのゴミ出しは地区ごとの決められた場所では無く、家から近いところ、どこでも出せるようにしてほしい。（70歳以上 女性）</p>
<p>ゴミの分別が本当に面倒臭い。県外から帰ってくる家族も毎回大変そうにしている。（40代 女性）</p>
<p>福井駅前に緑が少ない様に思います。どこか一ヶ所にでも大木を植えると、目にもやさしい街並になる様に思います。（70歳以上 男性）</p>
<p>古着の回収を自治体でしてほしい。以前住んでいた静岡県では公民館に回収BOXがあった。（70歳以上 男性）</p>
<p>8. 防災、安全安心に関する政策</p>
<p>運転免許証の返納について 返納しやすいサービスを！ 例えば公共交通に乗った時の割引（電車もバスも）（1回100円で期間を決めない。）（70歳以上 女性）</p>
<p>昨年福井へ引っ越してきた者ですが、夜間街灯がついていない所が多く、交通、防犯面で怖いと思う事があります。8号線では道路側に植物があるのは良いと思うのですが、剪定しないと、合流する車の目隠しとなってしまい、事故につながりやすいと感じました。（40代 女性）</p>
<p>災害が起きた時、ホームページを見なさい!!と、いつもですが、年寄りの1人暮らし（町中心は高齢者多く）には、どうしていいかわかりません。→考えて下さい。重要です。（70歳以上 女性）</p>

9. 農林水産業に関する政策

農業が取り巻く状況については、米価が下がり、資材コストが上昇する一方です。国や県の補助もありますが、農家の所得は減る一方であり、廃業に追い込まれる経営者が更に多くなってきました。つきまして、農林水産業に関する予算を増額いただき、本気で農家を助けるという意気込みを示していただければと存じます。大変傲慢なことを述べているのは承知の上ですが、何卒ご検討のほどよろしくお願い致します。

(30代 男性)

10. 商工業に関する政策

福井市は住みやすい町です。大型商業施設やイオンなどできると、もっと生活が便利になると思います。(40代 女性)

高齢者が多く、若者が少ないため、働き手が不足すると予想される。日本、県の産業を継続、発展させていくためにも、高齢者が活躍できる場を作るよう、国や自治体が、企業に向けて働きかけていく必要があると考える。そうすることで老後の生活の助け、高齢者の孤独等への対策に繋がる。また、若者の負担が軽減されることで、結婚や出産のハードルも下がり、少子化にも一定の効果が得られると考える。(30代 男性)

国内、海外企業を誘致してほしい。人口増、経済活動活発化につながると思うから。(40代 男性)

求人が多くても全てミスマッチ。若い人が働ける事業開発、職種、企業誘致を増やさないと環境が良くても結果は望めない。(60代 男性)

民間のイベントやマルシェなどがやり易い様な支援、後援、相談出来る窓口などがあると、活気ある街作りの1つになると思います。(50代 男性)

11. 観光に関する政策

自然を全面に推して魅力の向上を目指して欲しい。観光の統一性がなくバラバラでよく分からない。(50代 女性)

県外からの若者を受け入れる、旅行者を増やすことを考えるのであれば、今の福井は中途半端な気がします。“恐竜” “温泉” “食べもの(魚)” “子どもが遊べる施設” 力を入れるところをしばって、それぞれをつなげ福井に来たら1日中楽しめることをアピールすると良いのではないのでしょうか。(30代 女性)

12. 文化、歴史、自然に関する政策

福井城址の再開発で出土した遺構の扱いが残念。歴史的価値が高いものは埋め戻したりせずしっかりと保存・活用する方法を模索すべき。石のベンチのようなものも、ただ置くのではなくもっと将来にわたって見る人が価値を認識できるようにして欲しい。
(29歳以下 男性)

13. 学校教育に関する政策

子供達が、自然の中でのびのびと笑顔があふれ、キラキラと輝きながら育っていくような福井をめざしてほしい。もっと子供達が話し合い、その意見を聞く場があってもよいのではないかと思うのですが。意外としっかりした考えをもっているのではないのでしょうか。(例えばいじめの問題など)

いろいろな子供達の声を聞いてみたいです。(70歳以上 女性)

14. 生涯学習、生涯スポーツに関する政策

旧スカットランド九頭竜を活かしてほしい。

スポーツ交流の場 ハンドボール活性化の場にする。(40代 男性)

その他

調査内容が長すぎる。時間を取られてしまう。こう言った調査の効率化や答えたくないようなことがないとしたら面倒事になってしまう。答える必要性やメリットはあった方がいい。最終的に福井市が活性化するや住みやすく改善されるなどのメリットは未来の話すぎて考えにくい。(29歳以下 女性)

第八次福井市総合計画に基づく福井市の取組に関するアンケートでしたが、福井市の取組みが市民に浸透しているのかが疑問。このアンケートを基に、今後、福井市が行政運営にどう生かしていくのかを公表・公開しないのであれば、ただの調査(無駄遣い)に終わると思う。そもそも、一方的なアンケート調査で市民の意識調査になるのでしょうか。(60代 男性)

福井県は幸福度日本一と言われていています。はたしてそうでしょうか?近くに八百屋、魚屋、肉屋すべてなくなりました。買い物は大型スーパーへ行くしかありません。病院に行くにも車です。免許を返納しようと思っても返納できない自分がいます。年寄りには住みにくい町になりました。(70歳以上 女性)

たまに市役所へ行くのですが、職員の人たちの挨拶が少ないと思います。窓口へ行ったらまず「こんにちは」と挨拶をしてから用件を聞くなどした方が良いと思います。こちらから用件を言うまで黙ったままです。挨拶をされて嫌がる人は居ないと思います。
(60代 男性)

V 調査票

令和5年度福井市民意識調査 調査票

調査にあたってのお願い

- ◆ あて名のご本人様をご回答ください。(代筆でもかまいません)
- ◆ あてはまる番号に○をつけてください。
- ◆ 『その他()』の場合は、具体的な内容をご記入ください。
- ◆ (すべて)のときは、あてはまる番号すべてに○をつけてください。
- ◆ 回答が難しい場合は、次の質問へお進みください。
- ◆ インターネット回答が便利です。インターネットで回答する場合はこちら⇒
(<https://shinsei.e-fukui.lg.jp/zWBXobjz>)※詳細は別添チラシをご覧ください。
- ◆ この調査は、6月20日(火)までにご回答ください。
- ◆ 郵送でも回答できます。その場合は、調査票に直接記入し、同封の返信用封筒にてご返送ください。
切手は不要です。
- ◆ 調査結果は、9月末に福井市ホームページ等で公表する予定です。
本調査は、市民の皆様にも市の施策や課題などについてのご意見をお聞きし、今後の取組の参考とする重要な調査です。ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。



<お問合せ>
福井市 市民生活部 市民サービス推進課
TEL 0776-20-5303
FAX 0776-20-5753
E-mail shiservice@city.fukui.lg.jp

以下の設問について、あなたのお考えに最も近いものをお答えください。

● 福井市について

問1 あなたは、福井市にこれからも住み続けたいと思いますか。(1つ)

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. 住み続けたい | 2. 事情が許せば住み続けたい |
| 3. 市外(大都市圏)に住みたい | 4. 市外(大都市圏以外)に住みたい |

問2 あなたは、福井市が実施する都市部からの移住(UIターン)を促進するための施策を知っていますか。(1つ)

- | | |
|-----------------------------|------------------|
| 1. 内容までよく知っている | 2. いくつかの内容は知っている |
| 3. 取り組んでいることは知っているが、内容は知らない | 4. 知らない |

問3 都市部からの移住を促進するために重要だと思うことは何ですか。(1つ)

- | | |
|--------------------------|----------------|
| 1. 移住相談体制の充実 | 2. 本市の魅力の情報発信 |
| 3. 仕事(就職・起業・農林水産業)に関する支援 | 4. 住宅の確保に関する支援 |
| 5. 市内在住者(親、友人など)からの働きかけ | 6. その他 |

問4 都市部からの移住を促進するにあたり、本市の強みは何だと思えますか。(1つ)

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1. 自然環境 | 2. 生活環境(交通・買い物の利便性など) |
| 3. 子育て・教育環境 | 4. 雇用・労働環境 |
| 5. 住まいの環境(家の広さ、コスト面など) | 6. その他 |

● 第八次福井市総合計画に基づく福井市の取組について

問 1 第八次福井市総合計画に基づく福井市の政策ごとの主な施策・取組について、あなたの満足度をお聞きします。あなたのお考えに最も近い番号に○を付けてください。(1つ)

各種政策	政策ごとの主な施策・取組の内容	満足度					
		1 満足	2 ほぼ満足	3 ふつう	4 やや不満	5 不満	6 わからない
公共交通	1 北陸新幹線建設促進、大阪までの早期全線整備に向けた要請活動	1	2	3	4	5	6
	2 鉄道や地方バスの運行支援、公共交通の利用啓発、シェアサイクル「ふくチャリ」の運用	1	2	3	4	5	6
	3 MaaSシステムの導入やキャッシュレス決済の導入などの、ICTを活用した公共交通の利便性向上	1	2	3	4	5	6
	4 地域の拠点づくり(越廼・美山地区における買い物・移動・交流を連携した社会実験)、地域コミュニティバスの運行支援	1	2	3	4	5	6
中心市街地	5 市街地再開発事業の支援、まちなかのリノベーション支援、福井城址の周辺整備	1	2	3	4	5	6
	6 ハビリンを拠点とした賑わい創出、まちなかの商店街との連携イベントの実施、中央公園を活用した民間イベントの支援、高架下トイレ改修	1	2	3	4	5	6
	7 足羽山公園遊園地(動物園)の運営、景観保全	1	2	3	4	5	6
生活インフラ	8 道路照明 LED 化、道路消雪設備の整備、歩道バリアフリー化、道路・河川・橋りょう改修	1	2	3	4	5	6
	9 空き家の除去支援、公園整備、市民団体の公園や河川の美化活動への支援	1	2	3	4	5	6
	10 水道水の安定供給、上水道の基幹管路の耐震化、公共下水道施設の整備	1	2	3	4	5	6
地域活性化	11 関係人口の創出・拡大、都市部と本市の二地域間での活動・居住の促進	1	2	3	4	5	6
	12 UI ターン就職の促進、移住相談体制の充実	1	2	3	4	5	6
	13 新婚・子育て世帯や UI ターン世帯等へのリフォーム支援、空き家活用	1	2	3	4	5	6
	14 自治会活動の支援、地域のまちづくり活動の支援、集落機能の維持活性化	1	2	3	4	5	6
共生、協働	15 人権尊重意識の啓発、人権教育の充実	1	2	3	4	5	6
	16 女性活躍の促進、ワーク・ライフ・バランスの実現、男性の家事・育児への参画啓発	1	2	3	4	5	6
	17 海外姉妹友好都市との交流、行政通訳員の配置、多文化共生の啓発	1	2	3	4	5	6
	18 ボランティア活動支援、市民団体の協働のまちづくり活動への支援	1	2	3	4	5	6
福祉	19 健康教育や健康相談の実施、特定検診の実施、医療保険制度の安定運営	1	2	3	4	5	6
	20 子ども医療費の助成、公立子ども園や児童クラブの整備・運営、児童虐待の未然防止に向けた取組	1	2	3	4	5	6
	21 地域包括支援センター(ほやねっと)運営、介護保険制度の運営、高齢者の地域拠点の設置(いきいき長寿よろず茶屋)	1	2	3	4	5	6
	22 障がい福祉サービスの実施、心のバリアフリー普及啓発	1	2	3	4	5	6

各種政策	政策ごとの主な施策・取組の内容	満足度					
		1 満足	2 ほぼ満足	3 ふつう	4 やや不満	5 不満	6 わからない
福祉	23 福祉総合相談窓口の設置、訪問相談支援の実施、生活保護制度の運営	1	2	3	4	5	6
	24 感染症対策、飲食店への食品衛生の監視指導、休日急患センターの運営	1	2	3	4	5	6
環境	25 ごみ収集運搬、ごみ焼却施設の運営、脱炭素に向けた取組	1	2	3	4	5	6
	26 公害の未然防止のための事業者への啓発・指導、不法投棄対策	1	2	3	4	5	6
	27 市民グループ等の緑化活動への支援、自然や生き物の保全・再生活動の支援	1	2	3	4	5	6
	28 地域や学校などでの環境学習や啓発、企業交流会などによる環境活動の活発化	1	2	3	4	5	6
防災、安全安心	29 マンホールトイレ整備、防災備蓄の充実、自主防災組織への支援	1	2	3	4	5	6
	30 消防車両や救急車両の整備、救急救命士の養成、防火意識の高揚	1	2	3	4	5	6
	31 防犯隊活動への支援、防犯カメラ設置補助、犯罪被害者等への支援	1	2	3	4	5	6
	32 消費生活相談体制の充実、消費者トラブルに関する情報発信	1	2	3	4	5	6
	33 交通安全教室の開催、運転免許の自主返納啓発	1	2	3	4	5	6
農林水産業	34 園芸機械の整備支援、農業の担い手確保、水田園芸・果樹栽培の普及拡大	1	2	3	4	5	6
	35 福井市産品のブランド力向上、EC サイトを活用した情報発信	1	2	3	4	5	6
	36 森林の整備や木材利用による普及啓発、栽培漁業や養殖の支援	1	2	3	4	5	6
	37 農地の維持への支援、有害鳥獣の捕獲支援、越前水仙のブランド維持	1	2	3	4	5	6
商工業	38 繊維産業の製品開発支援、中小企業のデジタル化支援、成長産業の誘致	1	2	3	4	5	6
	39 創業支援、事業継承の促進	1	2	3	4	5	6
	40 UI ターン就職支援、学生に対する市内企業の魅力発信	1	2	3	4	5	6
	41 高齢者の就労支援や社会参加の促進、障がい者の就労支援	1	2	3	4	5	6
観光	42 一乗谷朝倉氏遺跡や越前海岸での体験プログラムの充実、桜まつりの開催	1	2	3	4	5	6
	43 「福いいネ！」を活用した魅力発信、首都圏等での集中的な広報	1	2	3	4	5	6
	44 おもてなし市民運動、観光ガイドの育成、福井駅東口への観光案内所の設置	1	2	3	4	5	6
文化や歴史、自然	45 文化芸術団体への支援、美術館の運営	1	2	3	4	5	6
	46 養浩館庭園や郷土歴史博物館の運営、大安寺の修理保存への支援、水仙畑の景観保全	1	2	3	4	5	6
	47 自然史博物館やセーレンプラネットの運営	1	2	3	4	5	6

各種政策	政策ごとの主な施策・取組の内容	満足度					
		1 満足	2 ほぼ満足	3 ふつう	4 やや不満	5 不満	6 わからない
学校教育	48 英語活動やプログラミング教育の充実、不登校などへの支援体制の充実	1	2	3	4	5	6
	49 健康診断の実施、学校給食の提供、児童生徒の体力向上	1	2	3	4	5	6
	50 通学路の点検や危険箇所の改善、インターネットの適正利用の啓発	1	2	3	4	5	6
	51 特別教室への空調設備の整備、ICT 環境の整備、学校規模の適正化	1	2	3	4	5	6
生涯学習 スポーツ	52 公民館の整備や管理運営支援、図書館の運営、市立図書館のリニューアル	1	2	3	4	5	6
	53 スポーツ施設の整備や管理運営、スポーツイベントの開催	1	2	3	4	5	6

● あなたの「幸福度」について

問 1 あなたは、現在、どの程度幸福だと感じていますか。(1つ)

- | | |
|---------------|------------------|
| 1. 幸福だと感じている | 2. やや幸福だと感じている |
| 3. どちらともいえない | 4. あまり幸福だと感じていない |
| 5. 幸福だと感じていない | 6. わからない |

問 2 あなたが幸福かどうかを判断する際に重視した事項は何ですか。(すべて)

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| 1. 人間関係(家族・友人・職場) | 2. 健康状態 |
| 3. 家計の状況 | 4. 仕事のやりがい |
| 5. 趣味(文化、スポーツ等) | 6. 社会貢献、地域活動 |
| 7. 子育て環境、教育環境 | 8. 居住周辺環境(交通、治安、防災体制) |
| 9. 地域の歴史、文化 | 10. 自然環境 |
| 11. 将来への希望・期待 | 12. その他 |

● 並行在来線開業について

問 1 あなたは、来年の北陸新幹線開業にあわせて、北陸本線(敦賀駅～大聖寺駅)がJRから経営分離され、株式会社ハピラインふくいが運営することを知っていますか。(1つ)

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 知っている | 2. 知らなかった |
|----------|-----------|

問 2 あなたは、ハピラインふくいを多くの人に知ってもらうには、どのような広報をしていくと良いと思いますか。(すべて)

- | | |
|---------------------|---------------------------|
| 1. 「広報ふくい」(広報紙)への掲載 | 2. 新聞の広告など |
| 3. テレビ、ラジオでの広告 | 4. ホームページや SNS の活用、動画配信など |
| 5. イベント出展など | |

問3 ハピラインふくいでは、ファンクラブを設立し様々なサービス提供を検討しております。あなたが良いと思うサービスはどれですか。(すべて)

- | | |
|------------------|--------------------------|
| 1. 1日乗り放題切符の贈呈 | 2. オリジナルグッズの割引 |
| 3. 協賛店での割引 | 4. 限定イベント(車両基地見学会など)への招待 |
| 5. イベント列車の運行時の割引 | 6. その他 |

● 福井市の都市づくりについて

問1 あなたは、JR福井駅を中心とした中心市街地には、どのくらいの割合で訪れますか。(1つ)

- | | |
|------------|-------------|
| 1. ほとんど毎日 | 2. 週に1~2回 |
| 3. 月に1~2回 | 4. 6か月に1回程度 |
| 5. 1年に1回程度 | |

問2 あなたは、通勤・通学や買い物・通院など、日常生活でバス・鉄道を利用していますか。(1つ)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 利用している | 2. 利用していない |
|-----------|------------|

問3 あなたは、お住まいの地区の「交通安全(歩道の設置、道路幅など)」について、どの程度満足していますか。(1つ)

- | | |
|-------|---------|
| 1. 満足 | 2. ほぼ満足 |
| 3. 普通 | 4. やや不満 |
| 5. 不満 | |

問4 あなたは、お住まいの地区の「通勤・通学の利便性」について、どの程度満足していますか。(1つ)

- | | |
|-------|---------|
| 1. 満足 | 2. ほぼ満足 |
| 3. 普通 | 4. やや不満 |
| 5. 不満 | |

● ボランティア活動について

問1 あなたは、ボランティア活動をしたことがありますか。(1つ)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. ある(現在、活動中) | 2. 過去に活動経験がある |
| 3. ない | |

問2 あなたは、今後、ボランティア活動にどの程度取り組みたいですか。(1つ)

- | | |
|--------------------|----------------|
| 1. 積極的に活動したい | 2. 機会があれば活動したい |
| 3. 活動したいが事情によりできない | 4. あまり活動したくない |

問3 あなたは、今後、どんなボランティア活動に参加したいと思いますか。(すべて)

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 地域での貢献、まちづくりに関する活動 | 2. 子どもの健全育成に関する活動 |
| 3. 自然や環境を守るための活動 | 4. 高齢者や障がい者に関する活動 |
| 5. スポーツ・文化・芸術に関する活動 | 6. 観光・おもてなしに関する活動 |
| 7. 災害救援に関する活動 | 8. 国際協力・支援に関する活動 |

問4 あなたは、ボランティア活動への参加を妨げるのは、どのような理由からだと思いますか。(すべて)

- | | |
|------------------|----------------------------|
| 1. 時間的・経済的に余裕がない | 2. 活動場所や内容等、ボランティア情報が分からない |
| 3. 一緒に活動する仲間がいない | 4. 自分がボランティアとして役に立つのか不安 |
| 5. 人間関係が煩わしい | 6. ボランティアに関心がない |

● 人権について

問1 あなたは、過去5年間のうち、あなた自身や身の回りで、差別や不平等な扱いなどの人権侵害を受けたり、見聞きしたりしたことがありますか。(1つ)

- | | |
|----------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
| 3. わからない | |

問2 あなたは、人権尊重意識が市民に浸透するためには、市はどのような方法で啓発広報活動を行うことが効果的であると思いますか。(すべて)

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 講演会、シンポジウム、研修会 |
| 2. 広報紙、パンフレット・ポスター |
| 3. テレビ・ラジオ、新聞・雑誌 |
| 4. インターネット(SNS、ホームページ) |
| 5. ワークショップ(少人数の討論会や参加体験型の研修プログラム) |
| 6. 多様な立場の人が参加する交流会 |

● 男女共同参画について

問1 あなたは、現在の学校教育の場において、男女平等になっていると思いますか。(1つ)

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. 平等になっていると思う | 2. まだ平等とはいえない |
| 3. わからない | |

問2 あなたは、1日平均すると、どのくらい家事・買い物をしていますか。
(記述回答:分単位で記入してください)(例:120分)

家事・買い物	分
--------	---

問3 あなたは、1日平均すると、どのくらい育児・介護・看護をしていますか。
(記述回答:分単位で記入してください)(例:120分)

育児・介護・看護	分
----------	---

問4 次に示すDV(ドメスティック・バイオレンス)に関する相談窓口のうち、あなたが知っているものはどれですか。(すべて)

- | | |
|---------------------------|------------------------------|
| 1. 福井市 ひとり親家庭就業・自立支援センター | 2. 福井県 配偶者暴力被害者支援センター、人権センター |
| 3. 福井県警察 安全相談室 #9110 | 4. 福井地方法務局 女性の人権ホットライン |
| 5. 内閣府 DV相談ナビ #8008、DV相談+ | 6. 相談窓口を知らない |

● 自殺対策について

問1 あなたは、これまでの人生のなかで、自殺したい、またはそれに近いことを考えたことがありますか。(1つ)

- | | |
|--------------|-------------|
| 1. 考えたことがある | 2. 考えたことはない |
| 3. どちらともいえない | |

問 2 あなたは、悩みごとにどのように対処しますか。(1つ)

- | | |
|-------------------------------|------------------------|
| 1. 誰か他の人に相談する | 2. 趣味や仕事など他のことで気を紛らわせる |
| 3. 原因となる事柄から離れるなど環境を変える(転職など) | 4. できるだけ休養をとる |
| 5. 特に何もしない | |

問 3 あなたは、悩みごとを誰に相談しますか。(1つ)

- | | |
|--------------|---------------------|
| 1. 家族、親族 | 2. 友人、先生、職場の仲間など |
| 3. 医師、カウンセラー | 4. 不特定の人物(SNS 等を利用) |
| 5. 誰にも相談しない | |

問 4 あなたは、ゲートキーパー(悩みを聞き支援につなぐ人)を知っていますか。(1つ)

- | | |
|----------------|----------------------|
| 1. 内容までよく知っている | 2. 内容は知らないが、聞いたことはある |
| 3. 知らない | |

問 5 あなたは、自殺予防週間や自殺対策強化月間について聞いたことはありますか。(1つ)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 聞いたことがある | 2. 聞いたことがない |
|-------------|-------------|

問 6 あなたは、グリーフケア(死別の悲しみに寄り添い支援すること)を知っていますか。(1つ)

- | | |
|----------------|----------------------|
| 1. 内容までよく知っている | 2. 内容は知らないが、聞いたことはある |
| 3. 知らない | |

問 7 あなたは、下記相談窓口を知っていますか。(すべて)

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 福井市しごと支援課 | 2. 福井公共職業安定所(ハローワーク) |
| 3. ふくい若者サポートステーション | 4. 福井市福祉総合相談室よりそい |
| 5. 福井弁護士会 | 6. ホットサポートふくい |
| 7. 福井市保健所地域保健課保健支援係 | 8. 福井県ひきこもり地域支援センター |
| 9. 福井市健康管理センター | 10. 相談窓口を知らない |

● 健康づくりに対する意識について

問 1 あなたは、元気体操21をおこなっていますか。(1つ)

「元気体操21」とは:健康づくりや生活習慣病予防を目的とした体操

- | | |
|---------------------|------------------|
| 1. 定期的におこなっている | 2. おこなったことがある |
| 3. 知っているがおこなったことはない | 4. 「元気体操21」を知らない |

問 2 あなたは、「ずっと健康 101 宣言」を知っていますか。(1つ)

「ずっと健康101(いちまるいち)宣言! ~プラス「10分の運動」とプラス「1皿の野菜」で健康寿命を伸ばそう~」とは:福井市が推奨している健康づくりの具体的行動目標

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 内容を知っている | 2. 聞いたことがある |
| 3. 知らない | |

問 3 あなたは、ベジ・ファーストには生活習慣病の予防効果(血糖値の上昇を抑えるなど)があることを知っていますか。また、実践していますか。(1つ)

ベジファーストとは:食事のときに、まず野菜から食べること。

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 知っており毎日実践している | 2. 知っており時々実践している |
| 3. 知っているが実践していない | 4. 知らない |

問4 あなたは、ご自身の健康診断(人間ドックを含む)を予約する場合、どの手段を希望しますか。(1つ)

1. 電話での予約	2. 窓口での予約
3. Web などオンラインでの予約	4. 健康診断を受けない
5. その他()	

● 児童館について

問1 あなたは、児童館を利用したことがありますか。(1つ)

1. 遊びに行ったことがある	2. 子どもを預けている(預けていた)
3. 利用したことはない	

問2 あなたは、児童館と児童クラブの違いをご存じですか。(1つ)

児童館: 児童に遊びの場を提供し遊びの指導などを行うもの(無料)
児童クラブ: 放課後に留守家庭となる小学生に対し生活の場を提供するもの(有料)
※「児童館」には、「児童クラブ」が必ず設置されています。

1. 知っている	2. 児童館に子どもを預けている(いた)がその違いはわからない
3. 知らない	

問3 あなたは、今後の児童館のあり方について、どのように考えますか。(1つ)

1. 「遊びの場」としてのみ整備する	2. 「放課後の預かりの場(児童クラブ)」としてのみ整備する
3. 地域施設として必要	4. 児童館(児童クラブ含む)は必要でない
5. 特に意見はない	6. その他()

● 防災に対する意識について

問1 あなたは、身の危険を感じる災害にあったことがありますか。また、災害に備えていますか。(1つ)

1. 災害にあったことがあります、備えている	2. 災害にあったことはあるが、特に備えていない
3. 災害にあったことはないが、備えている	4. 災害にあったことはなく、特に備えていない

問2 あなたは、風水害時や地震が起こった際に、避難する場所を知っていますか。また、実際に避難したことがありますか。(1つ)

1. 知っているし、避難したことがある	2. 知っているが、避難したことはない
3. 知らない	

問3 あなたは、福井市が昨年配布した「防災ハンドブック」についてどのように思われましたか。(1つ)

1. 参考になった	2. 参考にならなかった
3. まだ読んでいない	4. 防災ハンドブックを知らない・興味がない

問4 あなたは、福井市総合防災訓練に参加したことがありますか。(1つ)

1. 参加したことがある	2. 参加したことはない
3. 防災訓練が行われていることを知らなかった	

問5 あなたは、災害に備えて、どのような対策をとっていますか。(すべて)

1. 避難場所・避難経路を決めている	2. 安否確認の方法を決めている
3. 家具、家電などを固定し、転倒を防止している	4. 食料・飲料水などを備蓄している
5. その他	6. 特に対策はとっていない

問 6 あなたは、非常持出品(袋)を準備していますか。(1つ)

1. 準備している

2. 準備していない

● 食育について

問 1 あなたは、これまでに農林漁業体験(田植え、野菜・果物の収穫、定置網漁、味噌づくりなどの体験)に参加したことがありますか。(1つ)

1. ある

2. ない

問 2 あなたは、ふだんから「買すぎない」「使い切る」「食べきる」など、食品ロス削減につながる行動に取り組んでいますか。(1つ)

1. 取り組んでいる

2. 取り組んでいない

問 3 あなたは、安全な食生活を送るための、食品の安全性に関する基礎的な知識(消費・賞味期限などの食品表示や調理方法などの知識)があると思いますか。(1つ)

1. 十分にあると思う

2. ある程度あると思う

3. あまりないと思う

4. まったくないと思う

問 4 あなたは、ふだんの食生活において、地元の食材、食品をどの程度取り入れていますか。(1つ)

1. 積極的に取り入れている

2. 時々取り入れている

3. あまり取り入っていない

4. 取り入っていない

● 福井市市民憲章について

問 1 あなたは、市民憲章に実践目標があることを知っていますか。(1つ)

1. 内容までよく知っている

2. 内容は知らないが、聞いたことはある

3. 知らない

問 2 実践目標のうち、あなたが実践しているものをお答えください。(すべて)

1. あいさつで ふれあうよろこび 深める絆

2. スポーツで 広がれつながれ 元気の輪

3. ふるさとを 今よりもっと 美しく

4. たかめよう 交通マナーと 防災意識

5. ふくいの魅力 学んで知って 広めよう

6. 実践していない

● 福井市のホームページおよび広報紙について

問 1 あなたは、福井市のホームページで知りたい情報を見つけることができましたか。(1つ)

1. すぐに見つかった

2. 比較的すぐに見つかった

3. 見つけにくかった

4. 見つからなかった

問 2 あなたは、福井市のホームページを快適に閲覧するためにはどういった改善が必要だと思いますか。(1つ)

1. 見やすいデザインやレイアウトにする

2. SNS や AI チャットボット(自動応答サービス)との連携を進める

3. 高齢者や外国の方など誰もが不自由なく利用できる機能を充実させる

4. その他()

問3 あなたは、「広報ふくい」をどれくらいの頻度で読みますか。(1つ)
(ホームページやスマートフォンアプリなどで読む場合も含む)

- | | |
|------------|------------|
| 1. 毎号(月2回) | 2. とどきどき読む |
| 3. あまり読まない | 4. 読まない |

問4 あなたは、「広報ふくい」を手に入れる方法についてどれが良いと思いますか。(1つ)

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 紙の広報紙が、自治会を通じて配布される方法 |
| 2. 公共施設やコンビニなど、最寄りの施設に紙の広報紙を取りに行く方法 |
| 3. デジタル版広報紙が、各自のスマートフォンなどの端末に配信される方法 |
| 4. デジタル版広報紙をホームページに見に行く方法 |
| 5. その他() |

● 自転車利用促進について

問1 あなたは、移動手段として自転車をどのくらいご利用になりますか。(1つ)

- | | |
|----------|----------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 平日のみ |
| 3. 週1回程度 | 4. 月1回程度 |
| 5. 年1回程度 | 6. 乗らない |

問2 あなたが自転車を利用する頻度は、コロナ禍前と比べて変わりましたか。(1つ)

- | | |
|-----------|------------------------|
| 1. 大幅に増えた | 2. 増えた |
| 3. 変わらない | 4. 減った |
| 5. 大幅に減った | 6. コロナ禍前も後も自転車を利用していない |

問3 あなたが自転車を利用する目的は何ですか。(1つ)

- | | |
|------------|---------------|
| 1. 通勤 | 2. 通学 |
| 3. 買い物 | 4. 業務(配達・営業等) |
| 5. 娯楽・レジャー | 6. その他 |

問4 あなたは、自転車利用を促進するためにどのような取り組みが重要だと思いますか。(1つ)

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1. 駐輪場の増設 | 2. 自転車通行帯の整備 |
| 3. シェアサイクルのエリア拡大 | 4. 自転車や自動車等の交通安全意識の向上 |
| 5. 自転車は利用しないので分からない | |

● デジタルの活用について

問1 あなたが所有している情報通信機器を教えてください。(すべて)

- | | |
|--------------------------|--------------------|
| 1. パソコン | 2. スマートフォン |
| 3. タブレット端末 | 4. 携帯電話(スマートフォン以外) |
| 5. インターネットに接続できるゲーム機・テレビ | 6. 所有していない |

問2 あなたがインターネットを使って利用したことがあるものを教えてください。(すべて)

- | | |
|-------------------------|---------------------------------|
| 1. 商品・サービスの購入、オンライン取引など | 2. SNS(フェイスブック、ツイッター、インスタグラムなど) |
| 3. オンライン会議、授業など | 4. 国や自治体への手続(電子申請・電子申告など) |
| 5. その他 | 6. インターネットを利用したことがない |

問3 あなたは、お店で対面で買い物をする時に、スマートフォンなどを使用した決済サービス(二次元コード払いなど)を利用していますか。(1つ)

- | | |
|---------------------------|----------------------|
| 1. 利用している | 2. 利用していないが、今後は利用したい |
| 3. 利用していないし、今後も利用するつもりはない | |

問4 あなたは、社会全体のデジタル化が進むことについてどのように考えますか。(すべて)

- | | |
|----------------------------|------------------------|
| 1. 必要な情報を入手しやすくなる | 2. 手続等がスムーズになる |
| 3. 買い物や移動が便利になる | 4. 情報漏洩等セキュリティの面で不安がある |
| 5. デジタル機器等を使える人と使えない人で差がつく | 6. わからない |

● あなた自身について

F1 あなたの性別をお答えください。(1つ)

- | | | |
|-----------------|-----------------|-----------------|
| 1. 男性(自認する性を含む) | 2. 女性(自認する性を含む) | 3. 分からない・答えたくない |
|-----------------|-----------------|-----------------|

F2 あなたの年齢をお答えください。(1つ)

- | | |
|------------|------------|
| 1. 18～29 歳 | 2. 30～39 歳 |
| 3. 40～49 歳 | 4. 50～59 歳 |
| 5. 60～69 歳 | 6. 70 歳以上 |

F3 あなたのお仕事をお答えください。(1つ)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. 自営業者 | 2. 会社員・公務員・団体職員など |
| 3. アルバイト・パート | 4. 主婦・主夫 |
| 5. 学生 | 6. 無職 |
| 7. その他 | |

F4 あなたは、福井市にお住まいになって何年になりますか。(1つ)

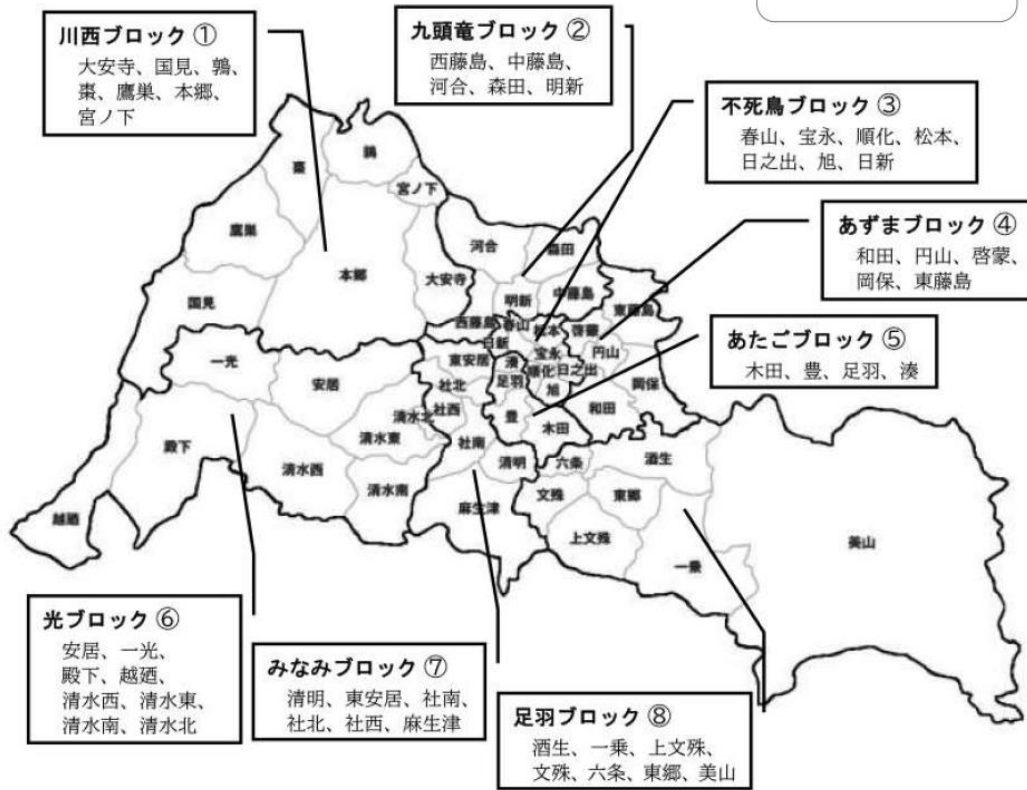
- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 2年未満 | 2. 2年以上5年未満 |
| 3. 5年以上10年未満 | 4. 10年以上20年未満 |
| 5. 20年以上30年未満 | 6. 30年以上 |

F5 同居している家族構成はどれにあたりますか。(1つ)

- | | |
|--------------|-----------------|
| 1. 一人暮らし | 2. 1世代(夫婦だけ 等) |
| 3. 2世代(親子 等) | 4. 3世代(親と子と孫 等) |
| 5. その他 | |

F6 あなたのお住まいの地域を、地図から1つ選び、番号でお答えください。

No _____



～自由意見～ 福井市に対するご意見やご提案などありましたら、下記にご記入ください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

調査結果は9月末に福井市ホームページ等で公表いたします。
過去に実施した調査についても併せてご覧ください。

福井市 市民意識調査

検索





令和5年度

福井市民意識調査報告書

令和5年9月発行

福井市市民生活部
市民サービス推進課

〒910-8511 福井市大手3丁目10番1号
TEL (0776)20-5303
